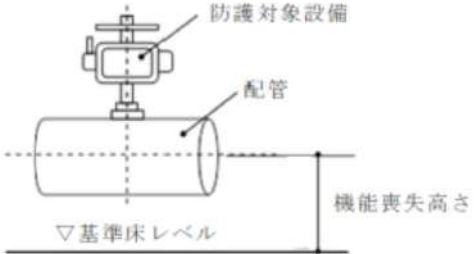
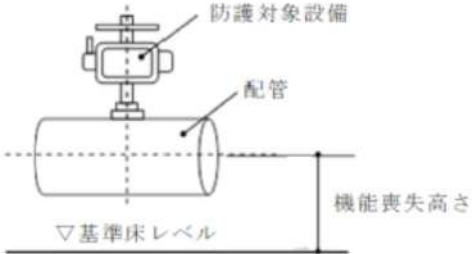
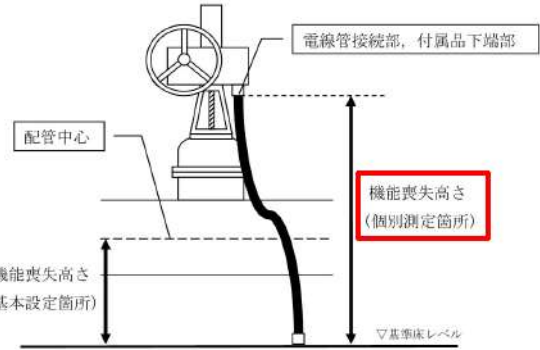


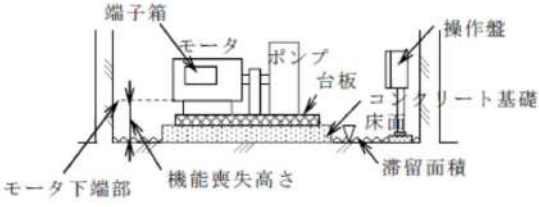
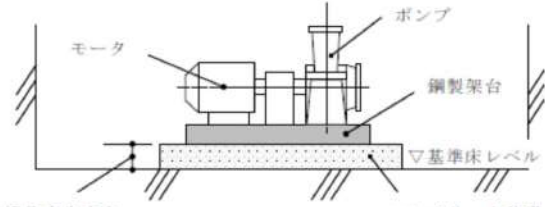
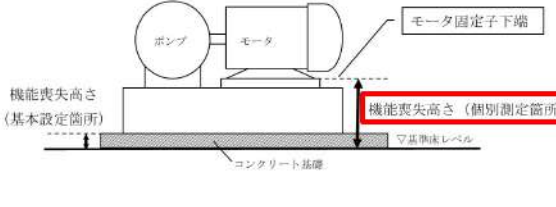

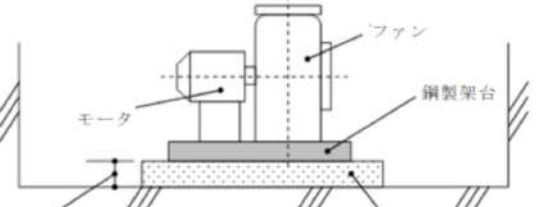
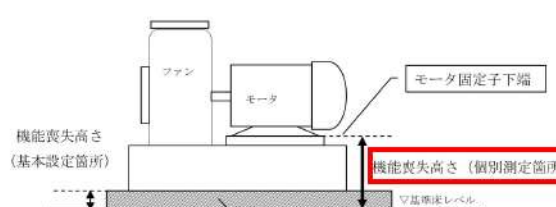
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）


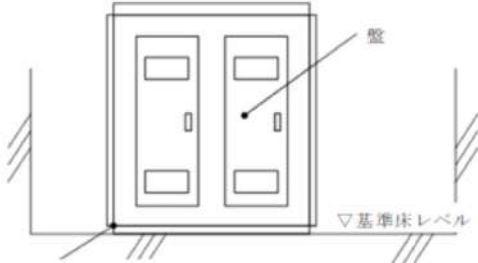
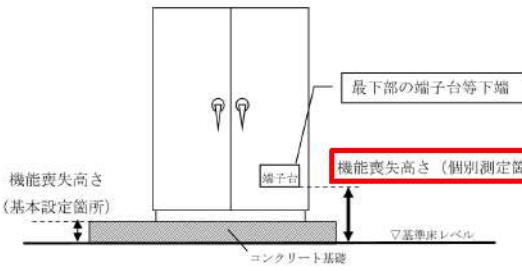

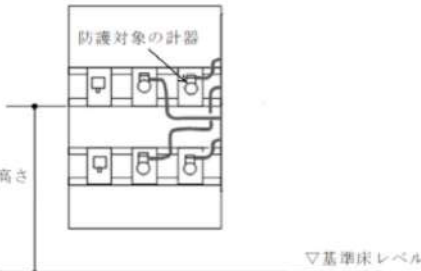
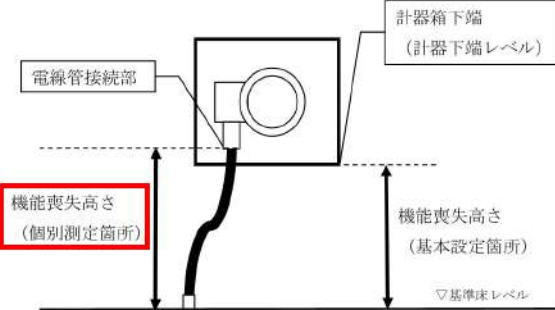
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下部部又は端子箱下部の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下部部又は端子箱下部の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下部部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下部又は伝送器下部の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下部部又は端子箱下部の低い方	ファン	モータは下部部又は端子箱下部の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下部部	計器	計器本体下部又は伝送器下部の低い方	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下部レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>【島根2号炉】          まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ/電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下部部 ・電線管接続部下部部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁/電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下部部 ・電線管接続部下部部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下部部 ・計器下部部 ・電線管接続部下部部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下部部 ・電線管接続部下部部 ・端子箱下部部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下部レベル	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下部部 ・電線管接続部下部部	空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下部部 ・電線管接続部下部部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下部部 ・計器下部部 ・電線管接続部下部部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下部部 ・電線管接続部下部部 ・端子箱下部部	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下部部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下部部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下部の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下部レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下部又は伝送器下部の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下部部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下部部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下部の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下部レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部レベル）	計器本体の電線管接続部下部又は伝送器下部の低い方	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>          泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。          （島根2号炉と同様）</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>          女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部																																																																	
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下部部																																																																	
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下部部又は端子箱下部の低い方																																																																	
ファン	モータは下部部又は端子箱下部の低い方																																																																	
盤	盤内の最低高さの計器類の下部部																																																																	
計器	計器本体下部又は伝送器下部の低い方																																																																	
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																																	
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																																	
計器関係	計器下部レベル																																																																	
設備	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																																																
ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下部部 ・電線管接続部下部部																																																																
空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下部部 ・電線管接続部下部部																																																																
盤	・盤ベース高さ	・開口部下部部 ・計器下部部 ・電線管接続部下部部																																																																
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下部部 ・電線管接続部下部部 ・端子箱下部部																																																																
機器	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下部部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下部部																																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下部部																																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下部の低い方																																																																
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																																																
計器関係	計器下部レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部レベル）	計器本体の電線管接続部下部又は伝送器下部の低い方																																																																
<p>【島根2号炉】          まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-2 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	 <p>図1 弁における機能喪失高さ</p>	 <p>図1 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>          泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。          （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>          泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。          （島根2号炉と同様）</p>																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>端子箱 モータ ポンプ 台板 操作盤 コンクリート基礎 モータ下端部 機能喪失高さ 滞留面積</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>モータ ポンプ 鋼製架台 ▽基準床レベル コンクリート基礎 機能喪失高さ</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ポンプ モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図2 機能喪失高さ（ポンプの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (島根2号炉と同様)</p> <p>【女川・大阪】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-1 機能喪失高さ（ポンプの例）</p> <p>本資料のうち、特記の内容は機密に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>ファン モータ 鋼製架台 コンクリート基礎 機能喪失高さ</p> <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ファン モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図3 機能喪失高さ（ファンの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (島根2号炉と同様)</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>

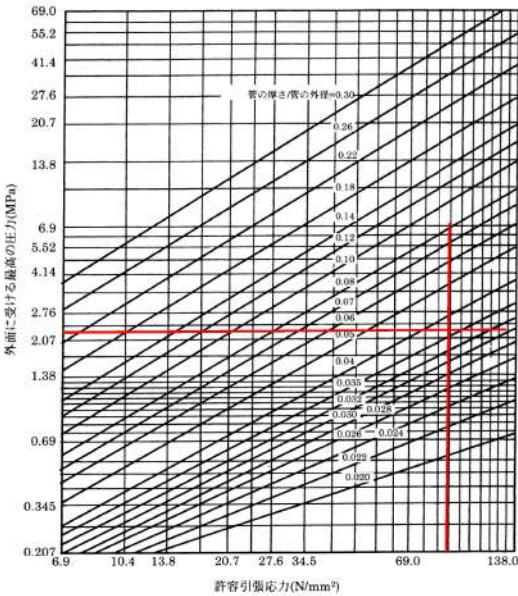
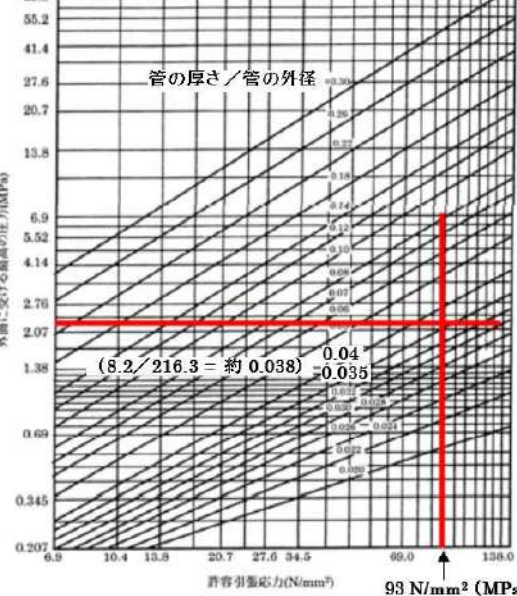
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p9条-別添1-添付1-3より抜粋</p>  <p>図1-3 機能喪失高さ（盤の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に係る事項のため公開できません。</p>	 <p>図4 電気盤における機能喪失高さ</p>	 <p>図4 機能喪失高さ（盤の例）</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。                      （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。                      （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p9条-別添1-添付1-4より抜粋</p>  <p>図1-5 機能喪失高さ（計器の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に係る事項のため公開できません。</p>	 <p>図5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>図5 機能喪失高さ（計器の例）</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。                      （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。                      （島根2号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について                      容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁                      例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照）                      弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。                      また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について                      容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁                      例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照）                      弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。                      また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p><a href="#">女川審査実績の反映</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ/管の外径（8.2/216.3 = 約 0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>
<p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器                      容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器                      容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1227 1254"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRDアキムレレータ CRD窒素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRDアキムレレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 280 1854 1190"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34B-F-23</td> <td>ほう殿ば入タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-1</td> <td>よう殿湯去集積タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-4E</td> <td>原子炉機械冷却ポンプサージタンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-4E</td> <td>空回機冷却水膨張タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-4E</td> <td>A、B-原子炉機械冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-4E</td> <td>C、D-原子炉機械冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-4E</td> <td>機械冷却タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-19</td> <td>ほう殿タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-1E</td> <td>貯水冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-18</td> <td>B-非常熱除去冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-20</td> <td>A-非常熱除去冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>34B-F-1E</td> <td>B-非常熱除去冷却器</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	34B-F-23	ほう殿ば入タンク	○	34B-F-1	よう殿湯去集積タンク	○	34B-F-4E	原子炉機械冷却ポンプサージタンク	○	34B-F-4E	空回機冷却水膨張タンク	○	34B-F-4E	A、B-原子炉機械冷却器	○	34B-F-4E	C、D-原子炉機械冷却器	○	34B-F-4E	機械冷却タンク	○	34B-F-19	ほう殿タンク	○	34B-F-1E	貯水冷却器	○	34B-F-18	B-非常熱除去冷却器	○	34B-F-20	A-非常熱除去冷却器	○	34B-F-1E	B-非常熱除去冷却器	○	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違はない。  <a href="#">設計方針の相違</a>          プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																				
R-B1F-1	CRDアキムレレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
評価エリア番号	機器	評価																																																				
34B-F-23	ほう殿ば入タンク	○																																																				
34B-F-1	よう殿湯去集積タンク	○																																																				
34B-F-4E	原子炉機械冷却ポンプサージタンク	○																																																				
34B-F-4E	空回機冷却水膨張タンク	○																																																				
34B-F-4E	A、B-原子炉機械冷却器	○																																																				
34B-F-4E	C、D-原子炉機械冷却器	○																																																				
34B-F-4E	機械冷却タンク	○																																																				
34B-F-19	ほう殿タンク	○																																																				
34B-F-1E	貯水冷却器	○																																																				
34B-F-18	B-非常熱除去冷却器	○																																																				
34B-F-20	A-非常熱除去冷却器	○																																																				
34B-F-1E	B-非常熱除去冷却器	○																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 256 1272 1182"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 256 853 767">防範区画番号</th> <th data-bbox="696 767 853 1182">機器</th> <th data-bbox="696 256 1272 767">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 256 853 384">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="696 384 853 767">燃料ダイオキタンク</td> <td data-bbox="696 256 1272 767">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 384 853 512">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="696 512 853 767">軽油タンク</td> <td data-bbox="696 384 1272 512">○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 512 853 639">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="696 639 853 767">FGS 再結合器 FGS 冷理器 FGS 気水分離器</td> <td data-bbox="696 512 1272 639">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 639 853 767">R-3F-1</td> <td data-bbox="696 767 853 1182">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="696 639 1272 767">○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 767 853 1182">R-1F-4</td> <td data-bbox="696 767 853 1182">燃料プールの冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="696 767 1272 1182">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.5m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防範区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合器 FGS 冷理器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.5m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1352 256 1787 1182"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 256 1397 767">評価</th> <th data-bbox="1352 767 1397 1182">機器</th> <th data-bbox="1397 256 1442 767">タンク面計部 であるピット より溢水が 浸入しないこ とを確認した。</th> <th data-bbox="1397 767 1442 1182">同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はなく、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を及ぼさ ない。</th> <th data-bbox="1397 256 1442 767">常時閉圧され ていることか ら、溢水により 機械的損傷が 生じることが ない。</th> <th data-bbox="1397 767 1442 1182">コンクリート に埋め込まれ ているため、溢 水により機 能喪失するこ とを確認した。</th> <th data-bbox="1397 256 1442 767">溢水による機 能喪失するこ とを確認した。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 256 1397 384">評価エリア番号</td> <td data-bbox="1352 384 1397 1182">機器</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">溢水による機能喪失の可能性</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">溢水による機能喪失の可能性</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">溢水による機能喪失の可能性</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">溢水による機能喪失の可能性</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">溢水による機能喪失の可能性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 256 1397 384">33B-W-22</td> <td data-bbox="1352 384 1397 1182">A-1 格納容器スプレイ冷理器</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">○</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">○</td> <td data-bbox="1352 256 1397 767">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 384 1397 512">33B-W-6</td> <td data-bbox="1352 512 1397 1182">A、B-1 使用済燃料ピット冷理器</td> <td data-bbox="1352 384 1397 767">○</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 384 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">○</td> <td data-bbox="1352 384 1397 767">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 512 1397 639">33B-W-1</td> <td data-bbox="1352 639 1397 1182">燃料格納用冷却器</td> <td data-bbox="1352 512 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 512 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">○</td> <td data-bbox="1352 512 1397 767">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 639 1397 767">33B-F-37</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">A、B-1 デイジーセル発電機</td> <td data-bbox="1352 639 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">○</td> <td data-bbox="1352 639 1397 767">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 639 1397 767">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 767 1397 895">33B-F-39</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1182">燃料油サービスタタンク</td> <td data-bbox="1352 767 1397 895">-</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 895">-</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 767 1397 895">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 895 1397 1023">C/F内</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1182">西止熱交換器</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1023">-</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1023">-</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 895 1397 1023">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1023 1397 1150">C/F内</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">蓄圧タンク</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1150">-</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1150">-</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1023 1397 1150">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">屋外</td> <td data-bbox="1352 1182 1397 1182">ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1182 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1182 1397 1182">-</td> <td data-bbox="1352 1150 1397 1182">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	タンク面計部 であるピット より溢水が 浸入しないこ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はなく、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を及ぼさ ない。	常時閉圧され ていることか ら、溢水により 機械的損傷が 生じることが ない。	コンクリート に埋め込まれ ているため、溢 水により機 能喪失するこ とを確認した。	溢水による機 能喪失するこ とを確認した。	評価エリア番号	機器	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	33B-W-22	A-1 格納容器スプレイ冷理器	-	○	-	○	○	33B-W-6	A、B-1 使用済燃料ピット冷理器	○	-	-	○	○	33B-W-1	燃料格納用冷却器	-	-	-	○	○	33B-F-37	A、B-1 デイジーセル発電機	-	○	-	-	○	33B-F-39	燃料油サービスタタンク	-	-	-	-	○	C/F内	西止熱交換器	-	-	-	-	○	C/F内	蓄圧タンク	-	-	-	-	○	屋外	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	-	-	-	-	○	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>          プラント設計の違いによる相違</p>
防範区画番号	機器	評価																																																																																									
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																									
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																									
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合器 FGS 冷理器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																									
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																																																									
R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.5m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																									
評価	機器	タンク面計部 であるピット より溢水が 浸入しないこ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はなく、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を及ぼさ ない。	常時閉圧され ていることか ら、溢水により 機械的損傷が 生じることが ない。	コンクリート に埋め込まれ ているため、溢 水により機 能喪失するこ とを確認した。	溢水による機 能喪失するこ とを確認した。																																																																																					
評価エリア番号	機器	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性	溢水による機能喪失の可能性																																																																																					
33B-W-22	A-1 格納容器スプレイ冷理器	-	○	-	○	○																																																																																					
33B-W-6	A、B-1 使用済燃料ピット冷理器	○	-	-	○	○																																																																																					
33B-W-1	燃料格納用冷却器	-	-	-	○	○																																																																																					
33B-F-37	A、B-1 デイジーセル発電機	-	○	-	-	○																																																																																					
33B-F-39	燃料油サービスタタンク	-	-	-	-	○																																																																																					
C/F内	西止熱交換器	-	-	-	-	○																																																																																					
C/F内	蓄圧タンク	-	-	-	-	○																																																																																					
屋外	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	-	-	-	-	○																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価                  結果(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1265 1340"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1181 974 1340">防護区画番号</th> <th data-bbox="705 853 974 1173">機器</th> <th data-bbox="705 263 974 845">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1181 1265 1340">R-3F-1</td> <td data-bbox="981 853 1265 1173">換気空調補機非常用冷却水系サージタンク</td> <td data-bbox="981 263 1265 845">                     ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                      ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 1181 1265 1340">R-1F-15</td> <td data-bbox="981 853 1265 1173">清水膨張タンク 機固付動弁注油タンク 機固付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="981 263 1265 845">                     ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ブイセル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                      ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。                 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機固付動弁注油タンク 機固付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ブイセル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                  泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機固付動弁注油タンク 機固付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ブイセル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価                  結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1254 1356"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1197 974 1356">防護区画番号</th> <th data-bbox="705 869 974 1197">機器</th> <th data-bbox="705 263 974 869">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="974 1197 1142 1356">R-2F-3</td> <td data-bbox="974 869 1142 1197">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="974 263 1142 869">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1142 1197 1254 1356">R-B3F-13</td> <td data-bbox="1142 869 1254 1197">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="1142 263 1254 869">○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 1197 1279 1356">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="1254 869 1279 1197">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1254 263 1279 869">○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                  泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

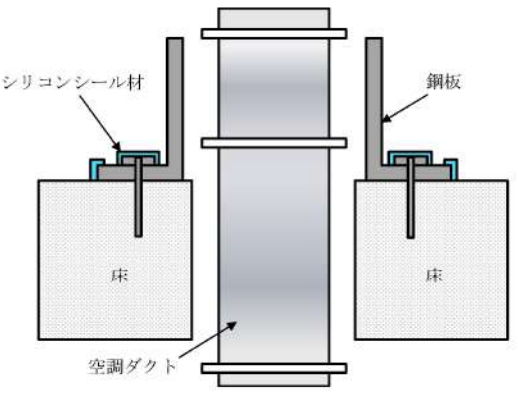
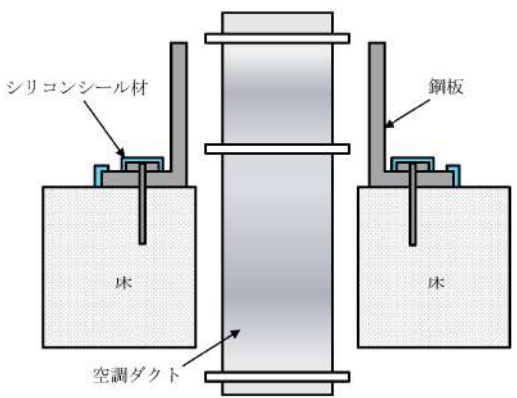
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価                      結果(5/6)</p>			
<p>評価</p> <p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</p> <p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</p> <p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</p> <p>○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p>			
<p>防護区画番号 -(PCV内)</p>	<p>機器</p> <p>主蒸気逃し安全弁遮断機能用アキユムレター                      主蒸気逃し安全弁アキユムレター(ADS)                      主蒸気第一隔離弁用アキユムレター                      主蒸気第二隔離弁用アキユムレター</p>		
	<p>R-B1F-3-2                      R-3F-1</p>		
		<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>                      プラント設計の違いによる相違</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 264 1270 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1070 864 1209">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 786 864 1070">機器</th> <th data-bbox="698 264 864 786">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 1070 864 1209">R-B3F-11, R-B3F-14</td> <td data-bbox="698 786 864 1070">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="698 264 864 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="864 1070 1003 1209">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="864 786 1003 1070">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="864 264 1003 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 1070 1270 1209">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1003 786 1270 1070">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ</td> <td data-bbox="1003 264 1270 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。	R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p><a href="#">女川審査実績の反映</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響</p> <p>LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について</p> <p>原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価</p> <p>設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。</p> <p>高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について</p> <p>原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価</p> <p>設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a></p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a></p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と女川で同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1                      9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                      PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【伊方】  <a href="#">設計方針の相違</a>                      プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

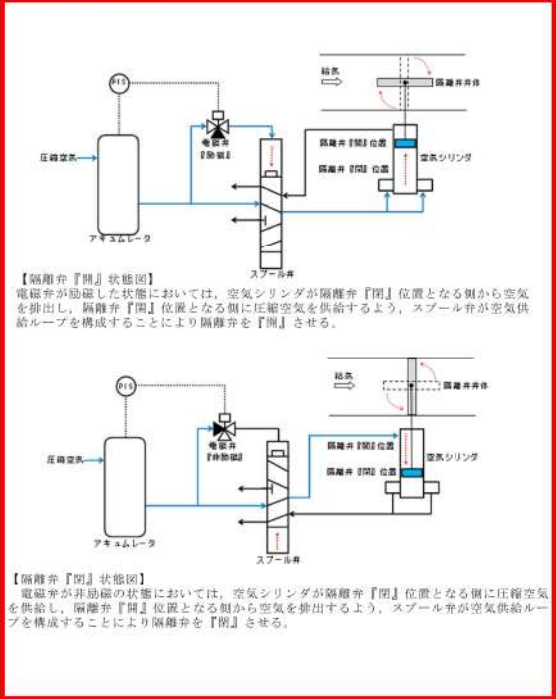
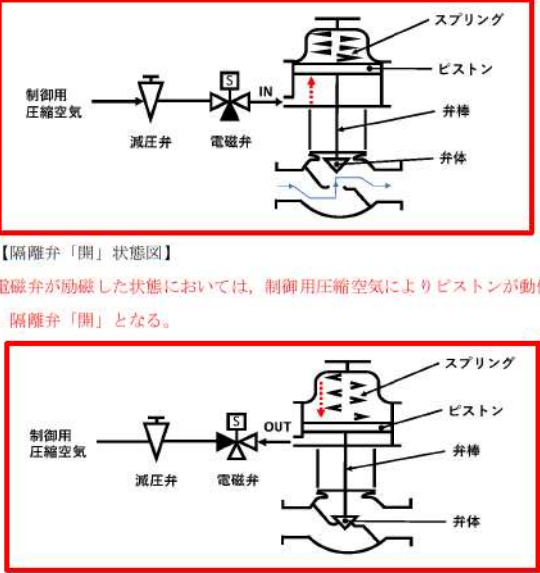
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 683 641"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>13.8 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>12.5 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>6.1 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[γ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p>  <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[γ]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p>  <p>図5 耐環境性試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p>  <p>図4 耐環境性試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[γ]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 938 1232 1308"> <p><b>弁“開”状態図</b>              電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p><b>弁“閉”状態図</b>              電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から脱離され、ばねが縮みばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> </div> <p>図6 移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(A0V)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>              女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>



大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁「開」位置となる側から空気を排出し、隔離弁「開」位置となる側に圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「開」させる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁「閉」位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁「開」位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「閉」させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>          隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="705 893 1254 1412" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					【大阪】 記載表現の相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
1次冷却系	2号炉炉容器		×	③	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②	【大阪】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3A, 3B, 3C, 3D 蒸気発生器		×	②	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁元弁	③			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	③	AC	T48-F004A	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(A)	①	1次冷却系	3LCY-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁	②			
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 067	×	①	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(B)	①	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②			
	3A, 3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B	×	②	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	③	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②			
	3A, 3B加圧器逃がし弁閉弁	3V-RC-064A, B	×	①	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-077	×	②	AC	T48-F010	補給用変素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-078	×	①	AC	T48-F010	補給用変素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-411B, 413B, 415B, 421B, 423B, 425B, 431B, 433B, 435B, 441B, 443B, 445B	1次冷却材低温側温度(狭域)	②			
	3加圧器逃がしタンク変素供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-084	×	①	AC	T48-F011	D/W補給用変素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3TE-417, 427, 437	1次冷却材高温側温度(広域)	②			
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-095	×	①	AC	T48-F012	S/C補給用変素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材低温側温度(広域)	②			
	3A, 3B加圧器スプレイド弁	3PCV-451A, B	×	①	AC	T48-F016	バージ用変素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3PT-412		③			
	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430	×	②	AC	T48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②			
	3加圧器水位	3LT-401, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③			
	3A, B, C, Dルーバ1次冷却材高温側・低溫側風速(狭域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	AC	T48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク変素供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	3A, B, C, Dルーバ1次冷却材高温側・低溫側風速(狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③			
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系						
	3A, B, C, Dルーバ1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系						
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	②	AC	T48-F043	P/CV副圧強化ベント用遠程配管隔離弁	③	1次冷却系						
	3A, 3B, 3C, 3D冷却材ポンプ		○	—	AC	T48-F768	事後後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	1次冷却系						
3格納容器タンク		×	③	AC	T48-F769	事後後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	1次冷却系							
3再生熱交換器		×	③	AC	T48-F7901	バージ用変素供給流量	③	1次冷却系							
3A, 3B, 3C冷却材ポンプ		○	—	AC	T48-F79019	圧力抑制室圧力	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		×	③	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		×	③	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		×	③	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		×	③	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		×	③	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系							
31号冷却材ポンプ		○	—												
31号冷却材ポンプ		○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内崩壊域仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（2/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/24）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/9）					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**			
化学体積制御系	緊急ほうげんライン補給弁	3V-CS-673	○	—	AC	548-50-F042F	真空破滅弁（F）計装用空気配管隔離弁	③	化学体積制御系	IFCV-138	充てん流量制御弁	③			
	3充てんポンプ入口燃料取替用ホットヘッド側格納容器	3LCV-1210, E	○	—	AC	548-50-F708	LSO15 D/W冠水水位計表配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③			
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-157	○	—	AC	548-50-F710	LSO15 D/W冠水水位計表配管（L）側隔離弁	③	化学体積制御系	KST1	体積制御タンク	①			
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	AC	548-50-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-191	充てんライン止め弁	③			
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	AC	548-50-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②			
	3次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-149	×	①	AC	548-50-F723	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	KSH1	再生熱交換器	①			
	3抽出ライン第1止め弁	3LCV-451	×	②	AC	548-50-F724	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	KST5A, B	ほう酸タンク	①			
	3抽出ライン第2止め弁	3LCV-452	×	②	AC	548-50-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	KST5A, B	ほう酸タンク	①			
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器隔離弁	3V-CS-004A, B, C	×	②	AC	548-50-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	KCSF4	ほう酸フィルタ	①			
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②	AC	548-50-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③			
	余熱抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	548-50-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-466A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③			
	余熱抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	548-50-F772	T48-LSD25 D/W水位計表配管（L）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	③			
	3抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-007	×	①	AC	548-50-F774	T48-LSD25 D/W水位計表配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口A（B）ほう酸タンク戻り弁	③			
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-151	×	①	CMSS	023-0001A	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	IV-CS-490A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③			
	3Bループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	CRD	012	制御棒駆動機構	①	化学体積制御系	IV-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口C/V内側隔離弁	②			
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①	CRD	012-0001-120	方向制御弁	③	化学体積制御系	IV-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	3V-CS-190A, B, C, D	×	①	CRD	012-0001-123	方向制御弁	③	化学体積制御系	KCSH	封水冷却器	①			
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-310	×	②	CRD	012-0001-125	アキュムレータ	①	化学体積制御系	IV-CS-224A, B, C	1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	③			
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—	CRD	012-0001-126	スクラム入口弁	②	化学体積制御系	IV-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②	CRD	012-0001-128	異常警報	①	化学体積制御系	IV-CS-212A, B, C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	③			
	3A, 3B, 3Cほう酸タンク水位	3LT-206, 208	○	—	CRD	012-0001-132	制御棒駆動水圧素ラプチャディスク	①							
	3充てんポンプ速度制御弁	3SC	○	—	CRD	012-0001-135	方向制御弁フィルタ	①							
	3充てんポンプ速度制御補助弁	3CSMC	○	—	CRD	012-0001-139	スクラムバイパス弁	②							
	3A, 3B, 3C, 3D充てんポンプ現場操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—	CRD	012-L06129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③							
3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作箱	3LB-9, 10	○	—	CRD	012-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③								
3A, 3B高圧注入ポンプ		○	—	CRD	012-PS130	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③								
3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク		×	②												
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○	—												
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A, B	○	—												
3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器内側遮断弁	3V-S1-093A, B	○	—												
3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用ホットヘッド入口弁	3V-S1-092A, B	○	—												
3A, 3B余熱除去ポンプRWSSピット及び内側遮断弁	3V-S1-096A, B	○	—												
3A, 3B高圧注入ライン格納容器隔離弁	3V-S1-062A, B	×	①												
3A, 3B高圧注入ポンプ出口連弁	3V-S1-066A, B	×	②												

※1 評価対象外とした理由  
 ①浸水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①浸水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大阪】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**	
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②		CUW	631-P002	C.U.W.入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B, 3C, 3D蓄圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		DG	R43-A001A	清水膨張タンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンプ水位(狭域)・(広域)	3LT-970, 971 372, 972	×	②		DG	R43-A001B	清水膨張タンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		DG	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③	
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3FT-962, 963	○	—		DG	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③	
	3燃料取扱用水ピット水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401 1402, 1403	○	—		DG	R43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ		○	—		DG	R43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器		×	③		DG	R43-A102A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②	
	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	3FCV-601, 611	○	—		DG	R43-A200A	軽油タンク (B)	①	高圧注入系	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BCV-603, 613	×	①		DG	R43-A200B	軽油タンク (C)	①	高圧注入系	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3FCV-604, 614	×	①		DG	R43-A200C	軽油タンク (D)	①	高圧注入系	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cグループ高圧側入口止め弁	3FCV-420, 430	×	②		DG	R43-A200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系	3V-SI-164	蓄圧タンク流量供給ライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-6H-002A, B	×	②		DG	R43-A200F	軽油タンク (F)	①	高圧注入系	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-6H-043A, B	×	①		DG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連通弁	3V-6H-047A, B	×	②		DG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系	3SHT1A, B	余熱除去冷却器	①	
	3B, 3Cグループ高圧側圧入ライン止め弁	3V-6H-048A, B	×	②		DG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系	3HCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—		DG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系	3FCV-604, 614	余熱除去 (B) ライン流量制御弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—		DG	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3FCV-110, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ		○	—		DG	R43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系	3V-RH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器		×	③		DG	R43-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系	3V-RH-029A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③	
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク		×	②		DG	R43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3V-RH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内前環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる
	3-PI調整剤タンク		×	②		DG	R43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①	余熱除去系	3V-RH-034A, B	高圧側低圧圧入ライン止め弁	②	
	3A, 3Bよう素除去薬品圧入ライン第1止め弁	3V-CP-050A, B	○	—		DG	R43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①	主給水系	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取扱用水ピット入口止め弁	3V-CP-001A, B	○	—		DG	R43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①	主給水系	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—		DG	R43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①					
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—		DG	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①					
	3格納容器圧力 (広域) 1, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—		DG	R43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①					
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-18, 19	○	—		DG	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①					
	3タービン蒸機補助給水ポンプ		○	—		DG	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①					
	3A, 3B電動補助給水ポンプ		○	—										
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3復水ピット		×	②										
	3タービン蒸機補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-WS-670A, B	○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-PW-074A, B, C, D	×	④										

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>	
主蒸気及び 上給水系 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-FW-557A, B, C, D	×	①		06	043-0200A	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（A）	①	主蒸気系 30KV-3616, 3626, 3636 主蒸気バイパス隔離弁 ③  主蒸気系 3V-MS-521A, B, C, 522A, B, C, 523A, B, C, 524A, B, C, 525A, B, C 主蒸気安全弁 ④  主蒸気系 3V-MS-575A, B タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気B（C） 主蒸気ライン弁弁 ⑤ 主蒸気系 3V-MS-518A, B, C 主蒸気遮断し弁弁弁 ⑥ 主蒸気系 3V-MS-581 非常用タービンブランド蒸気弁弁 ⑦ 主蒸気系 3V-MS-601A, B, C 主蒸気隔離弁弁上流ドレンライン隔離弁弁 ⑧ 補助給水系 3F9-P 補助給水ピット ⑨  原子炉 格納容器 スプレイ系 3CPT1 よう素除去薬品タンク ⑩  原子炉 格納容器 スプレイ系 3CPIIA, B 格納容器スプレイ冷却器 ⑪  原子炉 格納容器 スプレイ系 3V-CP-056A, B よう素除去薬品タンク注入（B）ライン止め弁弁弁 ⑫  原子炉補機 冷却水系 3CCT1 原子炉補機冷却水サーージタンク ⑬  原子炉補機 冷却水系 3CCHIA, B, C, D 原子炉補機冷却水冷却器 ⑭  原子炉補機 冷却水系 3V-CC-054A, B, C, D 原子炉補機冷却水冷却器補助冷却水出口弁 ⑮  原子炉補機 冷却水系 3V-CC-526 1次冷却材ポンプ補助冷却水出口C/V内側隔離弁弁 ⑯  使用済燃料 ピット水浄化 冷却系 3A-SFP, 3B-SFP 使用済燃料ピット ⑰				
	3重水ピット電動補助給水ポンプ阻止弁弁	3V-FW-580	×	①		06	043-0200B	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（B）	①					
	3重水ピットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁弁	3V-FW-581	×	①		06	043-0201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①					
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁弁	30KV-3716, 3726, 3736, 3746	×	①		06	043-0201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①					
	3A, 3Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気遮断し弁弁	3V-MS-575A, B	×	①		06	043-0202A-1	燃料油フィルタ（A）-1	①					
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁弁	3V-FW-520A, B, C, D	×	②		06	043-0202A-2	燃料油フィルタ（A）-2	①					
	3重水ピット水位Ⅲ, IV	3LT-3760, 3761	○	—		06	043-0202B-1	燃料油フィルタ（B）-1	①					
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3F1-3716, 3726, 3736, 3746	○	—		06	043-0202B-2	燃料油フィルタ（B）-2	①					
	3A, B, C, D蒸気発生器立域水位	3LT-464, 474, 484, 494	×	②		06	043-0300A	始動用空気ストレーナ（A）	①					
	3A, B, C, D蒸気発生器熱域水位	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		06	043-0300B	始動用空気ストレーナ（B）	①					
	3タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気B	3TDP-A, B	○	—		06	043-0301A	始動用空気ストレーナ（A）	①					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁弁	3V-MS-520A, B, C, D	○	—		06	043-0301B	始動用空気ストレーナ（B）	①					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁弁バイパス弁弁	30KV-3616, 3626, 3636, 3646	×	①		06	043-0P5105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断し弁弁	3V-FW-520A, B, C, D	×	①		06	043-0P5105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	043-0P5210A	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①		06	043-0P5210B	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	043-6200A	フレキシブルチューブ	④					
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		06	043-6200B	フレキシブルチューブ	④					
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①		06	043-L1S050A	清水懸架タンク水位指示計（接点付）	③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁弁上流ドレンライン止め弁弁	3V-MS-586A, B, C, D	×	①		06	043-L1S050B	清水懸架タンク水位指示計（接点付）	③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断し弁弁	3V-MS-520A, B, C, D	×	①		06	043-L1S100A	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③					
	1, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3F1-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—		06	043-L1S100B	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③					
原子炉補機 冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—		06	043-L1S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	④					
	3原子炉補機冷却水サーージタンク		×	③		06	043-L1S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	④					
	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	③		06	043-L1S16A	機関付動弁注油タンク油面	④					
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁弁	3V-CC-178A, B	○	—		06	043-L1S16B	機関付動弁注油タンク油面	④					
	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管連絡管	3V-CC-056A, B	○	—		06	043-L1S257A	シリンダー浸水スイッチ	④					
	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管連絡管	3V-CC-043A, B	○	—										
	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁弁	3V-CC-114A, B	○	—										
	5-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁弁	3V-CC-400	○	—										
	5-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁弁	3V-CC-427	×	②										

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐震域仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内耐震域仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)				【大阪】		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1			
原子炉補機冷却系	3-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-429	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	R43-LS257B	シリンダー戻水スイッチ	⑤	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3-1EBC冷却ユニット・全動抽出冷却器取水供給ラインの隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	R43-PI052A	機器付排水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピット脱塩塔	①	
	3-1EBC冷却ユニット・全動抽出冷却器取水供給ラインの隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	R43-PI052B	機器付排水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	3A-B,3B-C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-189A,B	○	—		06	R43-PI101A	機器付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	3S-SF-01A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①	
	3A,3B,3C,3D 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器第2隔離弁	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		06	R43-PI101B	機器付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ	3S-SF-02A,B,C,D	原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ	①	
	3-1廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1,2止弁（3号機室）	34Y-CC-600,601	○	—		06	R43-PI200A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-005	CVBT自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	3号原子炉補機冷却水タンク水位計,IV	3LT-1200,1201	○	—		06	R43-PI202A	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-006	CVBT自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B,3C,3D原子炉補機冷却水ポンプ駆動機注油	3LB-20,21,22,23	○	—		06	R43-PI202B	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-010	格納容器冷却材ドレンタンクバントラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3B,3C海水ポンプ	—	○	—		06	R43-PI203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-011	格納容器冷却材ドレンタンクバントラインC/V外側隔離弁	③	
	3海水ポンプ出口3A,3B,3C,3D海水ストレーナ	3S-SF-01A,B,C,D	×*1	③		06	R43-PI203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-017	格納容器冷却材ドレンタンク電素供給C/V隔離弁	③	
	3A,3B,3C海水ポンプ輸送ストレーナII	3S-SF-02A,B,C 3S-SF-03A,B,C	×	②		06	R43-PI211A	機器入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3A,3B原子炉補機冷却水冷却器海水止弁	3V-SW-670A,B	○	—		06	R43-PI211B	機器入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3A,3B1,3B2,3C海水ポンプ駆動機注油	3LB-26,27,28,29	○	—		06	R43-PI255A	機器入口吸気圧力（L側）指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-113	格納容器サンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3A,3B使用済燃料ピットポンプ	—	○	—		06	R43-PI255B	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-114	格納容器サンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3A,3B使用済燃料ピット	—	×*1	②		06	R43-PI256A	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③		試料採取系	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②	
3A,3B,3C使用済燃料ピット冷却器	—	×*1	③	06	R43-PI256B	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③	試料採取系	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②				
3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	—	×	②	06	R43-PTS108A	機器潤滑油圧力	③								
3A,3B使用済燃料ピットフィルタ	—	×	②	06	R43-PTS108B	機器潤滑油圧力	③								
3A,3B使用済燃料ピットポンプ駆動機注油	3LB-24,25	○	—	06	R43-PTS109B	機器潤滑油圧力	③								
3A,3B燃料取替用水ポンプ	—	○	—	06	R43-PI3113A	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③								
3燃料取替用水ピット	—	×*1	③	06	R43-PI3113B	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③								
3A,3B燃料取替用水ポンプ駆動機注油	3LB-33,34	○	—	06	R43-PI3253A	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③								
3A,3B,3C,3Dブローダウンライン格納容器隔離弁	3V-BD-101A,B,C,D	×	①	06	R43-PI3253B	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③								
3A,3B,3C,3D高気圧年器試験採取ライン格納容器隔離弁	3V-SS-603	×	②	06	R43-PvS260A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③								
3加圧器気相部試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-606	×	②	06	R43-PvS260B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③								
3Bグループ高気圧試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-622	×	②	06	R43-PvS262A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③								
3Bグループ高気圧試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-607	×	①	06	R43-PvS262B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③								
3Bグループ高気圧試験採取ライン格納容器第3隔離弁	3V-SS-625	×	②	06	R43-PS256A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③								
3Bグループ高気圧試験採取ライン格納容器第4隔離弁	3V-SS-626	×	①	06	R43-PS256B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③								
3A,3B,3C,3D高圧タンク試験採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A,B,C,D	×	②												
3高圧タンク試験採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①												
3-1冷却材試験採取戻りライン格納容器隔離弁	3V-SS-674	×	①												
3A,3B制御用空気圧縮機	—	○	—												

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②CVBT耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	
制御用空気系	SA-2B制御用空気乾燥器	3IAHA-B	×	②	06	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	B（C）ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁 Bループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁 Cループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁 PASS 1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁	② ③ ③ ③	
	SA-2B制御用空気だめ	3IAFA-B	×	③	06	R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④					
	SA-2B制御用空気主配管遮断弁及び弁供給ライン止め弁	3V-1A-605A,B	○	—	06	R43-TE331A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	SA-C-2B制御用空気母管連絡弁	3V-1A-501A,B	○	—	06	R43-TE331B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	SA-2B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A,B	○	—	06	R43-TE332A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
	SA-2B格納容器内前扉8クラス制御用空気母管遮断止め弁	3V-1A-510A,B	○	②	06	R43-TE332B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
	SA-2B制御用空気供給管圧力	3PT-1800, 1810	○	—	06	R43-TE333A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③					
	SA-2B制御用空気圧縮機結露警	3IAC-A,B	○	—	06	R43-TE333B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①	06	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-083	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備 格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁 格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備 格納容器水素ベージ給気ライン格納容器外側隔離弁	② ③ ④	
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①	06	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク窒素供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①	06	R43-TE335A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク窒素供給ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-042	×	②	06	R43-TE335B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-043	×	①	06	R43-TE336A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-143	×	②	06	R43-TE336B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第3隔離弁	3V-ML-144	×	①	06	R43-TE337A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第4隔離弁	3V-PS-002	×	①	06	R43-TE337B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③					
	3中内圧計測装置ガスバーライン格納容器第1隔離弁	3V-10-009	×	②	06	R43-TE338A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
	3中内圧計測装置ガスバーライン格納容器第2隔離弁	3V-10-008	×	①	06	R43-TE338B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③					
雨水水系	3雨水ライン格納容器隔離弁	3V-PS-002	×	①	06	R43-TE339A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	放射線監視設備空気サンプリング系 放射線監視設備空気サンプリング系 放射線監視設備空気サンプリング系 放射線監視設備空気サンプリング系 放射線監視設備空気サンプリング系	② ③ ③ ③	
	3中内圧計測装置ガスバーライン格納容器第1隔離弁	3V-10-009	×	②	06	R43-TE339B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③					
	3中内圧計測装置ガスバーライン格納容器第2隔離弁	3V-10-008	×	①	06	R43-TE341A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③					
	3手動弁一式			×	②	06	R43-TE341B	非常用D/G（B）軸受温度検出器					③
	3遮断弁一式			×	③	06	R43-TE343A	非常用D/G（A）軸受温度検出器					③
	3換気空調機	3VB	○	—	06	R43-TE343B	非常用D/G（B）軸受温度検出器	③					
	SA-2B中央制御室空調ファン		○	—	06	R43-T1051A	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン		○	—	06	R43-T1051B	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計	③					
	SA-2B中央制御室非常用換気ファン	3VFS22A,B	○	—	06	R43-T10505A	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-601A,B	×	①	06	R43-T10505B	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計（接点付）	③					
換気空調系	SA-2B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-VS-602A,B	○	—	06	R43-T10509A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	表2 溢水影響評価から対象外とした設備	格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備 格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁 格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備 格納容器水素ベージ給気ライン格納容器外側隔離弁	② ③ ④	
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-603A,B	○	—	06	R43-T10509B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-604A,B	○	—	06	R43-T10504B	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-VS-602A,B	○	—	06	R43-T10509A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-603A,B	○	—	06	R43-T10509B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-604A,B	○	—	06	R43-T10504B	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-VS-602A,B	○	—	06	R43-T10509A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-603A,B	○	—	06	R43-T10509B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室換気ファン入口ダンパ	3D-VS-604A,B	○	—	06	R43-T10504B	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計（接点付）	③					
	SA-2B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-VS-602A,B	○	—	06	R43-T10509A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③					

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない。  
 ② PCV内前扉成仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。  
 ④ その他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない。  
 ② 原子炉格納容器内前扉成仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。  
 ④ その他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由							
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)				【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違							
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>								
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常時前扉温度調節ダンパ	3BFD-2991, 2992	○	—	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿								
	3中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—									DC	R43-TIS1098	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	②	燃料取替用水系	3BF-P	燃料取替用水ホット	①
	3A, 3B中央制御室非常時前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—									DC	R43-TIS343A	非常用D/G (A) 軸受温度指示計 (接点付)	②	燃料取替用水系	3BFH	燃料取替用水加熱器	①
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—									DC	R43-TIS343B	非常用D/G (B) 軸受温度指示計 (接点付)	②	制御用空気系	3F-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②
	34キックン排気扇1, 2回転ダンパ	34D-VS-605, 606	×	①									DC	R43-TS112A	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3F-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2874, 2875	○	—									DC	R43-TS112B	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3F-SU7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①
	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定	3HC-2885, 2886	○	—									PCS	T49-4001A	FCS再結合器 (A)	①	換気空調系	—	排気筒	①
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2887, 2888	×	①									PCS	T49-4001B	FCS再結合器 (B)	①	換気空調系	3F-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3A, 3B中央制御室非常時外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2889, 2890	○	—									PCS	T49-4001A	FCS弁制御 (A)	①	換気空調系	3F-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②
	3A, 3B中央制御室非常時前扉ダンパ流量設定	3HC-2891, 2892	○	—									PCS	T49-4001B	FCS弁制御 (B)	①	換気空調系	3F-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②
	34A, 35前安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—									PCS	T49-0001A	FCS気水分離器 (A)	①	換気空調系	3F-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③
	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—									PCS	T49-0001B	FCS気水分離器 (B)	①	換気空調系	3F-SA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①
	3安全系電気監視室給気止めダンパ(A), B	3D-VS-532, 533	○	—									PCS	T49-0001A	FCS再結合器 (A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③
	3安全系電気監視室排気止めダンパ(A), B	3D-VS-536, 537	○	—									PCS	T49-0001B	FCS再結合器 (B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機閉閉器室温度	3TS-2817, 2818	○	—									PCS	T49-TI091A	FCS (A) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	—	○	—									PCS	T49-TI091B	FCS (B) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③
	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—									PCS	T49-TI099A-1	FCS再結合器 (A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパ(A), B	3D-VS-431A, B	○	—									PCS	T49-TI099A-2	FCS再結合器 (A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3F-SG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	—	○	—									PCS	T49-TI099B-1	FCS再結合器 (B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3F-SM6A, B	安全補機閉閉器室給気ユニット	①
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	3TS-2731, 2742, 2733, 2734	○	—									PCS	T49-TI099B-2	FCS再結合器 (B) 内ガス温度検出器	②				
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパ(A), B	3D-VS-411A, B	○	—									FDW	R21-F052A	FDW第二隔離弁 (A)	②				
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	—	○	—									FDW	R21-F052B	FDW第二隔離弁 (B)	②				
	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2791, 2792, 2793, 2794, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—									FPV	F31	使用済燃料プール	①				
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-VS-401A, B, 403A, B	○	—									FPV	641-4001A	スキママージタング	①				
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	—	○	—									FPV	641-4001B	スキママージタング	①				
	3A, 3B安全補機室温度(1), (2)	3TS-2889, 2891	○	—									FPV	641-6001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A)	①				
	3A, 3B3号酸ポンプ室空調ファン	—	○	—									FPV	641-6001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)	①				
	3A, 3B3号酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	—	○	—									FPV	641-0006A	プール浄化水戻りデフューザ	①				
	3A, 3B3号酸ポンプ室温度調節弁	3TS-2801, 2811	○	—									FPV	641-0006B	プール浄化水戻りデフューザ	①				
	313号酸タンク室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2802, 2803, 2812, 2813	○	—									FPV	641-F013	FPCろ過脱気装置出口弁	②				
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSP9A, B	○	—																
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	3VSH18A, B	×	①																
	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-VS-101A, B	○	—																

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内面腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由①	系統	機器番号	機器名称	理由②			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ	3D-Y5-104A, B	○	—	FPC	641-T5016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調系	3VS44A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-Y5-102A, B	○	—	FPC	641-P1006	F P C ポンプ出口圧力指示計	③	換気空調系	3D-Y5-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-Y5-103A, B	○	—	FPC	641-T5001	F P C ポンプ入口温度検出器	③	換気空調系	3D-Y5-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御器	3W-2522, 2542	×	①	FPC	641-T5014A	F P C 熱交換器 (A) 出口温度検出器	③	換気空調系	3HKD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	③			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-Y5-660A, B	×	①	FPC	641-T5014B	F P C 熱交換器 (B) 出口温度検出器	③	換気空調系	3VS8	中央制御室非常用扇風機フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3D-Y5-091	×	①	FPC	641-T5015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調系	3D-Y5-053	格納容器給気密閉ダンパ	③			
	3補助送風排気流量調節ダンパ	3PCD-2760	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U W ポンプ入口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-064	格納容器排気密閉ダンパ	③			
	3補助送風排気止めダンパ	3D-Y5-351	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③			
	3放射線管理室排気流量調節ダンパ	34PCD-2976	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-232	補助送風排気隔離ダンパ	③			
	3放射線管理室排気止めダンパ	34D-Y5-658	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3PCD-2526	補助送風排気流量調節ダンパ	③			
	3A, 3B安全備極室排気ダンパ	3D-Y5-105A, B	○	—	HECW	P25-3002A	換気空調機種非常用冷却水系サージタンク (A)	①	空調用冷水系	3CH1	空調用冷水貯留タンク	①			
	3安全備極室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-301, 302	×	①	HECW	P25-3002B	換気空調機種非常用冷却水系サージタンク (B)	①	木消火系	3V-FS-504	消火水 C/V 外側隔離弁	③			
	3安全備極室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-303, 304	×	①	HECW	P25-P007A	中央制御室給気冷卻コイル (A) 温度調節弁	③	炉内核計装置 置ガスバーージ 設備系	3V-IG-008	炉内核計装置置二酸化炭素バーージライン C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-052, 053	×	①	HECW	P25-P007B	中央制御室給気冷卻コイル (B) 温度調節弁	③	炉内核計装置 置ガスバーージ 設備系	3V-IG-009	炉内核計装置置二酸化炭素バーージライン C/V 内側隔離弁	③			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-058, 059	×	①	HECW	P25-P018A	計測制御電源 (A) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	原子炉格納容 器真空逃がし 装置系	3V-VR-001A, B	真空逃がし装置 C/V 外側隔離弁	③			
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-Y5-054	×	①	HECW	P25-P018B	計測制御電源 (B) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	非常用所内 電源系	3DG11A, B	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-Y5-055	×	②	HECW	P25-P024A	原子炉補機 (A) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	非常用所内 電源系	3DG2A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-Y5-056	×	②	HECW	P25-P024B	原子炉補機 (B) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	非評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない。 ② 原子炉格納容器内面環境比検の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他の設備で代替できる						
	3格納容器排気第3隔離弁	3V-Y5-057	×	①	HECW	P25-LS011A	HE C W サージタンク (A) 水位スイッチ	③							
	3A, 3B安全備極室冷却ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	HECW	P25-LS011B	HE C W サージタンク (B) 水位スイッチ	③							
	3A1・A2, 3B1・B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-84, 85	○	—	HECW	P25-P1001A	HE C W 冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A, 3B電機排気給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	3LB-86, 87	○	—	HECW	P25-P1001B	HE C W 冷水ポンプ (B) 出口圧力	③							
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	HECW	P25-P1001C	HE C W 冷水ポンプ (C) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-95, 99	○	—	HECW	P25-P1001D	HE C W 冷水ポンプ (D) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	HECW	P25-P1007A	HE C W 冷水ポンプ (A) 入口圧力	③							
	3A4, 3B4, 3C4, 3D4安全備極室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	HECW	P25-P1007B	HE C W 冷水ポンプ (B) 入口圧力	③							
	3A, 3Bほう電ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77, 78	○	—	HECW	P25-P1007C	HE C W 冷水ポンプ (C) 入口圧力	③							
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	HECW	P25-P1007D	HE C W 冷水ポンプ (D) 入口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室非常用扇風機ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—											
	3空調用冷水貯留タンク			×	③										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水槽			○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ			○	—										
	34C, 34D安全備極室空調ユニット冷水温度制御弁	34DCV-2800, 2801	○	—											
3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCV-2878, 2879	○	—												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉				相違理由				
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)			表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)				【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違				
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称		理由*			
冷水系	3号機用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め	3V-CF-002, 003	○	—	HPCF P24-F102 HNCW供給ライン第二隔離弁 ④ HNCV P24-F107 HNCW戻りライン第一隔離弁 ② HPCS E22-0010 高圧炉心スプレイストレーナ ① HPCS E22-gP1066 HPCSノズル差圧伝感器 ③ HPCS E22-F1010 HPCS S/C相検出用調整弁 ③ HPCS E22-F021 HPCS注入ライン試験可能逆止弁均圧弁 ② HPCS E22-F1005B HPCSボンプ出口流量変換器 ③ HPCS E22-P1001 HPCSボンプ入口圧力 ③ HPCS E22-P1004 HPCSボンプ出口圧力 ③ HPCS E22-F1001A HPCSボンプ入口圧力伝感器 ③ HPCSDG R44-A001 潤滑油補給タンク ① HPCSDG R44-A102 潤滑油補給タンク ① HPCSDG R44-A200 軽油タンク (G) ① HPCSDG R44-A201 燃料デイクタンク ① HPCSDG R44-A300 空気だめ (自動) ① HPCSDG R44-8001 潤滑油冷却器 ① HPCSDG R44-8003 機関付空気冷却器 ① HPCSDG R44-8100 潤滑油冷却器 ① HPCSDG R44-8102 発電機軸受潤滑油冷却器 ① HPCSDG R44-9100 機関付潤滑油フィルタ ① HPCSDG R44-D200 燃料移送ボンプ入口ストレーナ ① HPCSDG R44-D201 HPCS S-D/G燃料移送ボンプ出口フィルタ ① HPCSDG R44-D202-1 燃料油フィルタ-1 ① HPCSDG R44-D202-2 燃料油フィルタ-2 ① HPCSDG R44-D300 始動用空気Y型ストレーナ ① HPCSDG R44-D301 始動用空気Y型ストレーナ ① HPCSDG R44-dPS112 機関付潤滑油フィルタ差圧 ③	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
	3号機用冷水ポンプ設備製作箱	2B-B-103, 104, 105, 106	○	—		②	②	②	②	②	②	②	②	②		
	3号機用冷水ポンプユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CF-403, 407	×	①		—	②	②	②	②	②	②	②	②		
格納容器減圧弁及び水素材料補給装置	3A, 3B, 3C, 3D格納容器減圧装置排気ライン格納容器第1隔離弁	3V-DP-001A, B	×	②	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B, 3C, 3D格納容器減圧装置排気ライン格納容器第2隔離弁	3V-DP-002A, B	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
放射線監視設備空気サンプリング系	3A, 3B格納容器本系バーン給気ライン格納容器第1隔離弁	3V-BC-304A, B	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B格納容器本系バーン給気ライン格納容器第2隔離弁	3V-BC-305A, B	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
放射線監視設備空気サンプリング系	3号機用格納容器サンプル取り出しライン格納容器第1隔離弁	3V-DB-001	×	②	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3号機用格納容器サンプル取り出しライン格納容器第2隔離弁	3V-DB-002	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
放射線監視設備空気サンプリング系	3号機用格納容器サンプル取り出しライン格納容器第1隔離弁	3V-DB-013	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3号機用格納容器サンプル取り出しライン格納容器第2隔離弁	3V-DB-013	×	①	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3主盤 (原子炉盤)	3MCE	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3原子炉補助盤	3BAB	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3原子炉安全保護計装機1, II, III, IV	3BPA-1, II, III, IV	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3BPL-A, B, C, D	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	2安全保護シーケンス盤AG1, AG2, BG1, BG2	2SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4プレフィード電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3原子炉トリアップ遮断器盤	3BTS	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3Bドロップ盤	3BCP-A-00P, 3BCP-B-00P	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3A, 3B直流充電盤	3BPP-A, B	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B直流分電盤	3BDF-A, B	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3A, 3B蓄電池	3BAC	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B充電器盤	3BCP-A, B	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギヤ	3BC-A1, A2, B1, B2	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンター	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉フロントコントロール	3BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電線盤 (I)~(3)	3IBC-A, B, C, D	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電線切り替盤	3ISP-A, B, C, D	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3炉内盤	3BSP	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3AC, 3BD計装用後備分電盤	3IBP-AC, BD	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
電気盤	3事故時放射線監視盤	3BRS-III, IV	○	—	②	②	②	②	②	②	②	②				
	3炉力監視中性子束	3N-41, 42, 43, 44	×	②	②	②	②	②	②	②	②	②				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
計器	3中性線領域中性子束	3N-31,32	×	②	HPVSDG	E4-4FS210	燃料前ワイルタ差圧スイッチ	③		【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
	3格納容器高レベルアラーム(既レンジ)・(高レベル)	3RH-91A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPVSDG	E4-4200	フレンチバルブチューブ	①			
	3A, 3Bディーゼル機関		○	—	HPVSDG	E4-4L5050	消水膨脹タンク水位指示計（接点付）	③			
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機		○	—	HPVSDG	E4-4LS257	シリンドー浸水スイッチ	③			
	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	300C-A,B	○	—	HPVSDG	E4-4PI052	機関待機水ポンプ出口圧力	③			
	3A, 3Bディーゼル発電機制御装置	300C-A,B	○	—	HPVSDG	E4-4PI102	機関待機消油ポンプ出口圧力指示計	③			
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子格納容器格納管閉鎖弁を含む）。 ②原子格納容器内の防護対象設備は、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐浸水仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、送水弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					HPVSDG	E4-4PI202	燃料値ストレーナ前後圧力指示計	③			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
					HPVSDG	E4-4PI203	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③			
					HPVSDG	E4-4PI211	機関入口燃料油圧力指示計	③			
					HPVSDG	E4-4PI256	機関入口暖気圧力指示計	③			
					HPVSDG	E4-4PIS108	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③			
					HPVSDG	E4-4PIS113	機関入口潤滑油圧力	③			
					HPVSDG	E4-4PIS253	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③			
					HPVSDG	E4-4Ps200	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
					HPVSDG	E4-4Ps202	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③			
					HPVSDG	E4-4PS250	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③			
					HPVSDG	E4-4PS251	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③			
					HPVSDG	E4-4TE301H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE302H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE303H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE304H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE305H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE306H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE307H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相予備）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE308H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相予備）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE309H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相予備）検出器	③			
					HPVSDG	E4-4TE341H	H P C S D / G 反直結軸受温度検出器	③			
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②PCV内耐浸水仕様設備。 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)								【大阪】 <a href="#">記載表現の相違</a> 女川審査実績の反映 <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違 【女川】 <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象 スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由	系統	機器番号	設備	理由		
1次冷却材系	4号炉予備器		×	⑤	HPSSDG	44-T342H	H P C S D / G 直結軸受温度検出器	③	HPSSDG	44-T342H	H P C S D / G 直結軸受温度検出器	③	
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器		×	⑤	HPSSDG	44-T1051	機関入口グリースル冷却水温度指示計	③	HPSSDG	44-T1051	機関入口グリースル冷却水温度指示計	③	
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①	HPSSDG	44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③	HPSSDG	44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③	
	4D圧器		×	⑤	HPSSDG	44-T5064	機関出口グリースル冷却水温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T5064	機関出口グリースル冷却水温度指示計（検点付）	③	
	4A, 4B, 4C 3D 圧器安全弁	4V-BC-055, 056, 057		×	⑤	HPSSDG	44-T5111	機関潤滑油温度	③	HPSSDG	44-T5111	機関潤滑油温度	③
	4A, 4B 圧器遮断弁	4V-BC-052A, B		×	②	HPSSDG	44-T53343H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T53343H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③
	4A, 4B 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-054A, B		×	①	HPSSDG	44-RC-077			HPSSDG	44-RC-077		
	4D 圧器遮断弁	4V-BC-077		×	②	HPSSDG	44-T5344H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T5344H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③
	4D 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-078		×	①	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-081		×	①	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-095		×	①	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-095		×	①	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4A, 4B 圧器スプレイン弁	4PCV-451A, B		×	①	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4-1次冷却材圧力	4PT-420, 430		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器水位	4LT-451, 452, 453, 454		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4A, B, C, D ループ1次冷却材高温度・低温度 （広域）	410, 415, 420, 425 430, 435, 440, 445		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4A, B, C, D ループ1次冷却材高温度・低温度 （狭域）	410E, 411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器圧力	4PT-401, 452, 453, 454		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4A, B, C, D ループ1次冷却材流量	421, 412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	1次冷却材ポンプ回転数	436-4185, 425A 4385, 4435		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	化学体積制御系	4A, 4B ほう酸ポンプ		○	—	HPSSW	48-0001A	高圧炉心スプレイン補機冷却水系統ストレーナ（A）	①	HPSSW	48-0001A	高圧炉心スプレイン補機冷却水系統ストレーナ（A）	①
		4A, 4B, 4C 充てんポンプ		○	—	HPSSW	48-0001B	高圧炉心スプレイン補機冷却水系統ストレーナ（B）	①	HPSSW	48-0001B	高圧炉心スプレイン補機冷却水系統ストレーナ（B）	①
		4A 体積制御タンク		×	③	HPSSW	48-0P1002	H P S W ストレーナ差圧指示計	③	HPSSW	48-0P1002	H P S W ストレーナ差圧指示計	③
4再生熱交換器			×	⑤	HPSSW	48-0P1003	H P S W 熱交換器管側差圧指示計	③	HPSSW	48-0P1003	H P S W 熱交換器管側差圧指示計	③	
4A, 4B ほう酸タンク			×	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力	③	
4ほう酸フィルタ			×	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	
4貯水冷却器			×	⑤	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	
4A, 4B 貯水注入フィルタ			×	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	
4貯水ストレーナ			×	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LCV-121B		○	—	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③
4体積制御タンク出口第2止め弁		4LCV-121C		○	—	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③
4緊急ほう酸注入ライン補給弁	4V-CS-573		○	—	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	HPSSW	48-P7001	H P S W ポンプ出口圧力伝送器	③	
				表1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCVが耐腐蝕仕様設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
化学体積削減系	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆止弁A,B	4FCV-121D,E	○	—	HVAC	V10-D204	D/C-MCC 2A変圧専用排気隔離ダンパ	③	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違						
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-157	○	—	HVAC	V10-F901A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-158	○	—	HVAC	V10-F901A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4FCV-138	×	①	HVAC	V10-F901B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4FCV-140	×	①	HVAC	V10-F901B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4FCV-151	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4FCV-152	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-004A,B,C	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-109	×	②	HVAC	V10-F902B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-301	×	②	HVAC	V10-F902B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-302	×	②	HVAC	V10-F922A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-007	×	①	HVAC	V10-F922B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-151	×	①	HVAC	V10-F930A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-153	×	①	HVAC	V10-F930B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-177	×	①	HVAC	V10-PI5015A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-190A,B,C,D	×	①	HVAC	V10-PI5015B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-310	×	②	HVAC	V10-PI5016A	原子炉種排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-312	○	—	HVAC	V10-PI5016B	原子炉種排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS-208A,B,C,D	×	②	HVAC	V11-B901	原子炉補機(A)空冷気冷却コイル	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4LT-296,298	○	—	HVAC	V11-B902	原子炉補機(A)空冷気加熱コイル	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-D901	原子炉補機(A)空冷気バッグエアフィルタ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-D902	D/G(A)空冷気バッグエアフィルタ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-D902	D/G(A)空冷気バッグエアフィルタ	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-4P1001	原子炉補機(A)空冷気バッグエアフィルタ差圧指示計	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-4P1003	D/G(A)空冷気バッグエアフィルタ差圧指示計	③							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-X901	原子炉補機(A)空冷気ルーバ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-X902	原子炉補機(A)空冷気ルーバ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	○	—	HVAC	V11-X903	D/G(A)空冷気ルーバ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	×	①	HVAC	V11-X904	D/G(A)空冷気ルーバ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-CS	×	②	HVAC	V11-X904	D/G(A)空冷気ルーバ	①							
	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-067A,B	×	②											
	安全注入系	4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-015A,B	○	—										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-016A,B	○	—										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-093A,B	○	—										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-092A,B	○	—										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-090A,B	○	—										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-092A,B	×	①										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-090A,B	×	②										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-067A,B	×	②										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-067A,B	×	②										
		4号炉燃料ポンプ格納容器隔離弁	4V-S1-067A,B	×	②										

※1 評価対象外とした理由  
 ①設計により機能を喪失しない  
 ②FCV伊勢環境仕様  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由 <sup>①</sup>			
安全注水系	IA, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ高圧タンク出口弁	IV-S1-132A, B, C, D	×	②		HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 室給気冷却コイル	①			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	格納容器再循環ポンプ水取(熱源)・(圧入)	4LT-976, 977 972, 973	×	②		HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 室給気加熱コイル	①			
	IA, Ⅲ高圧注入ポンプ見操縦作箱	4IB-12, 13	○	—		HVAC	V12-0001	原子炉補機 (B) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	格納容器注水ピット水位1, II, III, IV	4LT-1400, 1401 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-0002	D/G (B) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA高圧注入流量(1), Ⅳ高圧注入流量(1)	4FT-962, 963	○	—		HVAC	V12-4P1001	原子炉補機 (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4P1003	D/G (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプスモコムフローイン止め弁	4FCV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3001	原子炉補機 (B) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口流量測定弁	4BCV-603, 613	×	①		HVAC	V12-3002	原子炉補機 (B) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	4PCV-604, 614	×	①		HVAC	V12-3003	D/G (B) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプR,Cルーバ高圧側入口止め弁	4PCV-420, 430	×	②		HVAC	V12-3004	D/G (H P C S) 室排気ルーバ	①			
余熱除去系	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-9H-092A, B	×	②		HVAC	V12-3004A	D/G (B) 室排気ルーバ (A)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-9H-043A, B	×	①		HVAC	V12-3004B	D/G (B) 室排気ルーバ (B)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口建高弁	4V-9H-047A, B	×	②		HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (H P C S) 室給気加熱コイル (A)	①			
	Ⅲ, Ⅳルーバ高圧側圧入ライン止め弁	4V-9H-048A, B	×	②		HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (H P C S) 室給気加熱コイル (B)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ出口流量	4PT-601, 611	○	—		HVAC	V13-0001	原子炉補機 (H P C S) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ見操縦作箱	4IB-14, 15	○	—		HVAC	V13-0002	D/G (H P C S) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-4P1001	原子炉補機 (H P C S) 室給気バッグエアフィルタ差圧	③			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイ冷却器		×	③		HVAC	V13-4P1003	D/G (H P C S) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	10リットル調整用タンク		×	③		HVAC	V13-3001	原子炉補機 (H P C S) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲより新築去雑品注入ライン第1止め弁	4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-3002	原子炉補機 (H P C S) 室排気ルーバ	①			
格納容器スプレイ系	IA, Ⅲより新築去雑品注入ライン第2止め弁	4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V13-3003	D/G (H P C S) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ燃料取替用高圧側入口止め弁	4V-CP-093A, B	○	—		HVAC	V13-3004	D/G (H P C S) 室排気ルーバ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ再循環ポンプ種入口供給用隔離閥	4V-CP-093A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室給気冷却コイル (A)	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	4V-CP-024A, B	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室給気冷却コイル (B)	①			
	格納容器圧力 (圧検) I, II, III, IV	4PT-950, 951 952, 953	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室給気冷却コイル (C)	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ見操縦作箱	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室給気冷却コイル (D)	①			
	1タービン動機給水ポンプ		○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室給気冷却コイル (E)	①			
	IA, Ⅲ電動機給水ポンプ		○	—		HVAC	V30-B001F	中央制御室給気冷却コイル (F)	①			
	1復水ピット		×	③								
	1タービン動機給水ポンプ駆動弁A, B	4V-M5-570A, B	○	—								
主配気及び主給水系補助給水系	IA, Ⅲ, Ⅳ補助給水隔離弁	4V-F9-574A, B, C, D	×	①								
	IA, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ電動機補助給水ライン流量測定弁	4V-F9-557A, B, C, D	×	①								

※1 評価対象外とした理由  
 ①長さより補機を喪失しない  
 ②PCV内耐電圧仕様は設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（14/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
主蒸気及び 主給水蒸、 補助給水蒸	4号炉ピット電動補助給水ポンプ阻止弁 止め弁	4V-FF-580	×	①	IRAC	730-1002A	中央初級室給気加熱コイル（A）	①			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉ピットタービン補助給水ポンプ阻止弁	4V-FF-581	×	①	IRAC	730-1002B	中央初級室給気加熱コイル（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量調整弁	4RCV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①	IRAC	730-1002C	中央初級室給気加熱コイル（C）	①			
	IA, 4Dタービン補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止め弁	4V-MS-575A, B	×	①	IRAC	730-1002D	中央初級室給気加熱コイル（D）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-FF-520A, B, C, D	×	②	IRAC	730-1002E	中央初級室給気加熱コイル（E）	①			
	4号炉ピット水位Ⅲ, IV	4LT-3760, 3761	○	—	IRAC	730-1002F	中央初級室給気加熱コイル（F）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量調整弁	4FT-3718, 3720, 3728, 3730	○	—	IRAC	730-1002G	中央初級室給気加熱コイル（G）	①			
	IA, B, C, D蒸気発生器広域水位	4LT-494, 474, 484, 494	×	②	IRAC	730-1002H	中央初級室給気加熱コイル（H）	①			
	IA, B, C, D蒸気発生器狭域水位	4LT-491, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②	IRAC	730-1002I	中央初級室給気加熱コイル（I）	①			
	タービン駆動補助水ポンプ駆動電機II	4TDP-3, B	○	—	IRAC	730-1001	中央初級室再循環中性化エアフィルタ	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-MS-533A, B, C, D	○	①	IRAC	730-1002A	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（A）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4RCV-3615, 3625, 3635, 3645	×	①	IRAC	730-1002B	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気過熱弁	4RCV-3610, 3620, 3630, 3640	○	—	IRAC	730-1003	中央初級室再循環チャコールエアフィルタ	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-MS-526A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1004A	MCR給気バッグフィルタ（A）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-MS-527A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1004B	MCR給気バッグフィルタ（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-MS-528A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005A	中央初級室加温器（A）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-MS-529A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005B	中央初級室加温器（B）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-MS-530A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005C	中央初級室加温器（C）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止め弁	4V-MS-588A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005D	中央初級室加温器（D）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気過熱弁元弁	4V-MS-523A, B, C, D	×	①	IRAC	730-4P1001A	中央初級室給気バッグエアフィルタ（A）差圧指示計	③			
I, II, III, IV, IA, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 476, 478, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—	IRAC	730-4P1001B	中央初級室給気バッグエアフィルタ（B）差圧指示計	③				
原子炉循環 冷却系	IA, 4B, 4C, 4D原子炉循環冷却水ポンプ		○	—	IRAC	730-4P1005	中央初級室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③			
	4原子炉循環冷却水サージタンク		× <sup>※1</sup>	②	IRAC	730-4P1006	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計	③			
	IA, 4B原子炉循環冷却水冷却器		× <sup>※1</sup>	②	IRAC	730-4P1007	中央初級室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 4B冷却器スプレッド冷却器冷却水止め弁	4V-CC-128A, B	○	—	IRAC	730-4P1008	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計	③			
	IA-C, 4B-C原子炉循環冷却水供給母管遮断弁	4V-CC-056A, B	○	—	IRAC	730-ME1003A	中央初級室蒸気湿度（A）検出器（変換器付）	③			
	IA-C, 4B-C原子炉循環冷却水戻り母管遮断弁	4V-CC-043A, B	○	—	IRAC	730-ME1003B	中央初級室蒸気湿度（B）検出器（変換器付）	③			
	IA, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁	4V-CC-114A, B	○	—	IRAC	730-3001	MCR給気ルーバ	①			
	1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン蒸気調整弁	4V-CC-400	○	—							
	1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン蒸気調整弁	4V-CC-427	×	②							
	1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン蒸気調整弁	4V-CC-429	○	—							

※1 評価対象外とした理由  
 ①漏水より機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
原子炉補機 冷却系	4号炉常圧コック・空熱抽出冷却器 取水式冷却ラインの配管等	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-X002	MCR 排気ループ	①			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉常圧ユニット・空熱抽出冷却器 取水式冷却ラインの配管等	4V-CC-365	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 空給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C 高圧容器再循環ユニット冷却水 供給ライン高圧配管配管等	4V-CC-180A, B	○	—	BYAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 空給気加熱コイル	①			
	4A, 4B, 4C 高圧容器再循環ユニット冷却水 戻りライン低圧配管配管等	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BYAC	V31-D001	計測制御電源 (A) 空給気バッグフィルタ	①			
	4号炉予備機冷却水サータンク水位置 計	4V-CC-605, 606	○	—	BYAC	V31-4PT001	計測制御電源 (A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4号炉予備機冷却水ポンプ現機 操作箱	4LT-1200, 1201	○	—	BYAC	V31-X001	計測制御電源 (A) 空給気ループ	①			
	4A, 4B, 4C 海水ポンプ	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BYAC	V31-X002	計測制御電源 (A) 空排気ループ	①			
	1号海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4号海水スト レーナ	4S-SF-01A, B, C, D	× <sup>※1</sup>	②	BYAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 空給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C 海水ポンプ軸冷ストレーナ, 8	4S-SF-02A, B, C 4S-SF-03A, B, C	×	②	BYAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 空給気加熱コイル	①			
	4A, 4B 原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	4V-SF-570A, B	○	—	BYAC	V32-D001	計測制御電源 (B) 空給気バッグフィルタ	①			
	4A, 4B1, 4B2, 4C 海水ポンプ現機操作箱	4LB-26, 27, 28, 29	○	—	BYAC	V32-4PT001	計測制御電源 (B) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ		○	—	BYAC	V32-X001	計測制御電源 (B) 空排気ループ	①			
	4A, 4B 使用済燃料ピット		× <sup>※1</sup>	②	BYAC	V32-X002	計測制御電源 (B) 空排気ループ	①			
	4A, 4B, 4C 使用済燃料ピット冷却器		× <sup>※1</sup>	②	IA/H/IN	P52-F111	I A第二隔離弁	④			
	4A, 4B 使用済燃料ピット脱脂槽		×	②	IA/H/IN	P54-F015	H P I N 常用第二隔離弁	④			
4A, 4B 使用済燃料ピットフィルタ		×	②	IA/H/IN	P54-F068A	H P I N 非常用第二隔離弁 (A)	④				
4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ現機操作箱	4LB-24, 25	○	—	IA/H/IN	P54-F068B	H P I N 非常用第二隔離弁 (B)	④				
4A, 4B 燃料池常用海水ポンプ		○	—	LPCS	E21-D001	圧入貯心スプレイ系ストレーナ	①				
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ピット		× <sup>※1</sup>	②	LPCS	E21-P006	L P C S 試験用調整弁	③			
	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ現機操作箱	4LB-23, 24	○	—	LPCS	E21-P016	L P C S 注入ライン試験可能遮止弁	②			
電気発生系 ブローダウンス	4A, 4B, 4C, 4D ブローダウンスライン格納容器 配管等	4V-BD-010A, B, C, D	○	①	LPCS	E21-P1001	L P C S ポンプ入口圧力	③			
	4A, 4B, 4C, 4D 電気発生用燃料採取ライン格 納容器配管等	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P1004	L P C S ポンプ出口圧力	③			
1次系燃料採取 系	4号炉上部空気相燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-503	×	②	LPCS	E21-P1006	L P C S ポンプ出口圧力	③			
	4号炉上部液体燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-505	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (A)	①			
	4号炉上部高圧燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-522	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (B)	①			
	4号炉上部高圧燃料採取ライン格納容器第 2隔離弁	4V-SS-507	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (C)	①			
	4号炉上部高圧燃料採取ライン格納容器第 3隔離弁	4V-SS-525	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (D)	①			
	4号炉上部高圧燃料採取ライン格納容器第 4隔離弁	4V-SS-526	×	②							
	4A, 4B, 4C, 4D 燃料タンク燃料採取ライン格 納容器第1隔離弁	4V-SS-503A, B, C, D	×	②							
	4号炉燃料タンク燃料採取ライン格納容器第 2隔離弁	4V-SS-504	×	①							
	4号炉燃料タンク燃料採取ライン格納容器第 3隔離弁	4V-SS-574	×	①							
	制御用空気系	4A, 4B 制御用空気圧縮機		○	—						
	4A, 4B 制御用空気乾燥器	4IAHA, B	× <sup>※1</sup>	②							

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV耐震増設仕様の設置  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								【大阪】 <a href="#">記載表現の相違</a> 女川審査実績の反映 <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違 【女川】 <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>					
制動用空気系	4A、4B制動用空気ため	4A1A1A、B	× <sup>※1</sup>	⑤	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (E)	①					
	4A、4B制動用空気主蒸気速がし弁等供給ライン止弁弁	4V-1A-506A、B	○	—	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (F)	①					
	4A、4B制動用空気管連継弁	4V-1A-503A、B	○	—	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (G)	①					
	4A、4B制動用空気格納容器隔離弁	4V-1A-508A、B	○	—	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (H)	①					
	4A、4B制動用空気格納容器クラス制動用空気放散体阻止弁	4V-1A-510A、B	×	②	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (I)	①					
	4A、4B制動用空気体前管圧力	4PT-1800、1810	○	—	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (J)	①					
	4A、4B制動用空気圧縮機制御盤	4IAC-A、B	○	—	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (K)	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-078	×	②	MS	R21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (L)	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-079	×	①	MS	R21-000JA	主蒸気速し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-080	×	②	MS	R21-000JB	主蒸気速し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
廃棄物処理系	4格納容器高圧材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-084	×	③	MS	R21-000JC	主蒸気速し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンク重蒸気供給ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-094	×	①	MS	R21-000JD	主蒸気速し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	4V-FL-042	×	②	MS	R21-000JE	主蒸気速し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	4V-FL-043	×	①	MS	R21-000JF	主蒸気速し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第1隔離弁	4V-FL-143	×	②	MS	R21-000JG	主蒸気速し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第2隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-000JH	主蒸気速し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第3隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-000JI	主蒸気速し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第4隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-000JK	主蒸気速し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第5隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-000JL	主蒸気速し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第6隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-0002A	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①					
消火水系	4B内統計表装置ガスバーンライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-008	×	②	MS	R21-0002C	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①					
	4B内統計表装置ガスバーンライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-008	×	①	MS	R21-0002E	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①					
	手動弁 一式		×	⑤	MS	R21-0002J	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①					
	遮止弁 一式		×	⑤	MS	R21-0002I	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (J) ADS	①					
	4換気空調機	4VB	○	—	MS	R21-0002L	主蒸気速がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①					
	換気空調系	4A、4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	R21-0003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①				
		4A、4B中央制御室乾燥ファン		○	—	MS	R21-0003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①				
		4A、4B中央制御室非常用乾燥ファン	4VSP22A、B	○	—	MS	R21-0003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①				
		4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A、B	×	①								
		4A、4B中央制御室非常用乾燥ファン入口ダンパ	4D-VS-602A、B	○	—								
4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ		4D-VS-603A、B	○	—									
4A、4B中央制御室乾燥ファン入口ダンパ		4D-VS-604A、B	○	—									
4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ		4HCP-2874、2875	○	—									
4A、4B中央制御室新備成量調節ダンパ		4HCP-2885、2886	○	—									
4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ		4HCP-2887、2889	×	①									
4A、4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	4HCP-2889、2890	○	—										
4A、4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ	4HCP-2891、2892	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
 ① 原水により機能を喪失しない  
 ② PCV耐震強化仕様設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (17/24)										【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>							
換気空調系	中央制御室温度(1),(2)	HTS-2908,2909	○	—	MS	R21-A003B	主蒸気第一隔離弁(D)用アキュムレータ	①							
	HA, 甲中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904, 2905	○	—		MS	R21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アキュムレータ	①						
	HA, 甲中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910, 2911	○	—		MS	R21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アキュムレータ	①						
	24キッチン排気第1,2隔離ダンパ	24D-VS-505,606	×	①		MS	R21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アキュムレータ	①						
	HA, 甲中央制御室外気取入調節ダンパ電機設定	4HC-2874,2875	○	—		MS	R21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アキュムレータ	①						
	HA, 甲中央制御室前室ダンパ流量設定	4HC-2885,2886	○	—		MS	R21-F001A	主蒸気過がし安全弁(A)	②						
	HA, 甲中央制御室外気取入ダンパ流量設定	4HC-2887,2888	×	①		MS	R21-F001B	主蒸気過がし安全弁(B)	②						
	HA, 甲中央制御室事故時排気取入調節ダンパ流量設定	4HC-2889,2890	○	—		MS	R21-F001C	主蒸気過がし安全弁(C)	②						
	HA, 甲中央制御室事故時循環ダンパ流量設定	4HC-2891,2892	○	—		MS	R21-F001D	主蒸気過がし安全弁(D)	②						
	24A, 24B安全前機間閉器室空調ファン		○	—		MS	R21-F001E	主蒸気過がし安全弁(E)	②						
	24C, 24D安全前機間閉器室空調ファン		○	—		MS	R21-F001F	主蒸気過がし安全弁(F)	②						
	4安全系電気盤空排気止めダンパSA, B	4D-VS-532,533	○	—		MS	R21-F001G	主蒸気過がし安全弁(G)	②						
	4安全系電気盤空排気止めダンパSA, B	4D-VS-536,537	○	—		MS	R21-F001H	主蒸気過がし安全弁(H)	②						
	HA, 甲安全前機間閉器室温度	4TS-2817,2818	○	—		MS	R21-F001I	主蒸気過がし安全弁(I)	②						
	HA, 甲制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—		MS	R21-F001J	主蒸気過がし安全弁(J)	②						
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパSA, B	4D-VS-431A, B	○	—		MS	R21-F001K	主蒸気過がし安全弁(K)	②						
	4制御用空気圧縮機室温度	4TS-2771,2772,2773,2774	○	—		MS	R21-F001L	主蒸気過がし安全弁(L)	②						
	HA, 甲電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—		MS	R21-F001M	主蒸気過がし安全弁(M)	②						
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパSA, B	4D-VS-411A, B	○	—		MS	R21-F001N	主蒸気過がし安全弁(N)	②						
	HA, 甲電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4TS-2741,2742,2743,2744	○	—		MS	R21-F001O	主蒸気過がし安全弁(O)	②						
	HA1, HA2, HA3, 甲2階ディーゼル発電機室給気ファン		○	—		MS	R21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	②						
	甲ディーゼル発電機室排気ダンパA), B), B2)	4D-VS-403A, B, 403A, B	○	—		MS	R21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	②						
	HA, 甲ディーゼル発電機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2701,2702,2703,2704,2711,2712,2713,2714	○	—		MS	R21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	②						
	HA, 甲安全前機室冷却ファン		○	—		MS	R21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	②						
	HA, 甲安全前機室温度(1),(2)	4TS-2680,2681,2680,2680	○	—		MS	R21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③						
	HA, 甲3階ポンプ室空調ファン		○	—		MS	R21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③						
	HA, 甲3階ポンプ室空調ファン前気結露コイル		○	—		MS	R21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③						
	HA, 甲3階ポンプ室温度調節計	4TS-2691,2691	○	—		MS	R21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③						
	HA, 甲3階ポンプ室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2692,2693,2693,2693	○	—		MS	R21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②						
	HA, 甲エアニューラス空気浄化ファン	4VSH9A, B	○	—		MS	R21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④						
	甲ニューラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	4VSH18A, B	×	①		MS	R21-F061	事故後給水サンプリング第一隔離弁	②						
	HA, 甲ニューラス排気ダンパ	4D-VS-101A, B	○	—											
	HA, 甲ニューラス戻りダンパ	4D-VS-104A, B	○	—											
HA, 甲ニューラス全量排気弁	4V-VS-102A, B	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②ICVが耐震構造仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)							
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1				
換気空調系	IA, 4Bアニュラス少量排気弁	4B-VS-103A, B	○	—	MS	B21-F002	事故時貯水タンク第二隔離弁	㊸				
	IA, 4Bアニュラス圧力制御器	4BT-2522, 2512	×	㊸	PLR	B32-F002A	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	㊸				
	IA, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4B-VS-090A, B	×	㊸	PLR	B32-F002B	原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁	㊸				
	4格納容器排気止めダンパ	4B-VS-061	×	㊸	PLR	B32-F013	P.L.R.タンク用ライン第一隔離弁	㊸				
	4補助配管排気装置調整ダンパ	4BPC-2590	×	㊸	PLR	B32-F014	P.L.R.タンク用ライン第二隔離弁	㊸				
	4補助配管排気止めダンパ	4B-VS-351	×	㊸	BCTC	E51-B004	原子炉隔離時冷却システム	㊸				
	34放射線管理系排気装置調整ダンパ	34PCD-2976	×	㊸	BCTC	E51-B005	スパーージャ	㊸				
	34放射線管理系排気止めダンパ	34B-VS-658	×	㊸	BCTC	E51-F007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁	㊸				
	IA, 4B安全補機室排気ダンパ	4B-VS-105A, B	○	—	BCTC	E51-F027	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第二隔離弁	㊸				
	4安全補機室給気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-301, 302	×	㊸	BCTC	E51-F1001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計	㊸				
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-303, 304	×	㊸	BCTC	E51-F1003	R.C.I.C.ポンプ出口圧力指示計	㊸				
	4アニュラス給気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-052, 053	×	㊸	BCTC	E51-F1007	R.C.I.C.ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力指示計	㊸				
	4アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-058, 059	×	㊸	BCTC	E51-F1009	R.C.I.C.タービン排気圧力指示計	㊸				
	4格納容器給気第2隔離弁	4B-VS-054	×	㊸	BCTC	E51-F1001A	R.C.I.C.ポンプ入口圧力伝送器	㊸				
	4格納容器給気第1隔離弁	4B-VS-055	×	㊸	BCV	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク(A)	㊸				
	4格納容器排気第1隔離弁	4B-VS-056	×	㊸	BCV	P42-A001B	原子炉補機冷却水サージタンク(B)	㊸				
	4格納容器排気第2隔離弁	4B-VS-057	×	㊸	BCV	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器(A)	㊸				
	IA, 4B安全補機室冷却ファン現場操作箱	4LB-82, 83	○	—	BCV	P42-B001B	原子炉補機冷却水系統交換器(B)	㊸				
	IA1-A2, 4B1-4B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	4LB-84, 85	○	—	BCV	P42-B001C	原子炉補機冷却水系統交換器(C)	㊸				
	IA, 4B緊急時給水ポンプ供給ファン現場操作箱	4LB-86, 87	○	—	BCV	P42-B001D	原子炉補機冷却水系統交換器(D)	㊸				
	IA, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	4LB-90, 91	○	—	BCV	P42-F000A	R.C.W.冷却水供給温度交換器(A) 調整弁	㊸				
	IA, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱	4LB-95, 95	○	—	BCV	P42-F000B	R.C.W.冷却水供給温度交換器(B) 調整弁	㊸				
	IA, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱	4LB-101, 102	○	—	BCV	P42-F000C	R.C.W.冷却水供給温度交換器(C) 調整弁	㊸				
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	BCV	P42-F010A	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(A) 調整弁	㊸				
	IA, 4B排気調整用空気圧縮機ファン現場操作箱	4LB-77, 78	○	—	BCV	P42-F010B	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(B) 調整弁	㊸				
	IA, 4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	4LB-52, 53	○	—	BCV	P42-F085A	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(A)	㊸				
	IA, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱	4LB-97, 98	○	—	BCV	P42-F085B	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(B)	㊸				
	4空調用冷水貯タンク			×	㊸	BCV	P42-F085C	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(C)	㊸			
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水機			○	—							
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—							
	IA, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	4BVC-2878, 2879	○	—								
	34A, 34B安全補機室空調ユニット冷水温度制御弁	34BVC-2798, 2799	○	—								
	4空調用冷水N-ヘッド供給、戻りライン止め弁	4B-CH-032, 033	○	—								
	4制御室給気空調ユニット冷水入口、出口圧力調整器	4B-CH-483, 487	×	㊸								
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○	—								
	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②BCV内断電圧降下時の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる											
												【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
格納容器減圧装置及び大気排気設備	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0P-001A,B	×	②	R/W	P42-F0890	R C W 常用冷却水緊急しり断弁 (D)	⑤			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0P-002A,B	×	①	R/W	P42-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	④			
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0C-204A,B	×	①	R/W	P42-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	④			
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0C-205A,B	×	①	R/W	P42-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	②			
放射性監視設備 空気サンプリング系	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-001	×	②	R/W	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	②			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-002	×	①	R/W	P42-F1006A	R C W A 系系統流量発信器	③			
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-013	×	①	R/W	P42-F1006B	R C W B 系系統流量発信器	③			
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-013	×	①	R/W	P42-F1014A	R C W A 系常用系入口流量発信器	③			
電気盤	1主変 (原子炉室)	4BC3	○	—	R/W	P42-F1014B	R C W B 系常用系入口流量発信器	⑤			
	1原子炉補助盤	4BA0	○	—	R/W	P42-F1016A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	⑤			
	1原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4BP0-1, II, III, IV	○	—	R/W	P42-F1016B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	③			
電気盤	1A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4BP1-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-L1000A	R C W サーージタンク (A) 水位	⑤			
	1安全保護シーケンス盤A01, A02, B01, B02	4SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-L1000B	R C W サーージタンク (B) 水位	⑤			
	1A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4プレイド分電盤	4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	R/W	P42-L1009A	R C W サーージタンク (A) 水位電信器	⑤			
	1原子炉トリップ遮断装置	4HTS	○	—	R/W	P42-L1009B	R C W サーージタンク (B) 水位電信器	⑤			
	1A, 4Bドロップ盤	4BCP-A-300P, 4BCP-B-300P	○	—	R/W	P42-L1010A	R C W サーージタンク (A) 水位電信器	⑤			
	1A, 4B直流電盤	4DDP-A, B	○	—	R/W	P42-L1010B	R C W サーージタンク (B) 水位電信器	⑤			
	1A, 4B交流電盤	4DDP-A, B	○	—	R/W	P42-P1001A	R C W ポンプ (A) 出口圧力	③			
	1A, 4B充電装置	4BCC-A, B	○	—	R/W	P42-P1001B	R C W ポンプ (B) 出口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクワッドスイッチング	4MC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1001C	R C W ポンプ (C) 出口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4PC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1001D	R C W ポンプ (D) 出口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ	4BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1007A	R C W ポンプ (A) 入口圧力	③			
	1A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤(1)~(3)	4IBC-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-P1007B	R C W ポンプ (B) 入口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤	4IPP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	R/W	P42-P1007C	R C W ポンプ (C) 入口圧力	③			
	1A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤	4ISP-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-P1007D	R C W ポンプ (D) 入口圧力	③			
	1炉内盤	4ISD	○	—	R/W	P42-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	⑤			
	1A, 4B計装用炭粉分電盤	4IBD-AC, BD	○	—	R/W	P42-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	⑤			
	1事故時放射線監視盤	4PRMS-III, IV	○	—	R/W	P42-TE017A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	③			
	1出力領域中性子束	4S-41, 42, 43, 44	×	②	R/W	P42-TE017B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	③			
	1中性子監視域中性子束	4S-31, 32	×	②							
	1格納容器高レンゲンエリアモニタ(低レンジ・高レンジ)	4BE-91A, 91B, 92A, 92B	×	②							
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内耐環境仕様での設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)</p> <table border="1" data-bbox="134 215 672 343"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>4A, 4Bディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>40CC-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機制御盤</td> <td>40CA, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方                  ①プラント停止運転時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。                  ②原子炉格納容器内の防護対象設備は漏洩、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震域仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水現象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。                  ③ダンプ、熱弁、遮断弁、平衡弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。                  ④他の設備で代替できる。</p> <p>＜溢水影響評価対象機のは記＞                  *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失時は「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	40CA, B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)</p> <table border="1" data-bbox="705 215 1265 965"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F003</td> <td>D/W LCVサンプ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F103</td> <td>D/W HCVサンプ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-B001A</td> <td>残留熱除去系熱交換器（A）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-B001B</td> <td>残留熱除去系熱交換器（B）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001A</td> <td>残留熱除去系A系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001B</td> <td>残留熱除去系B系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001C</td> <td>残留熱除去系C系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-0PT009A</td> <td>L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-0PT009B</td> <td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012A</td> <td>R H R A系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012B</td> <td>R H R B系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012C</td> <td>R H R C系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F014A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F014B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F015A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F015B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F021</td> <td>R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044A</td> <td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044B</td> <td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044C</td> <td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F045A</td> <td>R H R A系 R W連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F045B</td> <td>R H R B系 R W連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F049A</td> <td>R H R A系系統隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F049B</td> <td>R H R B系系統隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F058A</td> <td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F058B</td> <td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-PT04</td> <td>原子炉ヘッドスブレイ流量変換器</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由                  ①溢水より機能を喪失しない                  ②FCV内耐震域仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由*1	BD	E11-F003	D/W LCVサンプ第一隔離弁	②	BD	E11-F103	D/W HCVサンプ第一隔離弁	②	BD	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①	BD	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①	BD	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	BD	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	BD	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	BD	E11-0PT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③	BD	E11-0PT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③	BD	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③	BD	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③	BD	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③	BD	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込弁	①	BD	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込弁	①	BD	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BD	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BD	E11-F021	R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁	③	BD	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③	BD	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③	BD	E11-F049A	R H R A系系統隔離弁	③	BD	E11-F049B	R H R B系系統隔離弁	③	BD	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-PT04	原子炉ヘッドスブレイ流量変換器	③		<p>【大阪】                  記載表現の相違                  女川審査実績の反映                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	40CA, B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由*1																																																																																																																																						
BD	E11-F003	D/W LCVサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F103	D/W HCVサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①																																																																																																																																						
BD	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-0PT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BD	E11-0PT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込弁	①																																																																																																																																						
BD	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込弁	①																																																																																																																																						
BD	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F021	R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F049A	R H R A系系統隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F049B	R H R B系系統隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-PT04	原子炉ヘッドスブレイ流量変換器	③																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 209 1270 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ㊸ 溢水により機能を喪失しない。                  ㊹ PCV内耐震増設仕様の設備                  ㊺ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。                  ㊻ 他の設備で代替できる。</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊸	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)	㊸	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)	㊸	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)	㊸	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)	㊸	RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊸		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 209 1270 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001A</td><td>R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001B</td><td>R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001C</td><td>R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001D</td><td>R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004A</td><td>R CW熱交換器 (A) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004B</td><td>R CW熱交換器 (B) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004C</td><td>R CW熱交換器 (C) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004D</td><td>R CW熱交換器 (D) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1002A</td><td>空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1002B</td><td>空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1004</td><td>フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-LE001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ㊸ 溢水により機能を喪失しない                  ㊹ PCV内耐環境仕様の設備                  ㊺ 動作確率の喪失により安全機能に影響しない                  ㊻ 別の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	ESW	F45-F1001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸	SGTS	T46-W1002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸	SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸	SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸	SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アキュムレータ (A)	㊸	SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アキュムレータ (B)	㊸	SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸	SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸	SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸	SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸	SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
ESW	F45-F1001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸																																																																																																																
SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アキュムレータ (A)	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アキュムレータ (B)	㊸																																																																																																																
SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸																																																																																																																
SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																



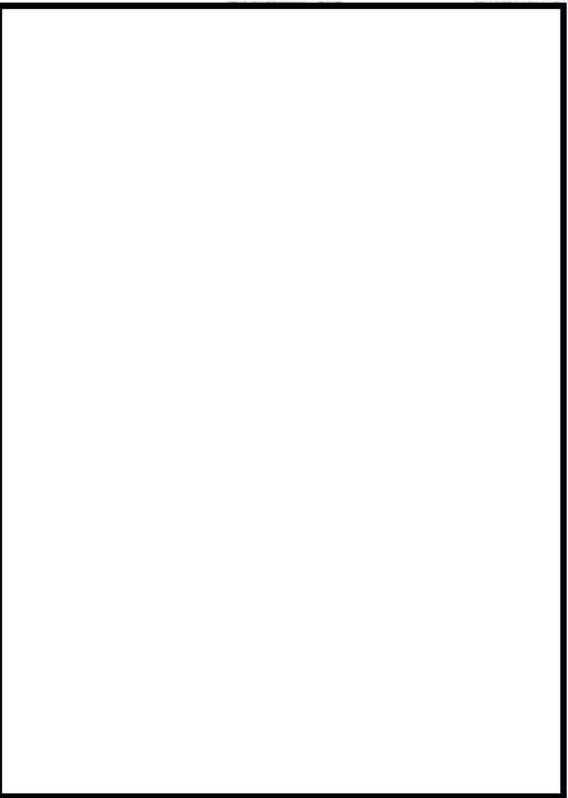
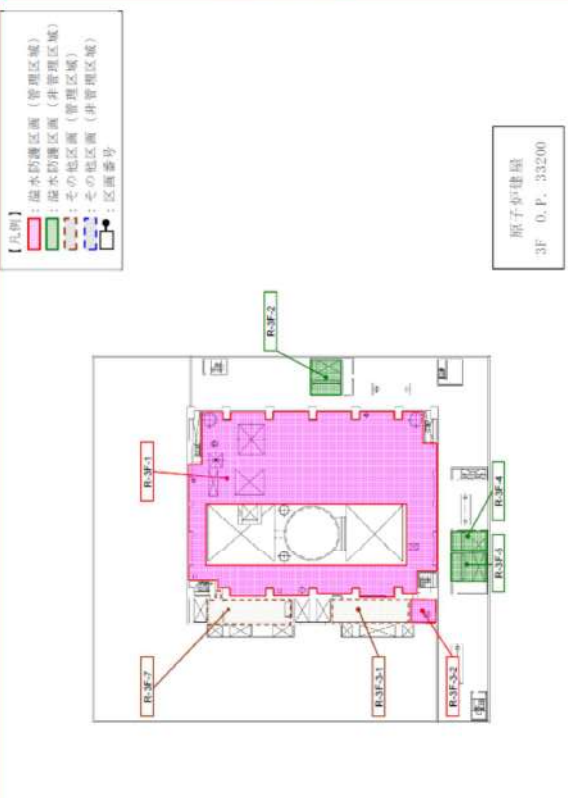
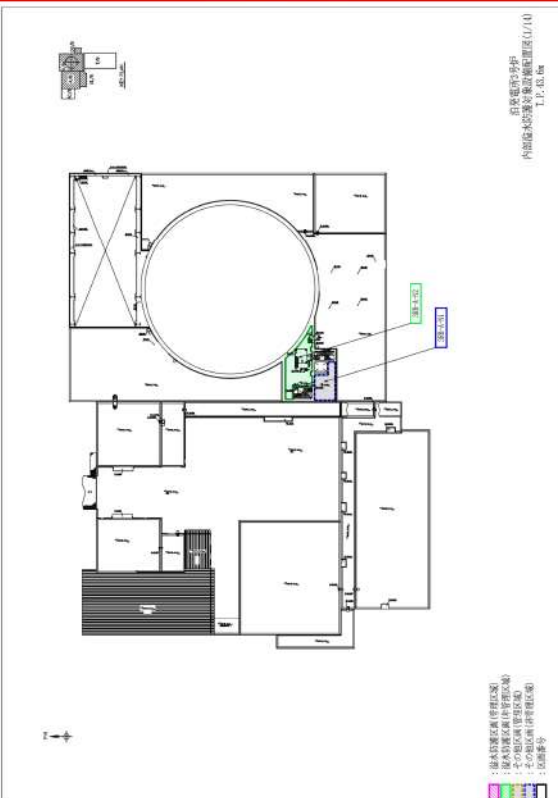
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 212 1270 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE004</td><td>S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度</td><td>④</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.0°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.0°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①未知より機能を喪失しない                  ②PCV内耐腐蝕仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SIC	E41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SIC	E41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SIC	E41-TE004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③	SIC	E41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SIC	E41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SIC	E41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	④	SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②	SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②	SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
SIC	E41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TE004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	④																																																																																																																
SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

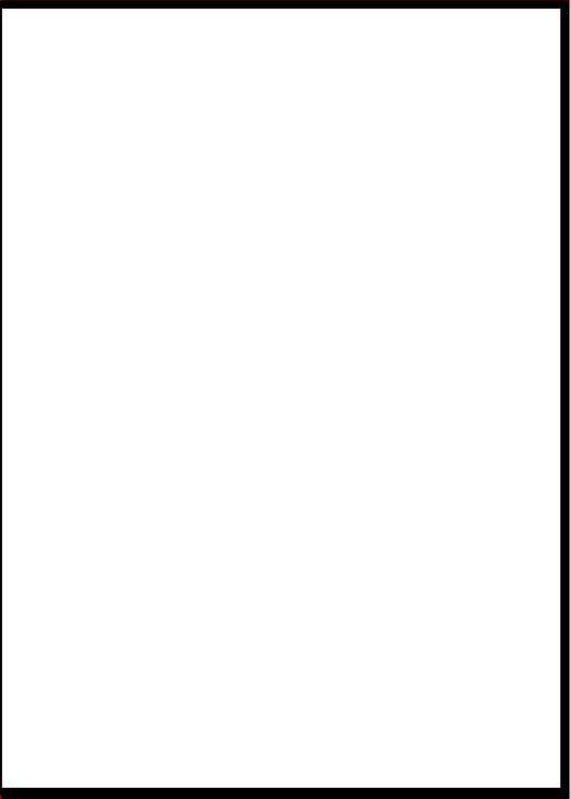
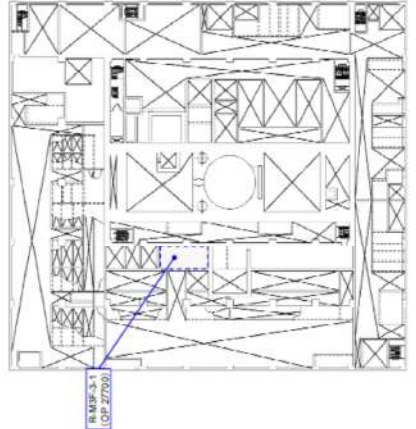
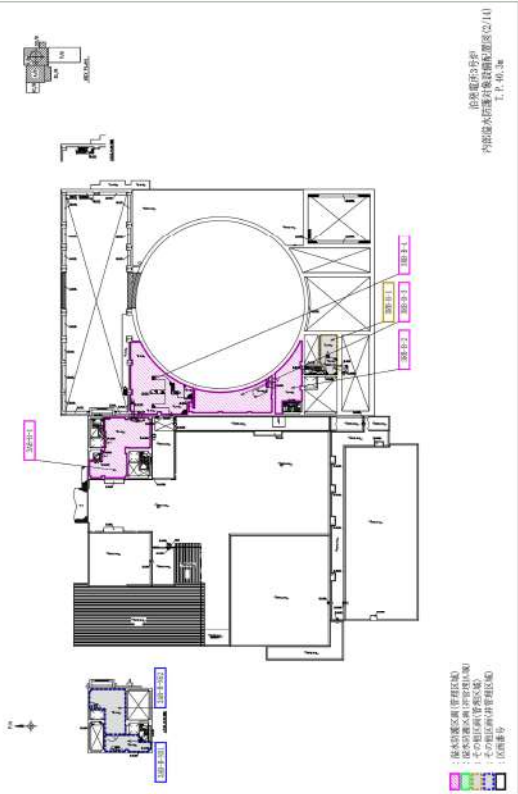
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1270 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011D</td><td>サブプレッションプール水温度(236°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度(259°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度(259°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度(281°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度(281°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度(304°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度(304°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度(326°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度(326°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度(349°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度(349°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081A</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081B</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081C</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081D</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F083</td><td>TIPバージ隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>逆止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②PCV内耐腐蝕仕様の設置                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SPTM	T11-TE011D	サブプレッションプール水温度(236°)	②	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度(259°)	②	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度(259°)	②	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度(281°)	②	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度(281°)	②	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度(304°)	②	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度(304°)	②	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度(326°)	②	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度(326°)	②	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度(349°)	②	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度(349°)	②	TIP	F51-F081A	TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)	③	TIP	F51-F081B	TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)	③	TIP	F51-F081C	TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)	③	TIP	F51-F081D	TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)	③	TIP	F51-F083	TIPバージ隔離弁	③	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	逆止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																
SPTM	T11-TE011D	サブプレッションプール水温度(236°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度(259°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度(259°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度(281°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度(281°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度(304°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度(304°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度(326°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度(326°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度(349°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度(349°)	②																																																																																
TIP	F51-F081A	TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)	③																																																																																
TIP	F51-F081B	TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)	③																																																																																
TIP	F51-F081C	TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)	③																																																																																
TIP	F51-F081D	TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)	③																																																																																
TIP	F51-F083	TIPバージ隔離弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	逆止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																

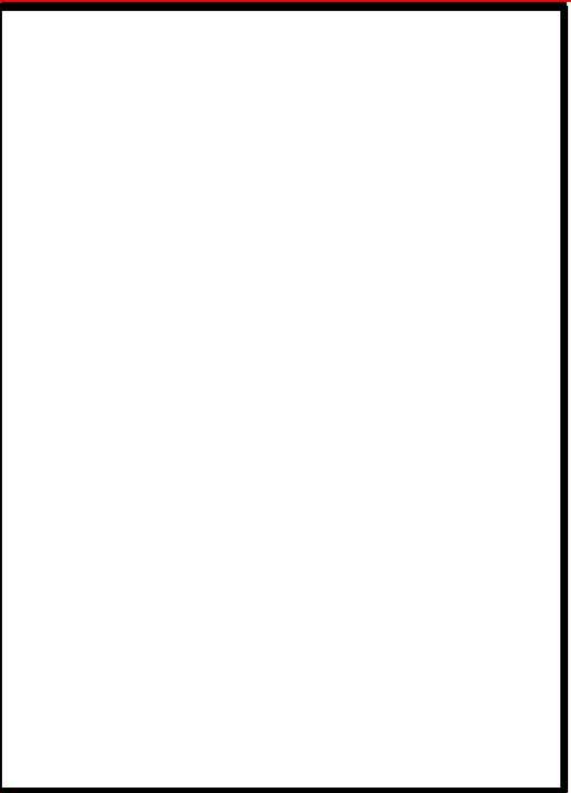

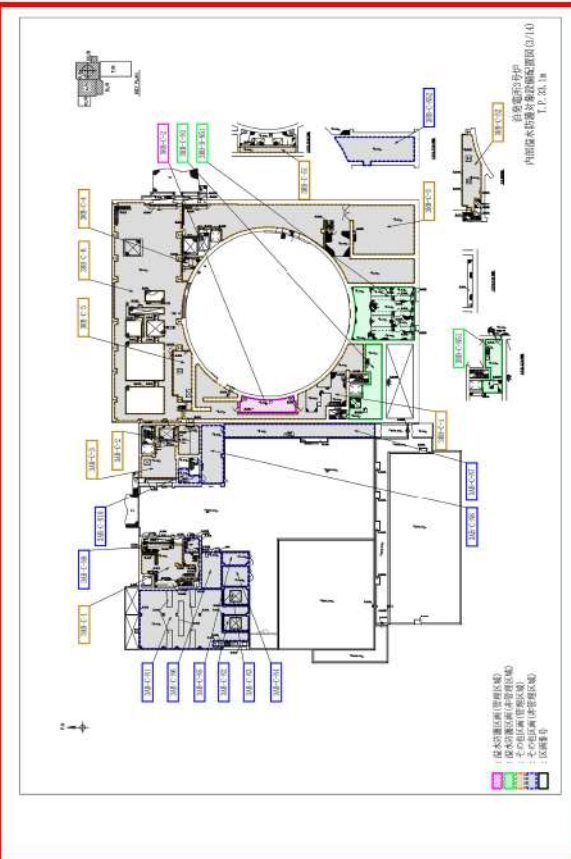
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	【大阪】 記載表現の相違
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	【女川・大阪】 設計方針の相違
 <p data-bbox="114 1053 680 1093">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1868 244 2136 271">【大阪】</p> <p data-bbox="1868 279 2136 306">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1868 314 2136 341">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1868 349 2136 376">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1868 384 2136 411">プラント構成及び機器配置の相違</p>

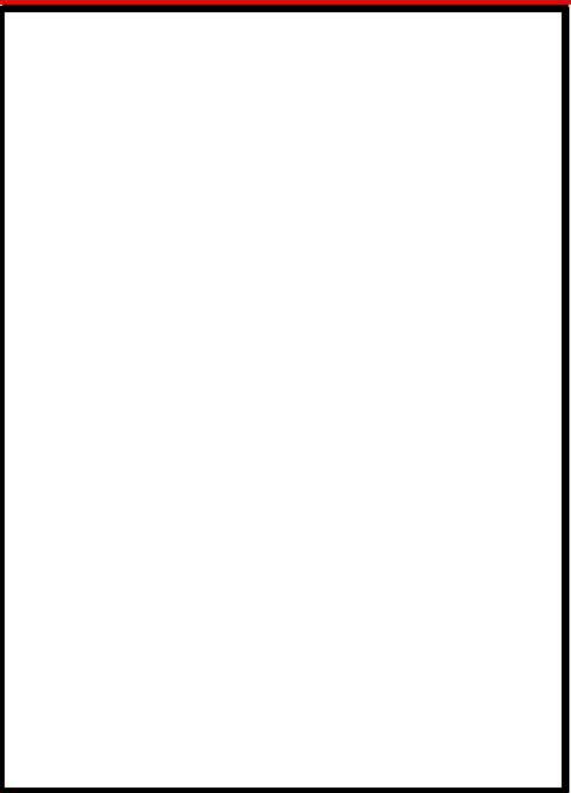
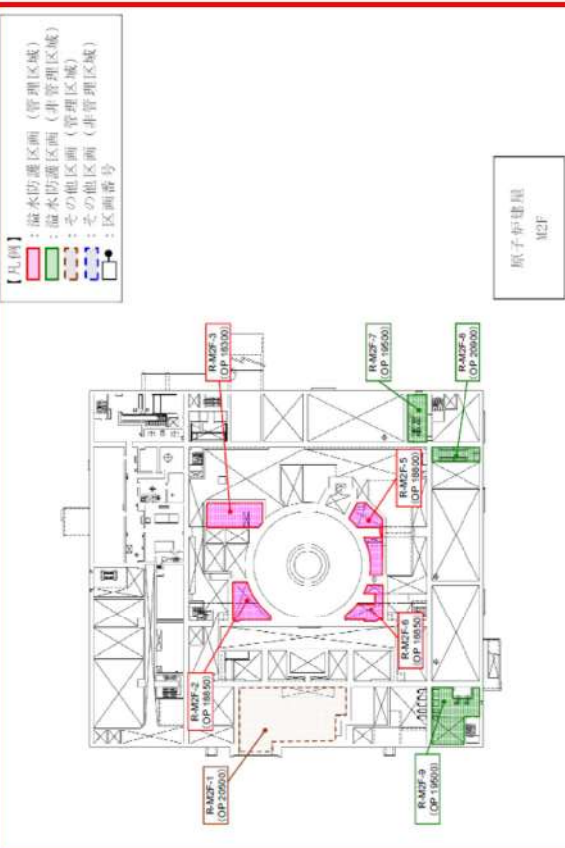
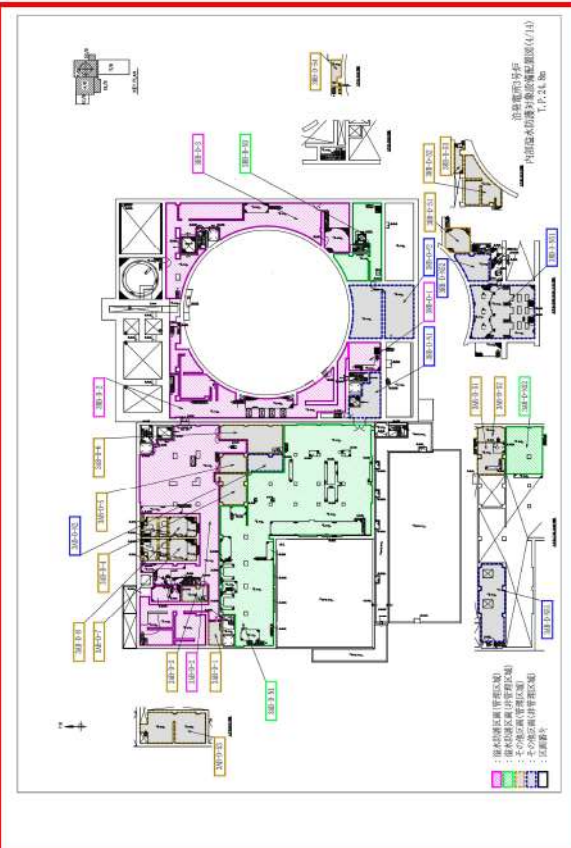
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 989 683 1029">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	<p data-bbox="705 183 1265 470"> <b>【凡例】</b>                      緑字：基本防護区域（管理区域）                      青字：基本防護区域（非管理区域）                      赤字：その他区域（管理区域）                      黒字：その他区域（非管理区域）                      □：区域番号                 </p> <p data-bbox="1198 327 1265 470">原子炉建屋 M3F</p>  <p data-bbox="862 933 907 981">RAM3P-S-1 LOP-27700</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 343">                     図例番号の付与                      内部基本防護対象設備設置図(11)                      T.P. 49.3a                 </p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">                     緑字：基本防護区域（管理区域）                      青字：基本防護区域（非管理区域）                      赤字：その他区域（管理区域）                      黒字：その他区域（非管理区域）                      □：区域番号                 </p>	<p data-bbox="1877 183 2130 271"> <b>【女川・大阪】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

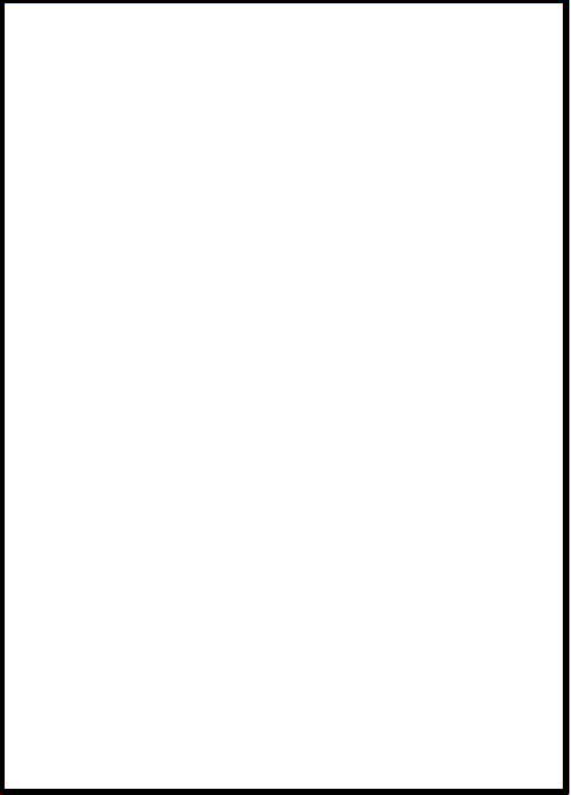
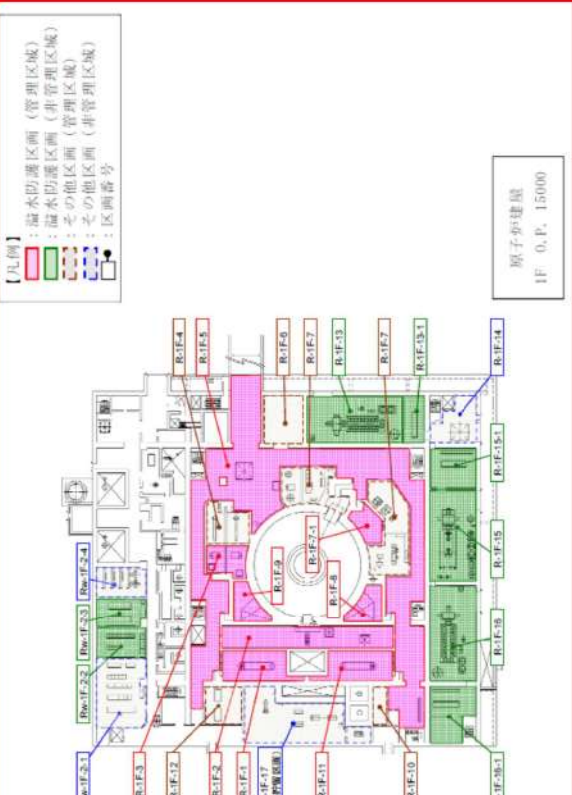
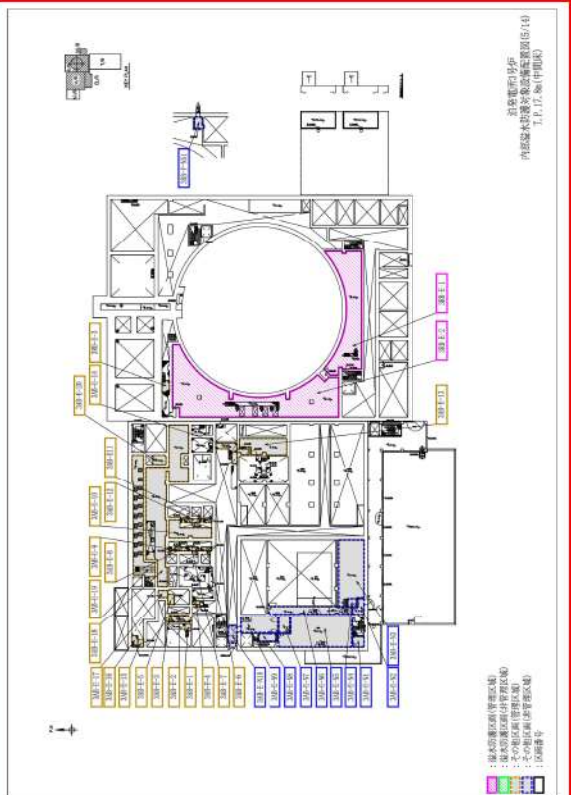
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">作組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 199 817 470">【凡例】          ■：基本防護区域 (管理区域)          ■：氾水防護区域 (非管理区域)          ■：その他区域 (管理区域)          ■：その他区域 (非管理区域)          ■：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 2F O.P. 22500</p>	 <p data-bbox="1758 199 1825 343">自発電所3号炉 内部氾水防護対象設備設置図(2F) O.P. 22500</p> <p data-bbox="1758 845 1825 973">■：基本防護区域 (管理区域)          ■：氾水防護区域 (非管理区域)          ■：その他区域 (管理区域)          ■：その他区域 (非管理区域)          ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1874 177 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

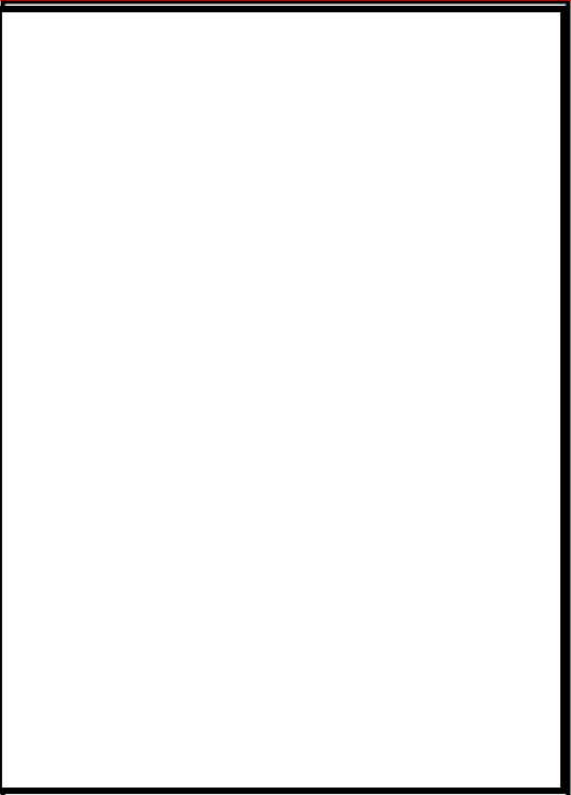

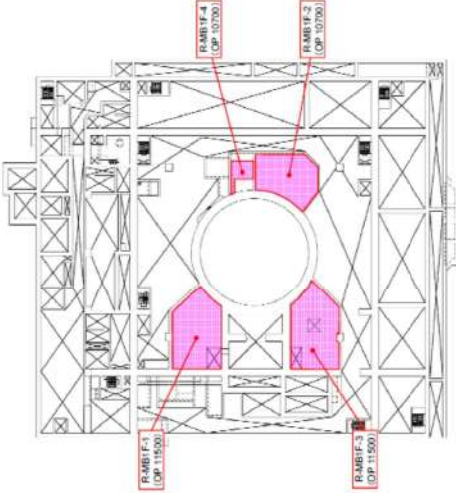
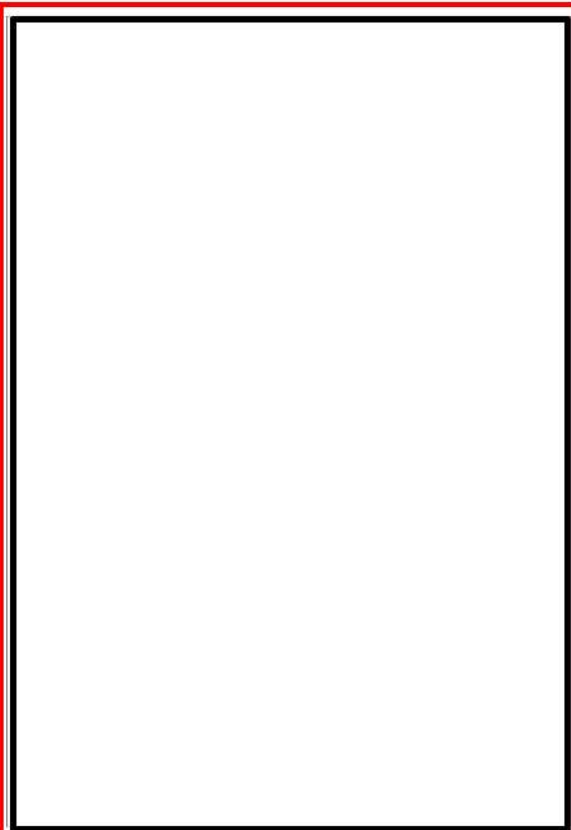
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1029">※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 335 1265 383">原子炉建屋 M2F</p>		<p data-bbox="1874 177 2130 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1874 215 2130 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)


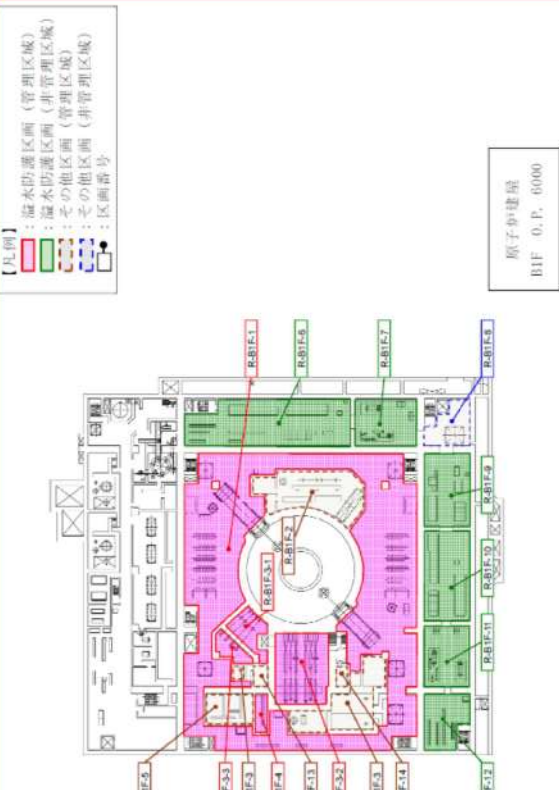
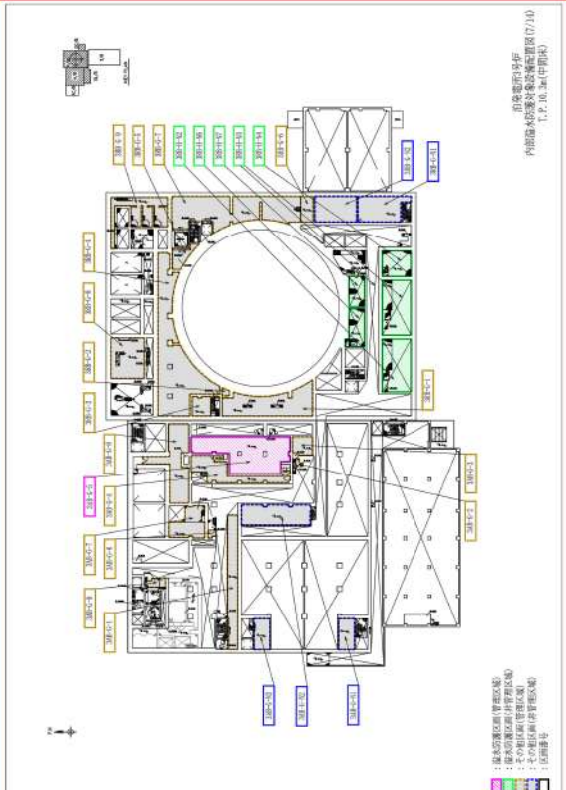
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1034">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 199 817 470">【凡例】                  赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p> <p data-bbox="1198 343 1265 470">原子力発電所                  1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1780 183 1848 343">泊発電所3号炉                  内部設備配置図(設計図)                  1.F.17. (中) (000)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p>	<p data-bbox="1874 177 2136 268">【女川・大阪】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


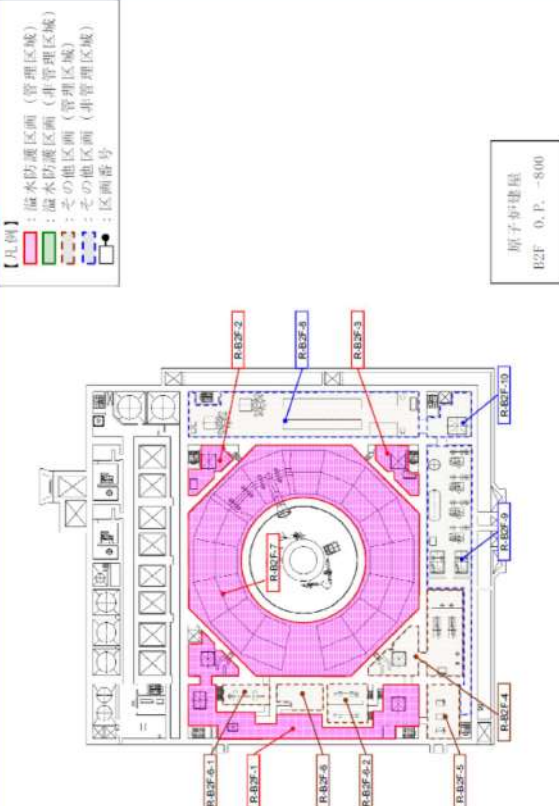
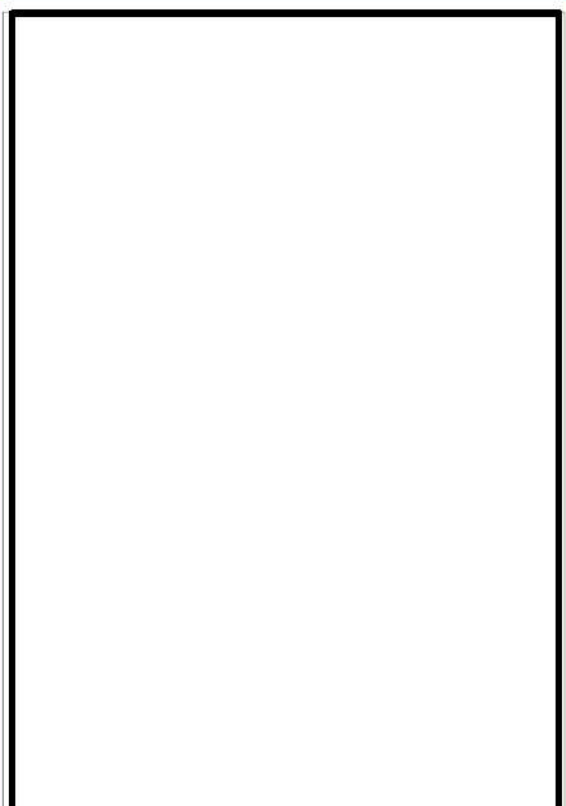
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1023">  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</span> </p>	<div data-bbox="703 199 824 480" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: red; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：溢水防護区域（管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: green; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：溢水防護区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: blue; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: purple; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：区画番号</li> </ul> </div> <div data-bbox="757 507 1211 1002" style="text-align: center;">  </div>	 <p data-bbox="1285 1038 1854 1070" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>



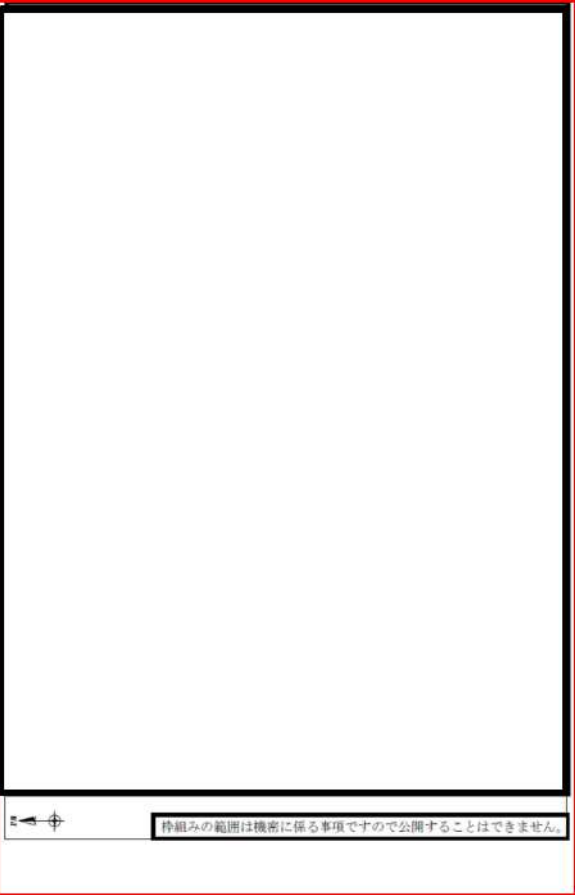

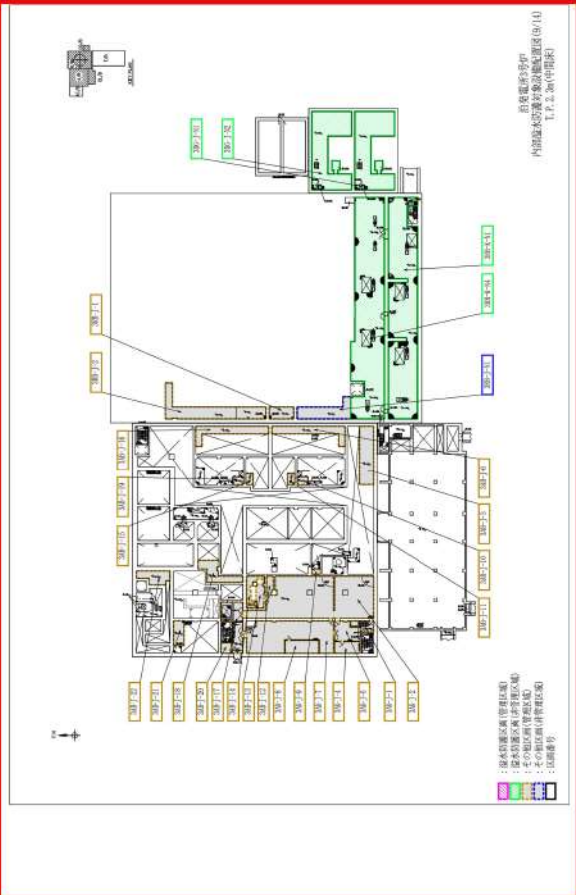
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 991 674 1011">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 411 824 464">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ○：区域番号</p> <p data-bbox="1205 336 1263 464">原子力建屋 B1F 0.F. 6000</p>	 <p data-bbox="1771 855 1839 979">■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ○：区域番号</p> <p data-bbox="1805 188 1839 336">泊発電所3号炉 外部設備の対称配置位置図(7/10) 1.F. 10. 3m (中間床)</p>	<p data-bbox="1872 180 1989 201">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>


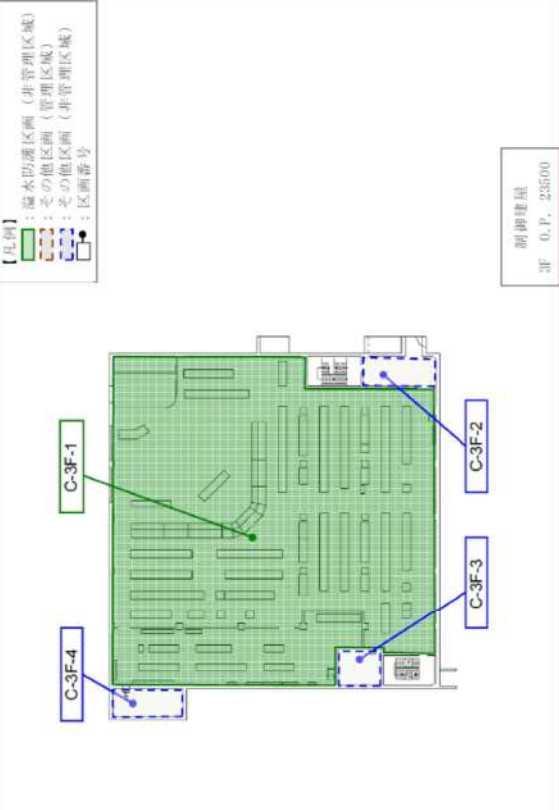
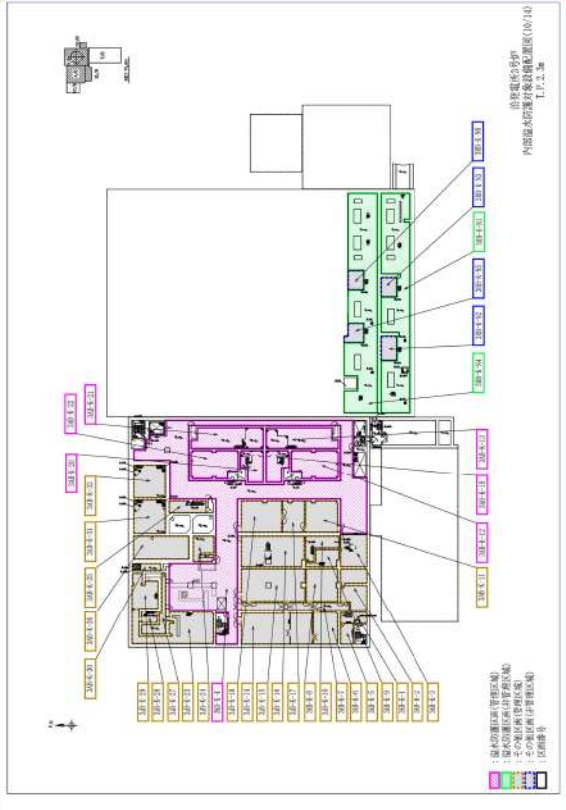
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1008 680 1034">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1008 1263 1034">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1008 1854 1034">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 185 2134 210">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 2134 242">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 274">プラント構成及び機器配置の相違</p>

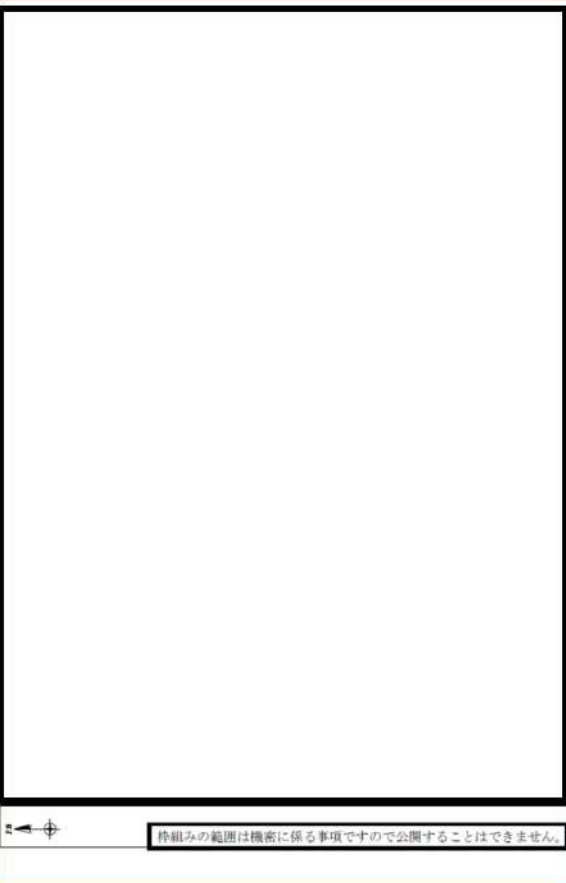
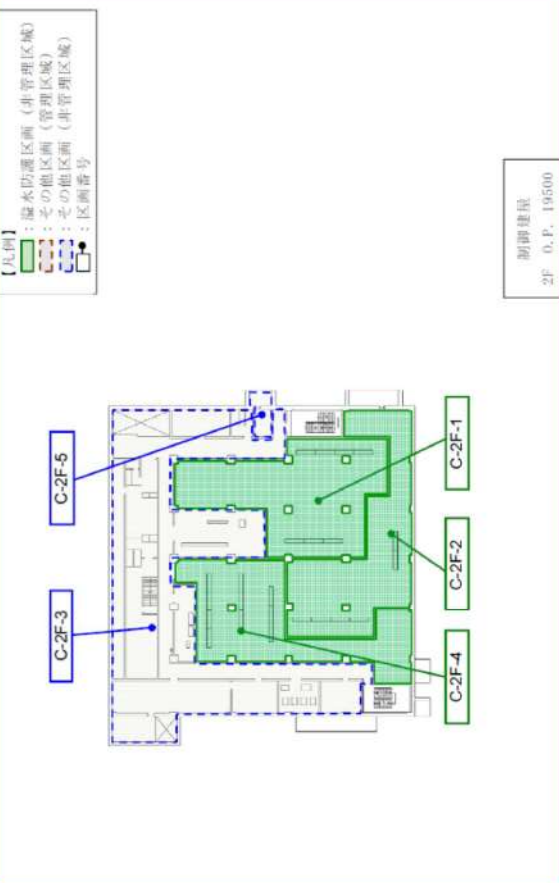
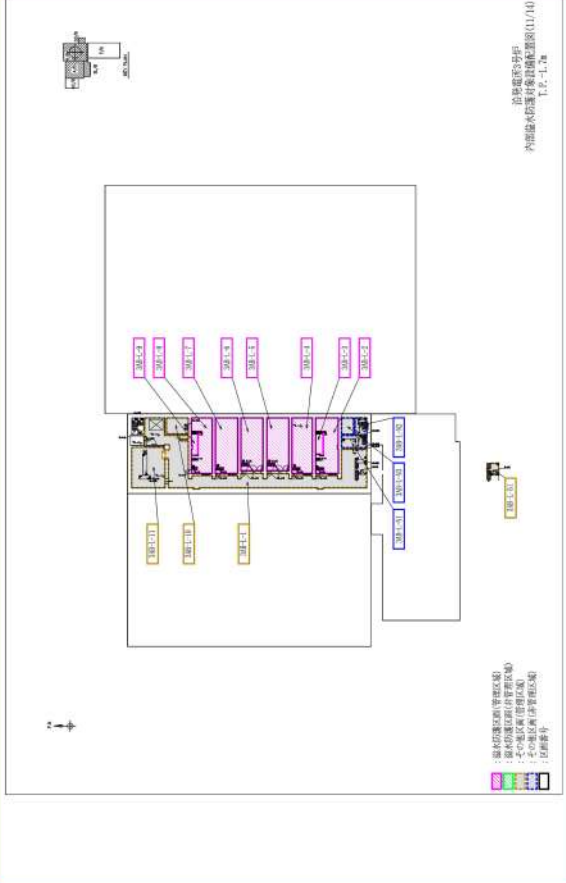
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 994 678 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 411 824 467">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1193 336 1249 467">原子炉建屋 E3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1776 188 1843 336">Hamaoka NPP                  原子炉建屋3号炉                  外部放熱設備対象機器設置区域(0/10)                  T.P. 2.2m(中間室)</p> <p data-bbox="1776 855 1843 975">Hamaoka NPP                  原子炉建屋3号炉                  外部放熱設備対象機器設置区域(0/10)                  T.P. 2.2m(中間室)</p>	<p data-bbox="1872 180 1989 204">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 1995 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 272">プラント構成及び機器配置の相違</p>

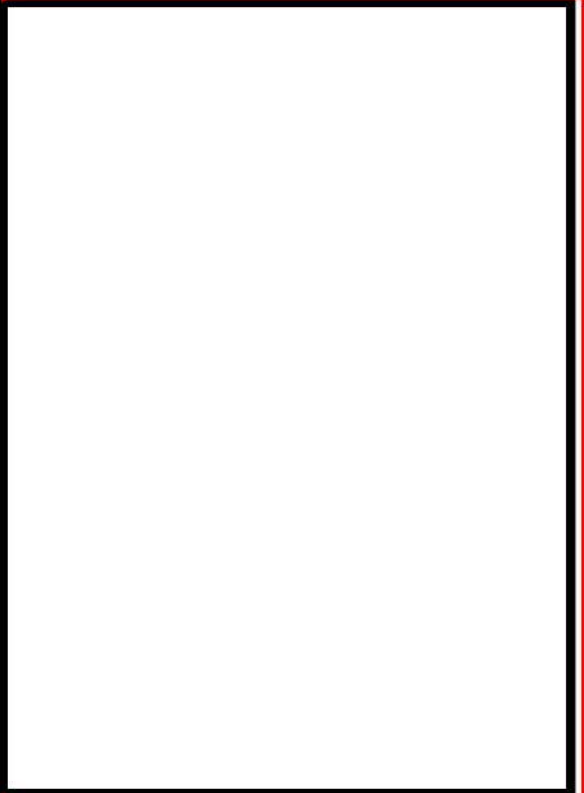
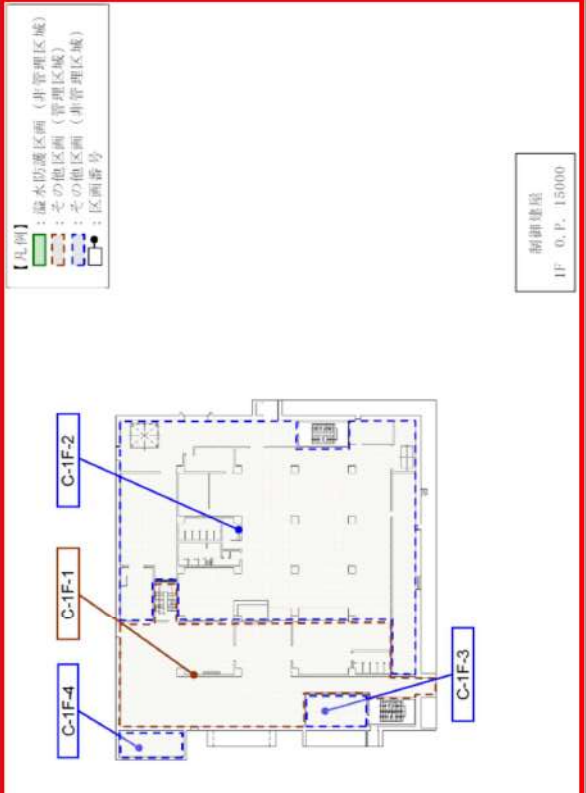
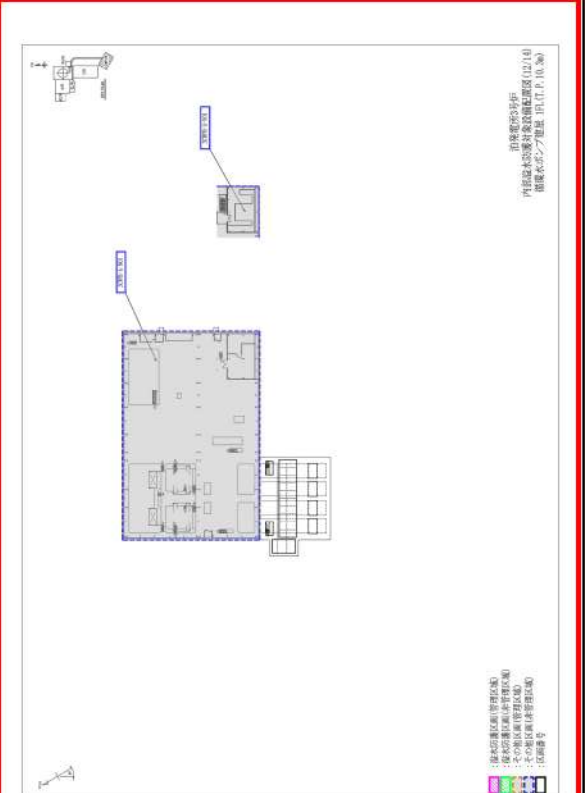
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">種組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1872 183 2134 207">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 2134 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>


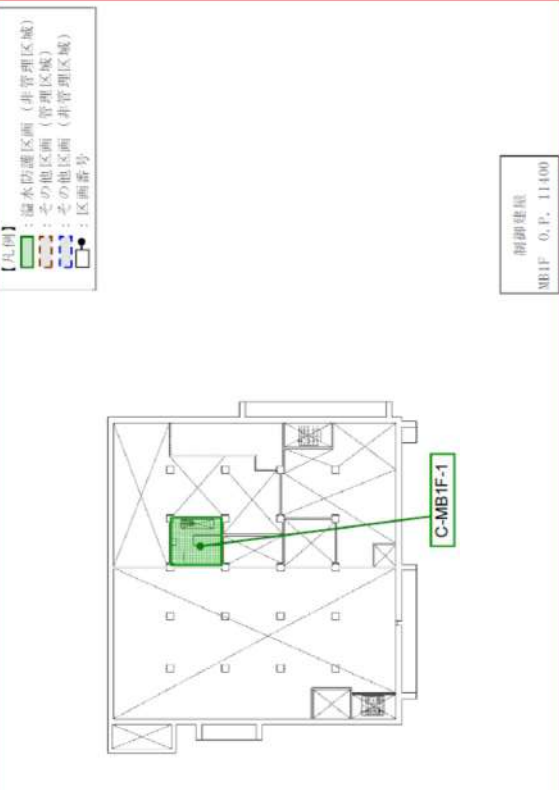
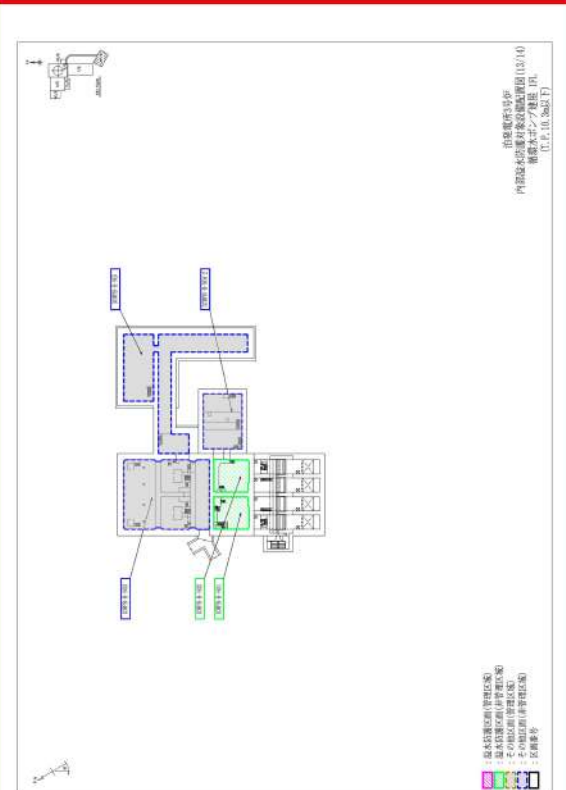
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 1011 680 1034">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1877 178 1989 201">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1877 213 1989 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

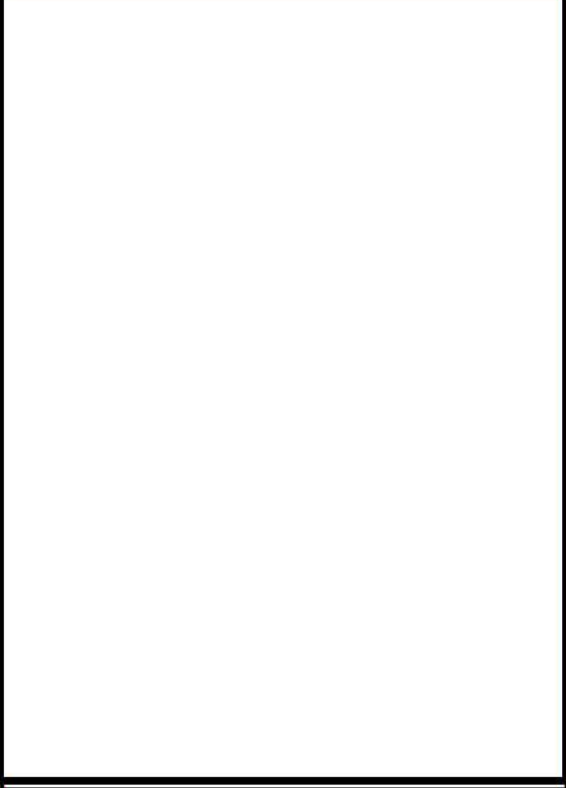
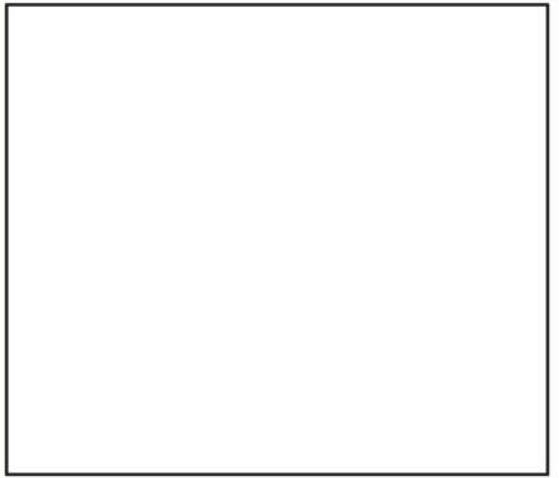
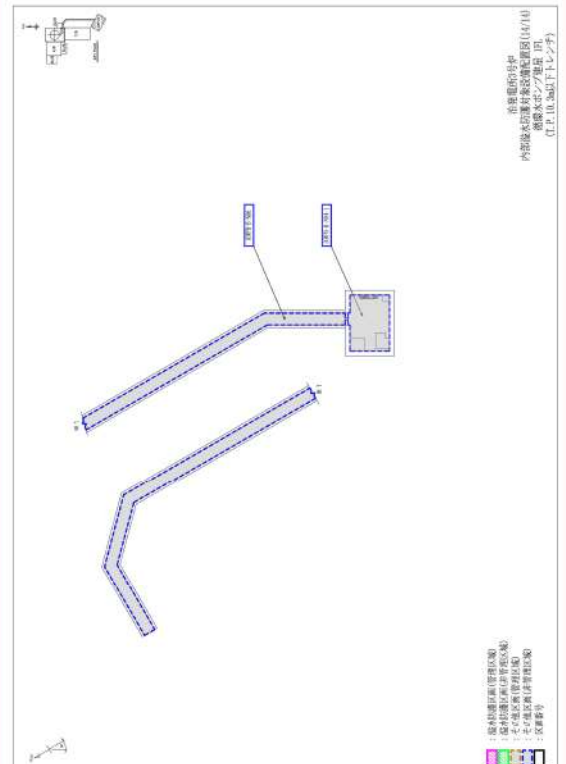
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 997 676 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="264 997 676 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="264 997 676 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="1874 177 2130 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1874 215 2130 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

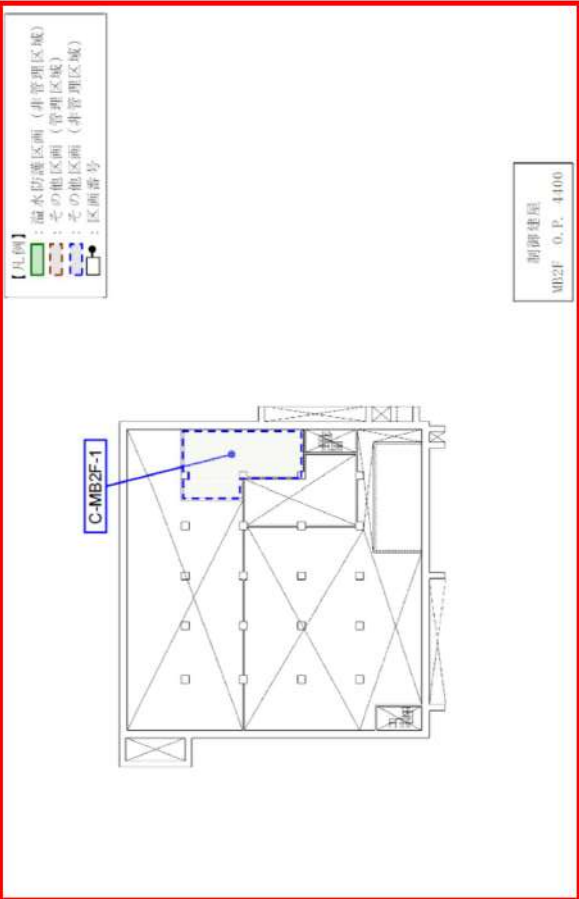
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1013">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="707 180 801 470"> <b>【凡例】</b>                      緑色：漏水防護区域（非管理区域）                      青色：その他区域（管理区域）                      赤色：その他区域（非管理区域）                      黒色：区域番号                 </p> <p data-bbox="1205 335 1263 470">                     制御室                      MB1F 0. P. 11.100                 </p>	 <p data-bbox="1765 220 1854 375">                     泊発電所3号炉                      内部図4号機室管理区域(03/10)                      機室番号：P.10.3022 F.10.                 </p> <p data-bbox="1765 853 1854 973">                     緑色：漏水防護区域(管理区域)                      青色：漏水防護区域(非管理区域)                      赤色：その他区域(管理区域)                      黒色：その他区域(非管理区域)                      区番号                 </p>	<p data-bbox="1872 180 2134 263"> <b>【女川・大阪】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

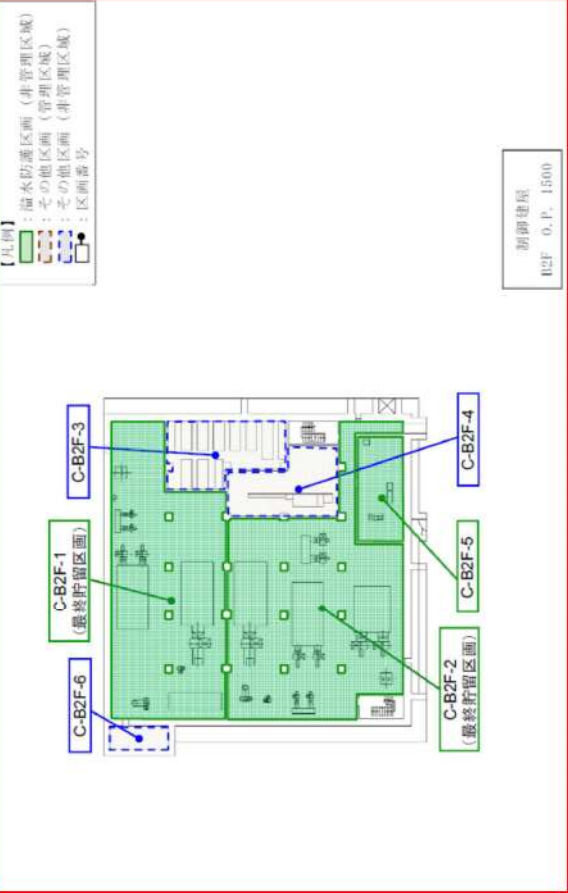
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 983 680 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="707 210 801 481">【凡例】                  溢水防護区画（非管理区域）                  その他区画（管理区域）                  その他区画（非管理区域）                  区画番号</p>  <p data-bbox="1191 354 1263 481">制御建屋 BIF 0.P. 8000</p> <p data-bbox="770 983 1263 1018">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p data-bbox="1774 210 1854 354">常備電源の号炉 内部放水設備対象設備区画(0101) 常備電源(3号炉) (注:0102は、上下2号炉)</p> <p data-bbox="1774 849 1854 976">溢水防護区画(管理区域) その他区画(管理区域) その他区画(非管理区域) 区画番号</p>	<p data-bbox="1872 178 1989 204">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 210 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 242 2134 268">プラント構成及び機器配置の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

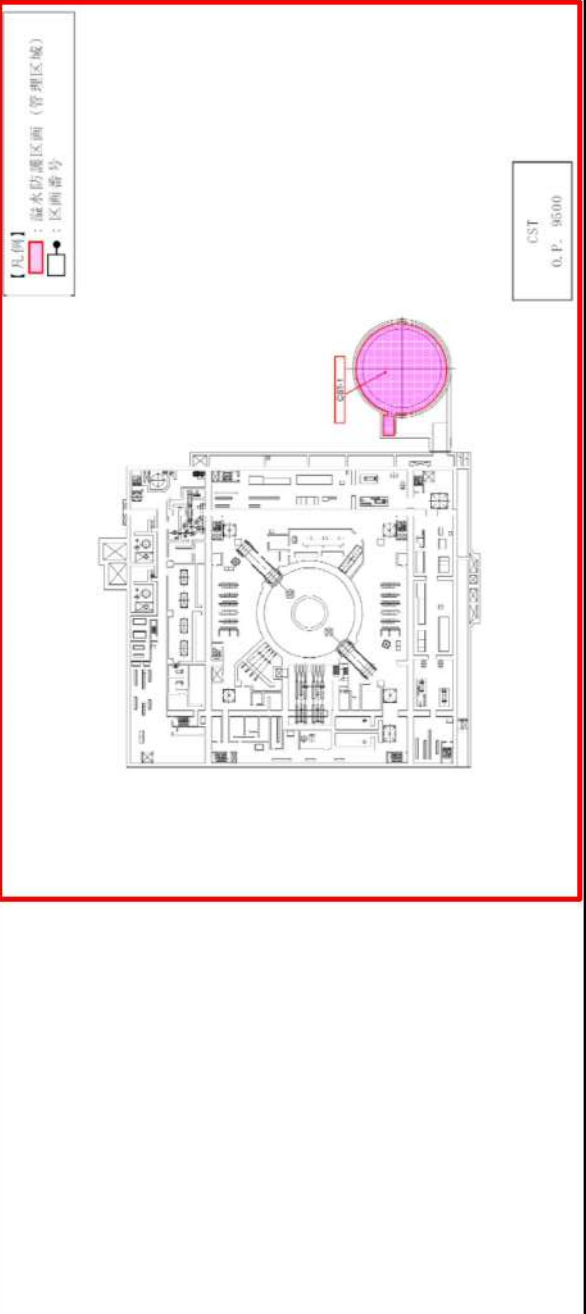
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

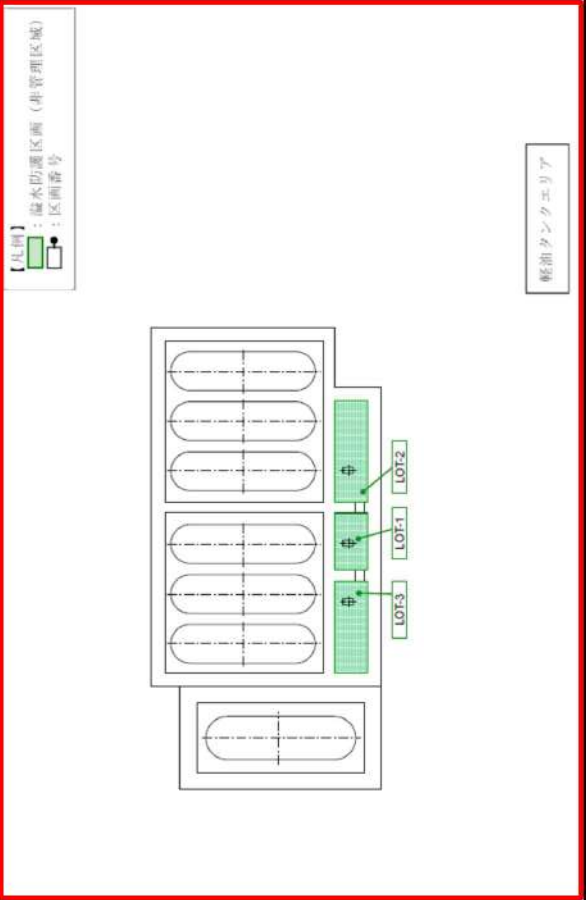
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 178 1281 1082" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <div data-bbox="698 199 795 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■：溢水防護区画（非管理区域）</li> <li>□：その他区画（非管理区域）</li> <li>●：区画番号</li> </ul> </div> <div data-bbox="1227 347 1265 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">                     揚水ポンプ室                 </div> <div data-bbox="698 497 1265 981" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="772 997 1265 1029" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">                     枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。                 </div> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

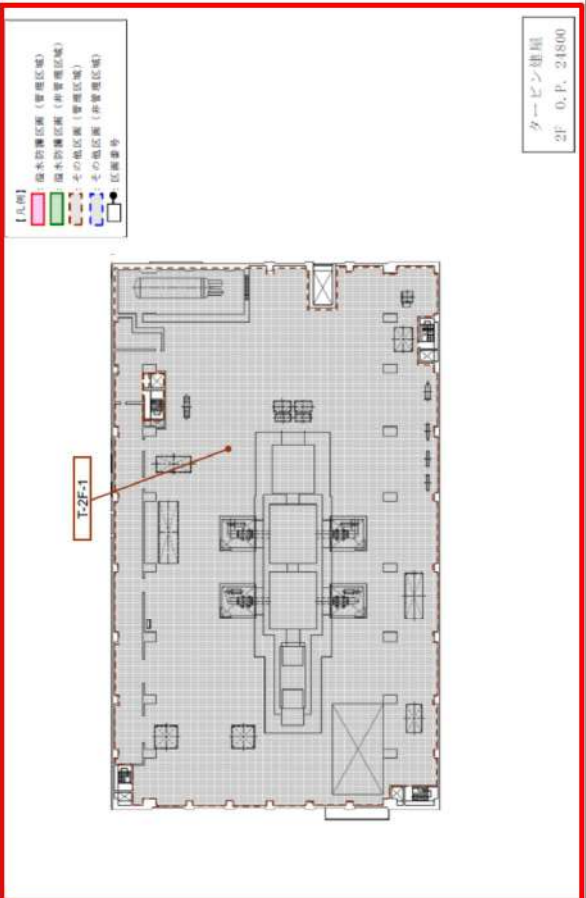
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

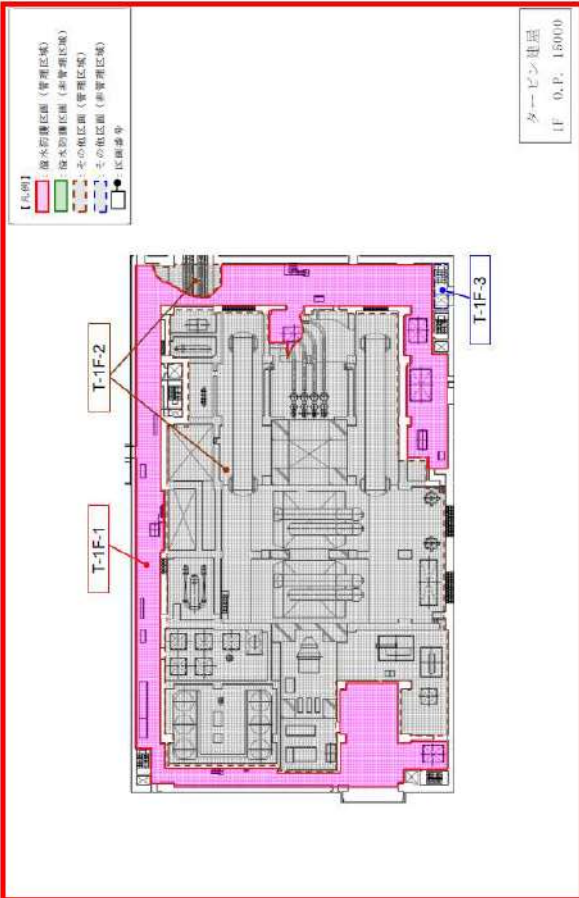
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】  <span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：溢水防護区画（非管理区画）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：区画番号</p> <p>軽油タンクエリア</p>		<p>【女川】  <span style="color: red;">設計方針の相違</span>  <span style="color: red;">プラント構成及び機器配置の相違</span></p>

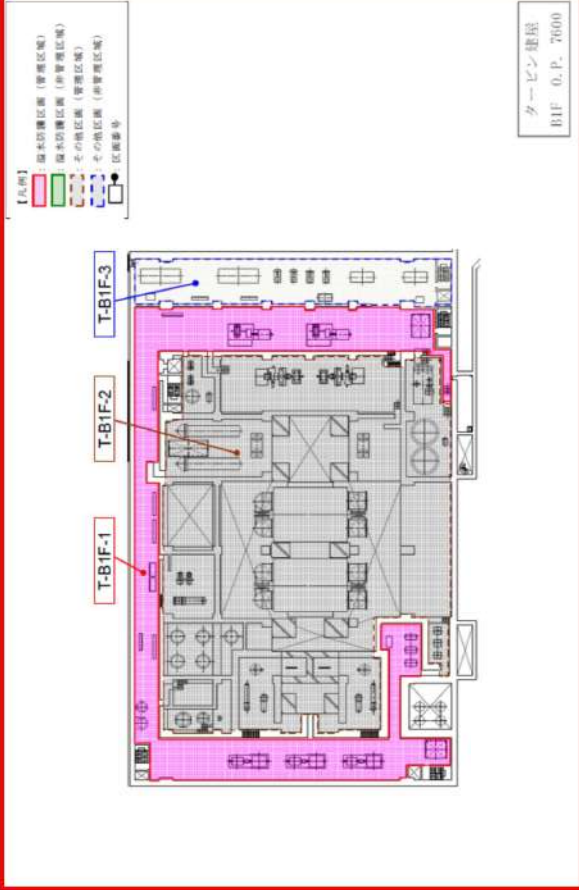
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

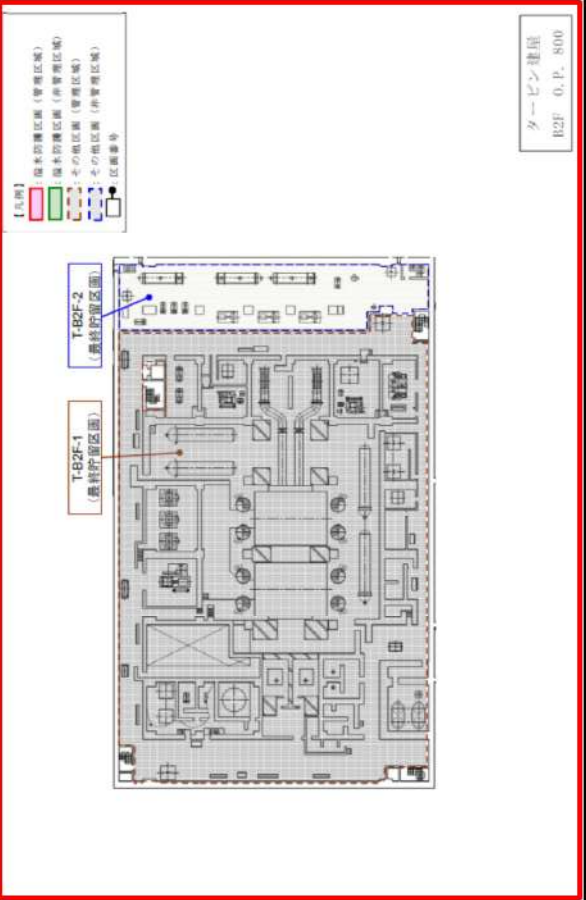
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 724 654 951"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>② 滞留面積 [m<sup>2</sup>]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>21.6</td> <td>165.7</td> <td>0.00</td> <td>0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③&lt;④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td></td> <td>71.8</td> <td>0.00</td> <td>0.301</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後		71.8	0.00	0.301	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを<b>基本</b>とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記 a. で算出した面積より、b. 及び c. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大阪は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「基本」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																																		
	① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																										
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																										
変更後		71.8	0.00	0.301																														

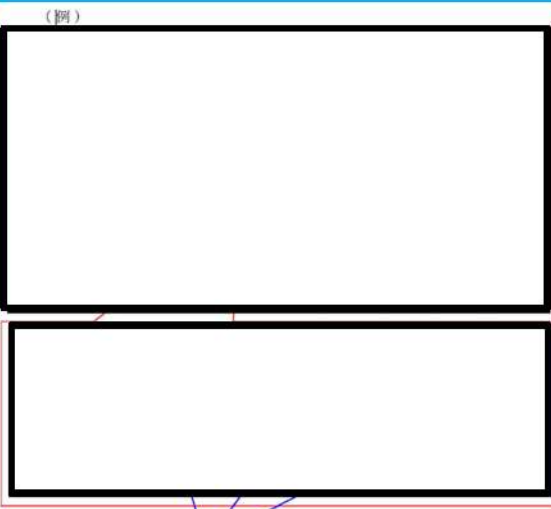
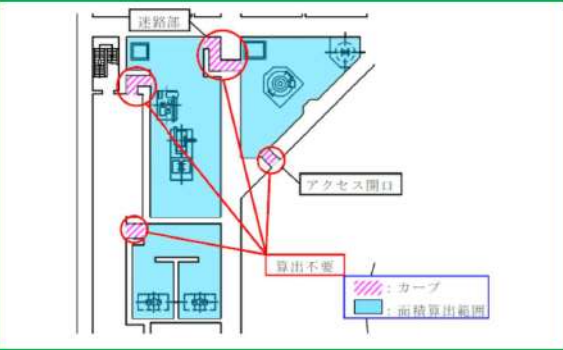
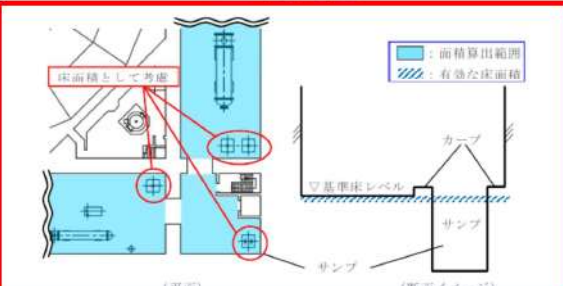
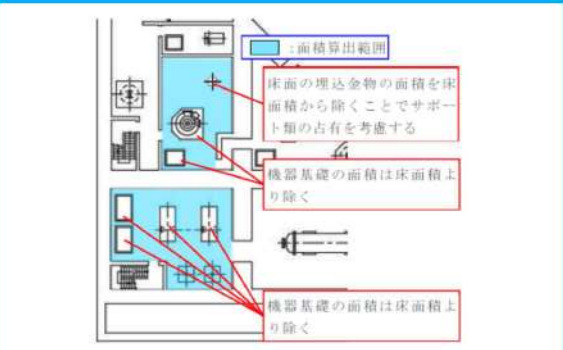
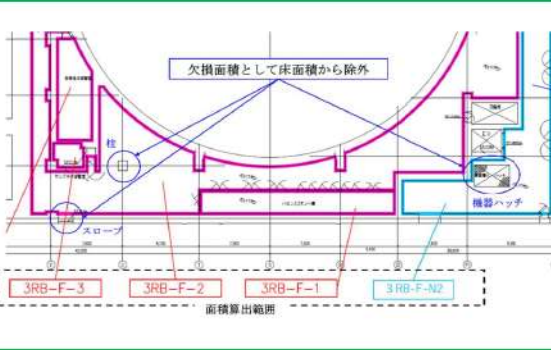
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が複雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では迷路部も床面積として算出している。(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</li> <li>また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

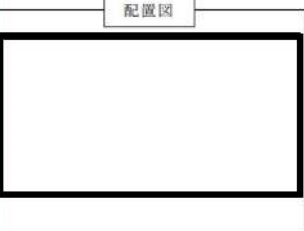

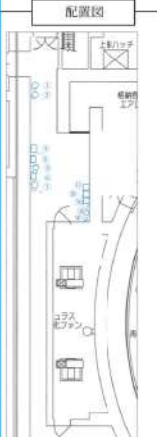

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1272 906"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (MPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (MPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1201 1272 1385"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>埋込金物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>155.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室<sup>※</sup></td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (MPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (MPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室 <sup>※</sup>	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (MPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (MPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室 <sup>※</sup>	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p>  <p>(例)</p> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m<sup>2</sup>」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。<b>(床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。)</b></p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い (例：最地下階サンプル)</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲 (例)</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m<sup>2</sup>」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>                  建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  泊ではビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 大災防護設備(盤)</p> <p>大阪3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="152 359 672 582"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>形状 縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ③</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ④</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p> <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考	形状 縦	横	033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">形状</th> <th colspan="2">寸法</th> <th colspan="2">床面積</th> <th colspan="2">滞留率</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> <th>床面積</th> <th>滞留率</th> <th>滞留率</th> <th>滞留率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>常設機器</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常設機器</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 1, 2</p> <p>No. 3</p> <p>No. 4</p> <p>No. 5</p> <p>No. 6</p> <p>No. 7</p>	No.	設備名称	形状		寸法		床面積		滞留率		縦	横	縦	横	床面積	滞留率	滞留率	滞留率	1	常設機器			300	0.021			0	11%	2	常設機器			300	0.021			0	11%	3	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	4	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	5	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	6	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	7	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	8	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	9	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	10	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	11	非常用電源	300	200	0.060				300	30%	<p>【女川】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																							
	形状 縦	横																																																																																																																																																																													
033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	形状		寸法		床面積		滞留率																																																																																																																																																																							
		縦	横	縦	横	床面積	滞留率	滞留率	滞留率																																																																																																																																																																						
1	常設機器			300	0.021			0	11%																																																																																																																																																																						
2	常設機器			300	0.021			0	11%																																																																																																																																																																						
3	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
4	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
5	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
6	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
7	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
8	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
9	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
10	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
11	非常用電源	300	200	0.060				300	30%																																																																																																																																																																						
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 添付資料9)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
添付資料 1.3-3						添付資料9						添付資料9						【大阪】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映により表の名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異なるが、「号炉」以外の記載情報量に差異はない。  【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違			
溢水影響評価で止水を期待できる設備 表1 止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/3)									
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所数		
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	RCTCタービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.P. 2.3m	3V-W-500 (3-T/D AFWPT 排気管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1			
				逆止弁	新設	10			FPMWポンプ室 (R-B3F-8)	水密扉	新設	1				3V-W-501 (3-T/D AFWPT リーク管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1		
				ペント逆止弁	新設	1				逆流防止 フジ絲	新設	5					3V-W-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1	
			目皿逆止弁	新設	11	RHRポンプ(C)室 (R-B3F-7)			水密扉		既設 (改造)	1				3V-W-503 (3-主蒸気管室ドレン管定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)		逆止弁	新設	1	
			サンプタンク*	既設	1				RHRポンプ(B)室 (R-B3F-6)	水密扉	既設	1					T.P. 4.35m	3V-W-504 (3-主蒸気管室ドレン管定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1
			E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設			3	B2F	HPCSポンプ室 (R-B3F-5)	水密扉				既設		1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 69 (3RB-K-N4)	水密扉
		逆止弁			新設	9			LPCSポンプ室 (R-B3F-4)		水密扉	既設			1	水密扉 No. 93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設		1	
		目皿逆止弁			新設	14					RHRポンプ(A)室 (R-B3F-3)	水密扉			既設		1	水密扉 No. 154 (3RB-H-N1)		水密扉	新設
		水密扉		新設	1	CUW配管・バルブ室 (R-B2F-6)			堰			新設			1	止水板 No. A (3RB-H-N5)	止水板			新設	1
		E.L. + 17.1m		堰	新設				1		B1F	共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-B2F-1)			堰		新設	1		止水板 DG-A (3RB-H-N1)	止水板
					E.L. + 26.0m	堰			新設						2	RHRポンプ(A)室 (R-B3F-3)	水密扉	既設			1
			E.L. + 3.5m							逆流 防止 弁		機器ドレン					既設	2	MUWCポンプ室 (R-B2F-5)	堰	新設
目皿逆止弁	新設			11	RCTC MCC室 (R-B1F-4)	堰	新設	1	DG-B 出入り口堰 (3DG-H-N1)			堰	既設	1							
サンプタンク*	既設		1	TIP駆動装置室 (R-B1F-3-3)		堰	新設	1		T.P. 17.8m		水密扉 No. 140 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1						
E.L. + 10.0m	水密扉		新設		1	B1F	共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-B1F-1)	堰	新設			1	水密扉 No. 155 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1					
		E.L. + 17.1m	堰	新設	1			MS トンネル室 (R-B1F-3-2)	堰	新設	1	止水板 No. B (3RB-F-N3)		止水板	新設	1					
							E.L. + 22.0m		堰	新設	1		(R-01)北西階段室	堰	新設	1	水密扉 No. 156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	
	E.L. + 26.0m	堰	新設	2	RHR熱交換器室(A)室 (R-1F-1)			水密扉				新設		1	水密扉 No. 157 (3RB-D-N3)	水密扉		新設	1		
							E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-B1F-1)	堰	新設		1	T.P. 24.8m	水密扉 No. 158 (3RB-C-N51)	水密扉	新設	1
	目皿逆止弁	新設	11	R(02)北東階段室	堰				新設	1	T.P. 29.4m		水密扉 No. 146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1					
サンプタンク*	既設	1	FPCポンプ室 (R-1F-3)		堰	新設	1	T.P. 29.9m	水密扉 No. 145 (3RB-D-N3)	水密扉		新設	1								
E.L. + 10.0m	水密扉	新設		1	1F	(R-01)北西階段室	堰		新設	1	T.P. 33.1m	水密扉 No. 147 (3RB-H-1)	水密扉	新設	1						
		E.L. + 17.1m	堰	新設			1	FPCポンプ室 (R-1F-3)	堰	新設		1	33.1m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設	1					
						E.L. + 22.0m			堰	新設	1	(R-01)北西階段室		堰	新設	1	33.1m (区画境界③) 堰 (-)	堰	既設	1	
	E.L. + 26.0m	堰	新設	2			RHR熱交換器室(A)室 (R-1F-1)	水密扉					新設	1	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰		既設	1		
						E.L. + 3.5m		逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	FPCポンプ室 (R-1F-3)	堰	新設		1	T.P. 40.7m	水密扉 No. 147 (3RB-H-1)	水密扉	新設	1
	目皿逆止弁	新設	11	(R-01)北西階段室			堰		新設	1	FPCポンプ室 (R-1F-3)		堰	新設	1						
サンプタンク*	既設	1	R(01)北西階段室		堰	新設	1	R(01)北西階段室	堰	新設		1									

※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2F</td> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="2">T.P.-3.7m</td> <td>湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)</td> <td>進止弁</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.2.8m</td> <td>水密扉No.68(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板2.8-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">T.P.6.3m</td> <td>水密扉No.73(3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板6.3-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板6.3-B(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.77(3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">T.P.10.3m</td> <td>水密扉No.78(3AB-H-N4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.87(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.85(3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口扉(-)</td> <td>扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り) (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.80(3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.81(3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.82(3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1	3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)	進止弁	新設	1	T.P.2.8m	水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1	止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1	T.P.6.3m	水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1	止水板6.3-A(-)	止水板	新設	1	止水板6.3-B(-)	止水板	新設	1	水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1	T.P.10.3m	水密扉No.78(3AB-H-N4)	水密扉	新設	1	水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.85(3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口扉(-)	扉	既設	1	10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り) (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板No.80(3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板No.81(3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板No.82(3AB-H-N1)	止水板	新設	1	<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																												
			(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
			CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
	CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																												
RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)			水密扉	既設	1																																																																																																																																																																													
HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)			水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																													
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1																																																																																																																																																																													
		3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)	進止弁	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.2.8m	水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.6.3m	水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板6.3-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板6.3-B(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.10.3m	水密扉No.78(3AB-H-N4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.85(3AB-H-N2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		管理区域出入り口扉(-)	扉	既設	1																																																																																																																																																																													
		10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り) (3AB-K-4)	堰	既設	1																																																																																																																																																																													
		止水板No.80(3AB-H-N6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
止水板No.81(3AB-H-N6)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																														
止水板No.82(3AB-H-N1)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																														



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">原子炉建屋付属棟</td> <td rowspan="3">B2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B1F</td> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G(II)PCS室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rw制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	D/G(II)PCS室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rw制御室扉	水密扉	新設	1	Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)	水密扉	新設	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">原子炉補助建屋</td> <td rowspan="6">T.P.17.8m</td> <td>水密扉 No.141 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.142 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.143 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.21.2m</td> <td rowspan="2">B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.144 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.P.33.1m</td> <td>33.5m (区画境界) 堰 (-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界②) 堰 (-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界③) 堰 (-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を審査するに伴い変更が生じる可能性がある。</p>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉 No.142 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	T.P.21.2m	B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (-)	堰	既設	1	33.5m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設	1	33.5m (区画境界③) 堰 (-)	堰	既設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違          記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																														
原子炉建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		D/G(II)PCS室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																																																																														
		原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																																																																														
	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																													
主排気ダクト連絡トレンチ			水密扉	新設	1																																																																																																																																														
1F		1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		Rw制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																														
原子炉補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		水密扉 No.142 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																														
		A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																														
		A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																														
		B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																														
	T.P.21.2m	B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																														
			水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																													
	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (-)	堰	既設	1																																																																																																																																														
		33.5m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設	1																																																																																																																																														
		33.5m (区画境界③) 堰 (-)	堰	既設	1																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">制御建屋</td> <td rowspan="5">B2F</td> <td>制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B1F</td> <td>1S1 室 (C-B2F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>常用及び共通M/C、P/C室 【BSS 盤室境界】 (C-B1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室(B) (C-B1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)</td> <td>扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)</td> <td>扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1号MCR 境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1	制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1	制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1	B1F	1S1 室 (C-B2F-5)	水密扉	新設	1	計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1	計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1	常用及び共通M/C、P/C室 【BSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設	1	計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設	1	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設	1	1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設	1	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	2	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1	区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設	1	3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設	2	1号MCR 境界	水密扉	新設	1		<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																						
制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1																																																																																						
		制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1																																																																																						
		制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																						
		T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																																						
		1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																						
	B1F	1S1 室 (C-B2F-5)	水密扉	新設	1																																																																																						
		計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1																																																																																						
		計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1																																																																																						
		常用及び共通M/C、P/C室 【BSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																						
		計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設	1																																																																																						
	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																																						
		1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																						
		1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																						
		1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	2																																																																																						
		補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																						
	2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																																																																						
		区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設	1																																																																																						
	3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設	2																																																																																						
		1号MCR 境界	水密扉	新設	1																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

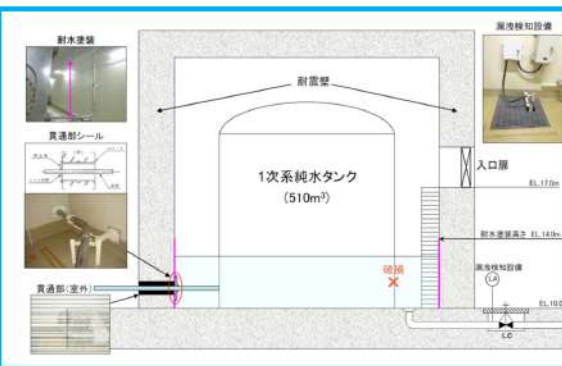
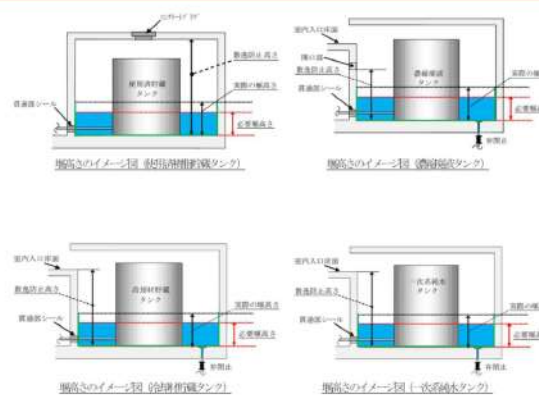
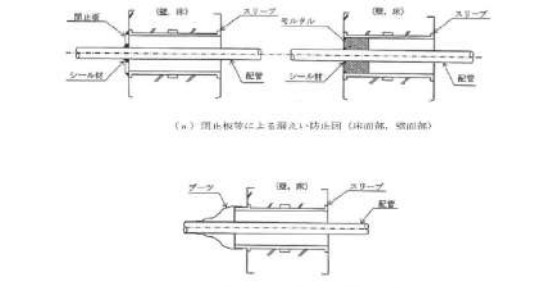

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>別紙1</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。</p> <p>記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。</p> <p>（泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。）</p> <p>【伊方】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																	
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>炉内容量</th> <th>電源種</th> <th>溢水高さ</th> <th>耐水塗膜高さ</th> <th>区画入口高さ</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵炉A</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>204基</td> <td>150</td> <td>3.06<sup>①</sup></td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵炉B</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵炉A</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵炉B</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂炉</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>原液貯蔵炉A</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>原液貯蔵炉B</td> <td>A/B EL.3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水炉</td> <td>B/F EL.10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液投入炉A</td> <td>A/F EL.10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液投入炉B</td> <td>A/F EL.10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮液炉</td> <td>A/B EL.10.0m</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0.8</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮液投入炉</td> <td>A/B EL.10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：冷却材貯蔵タンクは2基で400%（304m<sup>3</sup>）以上の受入余裕を確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（受入率インターロック閉止水位）×2基の水量（548m<sup>3</sup>）を適用した。（冷却材貯蔵タンク等A、B型は普通定で適用）</p> <p>②：区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していないが「学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規程・同解説（日本建築学会、2005年）「19条 耐震壁の断面算定」第5項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の縦筋配置、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電源種	溢水高さ	耐水塗膜高さ	区画入口高さ	区画壁	冷却材貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	204基	150	3.06 <sup>①</sup>	3.7	3.7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵炉B	A/B EL.3.3m							使用済樹脂貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂貯蔵炉B	A/B EL.3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂炉	A/B EL.3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)	原液貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	原液貯蔵炉B	A/B EL.3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	一次系純水炉	B/F EL.10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)	濃縮液投入炉A	A/F EL.10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	濃縮液投入炉B	A/F EL.10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮液炉	A/B EL.10.0m	12	10	0.8	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮液投入炉	A/B EL.10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	<p>表1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>壁面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗膜高さ (cm)</th> <th>区画入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>補助建屋 T.P.17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉 建屋 T.P.17.8m</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、  「②鉄筋コンクリート構造計算規程・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	壁面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗膜高さ (cm)	区画入口高さ (cm)	区画壁	A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮液貯蔵タンク	補助建屋 T.P.17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	補助建屋 T.P.2.8m	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク		70	一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P.17.8m	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>表1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉鎖としており、水密区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】  <a href="#">設計方針の相違</a>          伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【伊方】  <a href="#">記載表現の相違</a>          泊は漏えい検知器若しくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電源種	溢水高さ	耐水塗膜高さ	区画入口高さ	区画壁																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	204基	150	3.06 <sup>①</sup>	3.7	3.7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉B	A/B EL.3.3m																																																																																																																																																																			
使用済樹脂貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂貯蔵炉B	A/B EL.3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂炉	A/B EL.3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
原液貯蔵炉A	A/B EL.3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
原液貯蔵炉B	A/B EL.3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
一次系純水炉	B/F EL.10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
濃縮液投入炉A	A/F EL.10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
濃縮液投入炉B	A/F EL.10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
予備濃縮液炉	A/B EL.10.0m	12	10	0.8	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
洗浄排水濃縮液投入炉	A/B EL.10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	壁面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗膜高さ (cm)	区画入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																													
A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																													
B-濃縮液貯蔵タンク	補助建屋 T.P.17.8m	25																																																																																																																																																																		
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																													
B-使用済樹脂貯蔵タンク	補助建屋 T.P.2.8m	70																																																																																																																																																																		
C-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																																		
一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P.17.8m	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

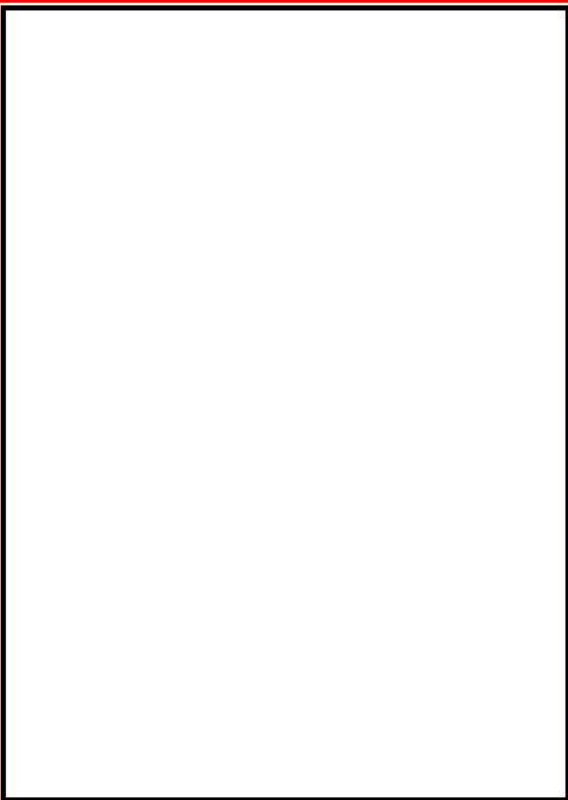
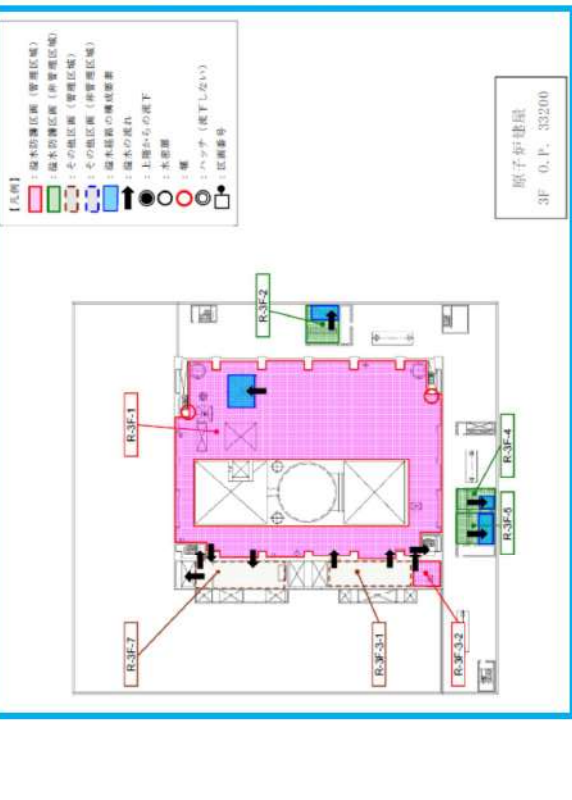
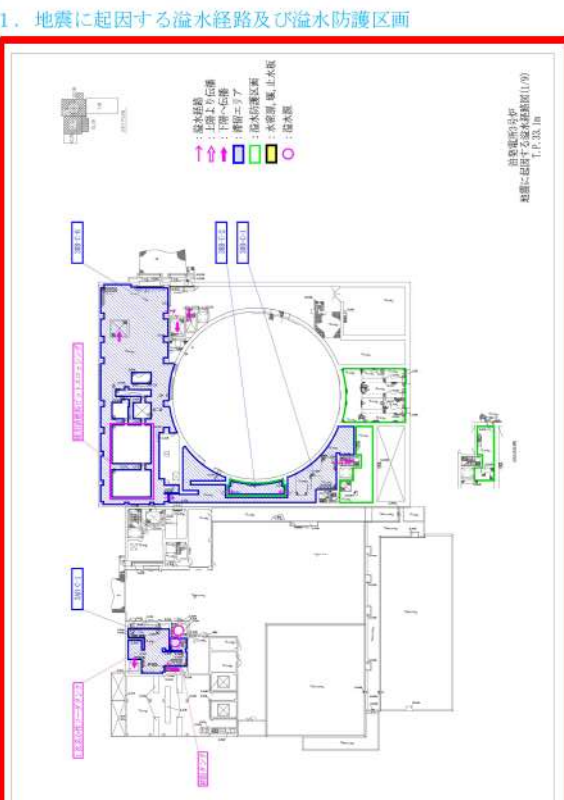
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>  <p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		 <p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>  <p>図2 貫通部シール施工概要図</p> <p>&lt;現地施工状況例&gt;</p>  <p>図3 貫通部シール施工例</p>	<p>【伊方】                  記載表現の相違                  ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。                  ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び貫通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁はマッシブな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 <math>S_s</math> による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であるが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討した結果、最大残留ひび割れ幅は「維持管理指針」に示される評価基準である「0.2mm」を超えないことを確認した。補足説明資料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」に検討結果を示す。</p>	<p><b>【伊方】</b>  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊方は対象の隔壁を総称してマッシブな鉄筋コンクリートと表現しているが、泊は耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁として分類し、記載している。（補足説明資料29）</li> <li>・検討結果より、最終貯留区画の耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁において、ひび割れによる漏水が極めて少量であり、溢水影響評価へ影響しないことを確認した。</li> </ul>

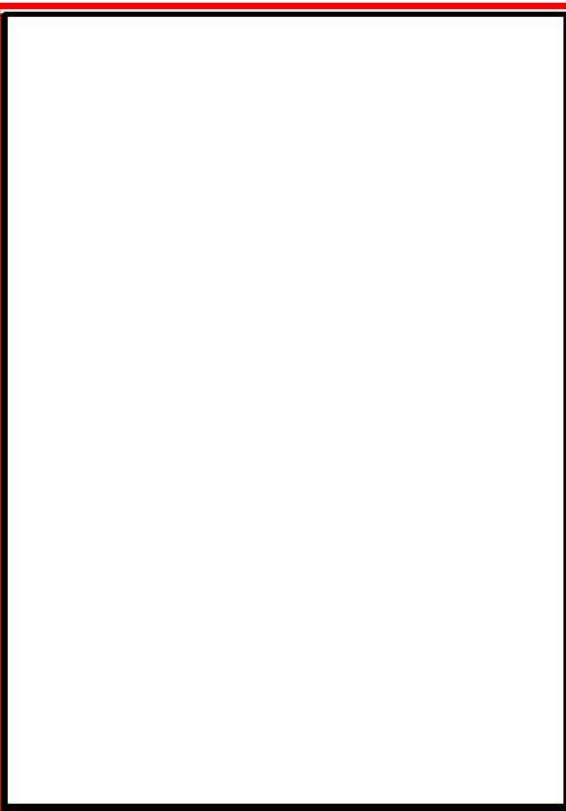
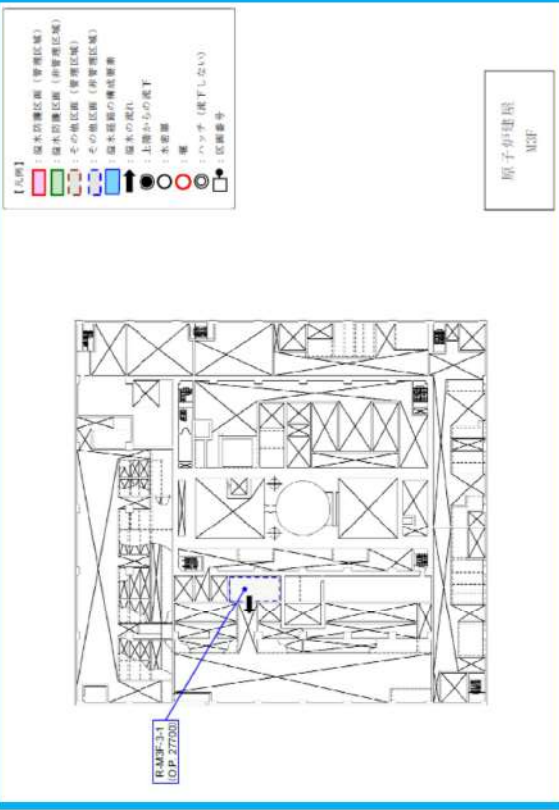
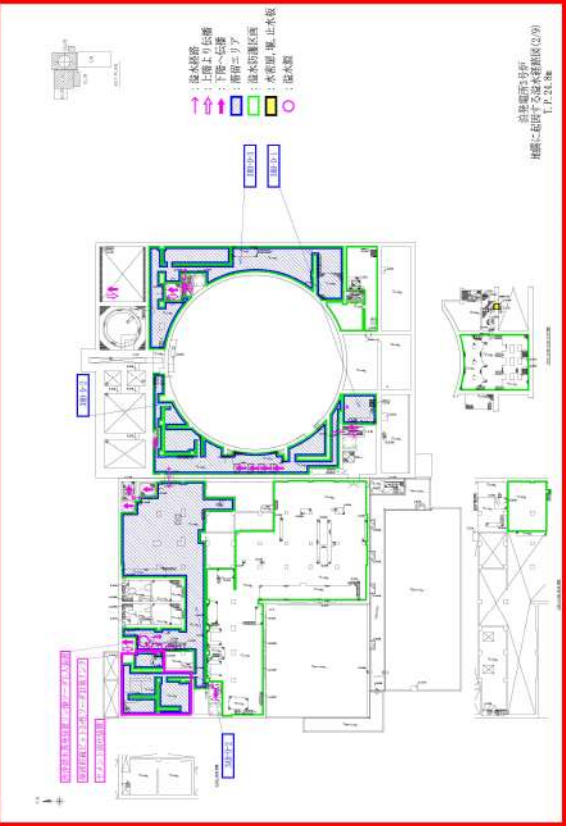
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>女川原子力発電所2号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>泊発電所3号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大阪】                  記載表現の相違</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

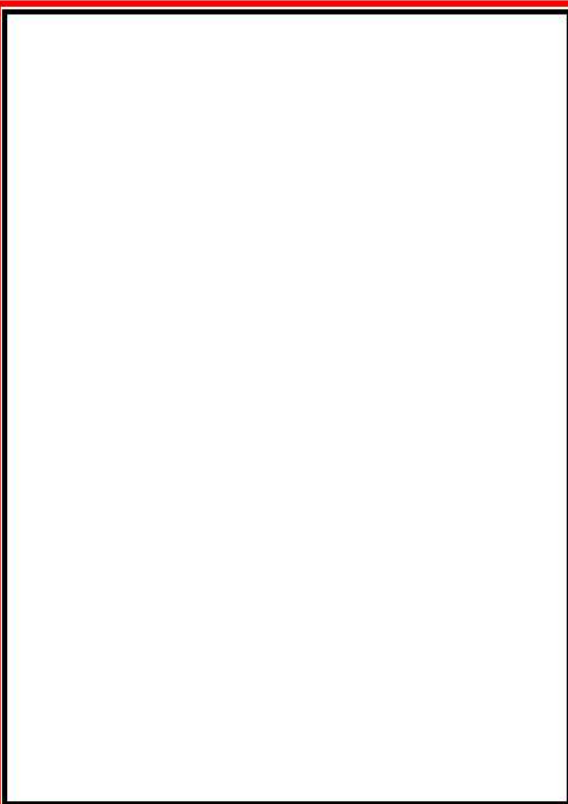
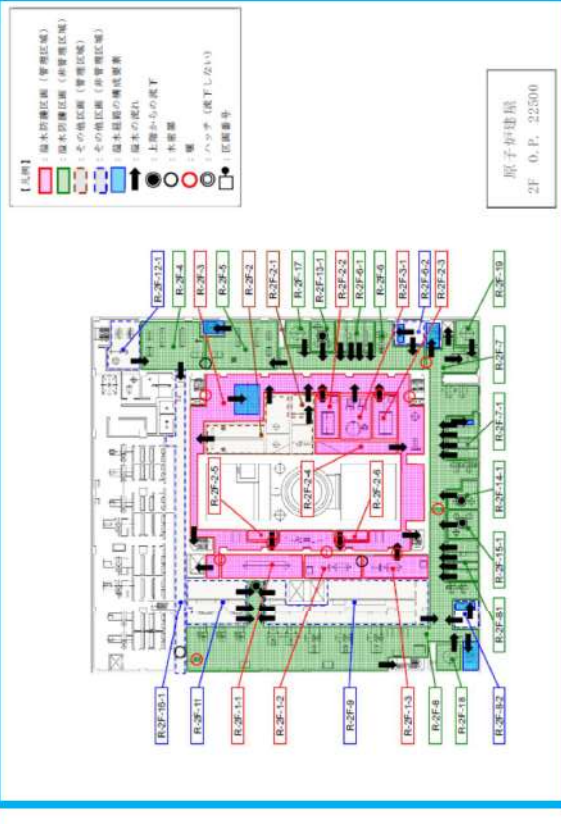
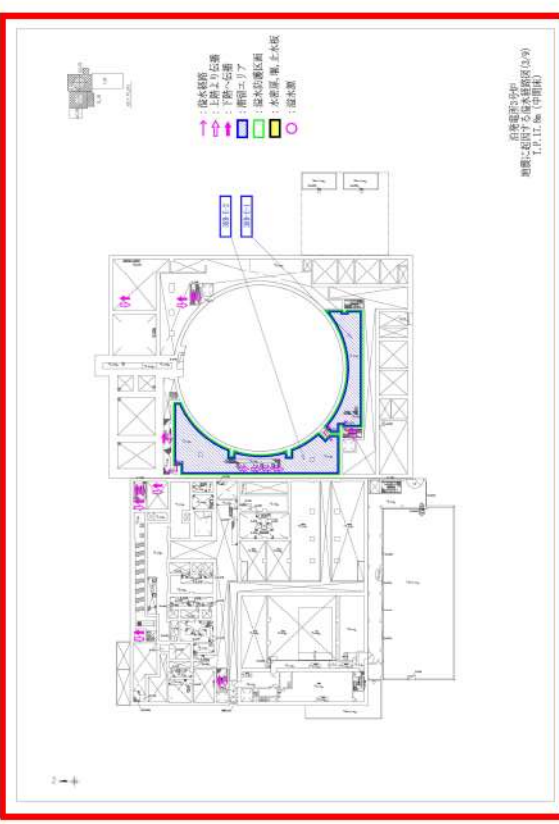
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

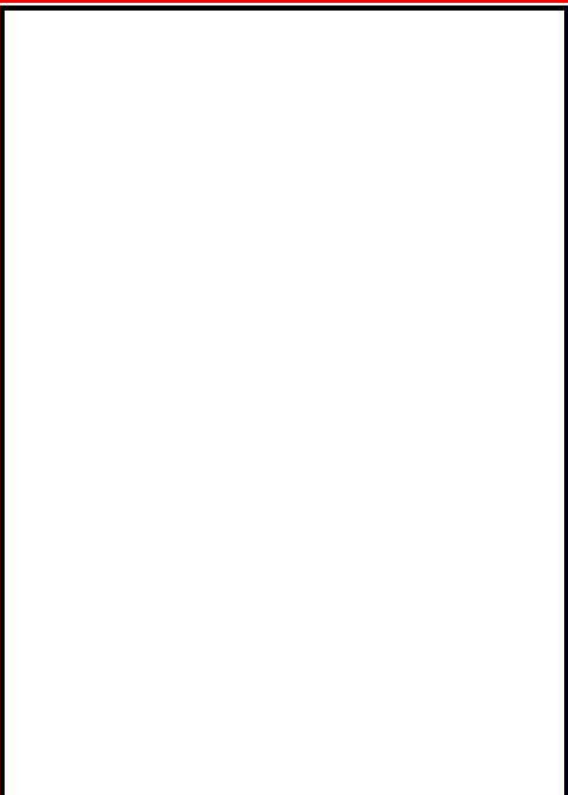
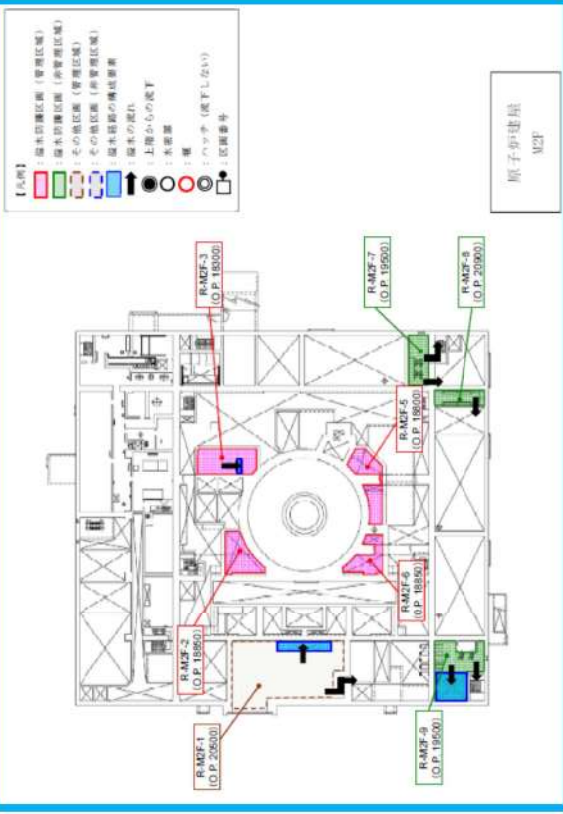
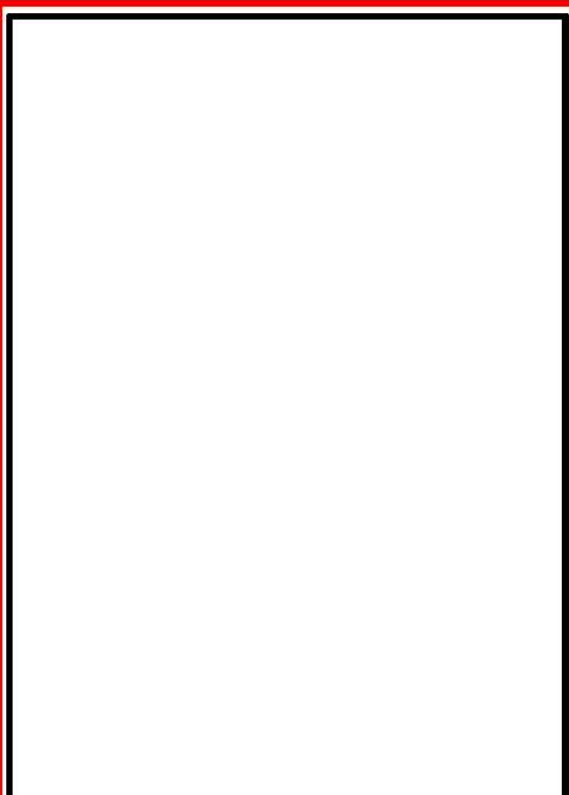
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="295 140 499 164">大阪発電所3/4号炉</p> <p data-bbox="116 1024 680 1050">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="878 140 1095 164">女川原子力発電所2号炉</p> <p data-bbox="1200 258 1249 343">原子炉建屋 MDF</p> <p data-bbox="714 199 938 391">【凡例】              ■：溢水防護区域（管理区域）              ■：溢水防護区域（非管理区域）              ■：その他区域（管理区域）              ■：その他区域（非管理区域）              ■：溢水部の構成要素              ■：溢水の流れ              ■：上層からの落下              ■：本装置              ■：扉              ■：のりかみ（取り除かない）              ■：区域番号</p> <p data-bbox="855 906 884 970">RAMP 3.1 IDP 27720</p>	 <p data-bbox="1505 140 1644 164">泊発電所3号炉</p> <p data-bbox="1809 199 1836 343">溢水防護区域（管理区域） L1、L2、L3、R6</p> <p data-bbox="1473 199 1579 311">↑↑↑↑↑↑↑↑              ■：溢水防護区域              ■：溢水の発生              ■：溢水の停止</p> <p data-bbox="1361 427 1391 491">RAMP 3.1 IDP 27720</p> <p data-bbox="1361 906 1391 970">RAMP 3.1 IDP 27720</p>	<p data-bbox="1877 178 1933 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1995 236"><u>記載方針の相違</u></p> <p data-bbox="1877 252 2123 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1877 454 1933 475">【大阪】</p> <p data-bbox="1877 491 1995 512"><u>設計方針の相違</u></p> <p data-bbox="1877 528 2024 549">プラント設計の相違</p>



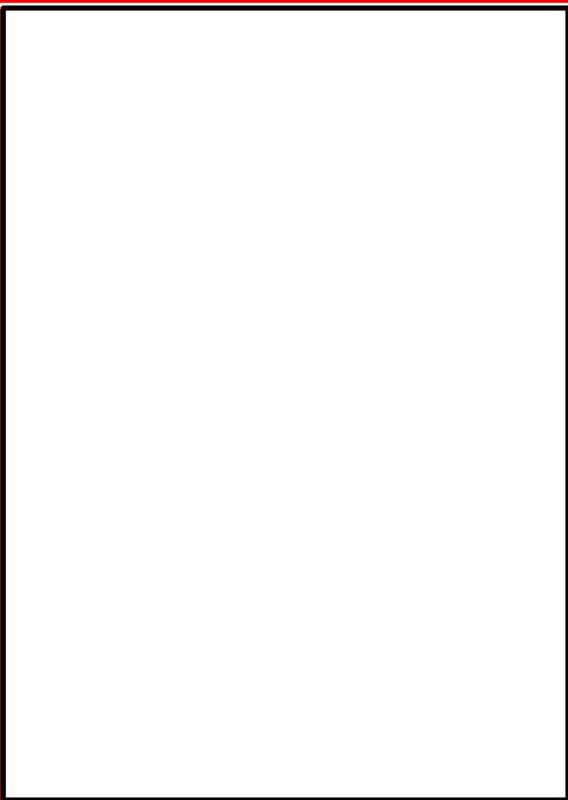
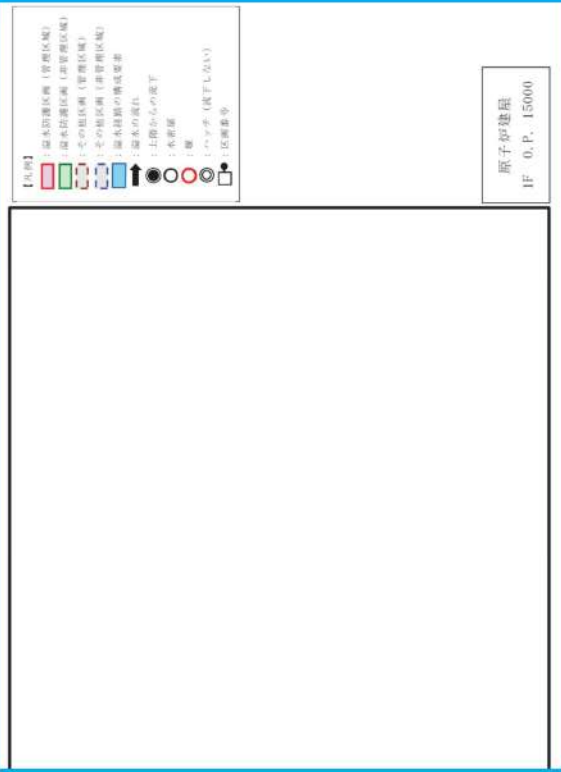
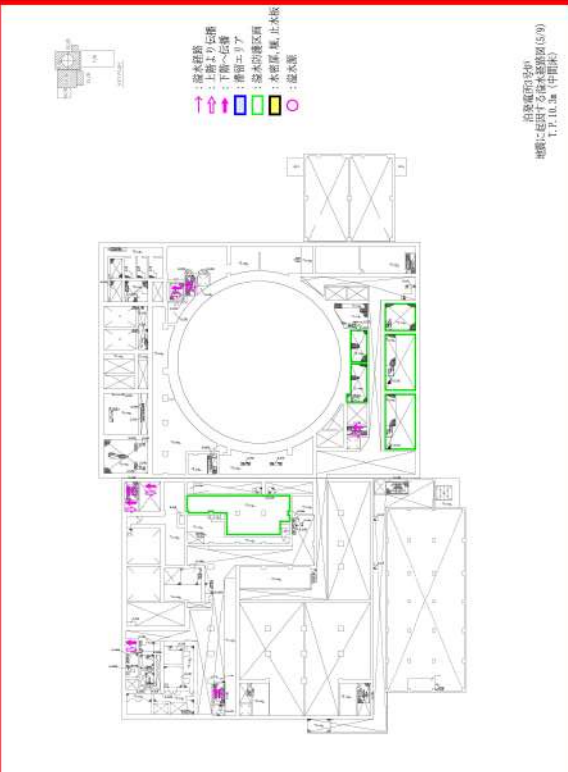
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 2F O.P. 22500</p>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

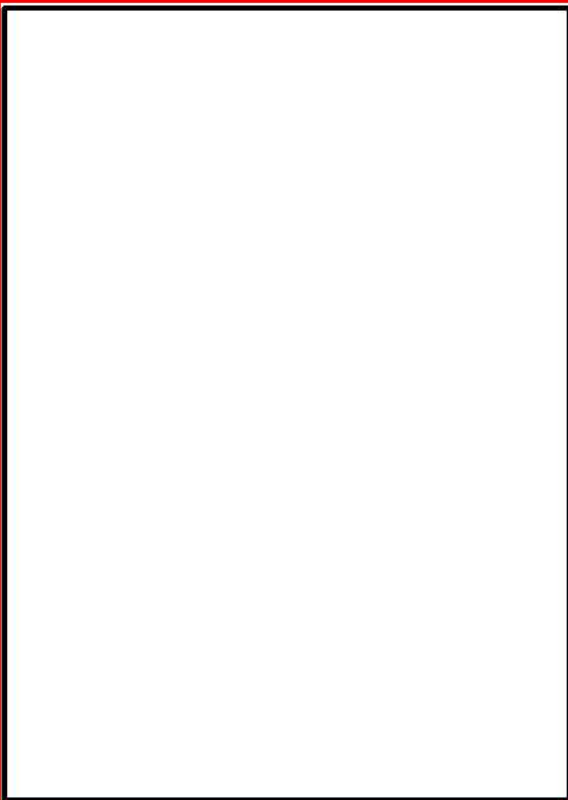
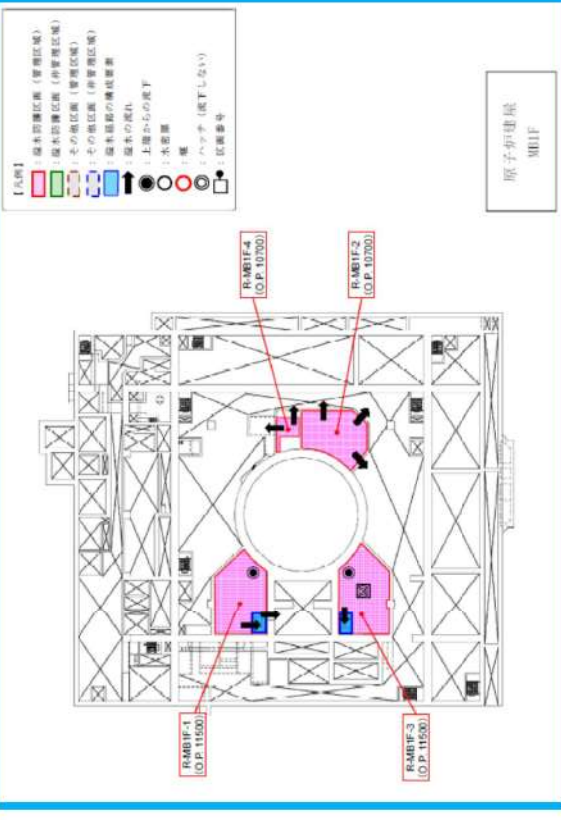
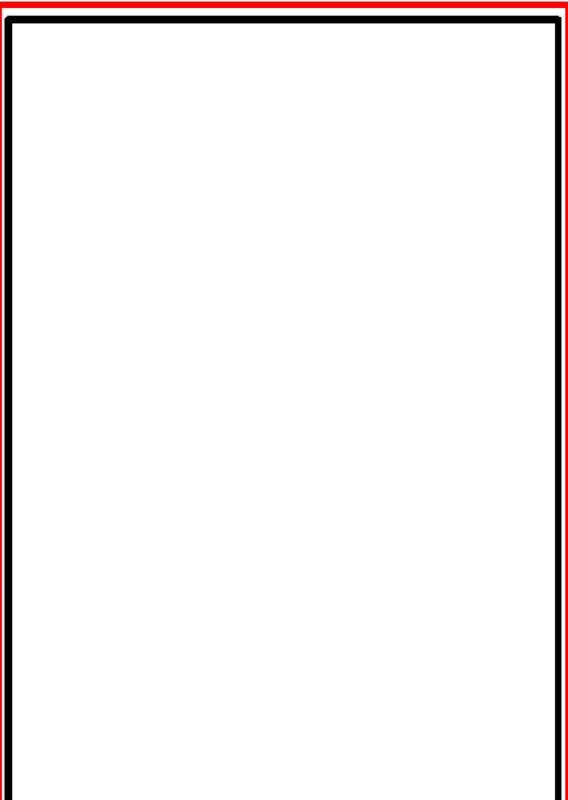
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

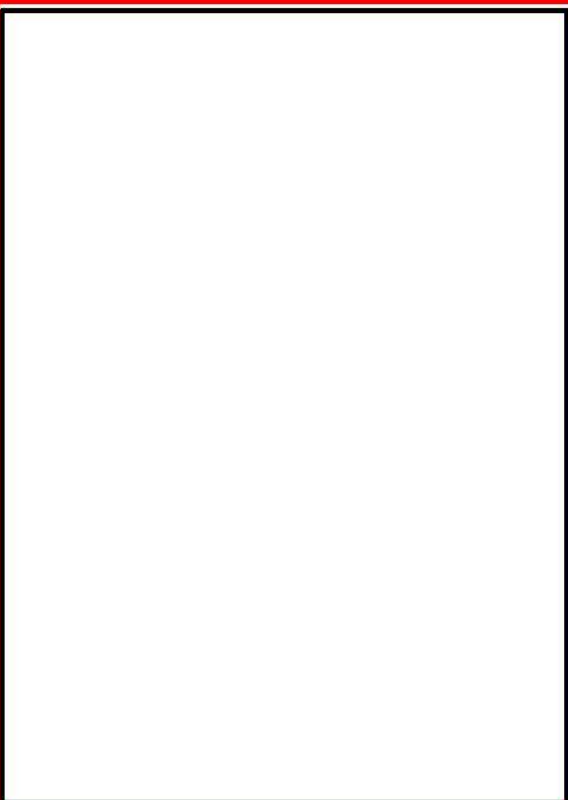

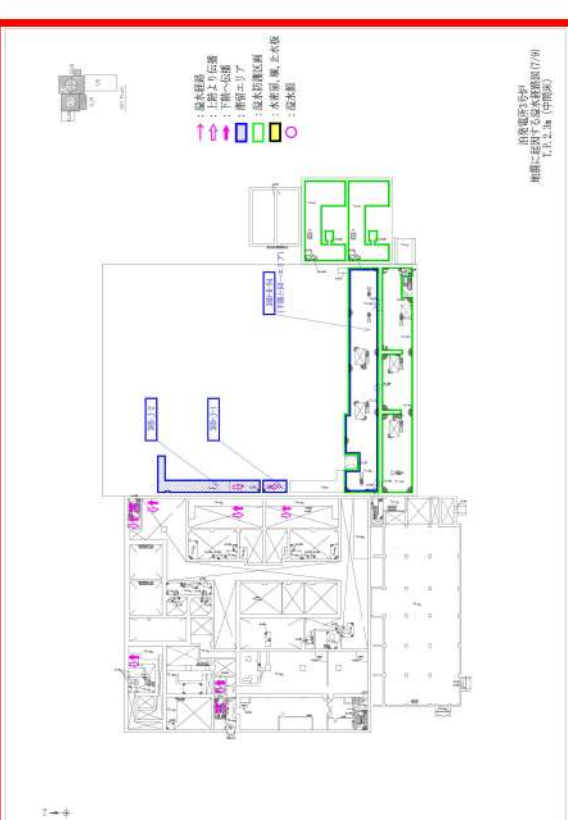
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: right;">原子力発電所 IF 0. P. 15000</p>		<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p><b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

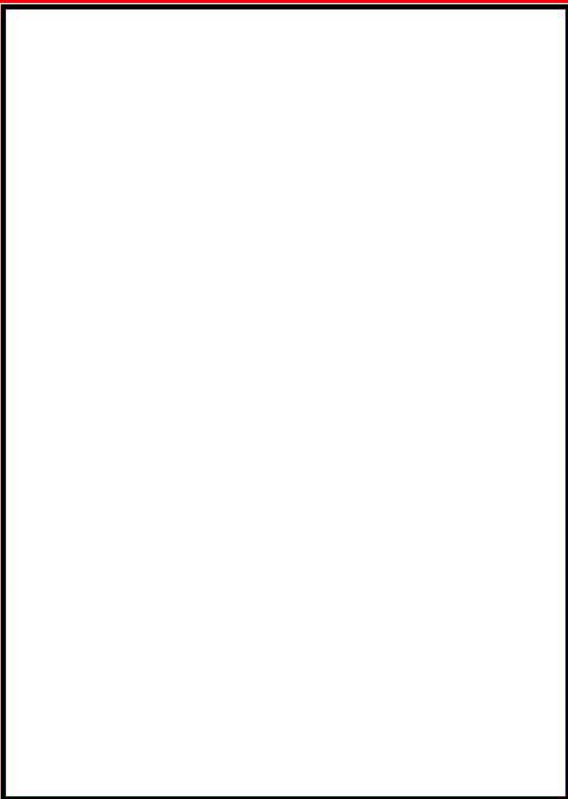
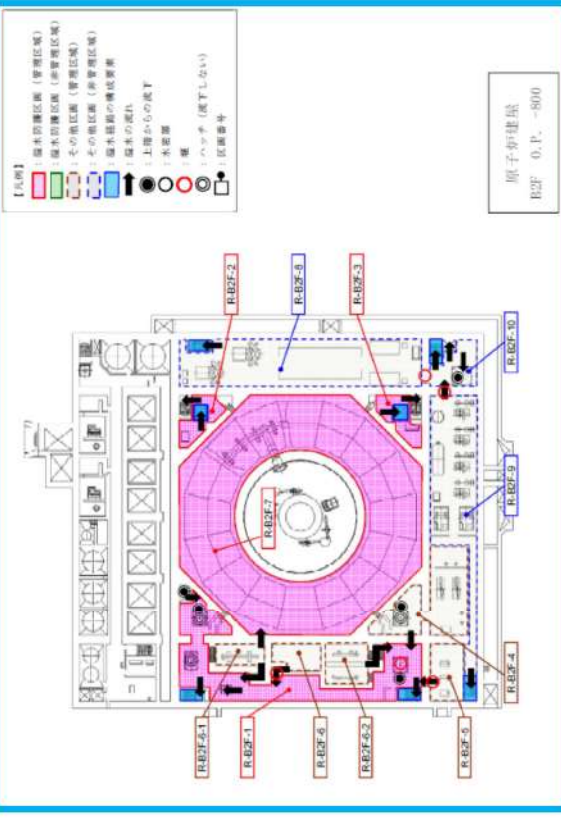
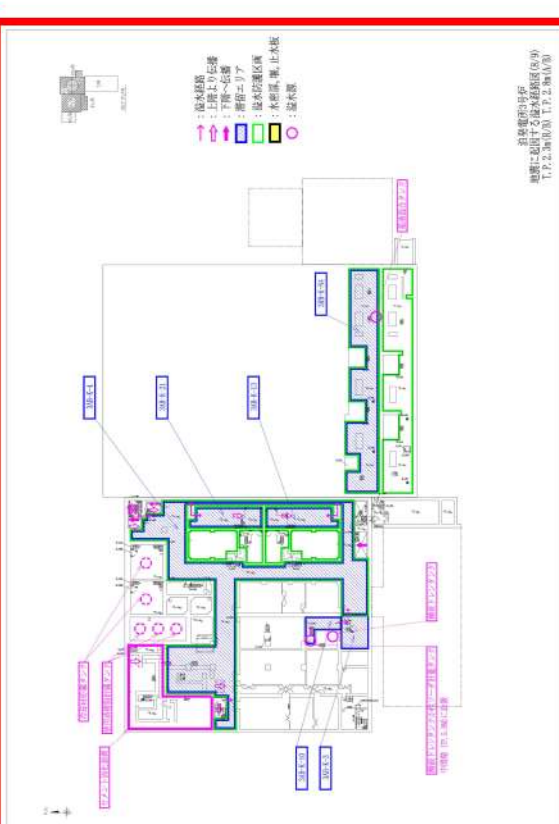
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>棒囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

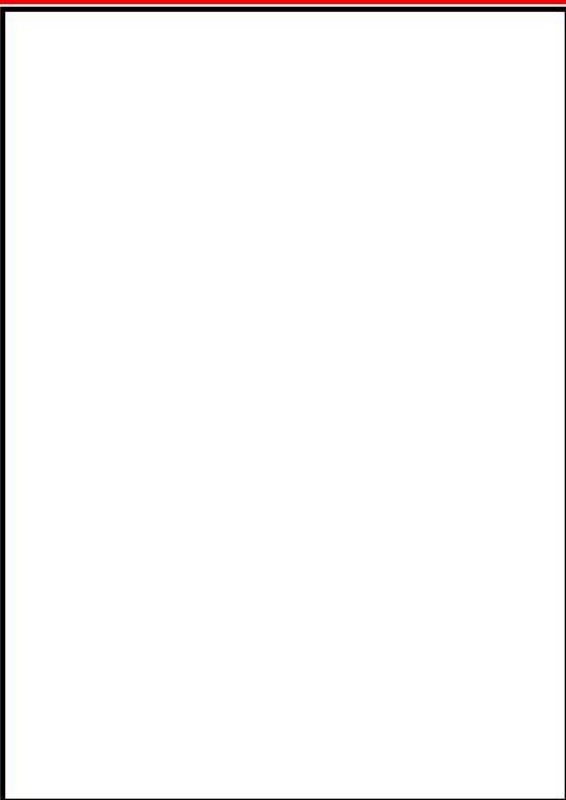

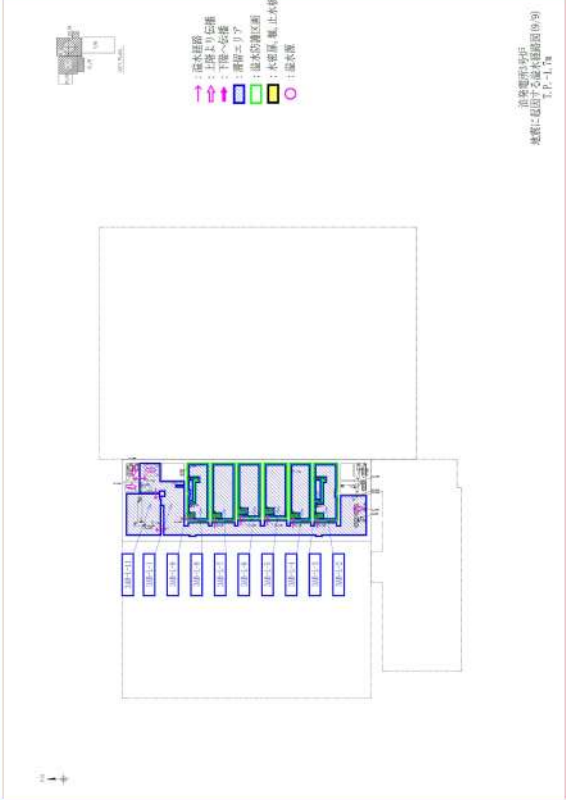
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

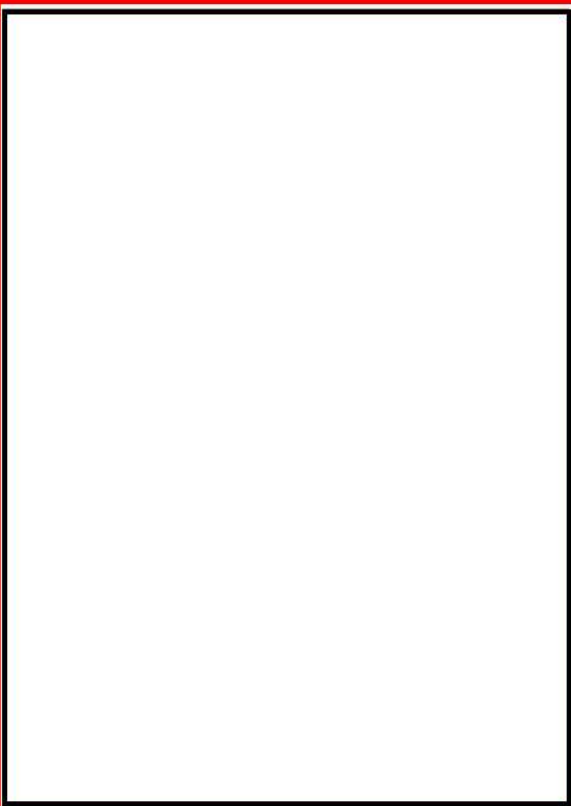
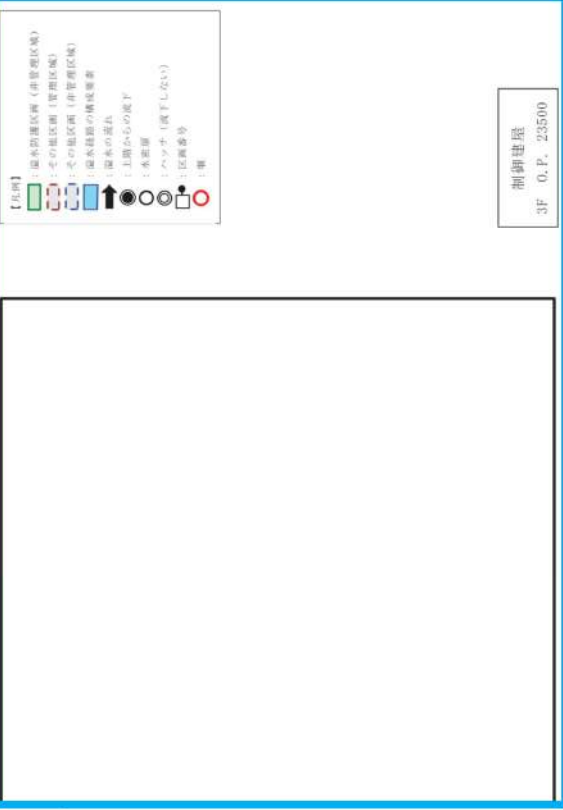
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: right;">原子炉建屋 B3F 0.F. -8100</p>		<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p><b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

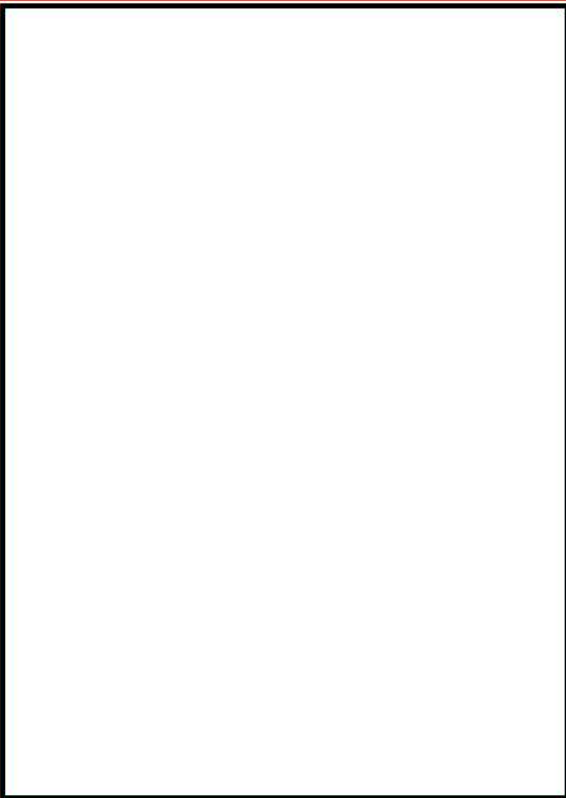
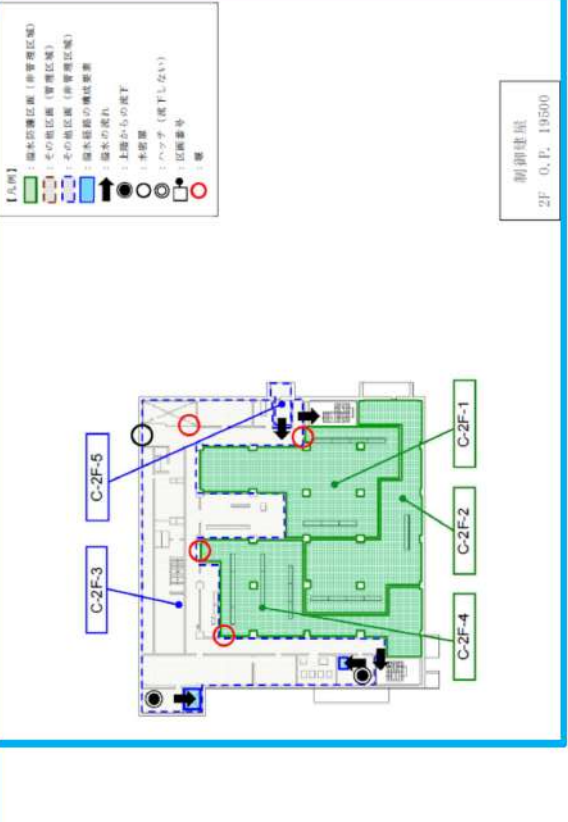
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1018 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1002 1254 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>

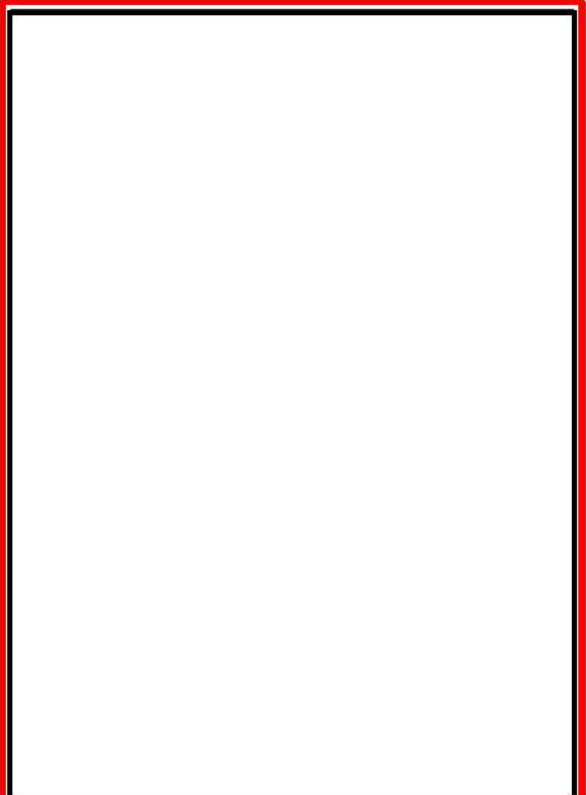
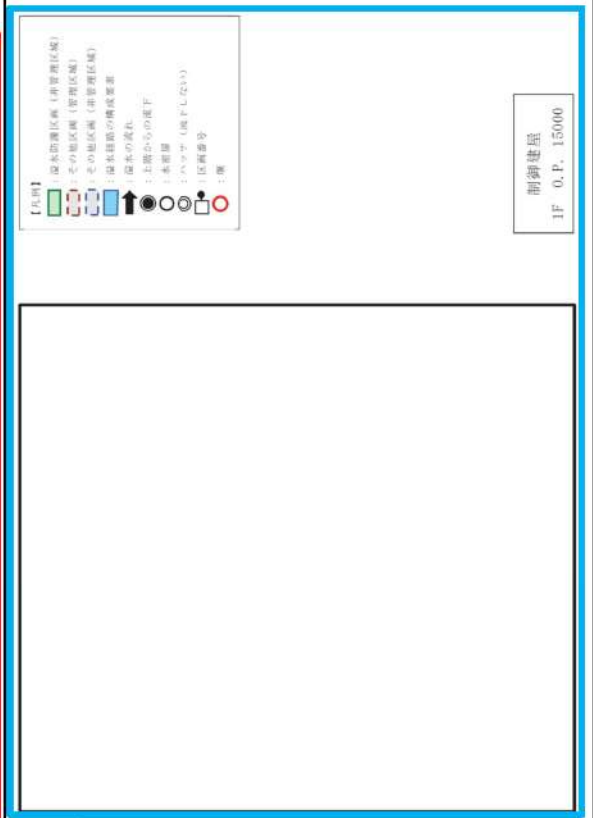


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

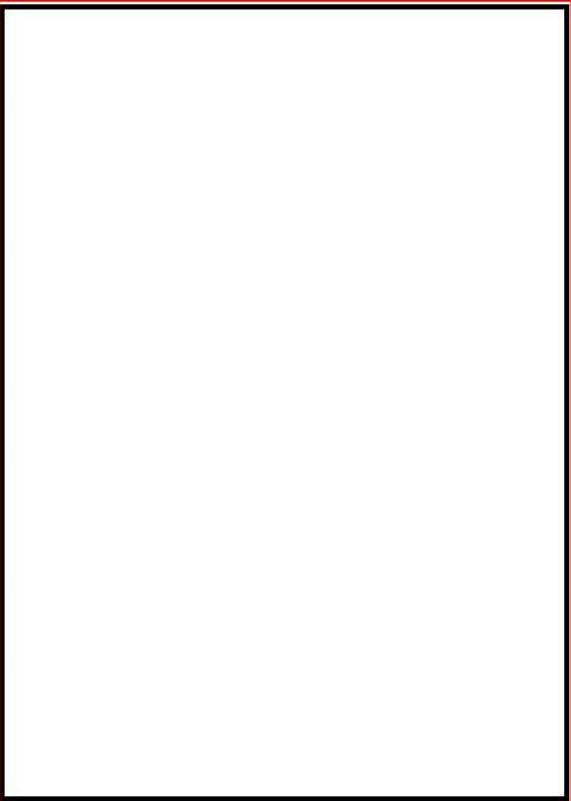
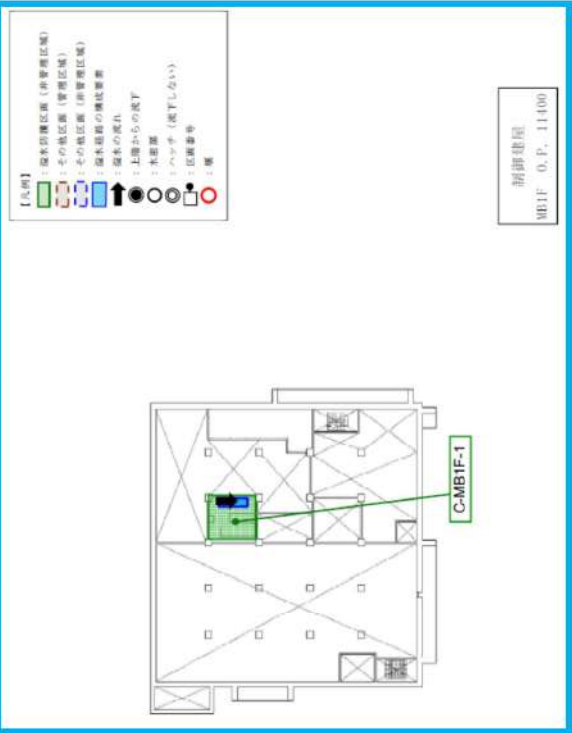
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

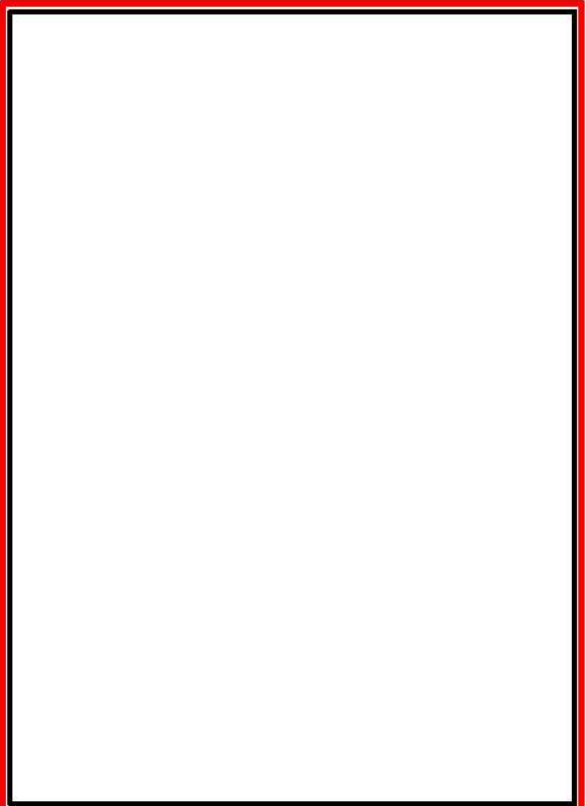
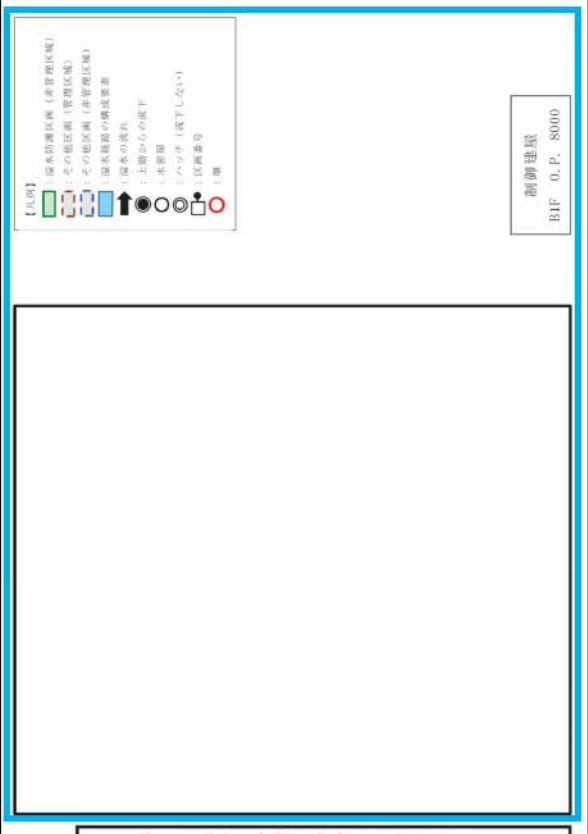
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 1021 672 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1005 1265 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1870 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 207 1993 231">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1870 239 2128 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1870 446 1937 470">【大阪】</p> <p data-bbox="1870 478 1993 502">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 510 2027 534">プラント設計の相違</p>

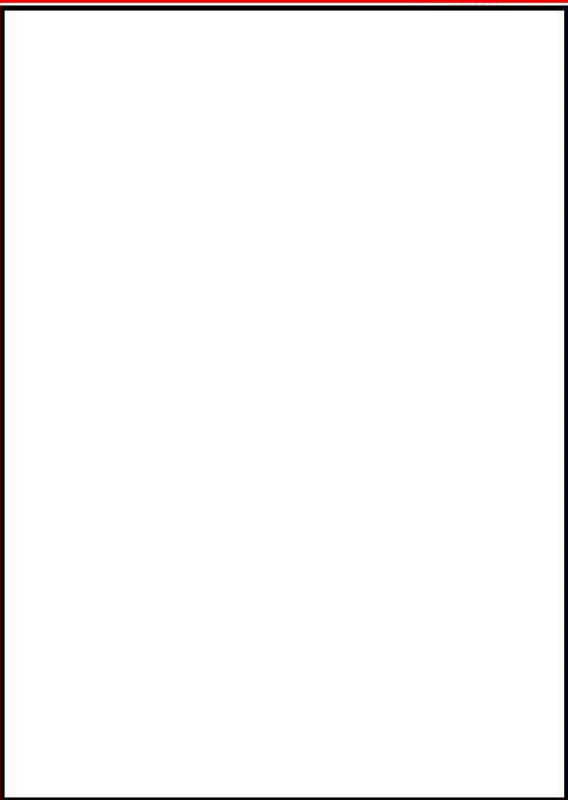
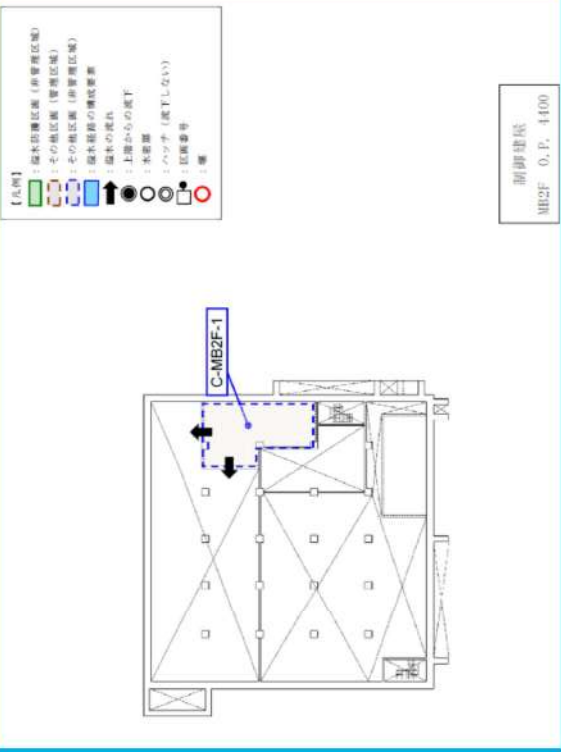
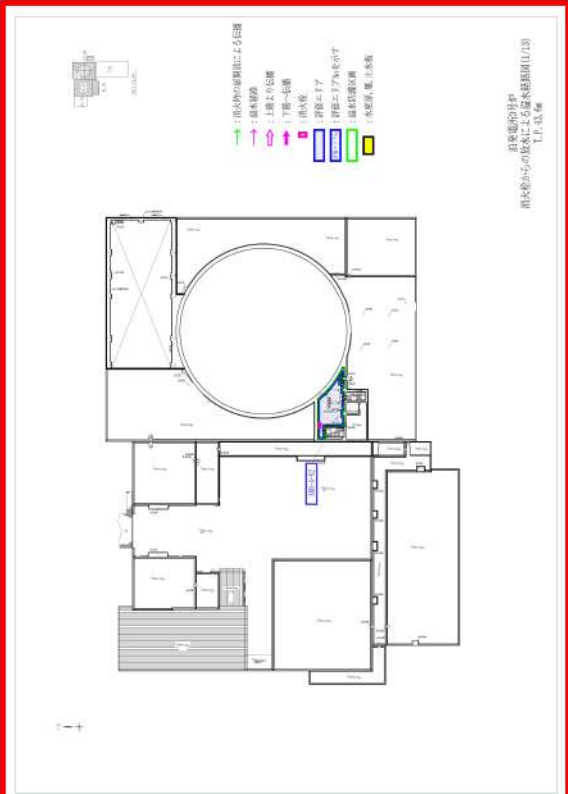
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

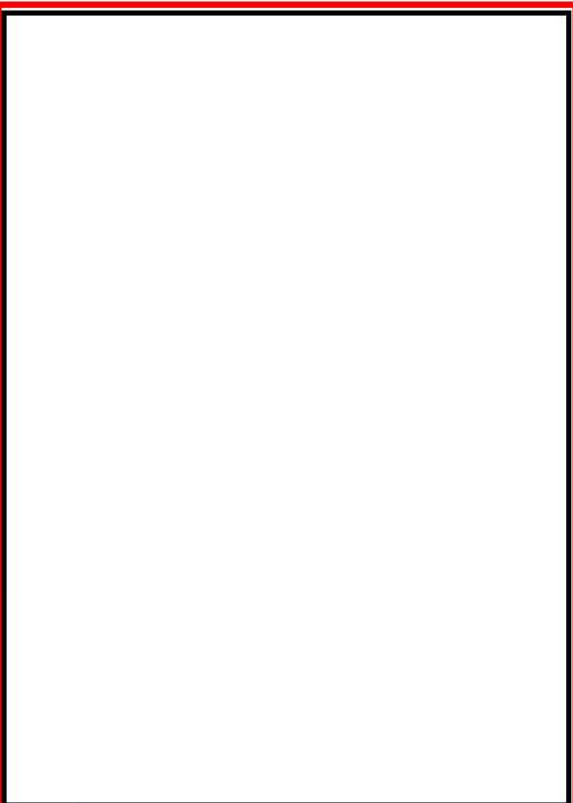
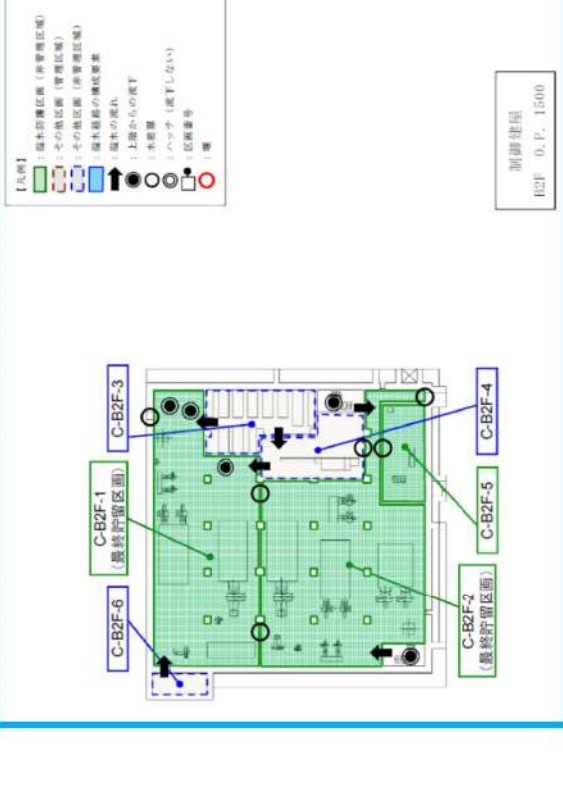
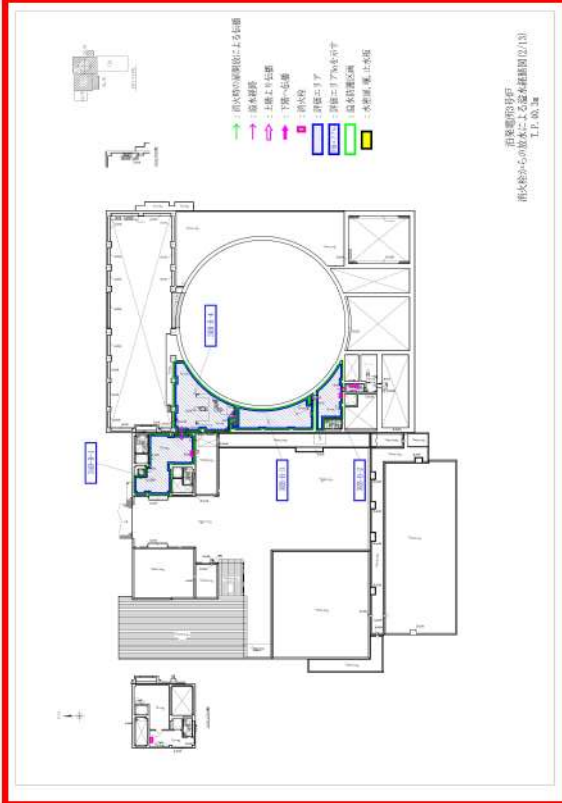
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 1021 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1013 1265 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1872 175 2130 446"> <b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）                 </p> <p data-bbox="1872 454 2130 542"> <b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

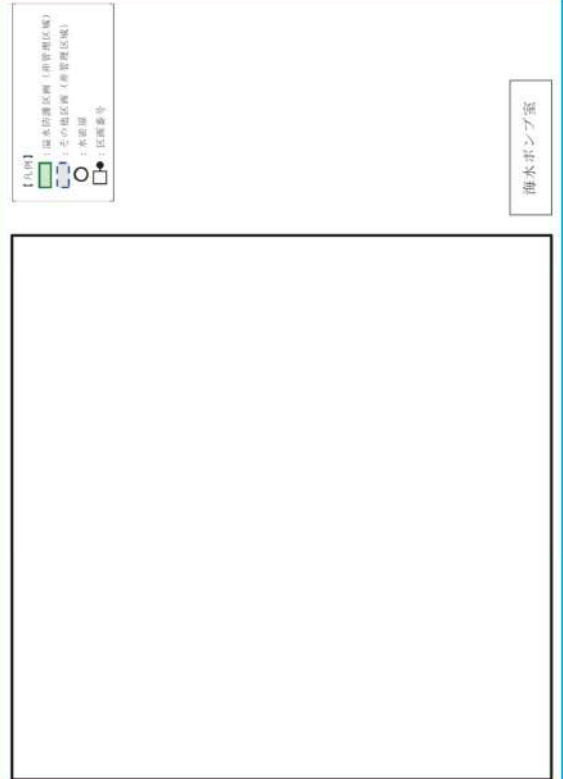
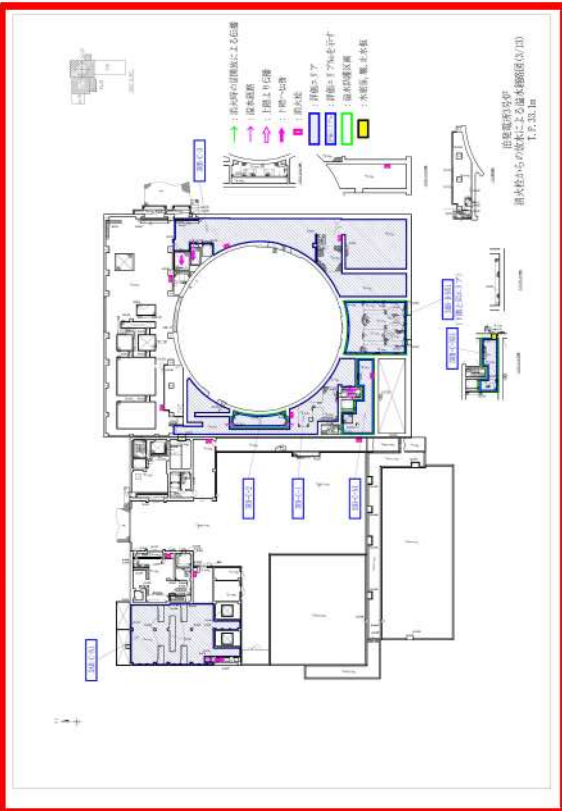
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料1.4.2-3</p> 	<p>新脚建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u>  <u>記載表現の相違</u></p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

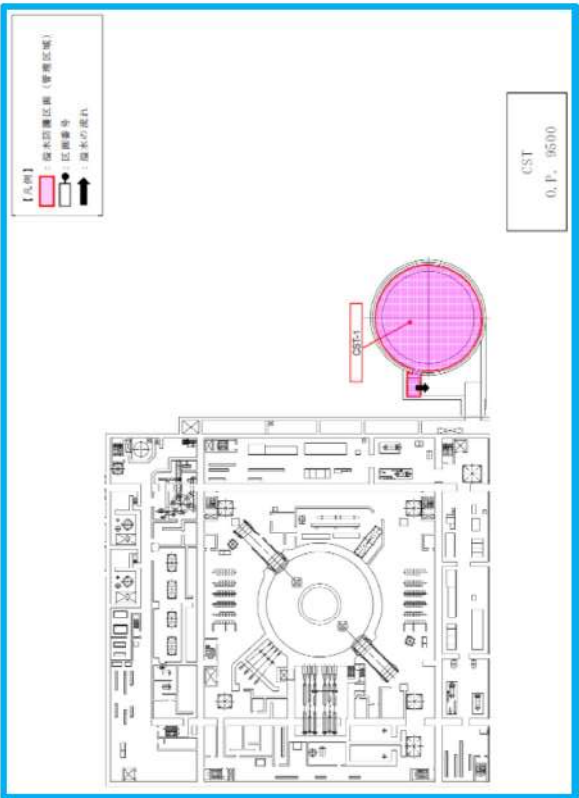
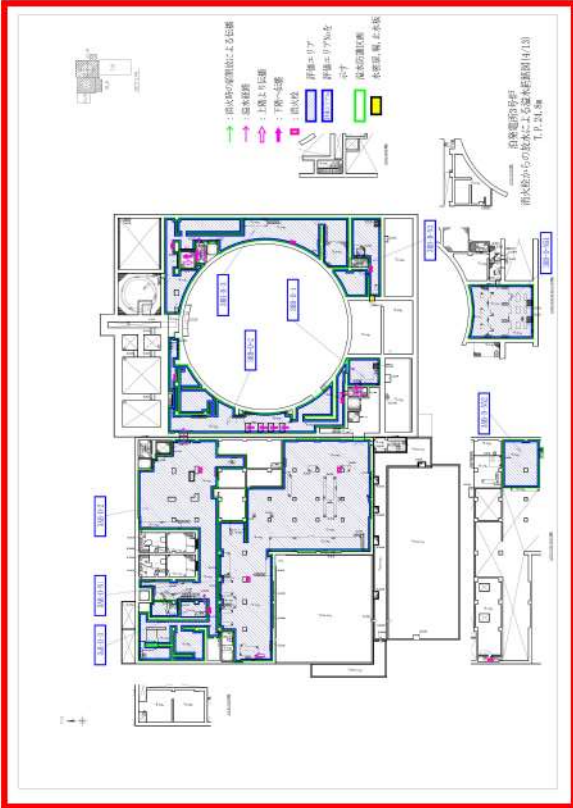
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 溢水防護区域（非常時区域）</li> <li>□ その他区域（非常時区域）</li> <li>● 水漏洩</li> <li>○ 区域番号</li> </ul> <p>海水ポンプ室</p> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 溢水防護区域（非常時区域）</li> <li>□ その他区域（非常時区域）</li> <li>● 水漏洩</li> <li>○ 区域番号</li> </ul> <p>海水ポンプ室</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p><u>プラント設計の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>



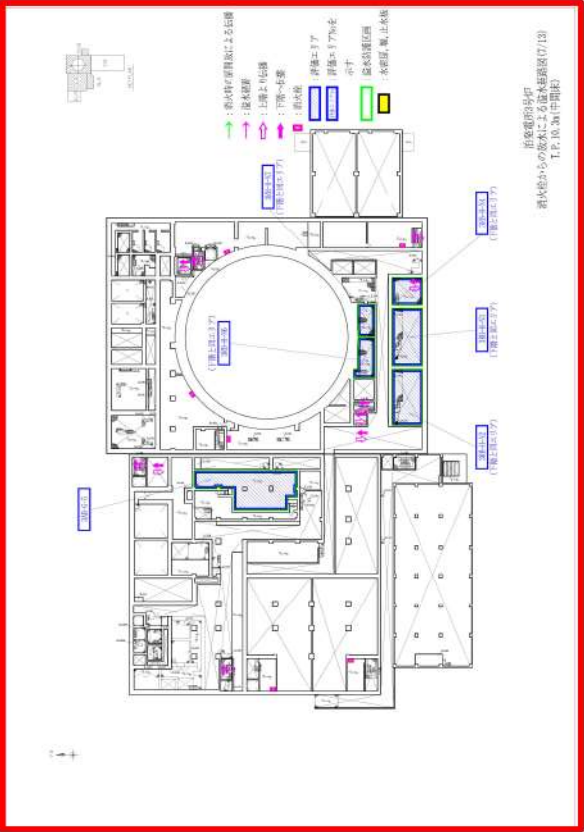
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <!-- Redacted content --> </div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </div>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>

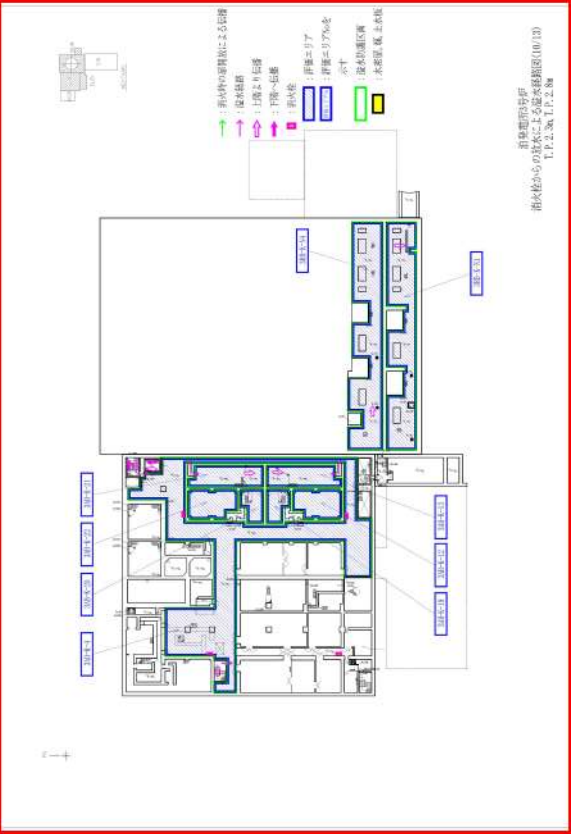
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
		<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	

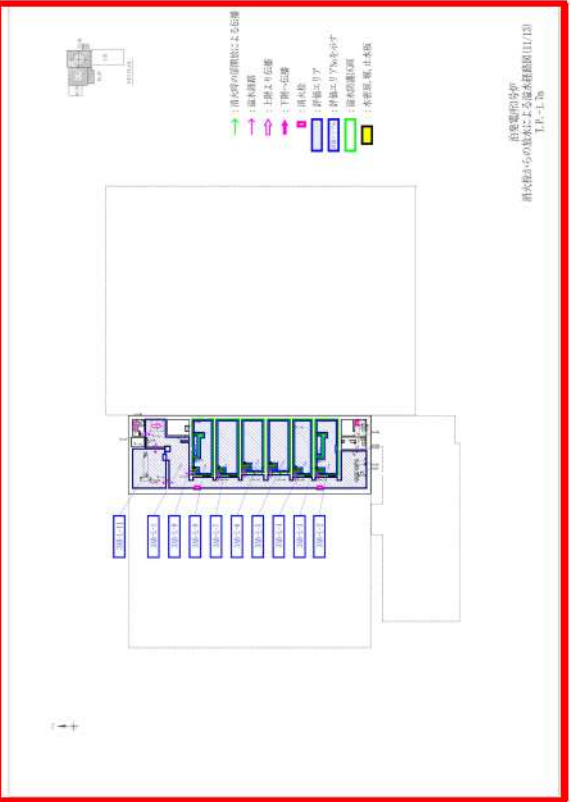
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

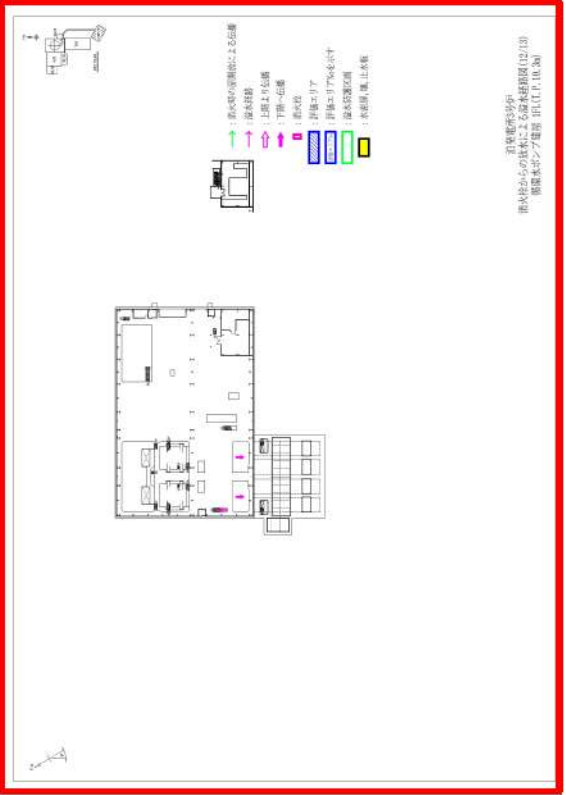
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

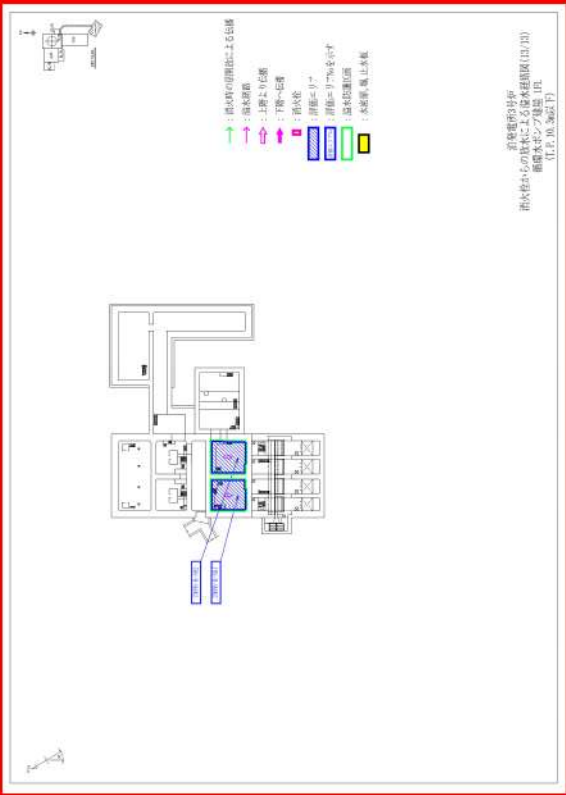
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

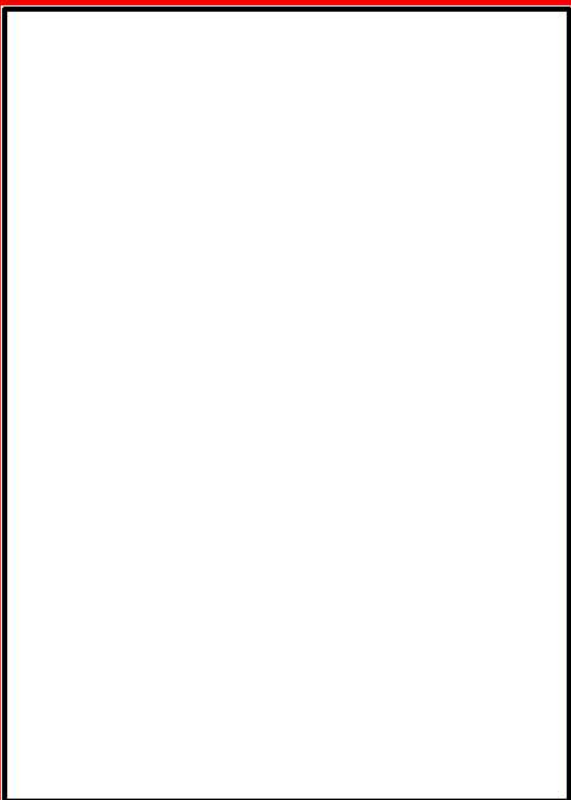
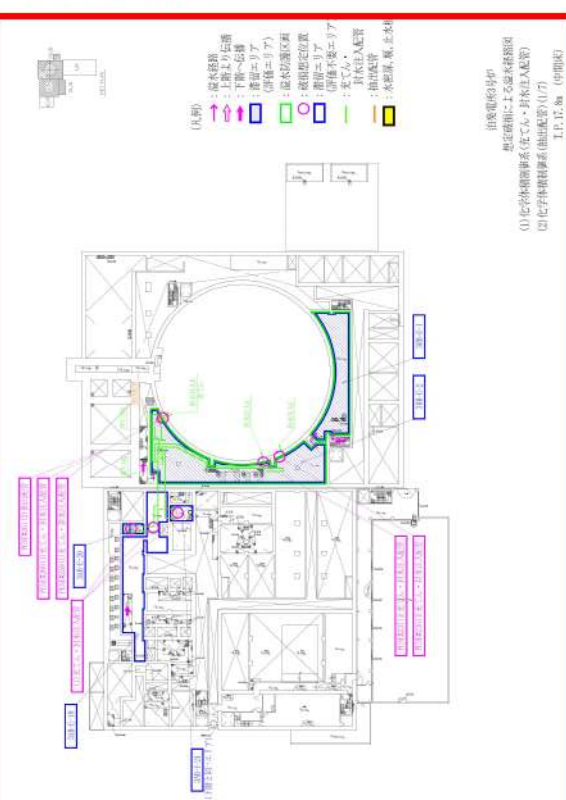
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>



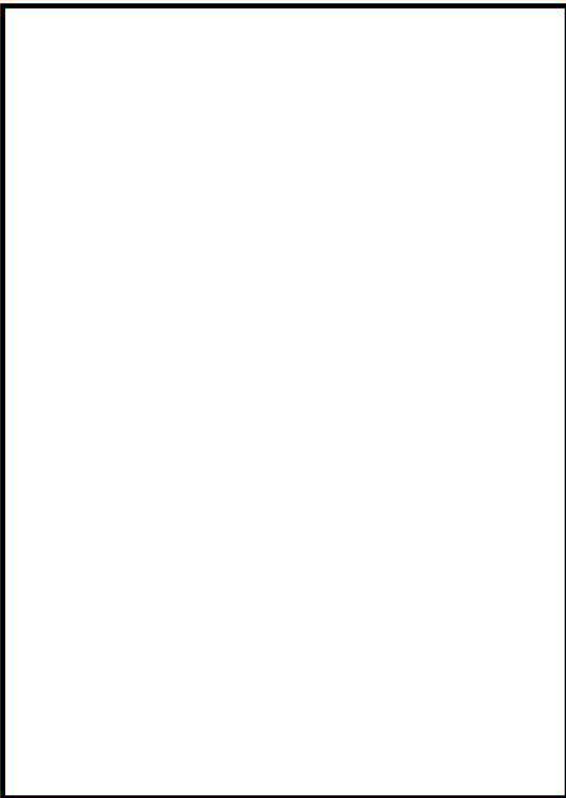
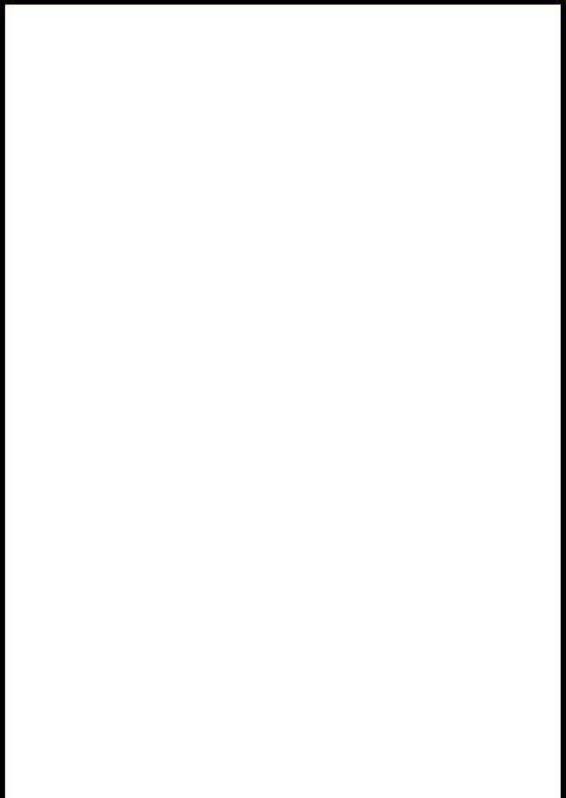
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

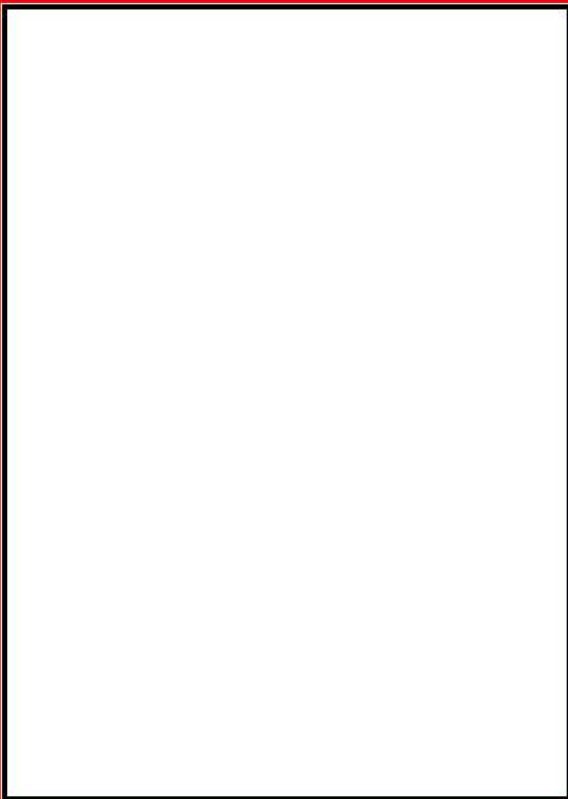
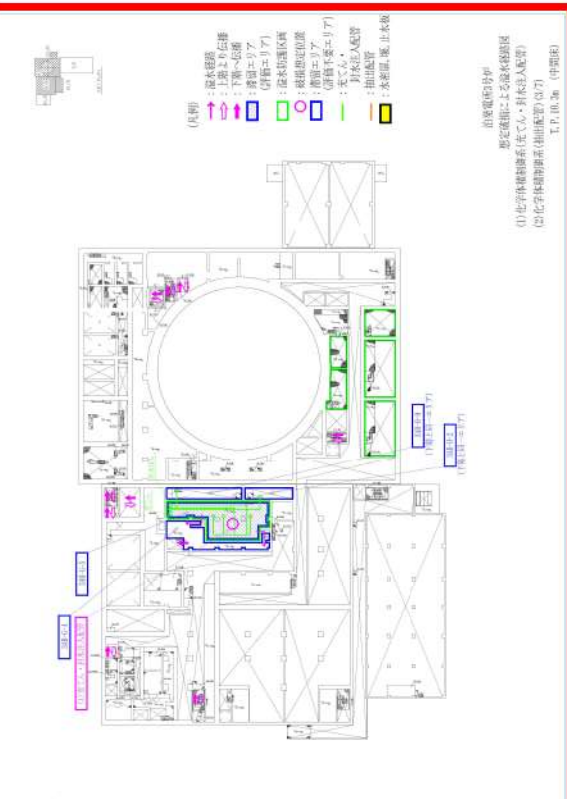
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                  (1) 化学体積制御系統</p>	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                  (1) 化学体積制御系統</p>  <p>田原電研の守り                  想定破損による溢水経路図                  (1) 化学体積制御系統(主待てん・封水注入配管)                  (2) 化学体積制御系統(抽出配管)(1/7)                  T.P.P.3.8 (中間図)</p>	<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画面図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

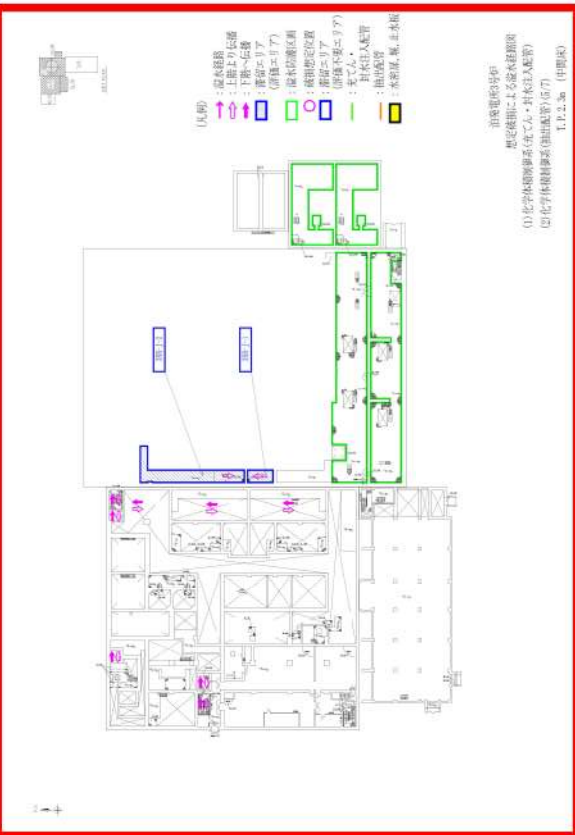
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

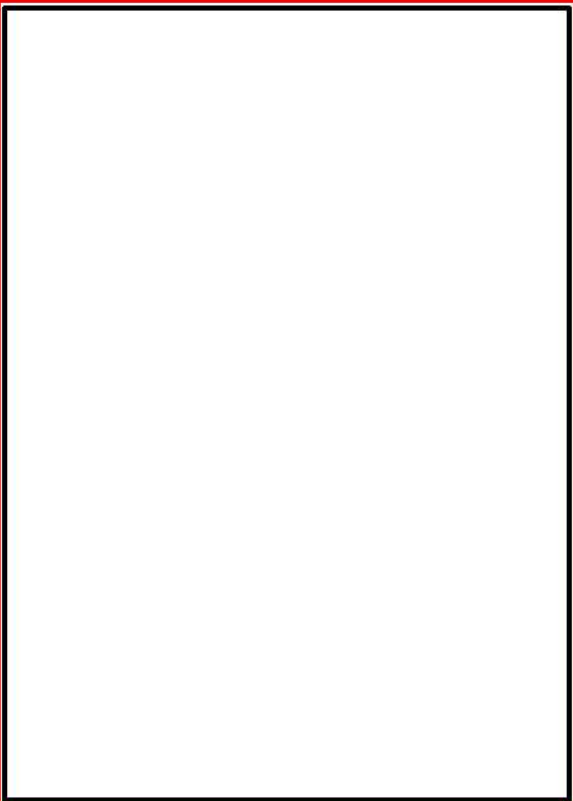
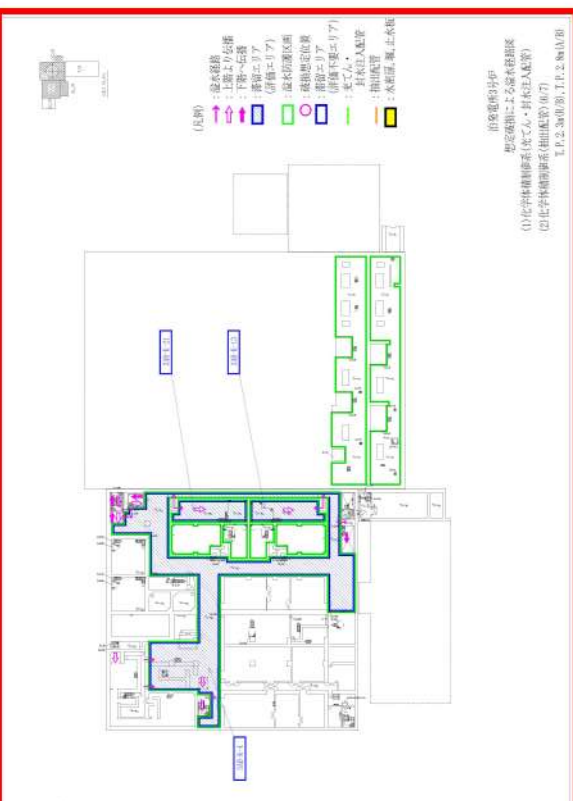
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

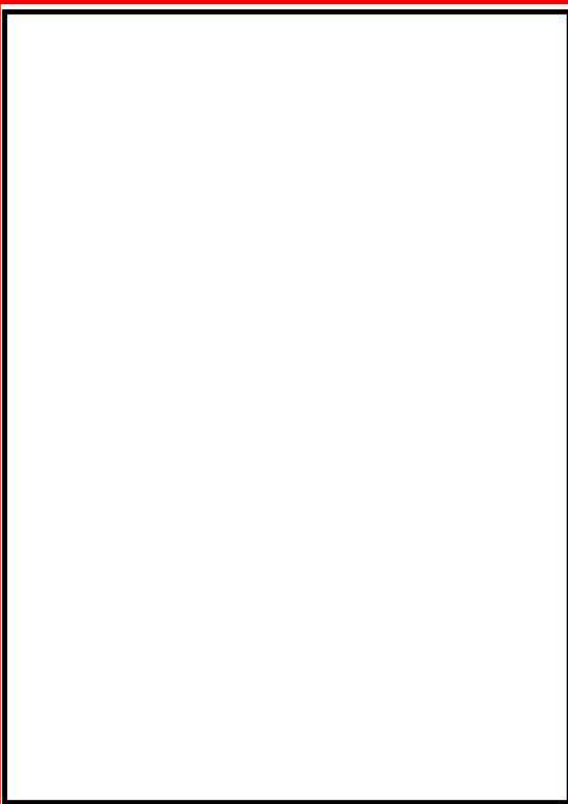
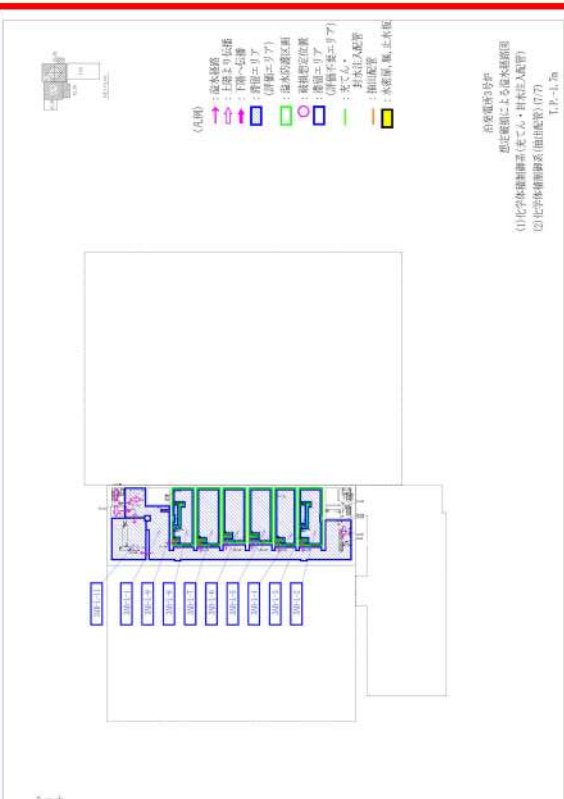
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;">  <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">(凡例) 赤字：設備、運用又は体制の相違                  青字：記載箇所又は記載内容の相違                  緑字：記載表現、設備名称の相違</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">(0) 化学体積調整弁(注出風管) (57)                  (1) 化学体積調整弁(注出風管) (57)                  T.P.2.36 (中継区)</p> </div>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>←→</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

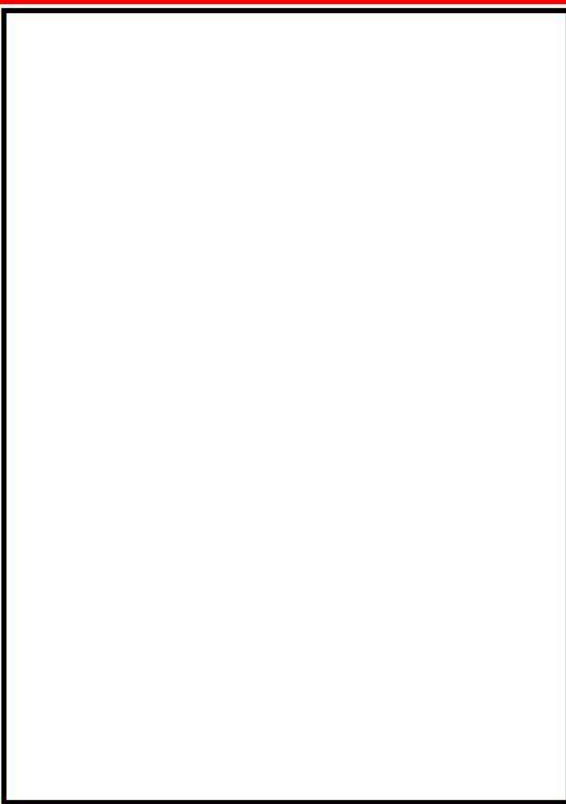

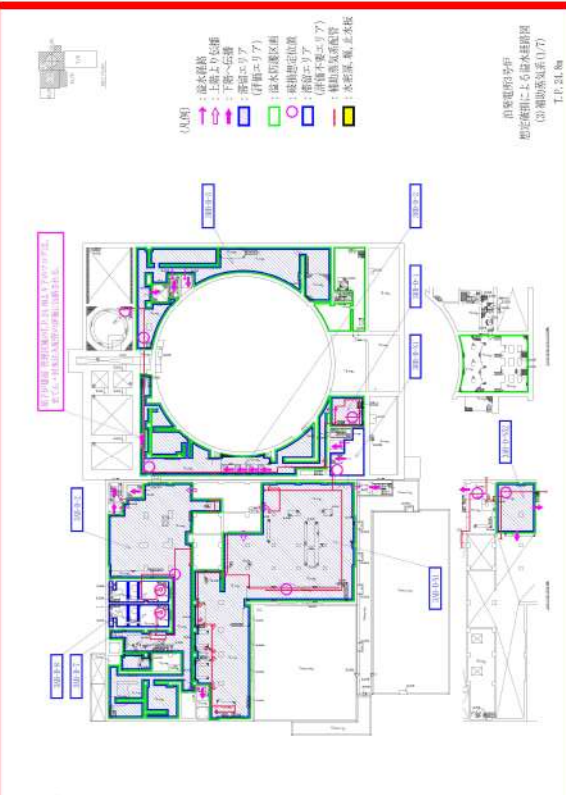
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



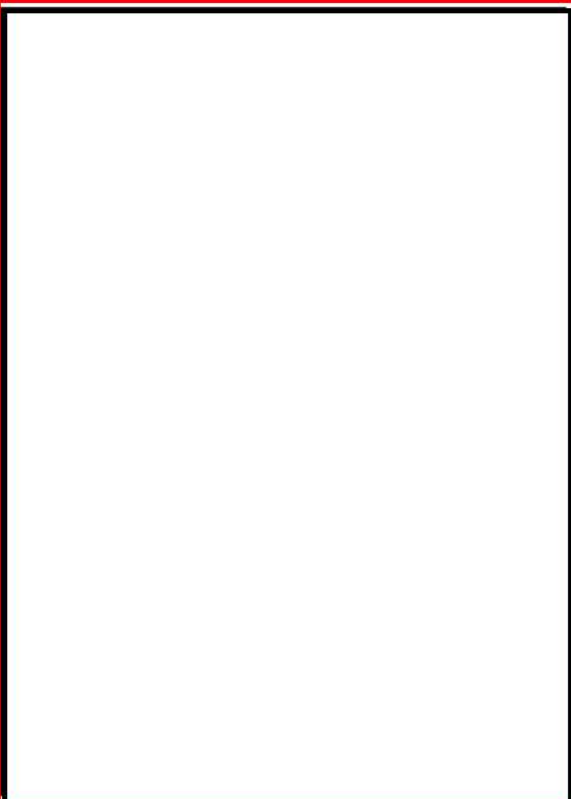
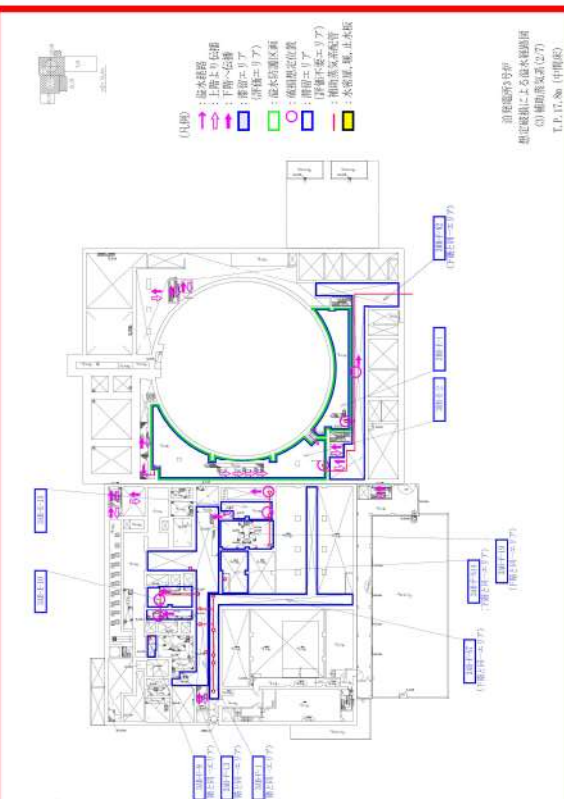
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p>  <p>赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）              青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）              緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p>	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>              女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>              プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

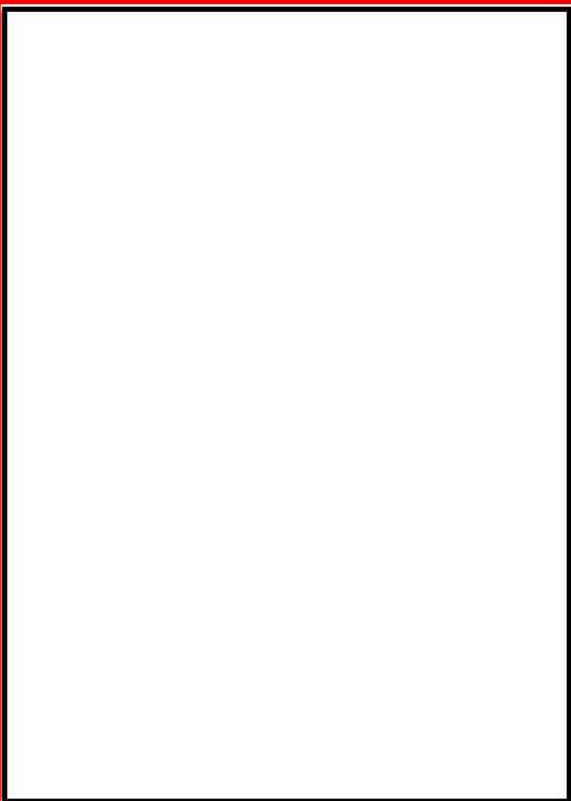
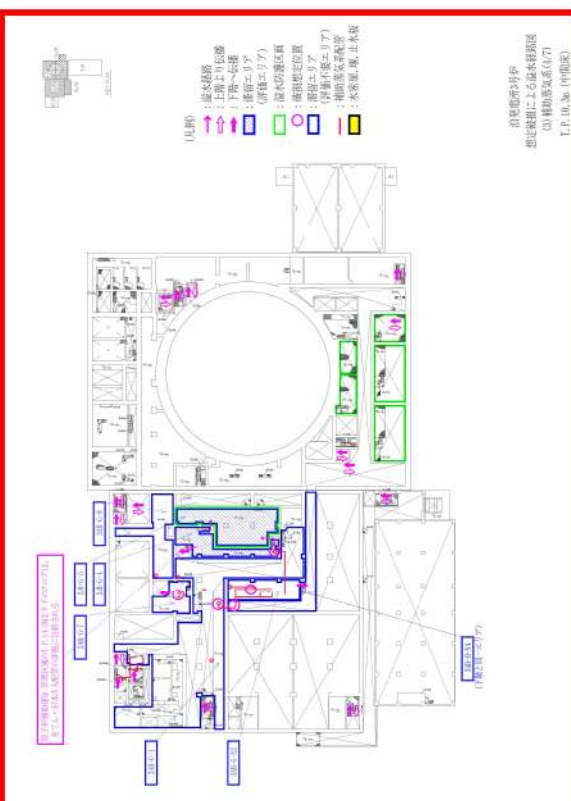
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

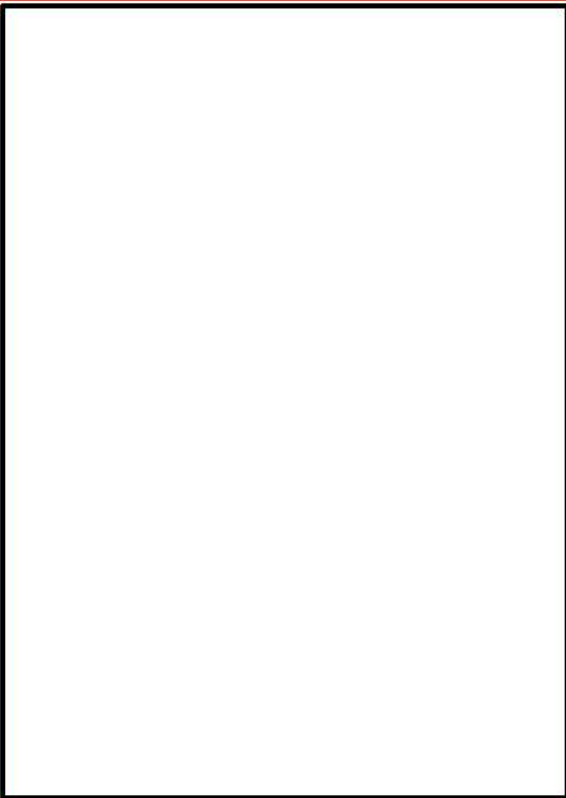

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      グラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

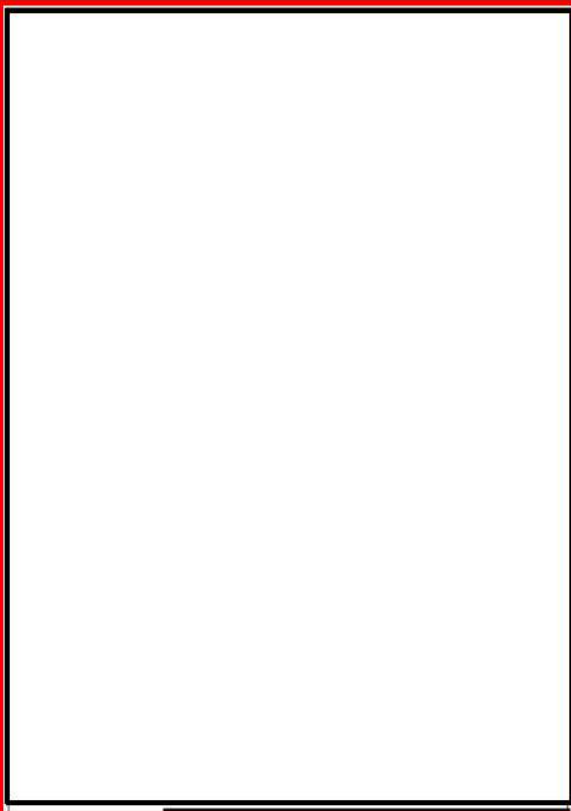
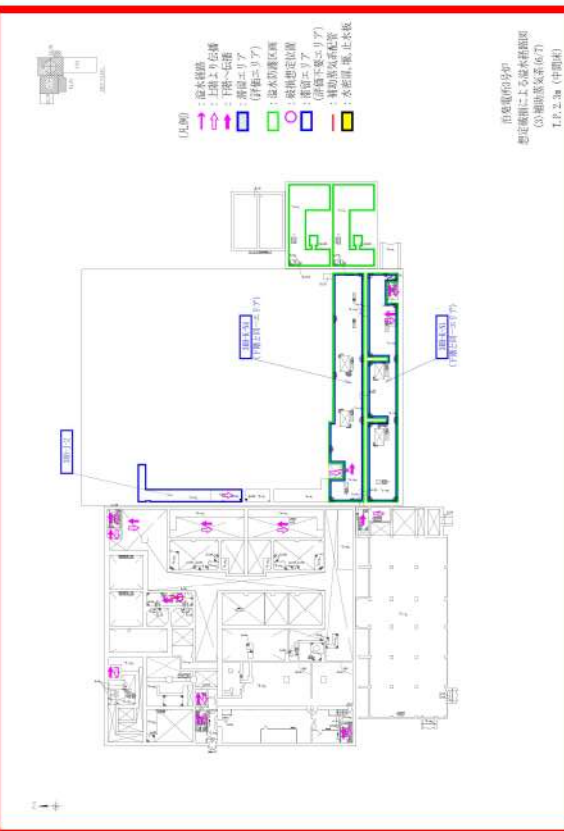
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>←→</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

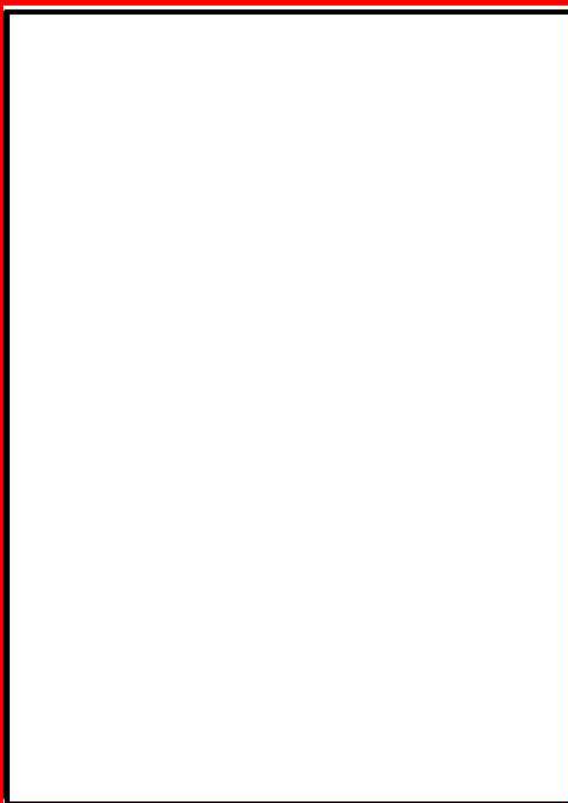
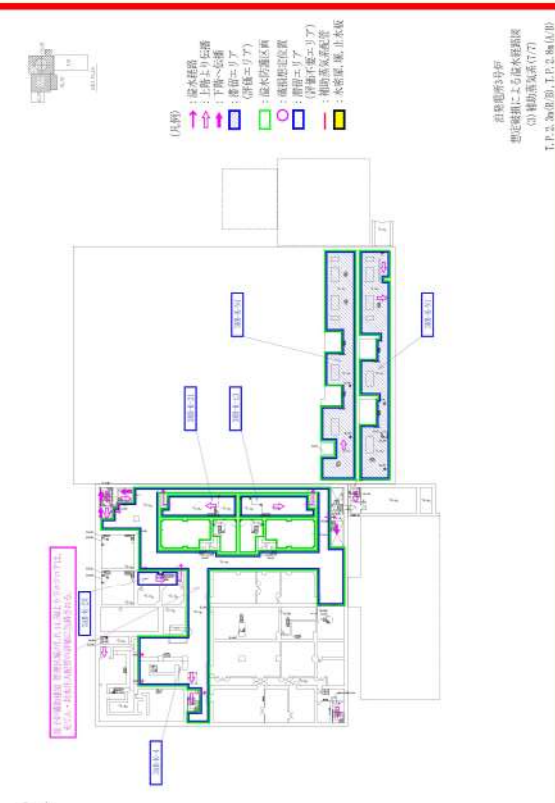

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="277 1026 674 1043">管組等の範囲は機器に係る事項ですので公開することはありません。</p>			<p data-bbox="1874 180 1933 197">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 217 1995 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 248 2024 266">プラント設計の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

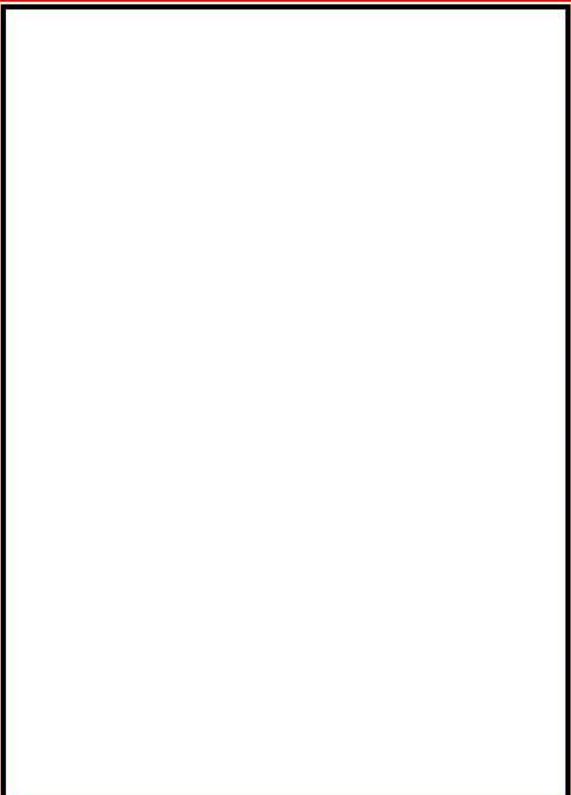
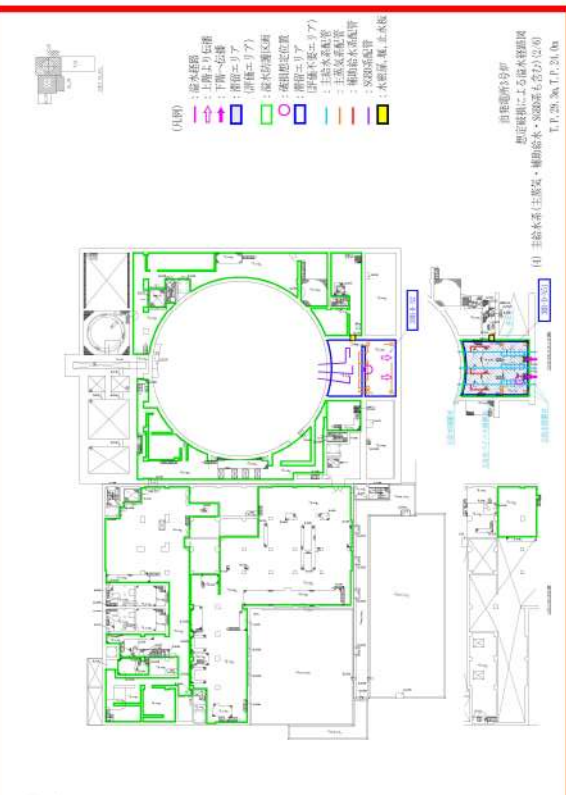
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

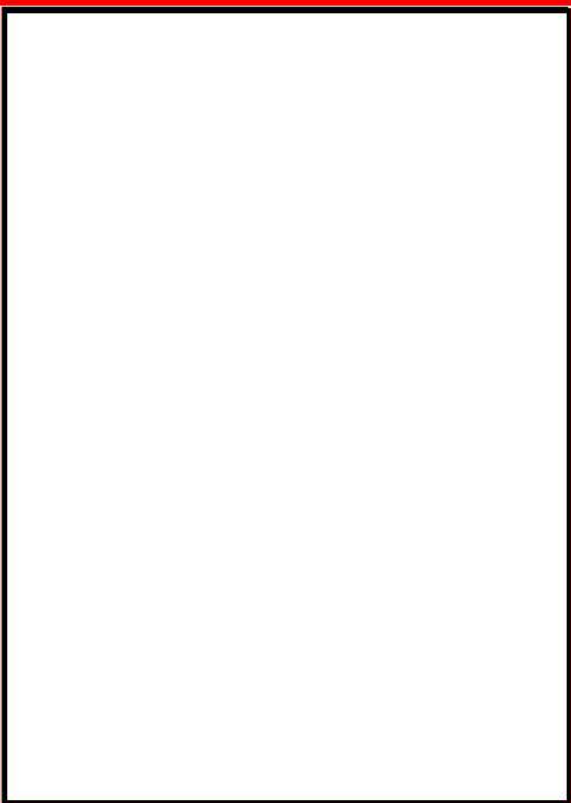
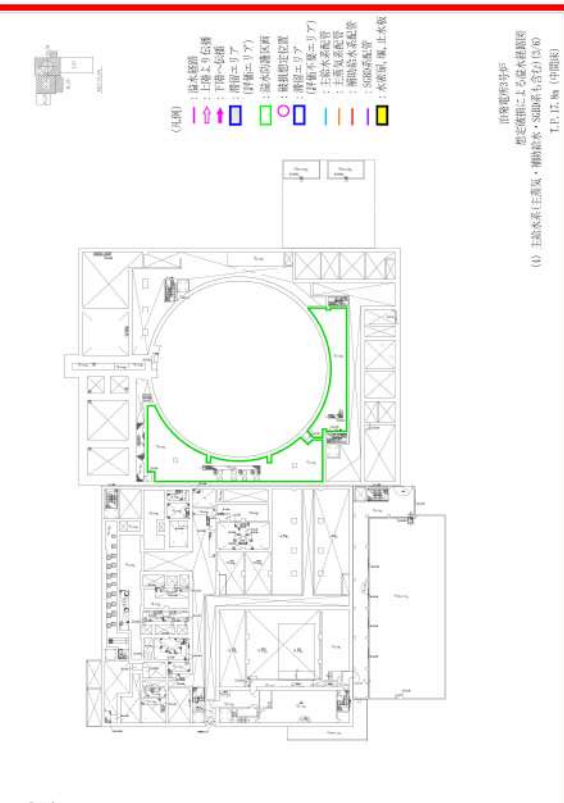
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 209 683 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 683 1043" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		<div data-bbox="1290 180 1852 1050" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p> </div>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>プラント設計の相違</p>



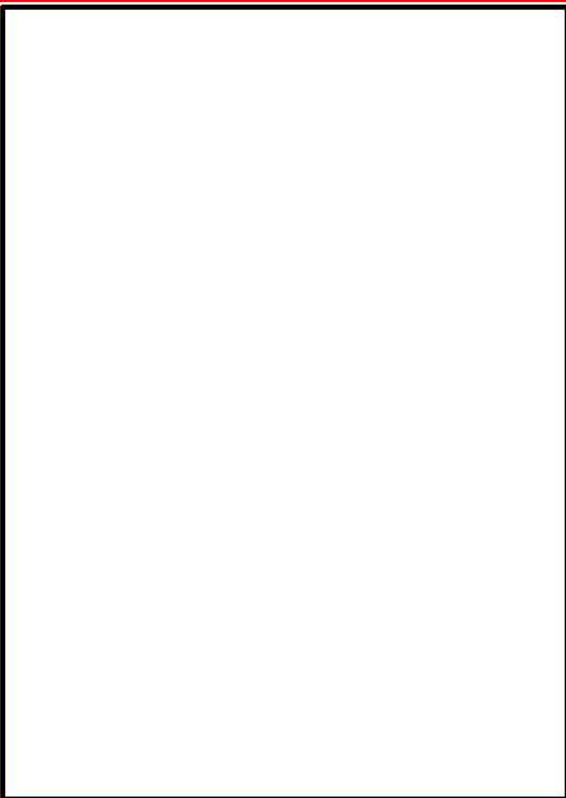
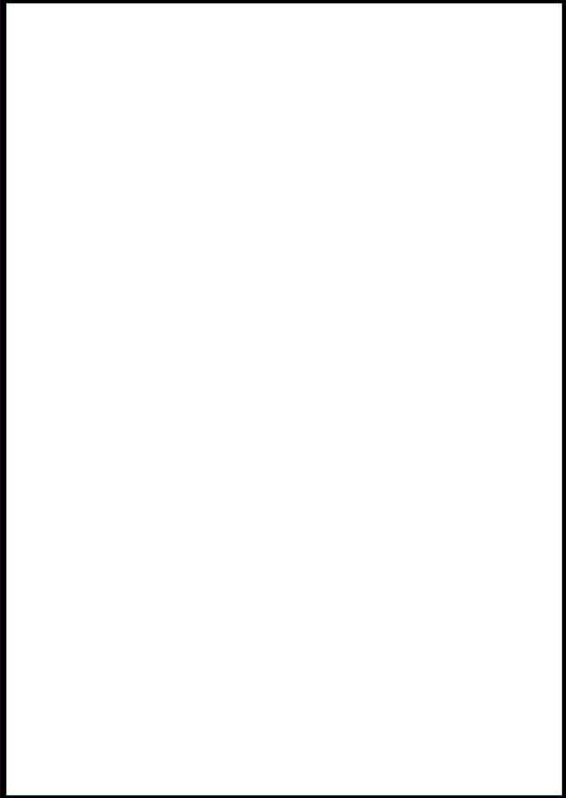
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

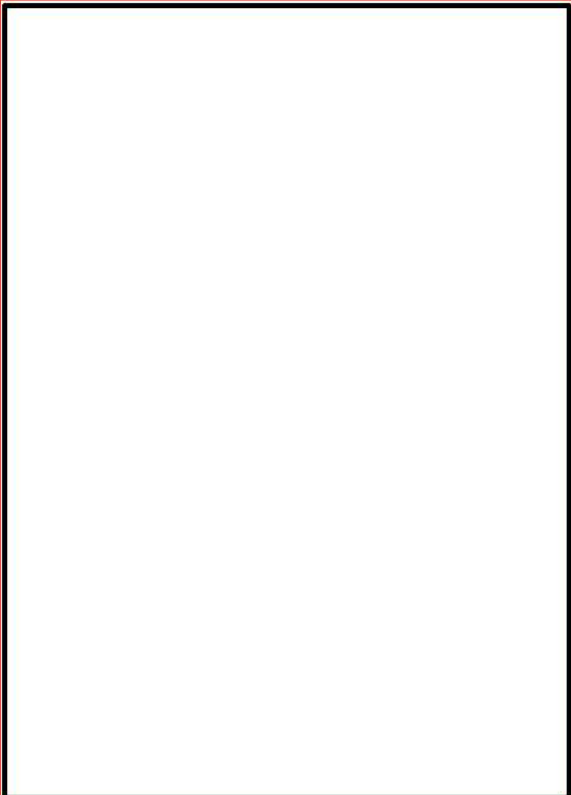
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>                 (注) 1. 基本設備                  2. 上層より右横                  3. 下層へ右横                  4. 階間コリア                  5. 階間コリア                  6. 溢水の溜り位置                  7. 階間コリア                  8. 階間コリア                  9. 主配管の配管                  10. 配管の配管                  11. SDO配管等                  12. 水塔用風止水塔             </p> <p>                 泊発電所3号炉                  設計範囲による基本経路図                  (0) 主配管系(主蒸気・補助蒸気・SDO系も含む)(D/B)                  T.P. 12. 8a (中間版)             </p>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>← 中</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>← 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>← 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

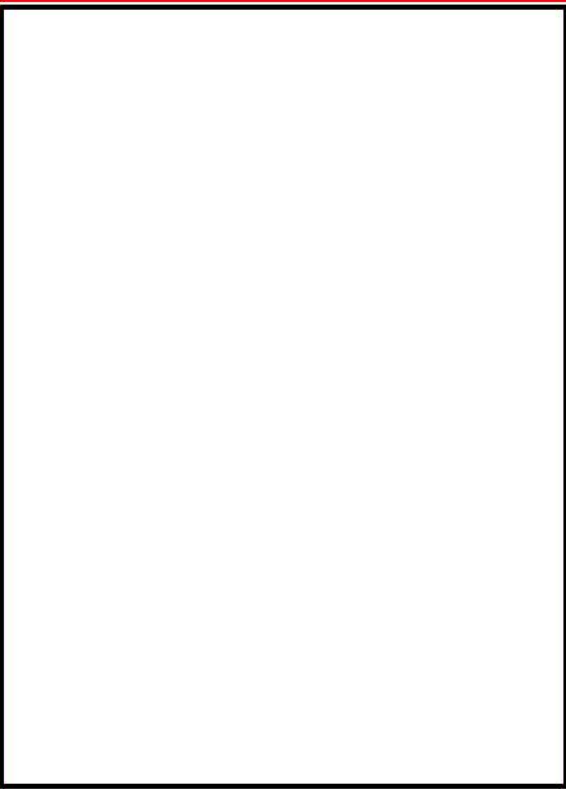

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉              設計図面による図本相違箇所              (0) 主給水系統管(圧湯・排熱用水・SSD排水)等(2/3/5/6)              T.P. 00.36 (印刷版)</p>	<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
	<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※中                      枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

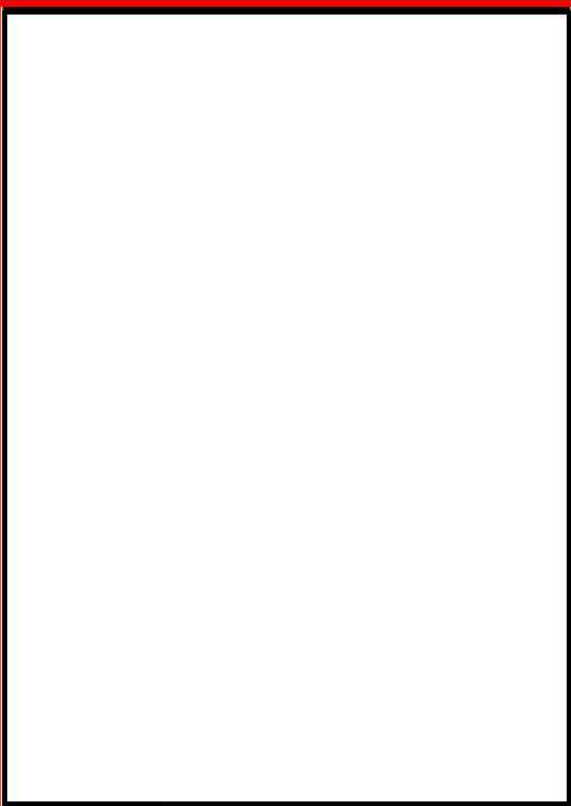
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 680 1018" style="border: 2px solid red; height: 505px; width: 253px;"></div> <div data-bbox="114 1023 680 1487" style="border: 1px solid black; height: 291px; width: 253px; margin-top: 5px;"> <p>1-5-4 控風機の範囲は機器に依る事項であり、20開することにより異なる。</p> </div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>



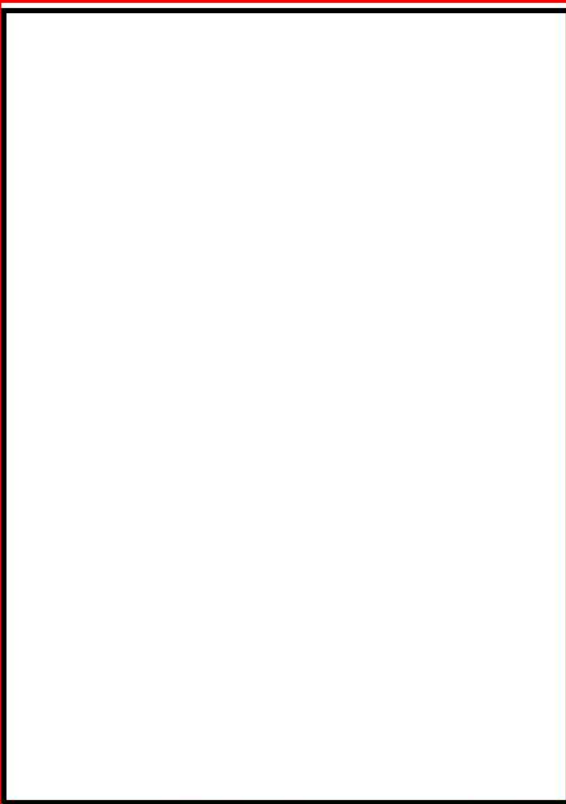
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>図10-51 炉心及び炉管は機密に係る事項であり公開することはできません。</p>			

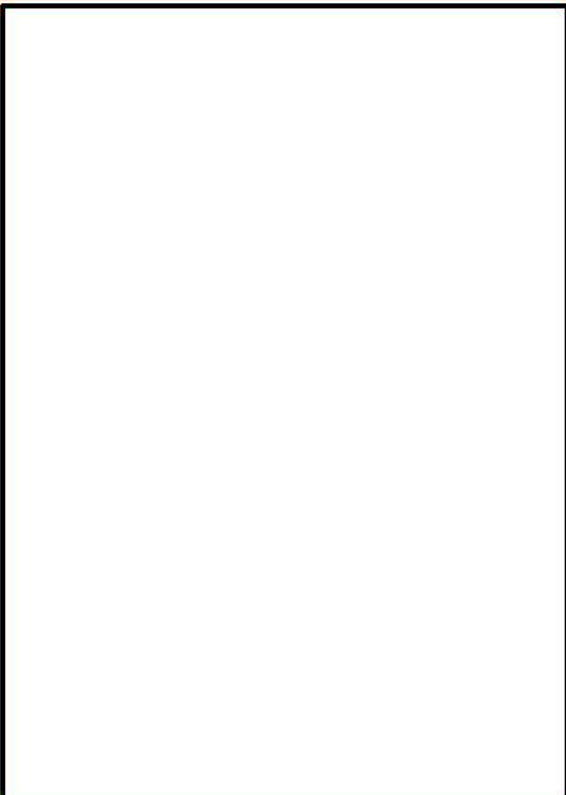
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

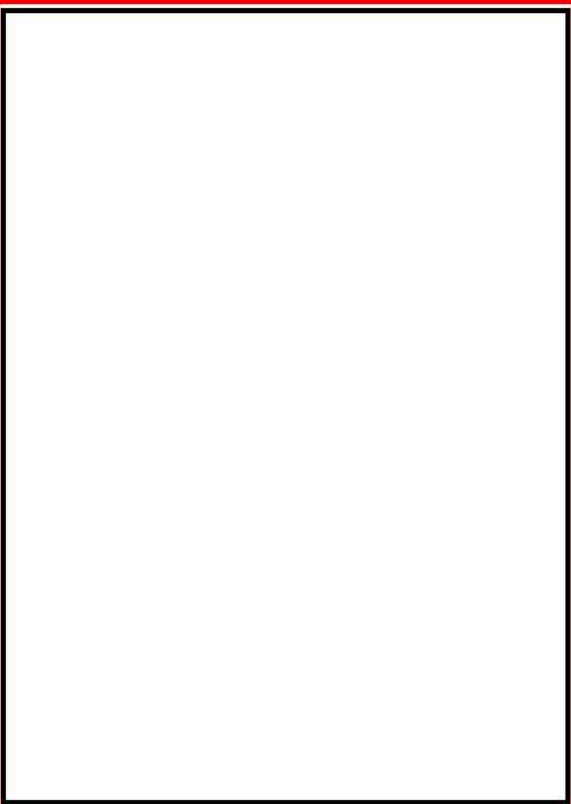
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料p.2-9-別1-60より抜粋                      2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-4-3より抜粋                      4. 3 溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに                      機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。                      ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果                      下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。                      また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる、若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図1. 流下経路の例</p> </div>	<p>【女川・大阪】                      記載方針の相違</p> <p>・女川と大阪も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。                      ・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

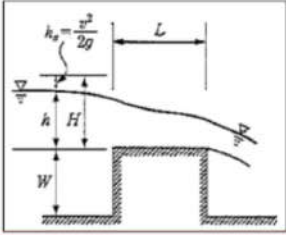
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>扉開運用</b>などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-E2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-E2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-E2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-E2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M1F-1	吹抜	1	R-M1F-2	吹抜	1	R-M1F-3	吹抜	1	R-M1F-4	吹抜	1	R-E2F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>床開口部</b>により流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1285 1007 1854 1107"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      ・建屋名称、区画番号の相違。                      ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-E2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-E2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-E2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-4	吹抜	1																																																																													
	R-E2F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 20%;">区画番号</th> <th style="width: 40%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-M22F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3	吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	C-M22F-1	吹抜	1	タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2	T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋名称、区画番号の相違。</li> <li>・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</li> </ul>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																														
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																														
	R-3F-2	吹抜	1																																																																														
	R-3F-4	吹抜	1																																																																														
	R-3F-5	吹抜	1																																																																														
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																														
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																														
	R-M2F-9	吹抜	1																																																																														
制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																														
	C-3F-4	床開口	1																																																																														
	C-2F-3	床開口	3																																																																														
		吹抜	1																																																																														
	C-1F-4	床開口	3																																																																														
	C-M31F-1	吹抜	1																																																																														
C-M22F-1	吹抜	1																																																																															
タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブック1、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																														

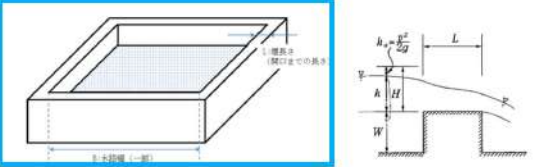
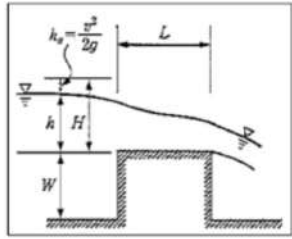
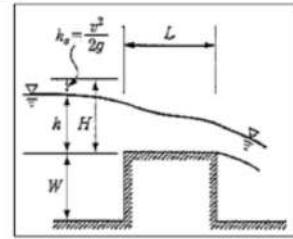
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><math>Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}</math> …… ①式</p> <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C=1.444+0.352(\frac{h}{L})</math></p> <p>Q：越流量(m<sup>3</sup>/s)                      B：堰の幅(m)                      h：越流水深(m)                      C：流量係数(m<sup>3/2</sup>/s)                      L：堰長さ(m)                      W：堰高さ(m)</p>  </div> <p style="text-align: center;">図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m<sup>3</sup>/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m<sup>3</sup>/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p style="text-align: center;">表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床開口は満水流れとして評価を実施する。</li> <li>下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。</li> <li>床開口は円形とし、φ100mmと設定する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <math display="block">Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}</math> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：断面積(m<sup>2</sup>)                      H：落差(m)                      d：内径(m)                      L：直管長(m)                      ξ：損失係数                      λ：摩擦係数                      g：重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m<sup>3</sup>/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="705 215 1265 327"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1(消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1(所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (B/C/F)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (B/C/F)	3	158.4	C-1F-4	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (B/C/F)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-1より抜粋                      1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Q<sub>out</sub> : 排出流量 [m³/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">B : 開口の幅 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">C<sub>out</sub> : 排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">h : 溢水水位 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">L : 開口までの長さ [m]</span>                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量                      「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲                      3. 流下開口（扉）からの流出量                      (1) 扉からの流出量                      常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ，土木学会編，技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">B : 堰の幅 (m)</span>                      h : 越流水深 (m)                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ (m)                      W : 堰高さ (m)                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量                      (1) グレーチング、吹抜からの流出量                      グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、<math>0 &lt; h/L \leq 0.1</math> ; <math>C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]                      B : 開口の幅 [m]                      h : 越流水深 [m]                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ [m]                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。                      ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。                      また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。                      ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)</p> <p><u>設計方針の相違</u>                      堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】  <u>記載方針の相違</u>                      流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。  <u>記載表現の相違</u></p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2 より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。                      また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。                      表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      【女川】                      設計方針の相違                      開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 654 453"> <tr><td>B: 開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h: 溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L: 開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C<sub>m</sub>: 排出係数 [m<sup>2</sup>/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q<sub>m</sub>: 排出流量 [m<sup>3</sup>/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B: 開口の幅 [m]	12.5	h: 溢水水位 [m]	0.32	L: 開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C <sub>m</sub> : 排出係数 [m <sup>2</sup> /s]	1.47	Q <sub>m</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 209 1265 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M3F-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画                  ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-M2F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-M2F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-M2F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-M2F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-M2F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-M3F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-M3F-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-M3F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-M3F-4	1	5.6	0.13	0.2	R-3F-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 391"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定                  ※2 開口までの長さLを長くするほどに感流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。</li> <li>・泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。</li> <li>・泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。</li> <li>・女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。</li> <li>・女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様）</li> </ul> <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。</li> </ul>
B: 開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h: 溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L: 開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C <sub>m</sub> : 排出係数 [m <sup>2</sup> /s]	1.47																																																																																																																							
Q <sub>m</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M2F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M2F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-M2F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M2F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M2F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M3F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 799 1265 1107"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (5.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-M3F-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-M2F-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価                  ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-M3F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-M2F-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-M3F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-M2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-M2F-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-M3F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-M2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m<sup>3</sup>/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果                      流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。                      越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果                      流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。                      結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m<sup>3</sup>/h（主給水系）よりも上回っている。                      また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m<sup>3</sup>/h（化学体積制御系（充てん配管））よりも上回っている。                      以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      泊では、島根の構文を参考にし、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】                      設計方針の相違                      ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。                      ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。                      記載方針の相違                      ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。                      ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 209 1265 584"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>	R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 209 1854 357"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-H-2	吹抜	4,243	3AB-H-9	吹抜	4,243	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。                      ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として                      いるところに対して、泊は、開口                      の幅については、流出を期待でき                      る開口の幅の50%として設定す                      る。(島根と同様)</p>
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-H-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-H-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 687 1265 1062"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料p.2-9-14より抜粋                      ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について                      女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。                      (1) 評価条件                      ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。                      ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><math>Q = AC\sqrt{2gH}</math> …… ③式</p> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：開口の有効面積(m<sup>2</sup>)                      H：当該区画の水位(m)                      C：流出流量損失係数 (=0.82)                      g：重力加速度 (m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について                      女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について                      泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】                      設計方針の相違                      泊は床ドレンからの排水に期待せずに溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大阪と同様）</p> <p>【女川】                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>中1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するための対象とする。</small></p>	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するための対象とする。</small></p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。</li> <li>・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																					
<p style="text-align: center;">添付資料1.4.1-1</p> <p style="text-align: center;">表1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>溢水評価における対象範囲</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">化学体積制御系</td> <td>封水注入配管</td> <td>運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃</td> <td>E/B</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> <td>運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃</td> <td>E/B</td> </tr> <tr> <td>抽出配管/非再生冷却器出口</td> <td>運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃</td> <td>E/B</td> </tr> <tr> <td>抽出配管/非再生冷却器入口</td> <td>運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃</td> <td>E/B</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主蒸気系統</td> <td>主蒸気管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁 バイパス配管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>タービン補助給水ポンプ 駆動用蒸気配管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系統</td> <td>主給水管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス配管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 プロダウンス</td> <td>蒸気発生器プロダウンス 配管（貫通部へアングル弁）</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃</td> <td>MS室、BD室</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>補助給水配管</td> <td>運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃</td> <td>MS室</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃</td> <td>E/B、C/B</td> </tr> </tbody> </table> <p>E/B：原子炉周辺建屋 C/B：制御建屋              MS室：主蒸気・主給水管室 BD室：プロダウンスタンク室</p>	系統名	溢水評価における対象範囲	対象範囲における使用条件	配置	化学体積制御系	封水注入配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B	充てん配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B	抽出配管/非再生冷却器出口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃	E/B	抽出配管/非再生冷却器入口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃	E/B	主蒸気系統	主蒸気管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室	主蒸気逃がし弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室	主蒸気隔離弁 バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室	主蒸気ドレン配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室	タービン補助給水ポンプ 駆動用蒸気配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室	主給水系統	主給水管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室	主給水バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室	蒸気発生器 プロダウンス	蒸気発生器プロダウンス 配管（貫通部へアングル弁）	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室、BD室	補助給水系	補助給水配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室	補助蒸気系	補助蒸気供給配管	運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃	E/B、C/B	<p style="text-align: center;">表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (1/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">設計条件</th> <th rowspan="2">最大使用圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最大使用温度 (℃)</th> <th colspan="2">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>低エネ</th> <th>高エネ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>給水系</td><td>5.62</td><td>302</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>制御用蒸気注入系</td><td>13.83</td><td>66</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ほう水注入系</td><td>1.73</td><td>66</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>残留蒸気除去系</td><td>10.79</td><td>66</td><td>186</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td>凝縮中心スプレッド系</td><td>3.73</td><td>186</td><td>100</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td>凝縮中心スプレッド系</td><td>4.41</td><td>100</td><td>100</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>10.79</td><td>100</td><td>100</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>8.62</td><td>302</td><td>66</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却剂浄化系</td><td>10.20</td><td>66</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>燃料プール冷却</td><td>1.37</td><td>66</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>放射性ドレン除去系</td><td>0.98</td><td>66</td><td>66</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>凝縮ドレン系</td><td>0.98</td><td>66</td><td>66</td><td>○*</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1.94</td><td>66</td><td>66</td><td>○*</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短い場合、低エネルギー配管に分類する              ※2 廃棄物処理エリアのみ              ※3 復水補給水系の溢水量で考慮する              ※4 休止状態であり保有水なし</p>	系統	設計条件	最大使用圧力 (MPa)	最大使用温度 (℃)	設置エリア		低エネ	高エネ	給水系	5.62	302	66	○		制御用蒸気注入系	13.83	66	66	○		ほう水注入系	1.73	66	66	○		残留蒸気除去系	10.79	66	186	○*		凝縮中心スプレッド系	3.73	186	100	○*		凝縮中心スプレッド系	4.41	100	100	○*		原子炉隔離時冷却系	10.79	100	100	○*		原子炉隔離時冷却系	8.62	302	66	○*		原子炉冷却剂浄化系	10.20	66	66	○		燃料プール冷却	1.37	66	66	○		放射性ドレン除去系	0.98	66	66	○		凝縮ドレン系	0.98	66	66	○*			1.94	66	66	○*		<p style="text-align: center;">表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">設計条件</th> <th rowspan="2">運転圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度 (℃)</th> <th colspan="2">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>低エネ</th> <th>高エネ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 冷却水系</td><td>15.4</td><td>325</td><td>40</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">化学体積制御系 (まてん配管)</td><td>17.0</td><td>202</td><td>202</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>0.11</td><td>46.1</td><td>46.1</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">化学体積制御系 (抽出配管)</td><td>15.4</td><td>193</td><td>66.1</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>1.8</td><td>66.1</td><td>66.1</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">化学体積制御系 (その他)</td><td>3.1</td><td>77</td><td>77</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>0.3</td><td>40</td><td>40</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>安全注入系<sup>注)</sup></td><td>0.35</td><td>40</td><td>40</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>余熱除去系<sup>注)</sup></td><td>5.6</td><td>274</td><td>274</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>5.8</td><td>220</td><td>220</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>主給水系</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉格納貯留器</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>スプレッド系<sup>注)</sup></td><td>0.35</td><td>40</td><td>40</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉隔離冷却水系</td><td>1.1</td><td>43</td><td>43</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>使用済燃料ビット水 浄化装置</td><td>1.1</td><td>65</td><td>65</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉隔離冷却水系</td><td>0.61</td><td>26</td><td>26</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>気体廃棄物処理系</td><td>1.01</td><td>40</td><td>40</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短い場合、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件	運転圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	設置エリア		低エネ	高エネ	1 冷却水系	15.4	325	40	○		化学体積制御系 (まてん配管)	17.0	202	202	○		0.11	46.1	46.1	○		化学体積制御系 (抽出配管)	15.4	193	66.1	○		1.8	66.1	66.1	○		化学体積制御系 (その他)	3.1	77	77	○		0.3	40	40	○		安全注入系 <sup>注)</sup>	0.35	40	40	○		余熱除去系 <sup>注)</sup>	5.6	274	274	○		主蒸気系	5.8	220	220	○		主給水系				○		原子炉格納貯留器				○		スプレッド系 <sup>注)</sup>	0.35	40	40	○		原子炉隔離冷却水系	1.1	43	43	○		使用済燃料ビット水 浄化装置	1.1	65	65	○		原子炉隔離冷却水系	0.61	26	26	○		気体廃棄物処理系	1.01	40	40	○		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違              設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大阪、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。</p>
系統名	溢水評価における対象範囲	対象範囲における使用条件	配置																																																																																																																																																																																																																																																					
化学体積制御系	封水注入配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B																																																																																																																																																																																																																																																					
	充てん配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B																																																																																																																																																																																																																																																					
	抽出配管/非再生冷却器出口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃	E/B																																																																																																																																																																																																																																																					
	抽出配管/非再生冷却器入口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃	E/B																																																																																																																																																																																																																																																					
主蒸気系統	主蒸気管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
	主蒸気逃がし弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
	主蒸気隔離弁 バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
	主蒸気ドレン配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
	タービン補助給水ポンプ 駆動用蒸気配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
主給水系統	主給水管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
	主給水バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
蒸気発生器 プロダウンス	蒸気発生器プロダウンス 配管（貫通部へアングル弁）	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室、BD室																																																																																																																																																																																																																																																					
補助給水系	補助給水配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室																																																																																																																																																																																																																																																					
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃	E/B、C/B																																																																																																																																																																																																																																																					
系統	設計条件	最大使用圧力 (MPa)	最大使用温度 (℃)	設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																				
				低エネ	高エネ																																																																																																																																																																																																																																																			
給水系	5.62	302	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
制御用蒸気注入系	13.83	66	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
ほう水注入系	1.73	66	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
残留蒸気除去系	10.79	66	186	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
凝縮中心スプレッド系	3.73	186	100	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
凝縮中心スプレッド系	4.41	100	100	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉隔離時冷却系	10.79	100	100	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉隔離時冷却系	8.62	302	66	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却剂浄化系	10.20	66	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
燃料プール冷却	1.37	66	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
放射性ドレン除去系	0.98	66	66	○																																																																																																																																																																																																																																																				
凝縮ドレン系	0.98	66	66	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
	1.94	66	66	○*																																																																																																																																																																																																																																																				
系統	設計条件	運転圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																				
				低エネ	高エネ																																																																																																																																																																																																																																																			
1 冷却水系	15.4	325	40	○																																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系 (まてん配管)	17.0	202	202	○																																																																																																																																																																																																																																																				
	0.11	46.1	46.1	○																																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系 (抽出配管)	15.4	193	66.1	○																																																																																																																																																																																																																																																				
	1.8	66.1	66.1	○																																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系 (その他)	3.1	77	77	○																																																																																																																																																																																																																																																				
	0.3	40	40	○																																																																																																																																																																																																																																																				
安全注入系 <sup>注)</sup>	0.35	40	40	○																																																																																																																																																																																																																																																				
余熱除去系 <sup>注)</sup>	5.6	274	274	○																																																																																																																																																																																																																																																				
主蒸気系	5.8	220	220	○																																																																																																																																																																																																																																																				
主給水系				○																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納貯留器				○																																																																																																																																																																																																																																																				
スプレッド系 <sup>注)</sup>	0.35	40	40	○																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉隔離冷却水系	1.1	43	43	○																																																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ビット水 浄化装置	1.1	65	65	○																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉隔離冷却水系	0.61	26	26	○																																																																																																																																																																																																																																																				
気体廃棄物処理系	1.01	40	40	○																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (2/6)</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (2/3)</p>	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大阪、高浜、美浜と同様）                      ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。                        【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">系統名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>1次系洗浄水系</td></tr> <tr><td>1次系放射性ドレン系(機器ドレン)</td></tr> <tr><td>1次系放射性ドレン系(床ドレン)</td></tr> <tr><td>消火水系</td></tr> <tr><td>1次系補給水系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>燃料代替用水系</td></tr> <tr><td>燃料ピット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>固体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>補助給水系(低温配管該当部分)</td></tr> </tbody> </table>	系統名	原子炉補機冷却系	格納容器スプレイ系	化学体積制御系	冷水系	1次系洗浄水系	1次系放射性ドレン系(機器ドレン)	1次系放射性ドレン系(床ドレン)	消火水系	1次系補給水系	余熱除去系	燃料代替用水系	燃料ピット冷却浄化系	安全注入系	液体廃棄物処理系	固体廃棄物処理系	補助給水系(低温配管該当部分)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th rowspan="3">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>低エネ</th> <th>高エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> </tr> <tr> <th>管圧(MPa)</th> <th>管温(℃)</th> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床ドレン・化学体積系</td> <td>0.85</td> <td>66</td> <td>○**</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ストームドレン系</td> <td>0.34</td> <td>146</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機スクラップ系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>濃縮機冷却系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>酸化系</td> <td>1.37</td> <td>96</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排水系</td> <td>0.35</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.94</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.69</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>給水系</td> <td>15.49</td> <td>180</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>給水加熱器ドレン系</td> <td>0.62</td> <td>302</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.94</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排水ろ過設備</td> <td>0.69</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.94</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.69</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排水処理装置</td> <td>0.69</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 廃棄物処理エリアのみ          ※3 排水補給水系の排水量で考慮する          ※4 休止設備であり無有物なし</p>	系統	設計条件	分類		設置エリア				低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン建屋		管圧(MPa)	管温(℃)	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	床ドレン・化学体積系	0.85	66	○**	○	-	-	-	-	-	-	ストームドレン系	0.34	146	-	○	-	-	-	-	-	-	機スクラップ系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	-	濃縮機冷却系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	酸化系	1.37	96	-	○	-	-	-	-	-	-	排水系	0.35	66	-	○	-	-	-	-	-	-		1.94	66	-	○	-	-	-	-	-	-		0.69	66	-	○	-	-	-	-	-	-	給水系	15.49	180	○	-	○	-	-	-	-	-	給水加熱器ドレン系	0.62	302	○	-	-	-	-	-	-	-		1.94	66	○	-	-	-	-	-	-	-	排水ろ過設備	0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-		1.94	66	○	-	-	-	-	-	-	-		0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-	排水処理装置	0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th rowspan="3">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>低エネ</th> <th>高エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> </tr> <tr> <th>管圧(MPa)</th> <th>管温(℃)</th> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>1.01</td> <td>80</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>1.01</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>飲料採取系</td> <td>0.7</td> <td>46.1</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系</td> <td>5.6</td> <td>274</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料代替用水系</td> <td>0.87</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系(脱塩水)</td> <td>1.05</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系(純水)</td> <td>1.01</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>0.7</td> <td>170</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.1</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水消火系</td> <td>1.8</td> <td>49</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系</td> <td>0.47</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>0.51</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系</td> <td>0.61</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空調用給水系</td> <td>1.0</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件	分類		設置エリア				低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン建屋		管圧(MPa)	管温(℃)	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	液体廃棄物処理系	1.01	80	-	○	-	-	-	-	-	-	固体廃棄物処理系	1.01	40	-	○	-	-	-	-	-	-	飲料採取系	0.7	46.1	-	○	-	-	-	-	-	-	蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274	○	-	-	-	-	-	-	-	燃料代替用水系	0.87	40	-	○	-	-	-	-	-	-	原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40	-	○	-	-	-	-	-	-	原子炉補給水系(純水)	1.01	40	-	○	-	-	-	-	-	-	補助蒸気系	0.7	170	○	-	○	-	-	-	-	-		0.1	40	-	○	-	-	-	-	-	-	水消火系	1.8	49	-	○	-	-	-	-	-	-	地下水排水系	0.47	40	-	○	-	-	-	-	-	-	飲料水系	0.51	40	-	○	-	-	-	-	-	-	海水電解装置海水供給・注入系	0.61	26	-	○	-	-	-	-	-	-	空調用給水系	1.0	10	-	○	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大阪、高浜、美浜と同様）                      ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。                        【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。</p>
系統名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
格納容器スプレイ系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
化学体積制御系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
冷水系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1次系洗浄水系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1次系放射性ドレン系(床ドレン)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
消火水系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1次系補給水系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
余熱除去系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
燃料代替用水系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
燃料ピット冷却浄化系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
安全注入系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
液体廃棄物処理系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
固体廃棄物処理系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
補助給水系(低温配管該当部分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
系統	設計条件	分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		管圧(MPa)	管温(℃)	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
床ドレン・化学体積系	0.85	66	○**	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ストームドレン系	0.34	146	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機スクラップ系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
濃縮機冷却系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
酸化系	1.37	96	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
排水系	0.35	66	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1.94	66	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	0.69	66	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
給水系	15.49	180	○	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
給水加熱器ドレン系	0.62	302	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1.94	66	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
排水ろ過設備	0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1.94	66	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
排水処理装置	0.69	66	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
系統	設計条件	分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		管圧(MPa)	管温(℃)	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
液体廃棄物処理系	1.01	80	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
固体廃棄物処理系	1.01	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
飲料採取系	0.7	46.1	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
燃料代替用水系	0.87	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
原子炉補給水系(純水)	1.01	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
補助蒸気系	0.7	170	○	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	0.1	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
水消火系	1.8	49	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
地下水排水系	0.47	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
飲料水系	0.51	40	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
海水電解装置海水供給・注入系	0.61	26	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
空調用給水系	1.0	10	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">最高使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> </tr> <tr> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.88</td> <td>74</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>低圧冷却水系</td> <td>1.18</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>予備水系</td> <td>1.18</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>換気空調機</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>換気空調機</td> <td>0.88</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水系</td> <td>1.18</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給冷却水系</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給冷却水</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給冷却水</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水</td> <td>1.18</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 廃棄物処理エリアのみ          ※3 復水補給水系の流量で考慮する          ※4 休止状態であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋		タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	付属機	付属機	付属機	付属機	固定子冷却給排水系	0.88	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	低圧冷却水系	1.18	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	予備水系	1.18	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	換気空調機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	換気空調機	0.88	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧冷却水系	1.18	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン補給冷却水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン補給冷却水	0.78	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン補給冷却水	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	凝縮器冷却水	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">運転圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> </tr> <tr> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>付属機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水系</td> <td>5.25</td> <td>208</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>輸送冷却系</td> <td>0.69</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>輸送冷却系</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>業務用冷却系</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>0.1</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>5.8</td> <td>220</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>0.3</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.68</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.91</td> <td>29</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給水ポンプ冷却系</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>スチームコンデンサ系</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービンコンデンサ系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービンコンデンサ系</td> <td>5.48</td> <td>271</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>固定子冷却水処理装置</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						運転圧力(MPa)	運転温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋		タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	付属機	付属機	付属機	付属機	復水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	輸送冷却系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	輸送冷却系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	業務用冷却系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	補助給水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	補助給水系	5.8	220	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	補助給水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	0.91	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン補給水ポンプ冷却系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	スチームコンデンサ系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービンコンデンサ系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービンコンデンサ系	5.48	271	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	固定子冷却水処理装置	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	凝縮器冷却水	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	最高使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋		タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		付属機				付属機	付属機	付属機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
固定子冷却給排水系	0.88	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
低圧冷却水系	1.18	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
予備水系	1.18	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
換気空調機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
換気空調機	0.88	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧冷却水系	1.18	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン補給冷却水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン補給冷却水	0.78	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン補給冷却水	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮器冷却水	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	運転圧力(MPa)	運転温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋		タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					付属機	付属機	付属機	付属機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
復水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
循環水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
輸送冷却系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
輸送冷却系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
業務用冷却系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
補助給水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
補助給水系	5.8	220	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
補助給水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
炉内用水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
炉内用水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
炉内用水系	0.91	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン補給水ポンプ冷却系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
スチームコンデンサ系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービンコンデンサ系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービンコンデンサ系	5.48	271	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
固定子冷却水処理装置	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮器冷却水	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 244 1162 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="8">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静圧 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉設置</th> <th colspan="2">炉内</th> <th colspan="2">タービン 設置</th> <th rowspan="2">補助 ボイラー 設置</th> <th rowspan="2">機水 ポンプ 室</th> <th rowspan="2">CSエ リア 05</th> <th rowspan="2">LOTエ リア 06</th> </tr> <tr> <th>原子炉種</th> <th>付属種</th> <th>付属種 管理</th> <th>炉内 管理</th> <th>タービン 管理</th> <th>炉内 管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>2.55</td> <td>291</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>1.87</td> <td>294</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>1.18</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>0.64</td> <td>95 (通常運転 温度は89~ 95℃)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水ポンプ室</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設計条件		分類		設置エリア								静圧 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉設置		炉内		タービン 設置		補助 ボイラー 設置	機水 ポンプ 室	CSエ リア 05	LOTエ リア 06	原子炉種	付属種	付属種 管理	炉内 管理	タービン 管理	炉内 管理	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	2.55	291	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	1.87	294	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	1.18	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.64	95 (通常運転 温度は89~ 95℃)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大阪、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																						
	静圧 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉設置		炉内		タービン 設置		補助 ボイラー 設置	機水 ポンプ 室	CSエ リア 05	LOTエ リア 06																																																																																																																																																												
		原子炉種				付属種	付属種 管理	炉内 管理	タービン 管理	炉内 管理																																																																																																																																																																	
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	2.55	291	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	1.87	294	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	1.18	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.64	95 (通常運転 温度は89~ 95℃)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
新庄原子力発電所 機水ポンプ室	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																													
	<p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 原燃物処理エリアのみ                  ※3 機水ポンプ室の機水ポンプ室で考慮する                  ※4 休止設備であり無着水なし</p>																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="3">補助 ボイラー 設備</th> <th rowspan="3">機本 ポンプ 室</th> <th rowspan="3">機本 エリア 05</th> <th rowspan="3">LOT エ リア 06</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機本使用 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">機本使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉配管</th> <th rowspan="2">設備 設置</th> <th rowspan="2">タービン 建屋 管理</th> </tr> <tr> <th>原子炉種</th> <th>付属種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 機本給水</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルの 駆動燃料給水</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水</td> <td>0.95</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルの 駆動燃料給水</td> <td>0.95</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タービン機本給水</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.38</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧機本給水</td> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧機本給水</td> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 駆動燃料給水エリアのみ          ※3 機本給水ポンプの排水量で考慮する          ※4 休止設備であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア、機本貯蔵タンクエリア          ※6 LOTエリア、タービンタンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラー 設備	機本 ポンプ 室	機本 エリア 05	LOT エ リア 06	機本使用 圧力 (MPa)	機本使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉配管		設備 設置	タービン 建屋 管理	原子炉種	付属種	高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 機本給水	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルの 駆動燃料給水	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水	0.95	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルの 駆動燃料給水	0.95	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	タービン機本給水	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧機本給水	0.50	79	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	0.45	79	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	高圧機本給水	13.80	70	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大阪、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラー 設備	機本 ポンプ 室									機本 エリア 05	LOT エ リア 06																																																																																																																																																														
	機本使用 圧力 (MPa)		機本使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉配管		設備 設置							タービン 建屋 管理																																																																																																																																																																			
		原子炉種				付属種																																																																																																																																																																												
高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 機本給水	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼルの 駆動燃料給水	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水	0.95	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼルの 駆動燃料給水	0.95	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレッド ダイセーセル発電設備 燃料給水	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																						
タービン機本給水	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
高圧機本給水	0.50	79	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
	0.45	79	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
高圧機本給水	13.80	70	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																						
	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 857 1145"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>最高使用温度(℃)</th> <th>高エネ</th> <th>低エネ</th> <th>原子炉種</th> <th>付属種</th> <th>付属種(高圧協働設置エリア)</th> <th>制御棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却水循環系</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 廃棄物処理エリアのみ                  ※3 潤水側給水系の給水量で考慮する                  ※4 休止設備であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：直水貯蔵タンクエリア                  ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種	付属種	付属種(高圧協働設置エリア)	制御棟	原子炉冷却水循環系	0.98	66	-	○	○	○	-	○	炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	○	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大阪、高浜、美浜と同様）                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大阪も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																	
	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種	付属種	付属種(高圧協働設置エリア)	制御棟																														
原子炉冷却水循環系	0.98	66	-	○	○	○	-	○																														
炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	○																														



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計による相違                  記載表現の相違                  BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p>																																																																																													
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違</p>																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa 以下 運転温度：約 177℃ 以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系※1</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系※1</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※1	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa 以下 運転温度：約 177℃ 以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A):0.05 % (B):0.05 %</td> <td>(A):(63 h)/(133921 h)=0.05 % &lt; 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A):0.03 % (B):0.02 % (C):0.02 %</td> <td>(A):(28 h)/(133921 h)=0.03 % &lt; 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02 % &lt; 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10 %</td> <td>(133 h)/(133921 h)=0.10 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15 %</td> <td>(189 h)/(133921 h)=0.15 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08 %</td> <td>(99 h)/(133921 h)=0.08 % &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)</td> <td>0.01 %</td> <td>(3 h)/(133921 h)=0.01 % &lt; 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）</p> <p>※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検終了（平成22年11月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	ほう酸水注入系	(A):0.05 % (B):0.05 %	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%	残留熱除去系	(A):0.03 % (B):0.02 % (C):0.02 %	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>(A):0.85 % (B):0.85 %</td> <td>(A):(176h)/(20,760h)=0.85%&lt;1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系</td> <td>(A):0.03 % (B):0.03 %</td> <td>(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%&lt;1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (電動補助給水ポンプ)</td> <td>(A):0.11 % (B):0.03 %</td> <td>(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%&lt;1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)</td> <td>0.05%</td> <td>(9h)/(20,760h)=0.05%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>(A):0.03 % (B):0.03 %</td> <td>(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%&lt;1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）</p> <p>※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検終了（平成24年5月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	余熱除去系	(A):0.85 % (B):0.85 %	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%	原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03 % (B):0.03 %	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11 % (B):0.03 %	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%	安全注入系	(A):0.03 % (B):0.03 %	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%	<p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による系統の相違                  ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※1																																																																																														
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																														
格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																														
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																														
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa 以下 運転温度：約 177℃ 以下	<1%																																																																																														
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																														
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																														
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
ほう酸水注入系	(A):0.05 % (B):0.05 %	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%																																																																																														
残留熱除去系	(A):0.03 % (B):0.02 % (C):0.02 %	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%																																																																																														
低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%																																																																																														
高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%																																																																																														
原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%																																																																																														
加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
余熱除去系	(A):0.85 % (B):0.85 %	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%																																																																																														
原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03 % (B):0.03 %	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11 % (B):0.03 %	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%																																																																																														
安全注入系	(A):0.03 % (B):0.03 %	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<p>補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sn)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">R-B2F-1</td> <td rowspan="10">H S C R</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>STS42</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>C-1F-3</td> <td>H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	H S C R	25A-HSCR-220	STPT38	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		30A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		20A-HSCR-466-1		R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	STS42	制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38	C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">補助蒸気系配管*</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>主蒸気系(主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370	原子炉補助建屋	STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370	原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。(大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様)</li> <li>・建屋名称、対象系統、材質の相違。</li> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様)</li> <li>・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																				
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																					
主蒸気系																																																																																																							
主給水系																																																																																																							
蒸気発生器ブローダウン系																																																																																																							
補助給水系																																																																																																							
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																					
設置エリア	溢水防護区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																				
			ライン番号	材質																																																																																																			
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																			
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																			
	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38																																																																																																			
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																			
	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																			
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																			
	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	H S C R	25A-HSCR-220	STPT38																																																																																																		
				100A-IS-109	STPT38																																																																																																		
				40A-IS-110	STPT38																																																																																																		
				200A-HSCR-152-2																																																																																																			
				200A-HSCR-153																																																																																																			
				100A-HSCR-152-3																																																																																																			
				30A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																		
				40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																		
				25A-HSCR-159																																																																																																			
				25A-HSCR-206																																																																																																			
	20A-HSCR-466-1																																																																																																						
	R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																			
	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38																																																																																																			
			20A-IS-562-1	STS42																																																																																																			
制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																			
			C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																	
設置エリア	対象配管	材質																																																																																																					
原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370																																																																																																					
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																					
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																					
原子炉補助建屋		主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3) Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3) Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>と、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計による系統の相違</a></p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>・女川は<math>S_n</math>（一次応力+二次応力）が許容応力<math>S_a</math>の0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することになっているが、泊はそれに加えて、許容応力<math>S_a</math>の0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することになっている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>・泊では、大阪と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>b. <math>S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75h_1(M_s + M_b) + h_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)  <math>h_1, h_2</math> : 応力係数  <math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)  <math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)  <math>M_b</math> : 管の機械的荷重 (逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)  <math>D_o</math> : 管の外径 (mm)  <math>t</math> : 管の厚さ (mm)  <math>M_a</math> : 管の機械的荷重 (自重その他の長期荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_a = 1.25S_c + (1.2 + 0.25f)S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)  <math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)  <math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: center;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p>	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系配管は、通年（運転時、定検時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 1129 1189 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）配管は、通年（運転時、定期事業者検査時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 1129 1756 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない、<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計による系統の相違  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT38の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math>（MPa）（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT370の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 116.25 + 134.85</math>  <math>= 116 + 134</math>（小数点以下を切り捨て）=250</p> <p>したがって、<math>0.8Sa = 0.8 \times 250 = 200</math>（MPa）、<math>0.4Sa = 0.4 \times 250 = 100</math>（MPa）となる。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による材質の相違。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大阪と同様）                      ・Saが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することとしているため、0.8Saの算出について記載している。  <u>記載方針の相違</u>                      ・0.8Sa及び0.4Saの算出における小数点以下の切り捨て処理は、STPT370の計算においては発生しないため、記載しない。                      ・泊でも小数点以下の数字がある場合は、切り捨てを実施している。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 200A-HS-100-1, 200A-HSCR-152-2, 200A-HSCR-153 100A-HSCR-152-3, 25A-HSCR-220, 20A-HSCR-452-1 40A-HSCR-208, 25A-HSCR-159, 25A-HSCR-206, 25A-HSCR-466-1 100A-RCIC-6-2（原子炉隔離時冷却水系としては最高使用温度302℃, 8.62MPa）最高使用温度：188℃ 最高使用圧力：0.96MPa</li> <li>・ 20A-HS-562-1, 40A-HS-110, 50A-HS-4, 100A-HS-109, 250A-HS-3, 最高使用温度：204℃ 最高使用圧力：1.57MPa</li> </ul>	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa</li> <li>・ 蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> <li>・ 主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・ 泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、3次元はりモデル解析を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法による評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析を実施している。（大阪、川内、玄海と同様）</li> </ul> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラント設計による系統の相違。</li> <li>・ 女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・ 泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はないが、3次元はりモデル解析を実施する一部の配管については解析モデル図で対象配管を明確にしている。（後段の9-別添1-添13-8の大阪の図1を参照。）</li> <li>・ 系統の相違による最高使用温度、最高使用圧力の相違。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 391 676 529"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                      まとめ資料 p. 1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 657 660 817"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                       SOLVER Rev.02.05</p> <p>(4) その他                      100A-RCIC-6-2 については、運転期間が短期間（プラントの通常運転時の1%より小さい）であることから、低エネルギー配管に分類した上で、評価を実施する。</p>	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                      ・標準支持間隔法                      SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0                      ・3次元はりモデル解析                      MSAP PCL0 版</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。                      ・SPANコードについては、大阪も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。                      ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PCL0 版」を用いている。本解析コードについては、先行PWRの資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</p> <p>【大阪】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載内容の相違</u>                      女川は区画内のHS系について抽出した上で、HS系に含まれているRCIC配管の運転時間が短期間で低エネルギー配管であることを記載している。泊では、その他として記載する内容は無い。</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(評価フローについては、大阪と同様)</p> <p>【大阪】                  記載表現の相違                  大阪の図の名称が評価フロー、タイトルが設定フローとなっているため、泊ではタイトルと図の名称の統一を図り、評価フローとして記載する。</p>
<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.8Saを下回っていることを確認した。したがって、高エネルギー配管に想定する破損形状は貫通クラックとした。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（加熱蒸気系）の想定破損除外の評価結果</p> <p>評価の結果、加熱蒸気系及び復水戻り系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系、主蒸気系）の応力評価結果</p> <p>評価の結果、補助蒸気系配管の応力は <math>0.4S_a &lt; S_n \leq 0.8S_a</math> となり、貫通クラックを適用できることを確認した。また、蒸気発生器ブローダウン系及び主蒸気系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管もあるため、応力評価結果としている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      ・女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力 <math>S_n</math> の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違。                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p>
<p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 <math>S_s</math> に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>対象とした加熱蒸気系配管のモデル図を図1~3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3に示す。</p>	<p>対象とした補助蒸気系配管、蒸気発生器ブローダウン系配管及び主蒸気系配管のモデル図を図2,3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3,4に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による系統の相違  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																					
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補3-1-16より抜粋                      表-1 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 338 667 418"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値※ 0.8Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>1-1/2B-sch40</td> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>101</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)	A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 220 1263 992"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td>HS-002 (200A-HS-100-1)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>48</td> <td>66<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>49<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R-1F-12</td> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>79</td> <td>92<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B1F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>85<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>77</td> <td>100<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (25A-HSCR-220)</td> <td colspan="5">評価除外 (25A以下)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R-B2F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>91<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-123)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>64</td> <td>88<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-127)</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>59</td> <td>84<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>72</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>105<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-153)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>45<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>95<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後（対策後）の評価値であり、設計選捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100	R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100	R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)							R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果（貫通クラック）</p> <table border="1" data-bbox="1290 210 1854 338"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.8Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>22.1</td> <td>32.3</td> <td>100</td> <td>159</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	補助蒸気系統配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊は想定破損除外を適用する他に、貫通クラックを適用するパターンがあり、想定破損除外と貫通クラックで許容値が異なるため、表3（貫通クラック）と表4（想定破損除外）に分けて記載している。                      ・女川は、溢水防護区画内の応力評価が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。一方、泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載しない。（玄海と同様）                      ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として補助蒸気配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																			
A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170																																																																																																																																																			
区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																																	
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																																		
R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)																																																																																																																																																						
R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																	
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																																		
補助蒸気系統配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169																																																																																																																																																	

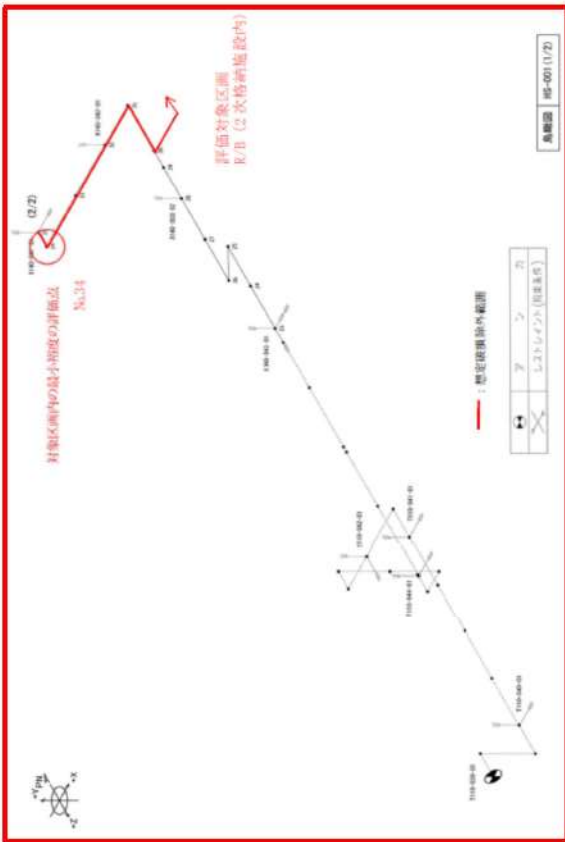
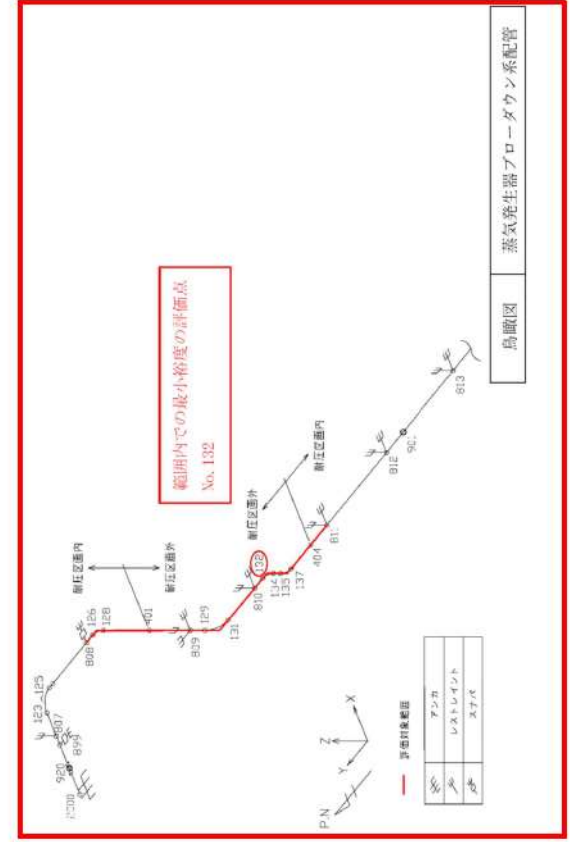
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B2F-1</td> <td>HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)</td> <td colspan="5" rowspan="2">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)</td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>85</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B3F-2</td> <td>HS-130 (20A-HS-129)</td> <td colspan="5" rowspan="5">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>HS-104 (20A-HS-733)</td> </tr> <tr> <td>HS-105 (20A-HS-734)</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>87</td> <td>97<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>68</td> <td>88<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>47<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対新機)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)						HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)	R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100	R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)						HS-104 (20A-HS-733)	HS-105 (20A-HS-734)	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)		C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111	C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111	<p>表4 最大応力発生箇所における応力評価結果(想定破損除外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器ブロー ダウン系配管</td> <td>3</td> <td>33.3</td> <td>0.6</td> <td>32.9</td> <td>13.3</td> <td>81</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管</td> <td>3</td> <td>32.9</td> <td>0.4</td> <td>57.7</td> <td>1.5</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100	主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違、許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																														
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)																																																																																																							
R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HS-104 (20A-HS-733)																																																																																																							
	HS-105 (20A-HS-734)																																																																																																							
	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)																																																																																																							
C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																	
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100																																																																																																	
主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100																																																																																																	

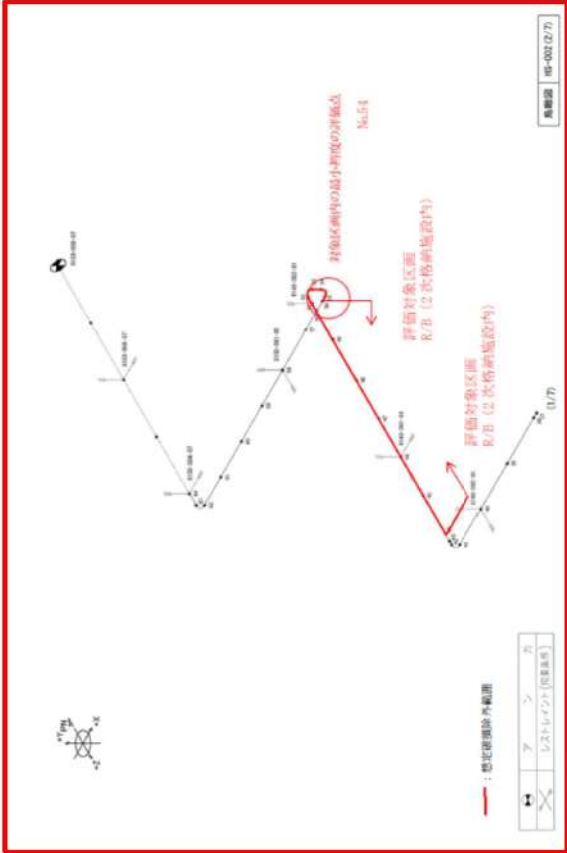
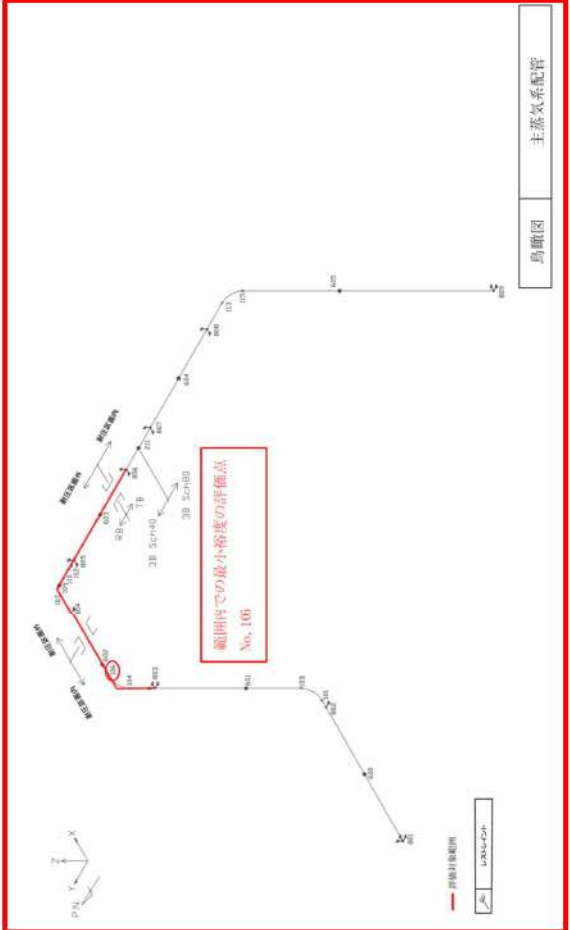
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1270 453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4S<sub>s</sub> (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非管理 区域 (T/D)</td> <td>HSCR-003 (150A-HSCR-79)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>60<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>102<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (50A-HSCR-75)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>85</td> <td>110<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4S <sub>s</sub> (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                      設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4S <sub>s</sub> (MPa)																												
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																
非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111																															
	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111																															
	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111																															

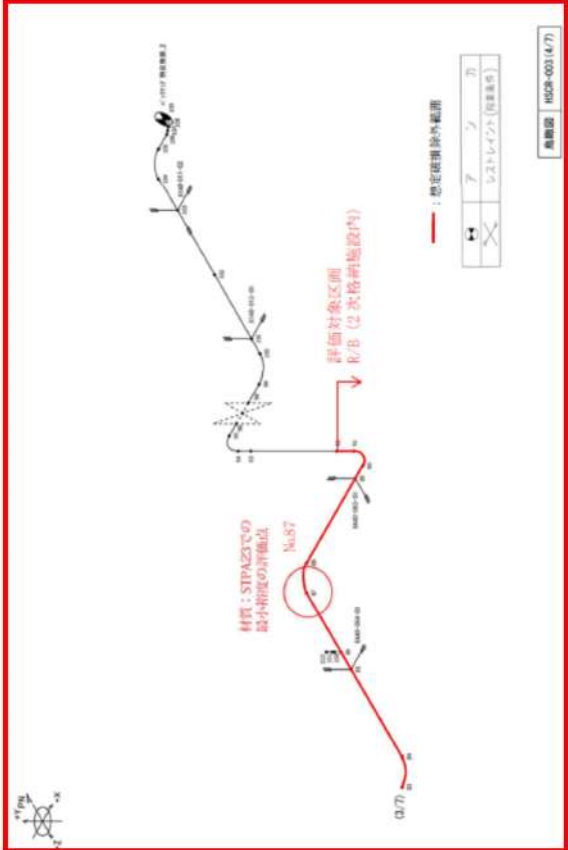
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1066 1182 1090">図1 HS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1285 1066 1861 1121">図2 蒸気発生器ブロードダウン系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1868 177 2136 268">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1868 1066 2136 1121">【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

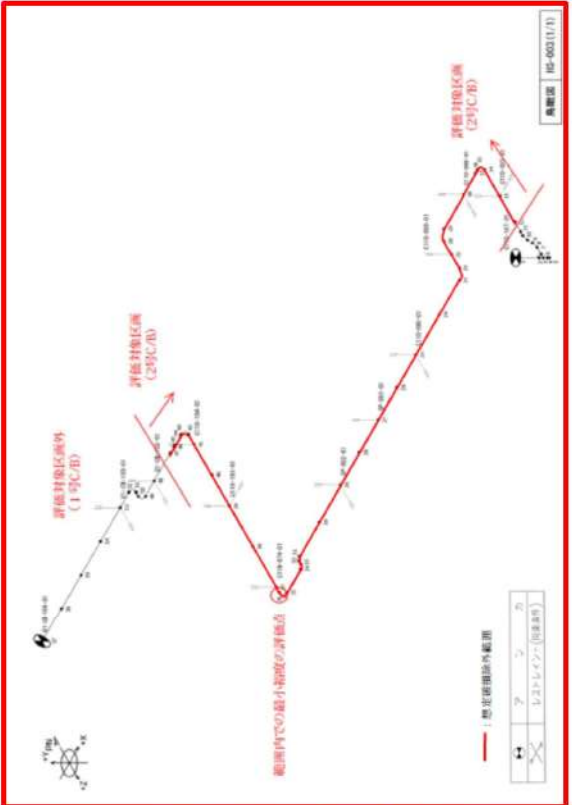
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1129 1178 1157">図2 HS-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1330 1129 1800 1157">図3 主蒸気系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1872 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1872 213 2130 268">設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1872 1099 1933 1120">【女川】</p> <p data-bbox="1872 1133 1995 1153">記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

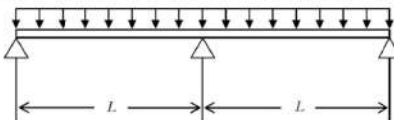
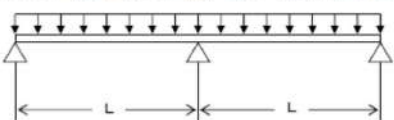
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="705 1133 1270 1157">図3 HSCR-003 解析モデル図 (STPA23 最小裕度の範囲) (1/2)</p>		<p data-bbox="1874 183 2136 271">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1029 2136 1093">【女川】                  記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="703 991 1272 1023">図3 HS-003 解析モデル図 (STPT38 最小裕度の範囲) (2/2)</p>		<p data-bbox="1874 177 2136 268">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 959 2136 1023">【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>本件の想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管と低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動 <math>S_d</math> に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1. 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。</p> <p>なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動 <math>S_d</math> による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2. 直管部の支持間隔</p> <p>2.2.1. 解析モデル</p> <p>各種配管を図5のように支持間隔 <math>L</math> で3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図5 標準支持間隔法の解析モデル</p>		<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気系統配管及び低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。</p> <p>なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔 <math>L</math> で3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1 標準支持間隔法の解析モデル</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、想定破損における一次応力を算出するために標準支持間隔法を用いている。一方、女川では溢水影響評価に必要な配管について、3次元はりモデル解析を実施しているため、別紙の内容については、大阪の資料との比較を実施する。</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>2.2.2. 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表2のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表2 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="116 558 676 715"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ E.L. +(m)</th> <th>減衰 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>低:17.1、26.0、33.6、47.3</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>周辺建屋</td> <td>高:33.6~17.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td>低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:33.6~15.8、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ E.L. +(m)	減衰 (%)	原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0	周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0	制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0		<p>2. 2. 2 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1288 558 1854 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (PI/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWF/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (PI/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 プラント設計による建屋名称、床応答曲線高さ、減衰の相違。</p>
建屋	床応答曲線高さ E.L. +(m)	減衰 (%)																																					
原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0																																					
周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0																																					
	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)																																					
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																					
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																					
燃料取扱棟 (PI/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																					
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																					
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																					
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																					
循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0																																					
<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図6に示す。</p>		<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図2に示す。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料13）

大阪発電所3/4号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3)Sd <sup>®</sup>
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・EP包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温有無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

階高	EL. Cm	EL. Cm	EL. Cm
仕様	○B Sch○	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...			

新標準支持間隔表  
標準支持間隔表  
比差割、減衰○

施工図

比較

図6 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」  
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf>

女川原子力発電所2号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(L/3) Sd
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・EP包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

階高	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm
仕様	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...			

新標準支持間隔表  
標準支持間隔表  
比較

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

泊発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(L/3) Sd
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・EP包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

階高	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm
仕様	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...			

新標準支持間隔表  
標準支持間隔表  
比較

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

相違理由

【大阪】  
 記載表現の相違

【大阪】  
 記載方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙2）</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>配管破損を想定する系統の低エネルギー配管について、溢水ガイド附属書Aの低エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、許容応力の0.4倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>本資料は低エネルギー配管の応力評価とその結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																				
<p>補足資料3-2</p> <p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベイランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベイランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW</td> <td>50A-HNCW-41</td> <td>STPG38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td rowspan="2">RHR (A)</td> <td>350A-RHR-2-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-24-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td rowspan="2">RHR (A)</td> <td>100A-RHR-33</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>350A-RHR-4-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td rowspan="2">RHR (B)</td> <td>100A-RHR-25-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-41</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td rowspan="2">RHR (C)</td> <td>350A-RHR-6-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>300A-RHR-6-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td rowspan="2">RHR (C)</td> <td>100A-RHR-26-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-52</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td rowspan="2">LPCS</td> <td>300A-LPCS-2-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-LPCS-7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td rowspan="2">HPCS</td> <td>100A-HPCS-2-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-HPCS-6-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">RCIC</td> <td>100A-RCIC-3-1</td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-RCIC-5</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41	STPG38	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1	STS42	100A-RHR-24-1	R-B3F-3	RHR (A)	100A-RHR-33	STS42	350A-RHR-4-1	R-B3F-6	RHR (B)	100A-RHR-25-1	STS42	100A-RHR-41	R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1	STS42	300A-RHR-6-2	R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-26-1	STS42	100A-RHR-52	R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1	STS42	50A-LPCS-7	R-B3F-5	HPCS	100A-HPCS-2-1	STS42	100A-HPCS-6-1	R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1	STS42	50A-RCIC-5	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（充てん）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（抽出）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（その他）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>安全注入系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TP SUS316TB</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370 SM400A STPT370</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>STPG370 STPY400 SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TB SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>試料採取系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TB</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（脱塩水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TB</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（海水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP	安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP	余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP SUS316TB	原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370	使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP	液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB SUS316TP	固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP	試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB	燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB	原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元ではモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大阪と同様）</li> <li>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</li> <li>・泊では低エネルギー配管に対しては、大阪と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、想定破損除外を適用する系統、設置エリア、材質を表で読み取れるように記載する。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																																					
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																																																																																																																																																					
格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																					
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																																																																																																																																																					
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																																																																																																																																																					
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%																																																																																																																																																																																																																					
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																					
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																					
安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																					
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																																																																																																																																																					
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																																																																																																																																																					
固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																					
補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																					
設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																																																																																																																																				
			ライン番号	材質																																																																																																																																																																																																																			
原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41	STPG38																																																																																																																																																																																																																			
	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																			
			100A-RHR-24-1																																																																																																																																																																																																																				
	R-B3F-3	RHR (A)	100A-RHR-33	STS42																																																																																																																																																																																																																			
			350A-RHR-4-1																																																																																																																																																																																																																				
	R-B3F-6	RHR (B)	100A-RHR-25-1	STS42																																																																																																																																																																																																																			
			100A-RHR-41																																																																																																																																																																																																																				
	R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1	STS42																																																																																																																																																																																																																			
			300A-RHR-6-2																																																																																																																																																																																																																				
	R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-26-1	STS42																																																																																																																																																																																																																			
100A-RHR-52																																																																																																																																																																																																																							
R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																				
		50A-LPCS-7																																																																																																																																																																																																																					
R-B3F-5	HPCS	100A-HPCS-2-1	STS42																																																																																																																																																																																																																				
		100A-HPCS-6-1																																																																																																																																																																																																																					
R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1	STS42																																																																																																																																																																																																																				
		50A-RCIC-5																																																																																																																																																																																																																					
対象配管	設置エリア				材質																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																																																																																																																																																																			
1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP SUS316TB																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370																																																																																																																																																																																																																		
使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB SUS316TP																																																																																																																																																																																																																		
固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB																																																																																																																																																																																																																		
燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1868 635"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>水消火系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>飲料水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>補助給水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>所内用水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナ排水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SGP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370	水消火系配管	○	○	—	○	STPG370	地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370	飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370	空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370	補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP	海水電解装置海水供給・注入系配管	—	—	○	—	SUS304TP	海水ストレーナ排水系配管	—	—	○	—	STPG370	海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大阪と同様）</li> <li>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</li> <li>・泊では低エネルギー配管に対しては、大阪と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</li> </ul>
対象配管	設置エリア				材質																																																																				
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																					
補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
水消火系配管	○	○	—	○	STPG370																																																																				
地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370																																																																				
飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																				
所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP																																																																				
海水電解装置海水供給・注入系配管	—	—	○	—	SUS304TP																																																																				
海水ストレーナ排水系配管	—	—	○	—	STPG370																																																																				
海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>b. <math>S_n = \frac{P_o D_o}{4t} + \frac{0.75A_1(M_x + M_y) + I_1 M_z}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)</p> <p><math>I_1, I_2</math> : 応力係数</p> <p><math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)</p> <p><math>M_b</math> : 管の機械的荷重(逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>D_o</math> : 管の外径 (mm)</p> <p><math>t</math> : 管の厚さ (mm)</p> <p><math>M_a</math> : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>d. <math>S_a = 1.25f_s + (1.2 + 0.25f)S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数</p> </div> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p><math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: right;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>(1) <math>S_a</math>の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。</p> <p><math>S_a = 1.25f_s c + (1.2 + 0.25f) S_h \dots</math> ①式</p> <p><math>S_a</math> : 許容応力</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>(設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2、3又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」の「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <p>(1) <math>S_a</math>の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。</p> <p><math>S_a = 1.25f_s c + (1.2 + 0.25f) S_h \dots</math> ①式</p> <p><math>S_a</math> : 許容応力</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>(設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7,000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7,000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は想定破損除外の対象となる低エネルギー配管にクラス3配管が含まれていることによる相違。          (大阪と同様)</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、大阪と同様に原則標準支持間隔法を用いて応力評価を実施している。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない。<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。</p> <p>・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 209 1189 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG38 の場合）を代入し、Sa を算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1391 209 1756 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=97MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG370 の場合）を代入し、Sa を算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 79 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 79</math>  <math>= 98.75 + 114.55</math>  <math>= 98 + 114</math>（小数点以下を切り捨て）= 212</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 212 = 84.8 \rightarrow 84</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設計による材質の相違。</li> <li>・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大阪と同様）</li> </ul>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1265 855"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>66</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>RHR</td> <td>186<sup>※1</sup></td> <td>3.73</td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>100</td> <td>4.42</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>100</td> <td>10.79</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td>66</td> <td>11.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 RHR(A),(B)系については、S/C吸込弁が「閉」となっている運転モードを除いた場合のRHR(A),(B)系の最高使用温度となる100°Cで評価を実施した。</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	HNCW	66	1.28	RHR	186 <sup>※1</sup>	3.73	LPCS	100	4.42	HPCS	100	10.79	RCIC	66	11.78	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 743 1848 842"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低エネルギー配管 全系統</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>1.9<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 低エネルギー配管の上限値</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、代表ブロックに対して、3次元はりモデル解析による確認を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法により評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析による確認を実施する評価フローとなっている。(大飯と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、全ての低エネルギー配管に対して、低エネルギー配管の上限値である温度及び圧力を設定して解析を行っている。(大飯と同様)</p>
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
HNCW	66	1.28																									
RHR	186 <sup>※1</sup>	3.73																									
LPCS	100	4.42																									
HPCS	100	10.79																									
RCIC	66	11.78																									
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 252 678 395"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                      まとめ資料p.1-9-補-157より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="136 523 658 679"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(3) 解析コード</p> <p>SOLVER Rev.02.05                      ISAP-III</p>	<p>(3) 解析コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準支持間隔法 SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0</li> <li>・3次元はりモデル解析 MSAP PC1.0版</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。(大阪と同様)</li> <li>・SPANコードについては、大阪も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。</li> <li>・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PC1.0版」を用いている。本解析コードについては、先行の資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p><u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、別紙1図1「高エネルギー配管の破損形状の評価フロー」と同じである。</p> <p>【大阪3号炉】                  まとめ資料 p.2-9-別1補-174より抜粋</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <p>図1 低エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  大阪では、低エネルギー配管の破損形状の評価フローについて、高エネルギー配管と同様としているが、実際には低エネルギー配管においては、許容応力0.4Saを満足することを確認しているため、記載を適正化している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.4Saを下回っていることを確認した。したがって低エネルギー配管に破損を想定する必要はないことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震 B,C クラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震 B,C クラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 <math>S_s</math> に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> </div>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図1~12に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図2に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に、低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果を表5に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力<math>S_n</math>の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象配管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

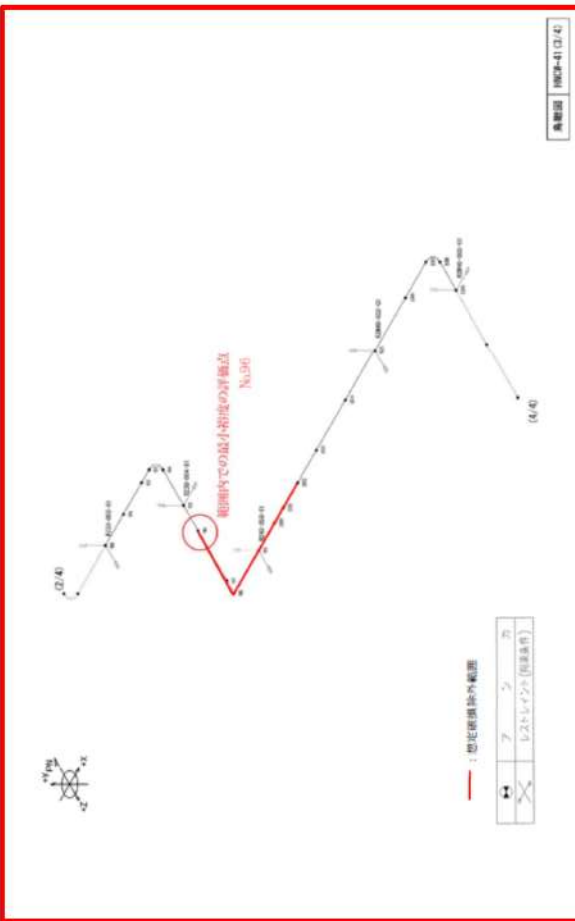
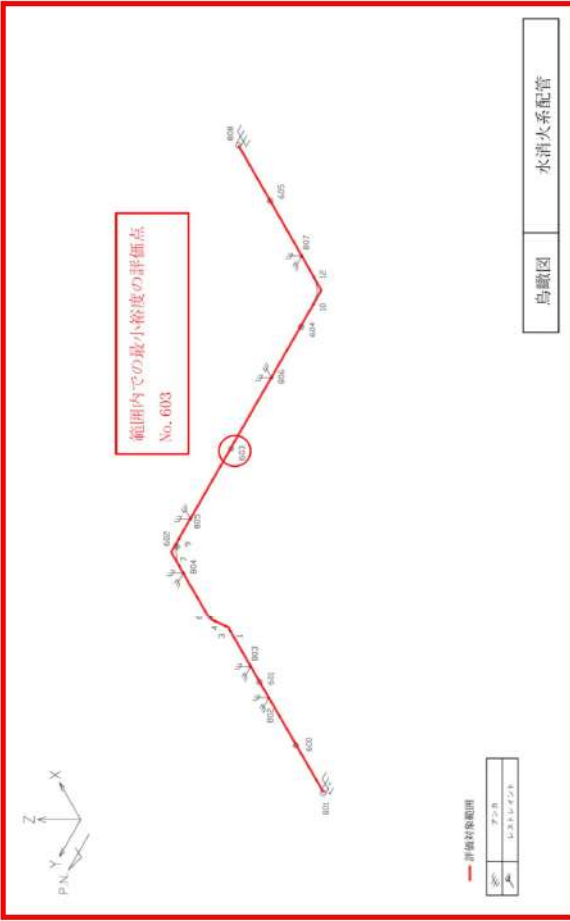
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補3-1-18より抜粋                      表-3 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 327 667 391"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>2B-sch40</td> <td>水消火系統配管</td> <td>80</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="705 247 1265 933"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW-41 (50A-HNCW-41)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td>KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>81</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-116 (100A-KRR-24-1)</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>73</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td>KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>77</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td>KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>54</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td>LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>51</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>39</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100	R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102	R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-4	LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1288 247 1848 367"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統配管</td> <td>4</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>0.0</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>表5 低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1288 486 1848 638"> <thead> <tr> <th>配管名</th> <th>評価方法</th> <th>建屋</th> <th>T.P. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>一次応力+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表配管 (水消火系)</td> <td>3次元はりモデル解析</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>40.3</td> <td>4B Sch40</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全評価対象配管</td> <td>標準支持間隔法</td> <td colspan="5">建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84	配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84	全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。					<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・泊では、低エネルギー配管については、建設時と同様に、室温との温度差が有意でないとし、熱応力を考慮していない。（大阪と同様）</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> <li>・代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</li> </ul> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として水消火系統配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。玄海では、代表配管ブロックのみについて、評価を示している。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																					
A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85																																																																																																																																					
区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																				
R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100																																																																																																																																			
R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102																																																																																																																																			
	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102																																																																																																																																			
R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-4	LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102																																																																																																																																			
	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102																																																																																																																																			
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																				
水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84																																																																																																																																			
配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																				
代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84																																																																																																																																				
全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

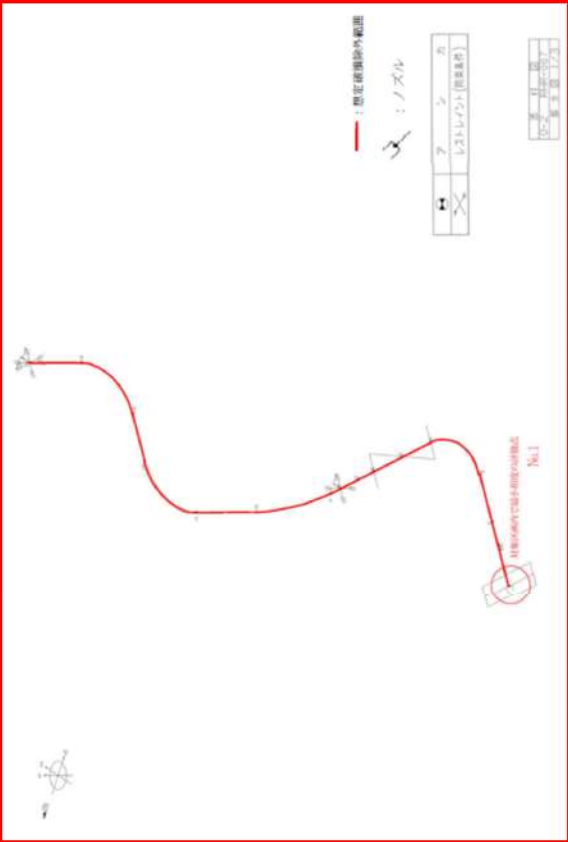
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
	<p style="text-align: center;">表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 204 1265 539"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td>HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)</td> <td>34</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>53</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>48</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-2</td> <td>RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRCIC-121 (50A-RCIC-5)</td> <td>15</td> <td>47</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>90</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 KMR-146については、R-B3F-6及びR-B3F-7の両区画内で最小裕度となる箇所の評価結果を記載する。</p>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102	R-B3F-2	RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)	25	21	21	3	70	102	KRCIC-121 (50A-RCIC-5)	15	47	16	12	90	102		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> </ul>
区画番号	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																				
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																								
R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102																																							
	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102																																							
R-B3F-2	RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)	25	21	21	3	70	102																																							
	KRCIC-121 (50A-RCIC-5)	15	47	16	12	90	102																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

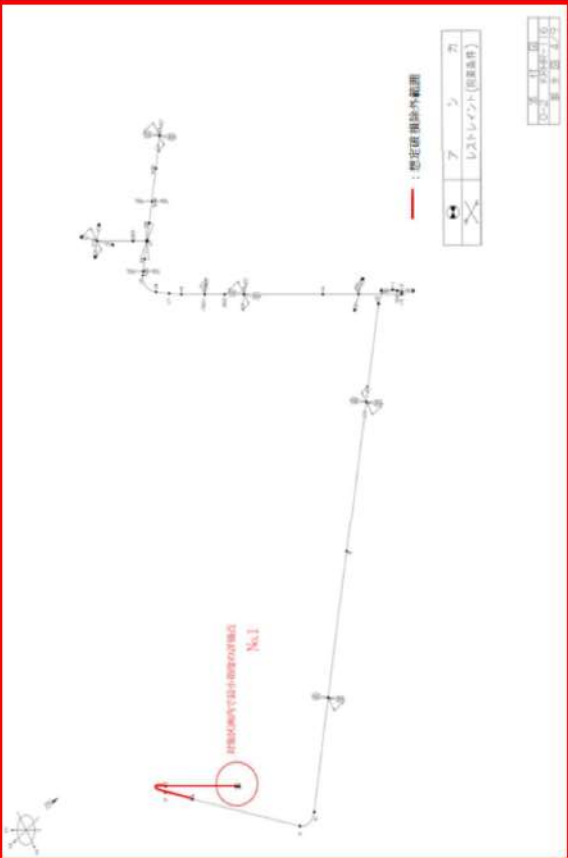
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1129 1187 1157">図1 HNCW-41 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1332 1129 1803 1157">図2 水消火系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1877 178 2128 268">【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1877 858 1993 917">【女川】  <u>記載表現の相違</u></p>



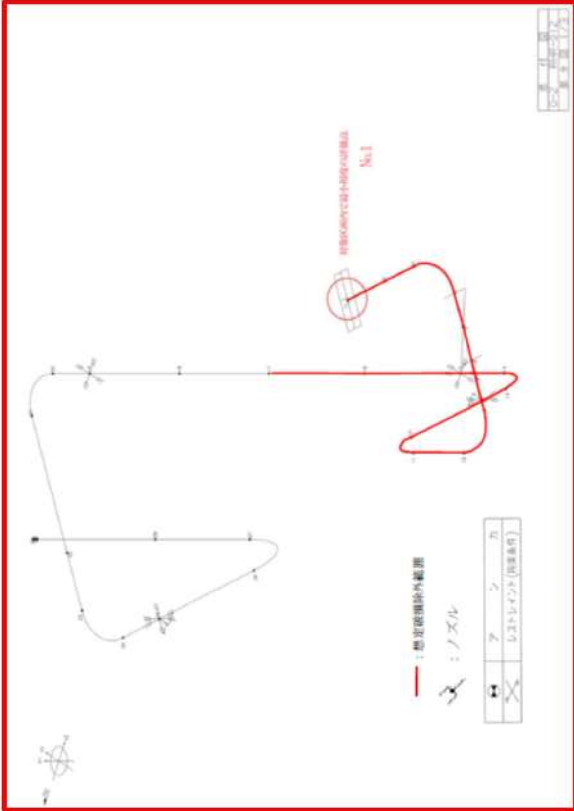
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1066 1191 1088">図2 RHR-007 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1935 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

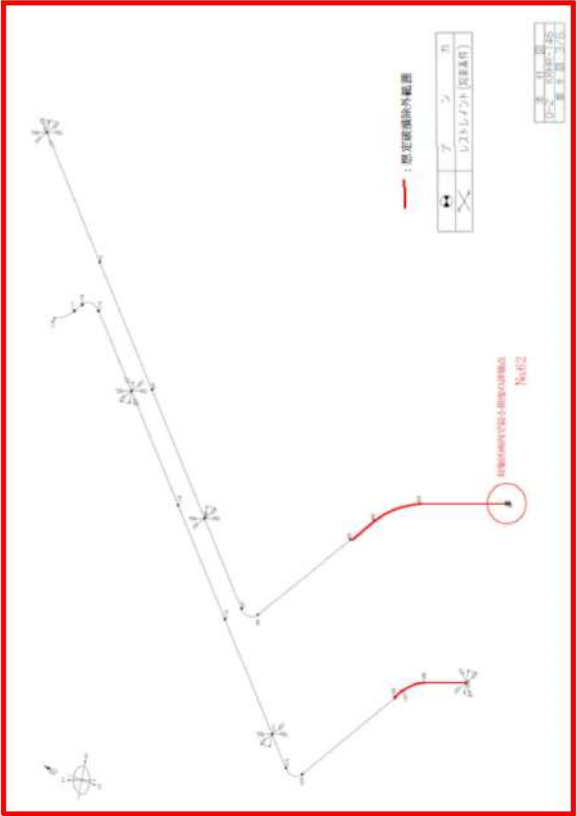
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1191 1088">図3 KRHR-116 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1877 178 1930 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

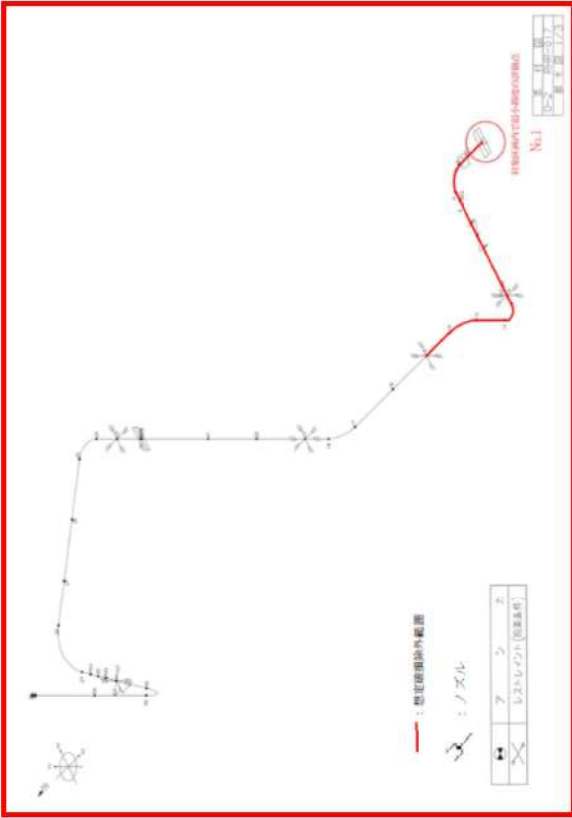
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1029 1187 1053">図4 RHR-012 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

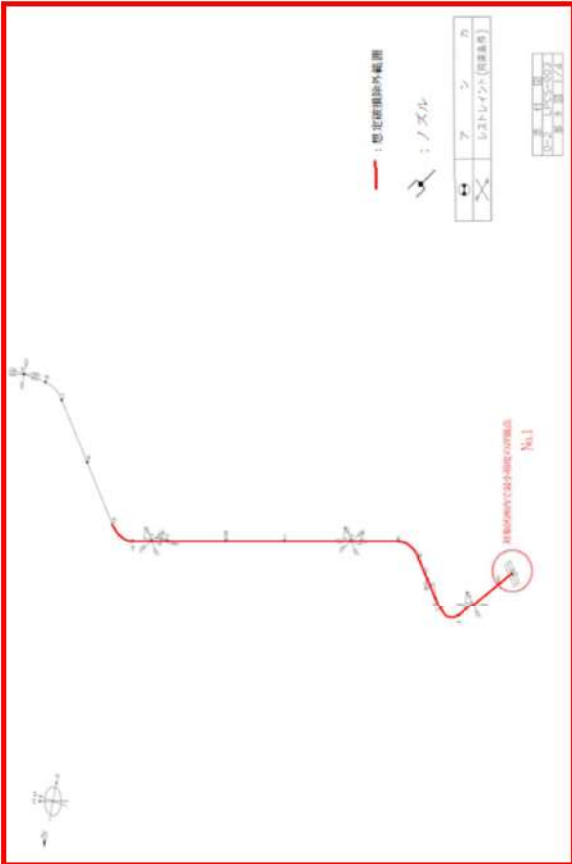
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1029 1191 1054">図5 KRHR-146 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1868 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1868 245 2130 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

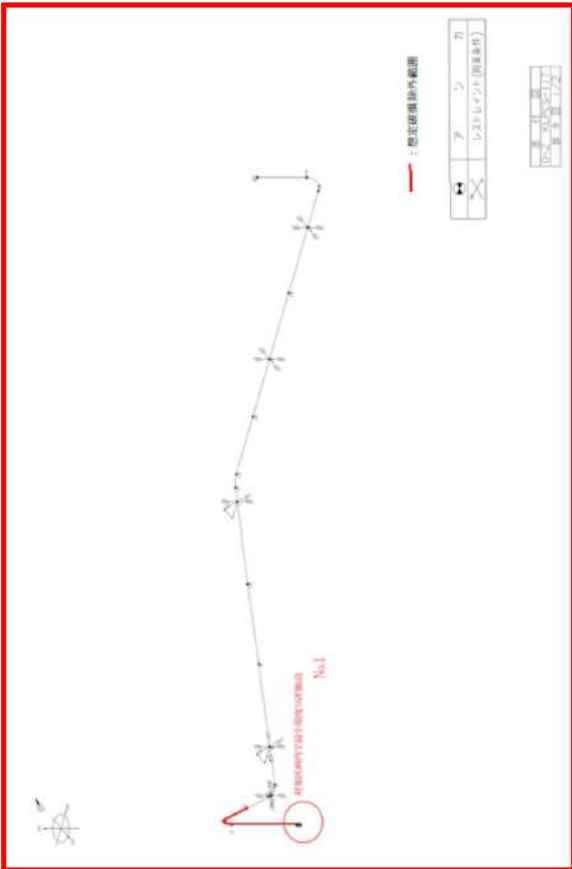
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1034 1191 1056">図6 RHR-017 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 177 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

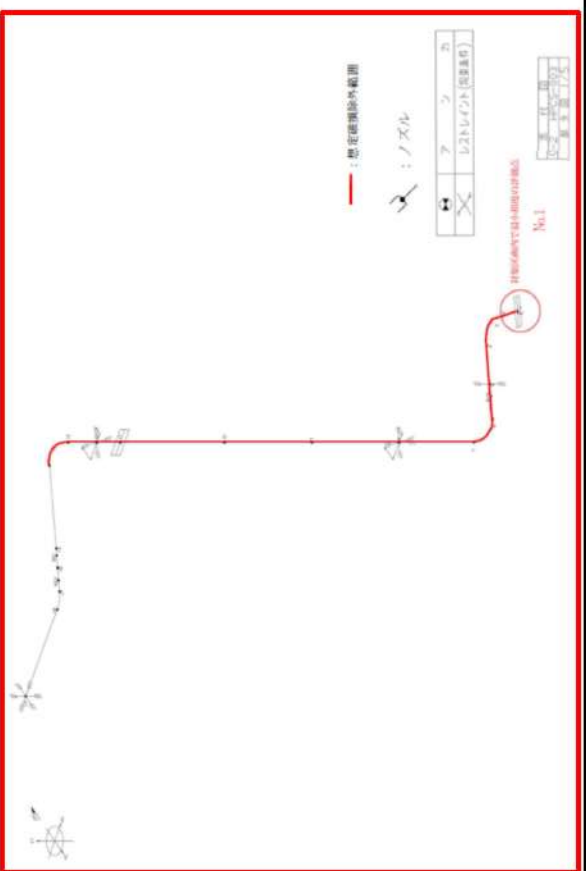
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1189 1088">図7 LPCS-003 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1874 180 1933 202">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

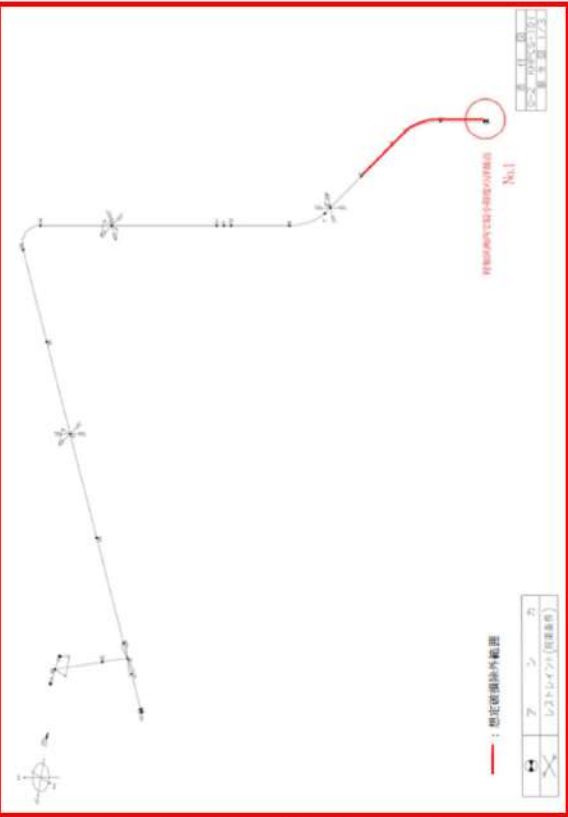
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1066 1196 1090">図8 KLPCS-117 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

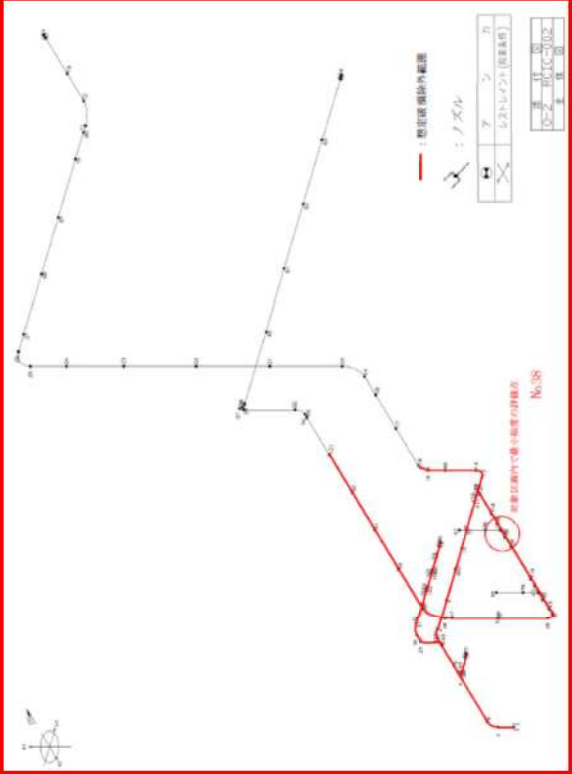
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1061 1198 1093">図9 HPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1870 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>



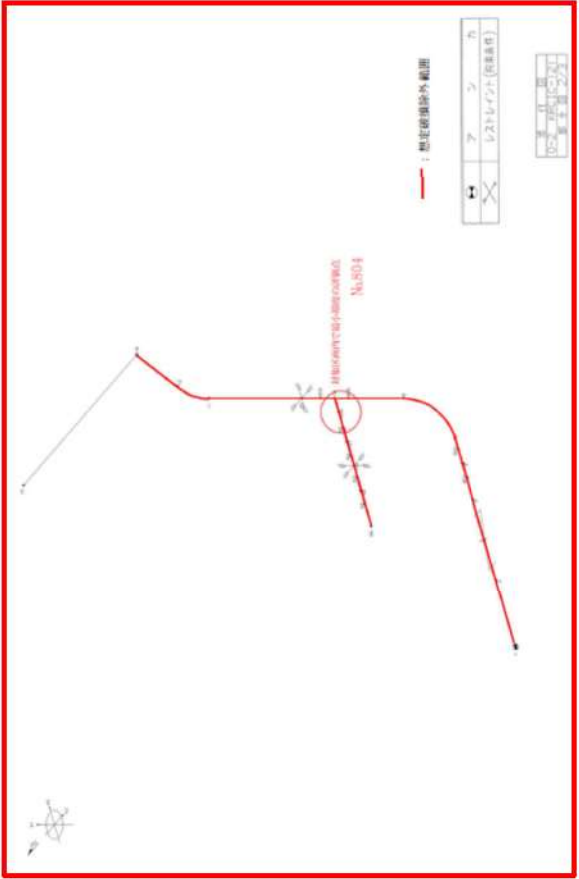
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1031 1200 1056">図10 KHPCS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1930 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 962 1196 986">図11 RCIC-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 180 1933 204">【女川】</p> <p data-bbox="1874 217 1995 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 248 2136 272">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1098 1205 1123">図12 KRCIC-121 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 248 2130 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

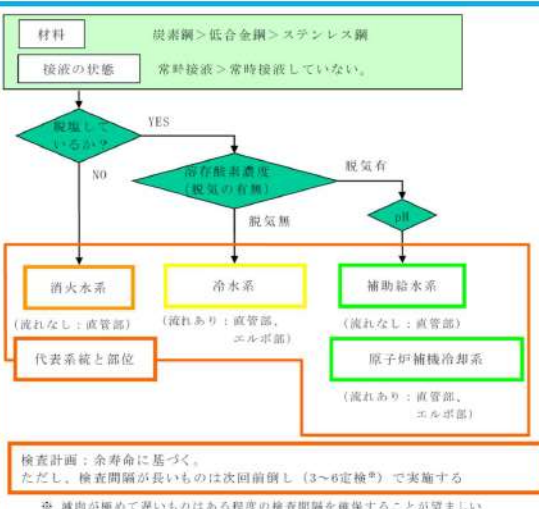
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 10</p> <p>1. 減肉管理の概要</p> <p>「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」では、「2.2 減肉等による破損」の想定にあたっては、「注2）設計や管理と破損の想定について」のただし書きとして、「減肉対策として当該部分の肉厚の測定を非破壊検査によって定期的に実施している等、当該部位の材料のき裂状況及び減肉状況を定期的に直接把握している場合は、破損による漏えいを確実に防止できることから、破損を想定しなくてもよい。」とあり、既に減肉状況を定期的に把握している系統配管については、減肉等による破損の想定にはあたらない。</p> <p>一方、減肉等による破損の想定を除外した系統配管については、これまでも減肉知見の拡充の観点より定期的な肉厚検査、配管の対策材への取替等を行ってきており、破損による漏えいを確実に防止できるものと判断しているが、今後も、現状検査範囲の継続的な監視を行うとともに、さらなる検査範囲の拡充を行っている。</p> <p>2. 検査範囲の拡充に伴うデータの扱い</p> <p>減肉は一定の期間内に進行した板厚の減少であるが、以下の理由から減肉かどうかの判断が容易でない場合が含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造時の板厚は公称値で調達されており、公差が含まれている。</li> </ul> <p>そのため、最初の計測等では板厚減少の原因が加工時の公差によるもの（進行性はない）か、減肉によるものか判断できないものも含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこで、現状の減肉管理では加工時の公差による板厚減少も減肉と一旦仮定し、複数回の測定を行っている。加工による板厚減少であれば評価上の減肉速度は測定により低下、余寿命はのびるため、減肉を判断することができる。</li> </ul> <p>次頁以降に減肉等による破損の想定を除外した系統配管の保全状況の確認結果を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 14、15 の評価結果により想定破損除外を行う場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>女川2号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NH1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該の配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2 参照）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 13、14 の評価結果により想定破損除外又は高エネルギー配管の貫通クラックを適用する場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外又は高エネルギー配管において貫通クラックを適用する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>泊発電所3号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NG1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管及び高エネルギー配管の貫通クラックを適用する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該の配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2 参照）</p>	<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>          炉型の違いによる規格の相違。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 代表部位の選定と検査計画</p> <p>(1) 考え方</p> <p>代表系統及び部位の選定は JSME の減肉管理の考え方を踏まえて決定している。考え方を図1に示す。</p> <div data-bbox="112 327 683 989"> </div> <p>図1 代表系統及び部位の考え方</p> <p>(2) 高エネルギー配管</p> <p>減肉管理対象の考え方に沿って、具体的に以下の代表系統と部位を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統 補助蒸気配管</li> <li>・部位 流れあり：直管部、エルボ部</li> </ul> <p>(3) 低エネルギー配管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れのある腐食：直管部、エルボ部</li> <li>・流れのない腐食：直管部</li> </ul>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している HS 及び HSCR は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統及び高エネルギー配管において貫通クラックを適用する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）、主蒸気系（主蒸気管室外）、補助給水系、空調用冷水系及び原子炉補機冷却水系は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</li> <li>・プラント設計による系統の相違</li> </ul> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績を反映し、女川と同様の内容にて検討対象系統を抽出する。</p>

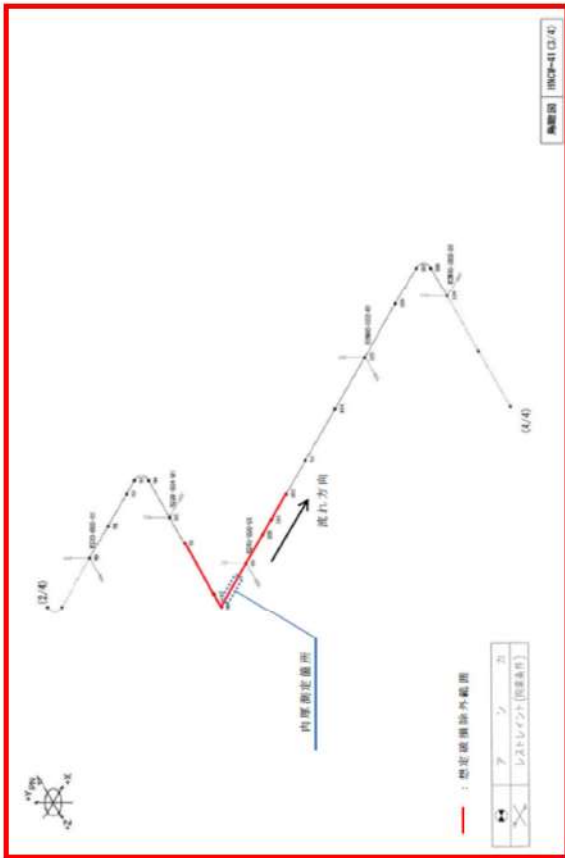
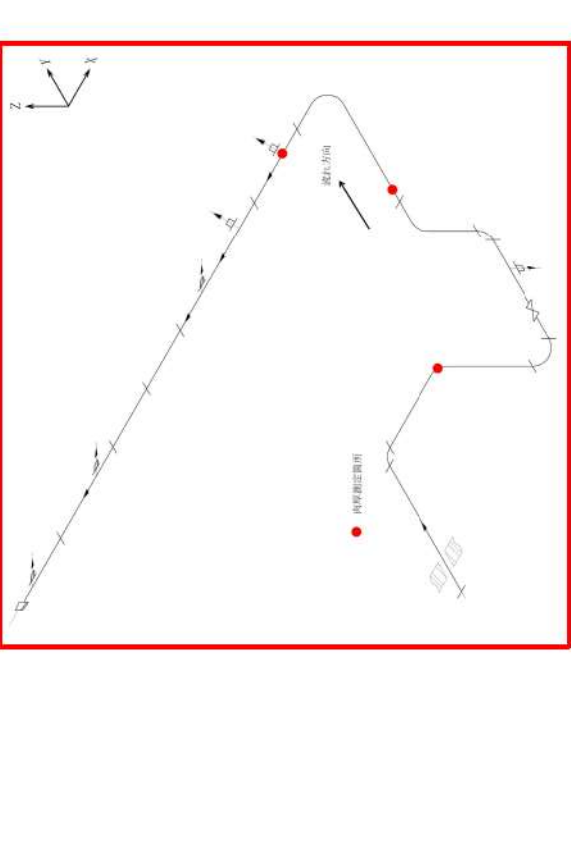
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
 <p>図2 代表系統及び部位の選定</p>	<p>(2) 材料                  女川2号炉の内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管は、すべて炭素鋼配管である。</p> <p>【柏崎刈羽6, 7号炉】                  まとめ資料9条-別添1-補足19-12より抜粋</p> <p>(2)対象材料                  柏崎刈羽原子力発電所6号炉, 7号炉の低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼および炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を補足第19.2.2-1表のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。補足第19.2.2-1表に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管については、対象外とする。</p> <table border="1" data-bbox="705 726 1243 981"> <caption>補足第19.2.2-1表 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</caption> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>(2) 対象材料                  泊発電所3号炉の高エネルギー配管材料及び低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼及び炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を表1のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。表1に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管のうち損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、対象外とする。</p> <p>表1 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</p> <table border="1" data-bbox="1288 790 1848 1045"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>【女川】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映。</p> <p>【柏崎】                  設備名称の相違                  設計方針の相違                  泊については高エネルギー配管も応力評価の対象としているため、その旨を反映している。(高エネルギー配管に応力評価を実施しているという観点で、大阪、女川と同様)</p> <p>記載方針の相違                  内面ライニング配管については、「損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、破損の想定を除外することができる」と溢水ガイドで定められているため、その旨を記載している。</p>
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映し、女川と同様に材料、腐食モード及び水質の観点から検討対象系統を抽出する。</p>																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

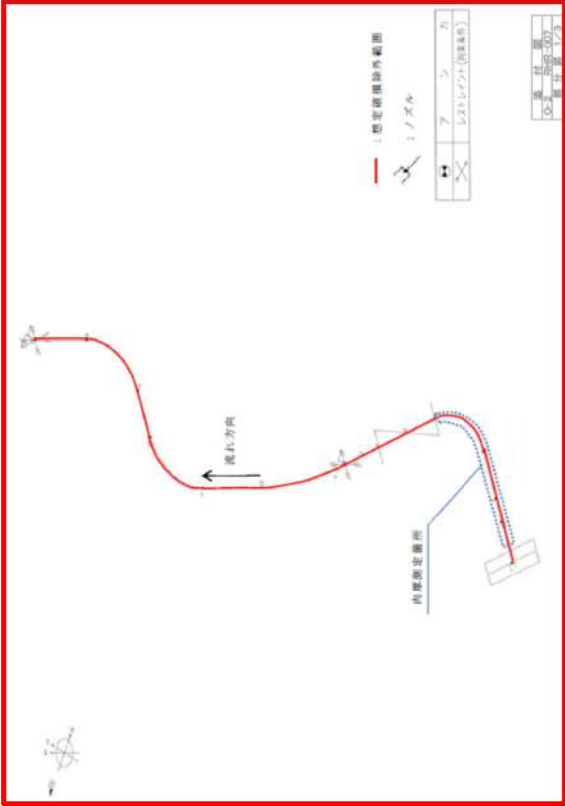
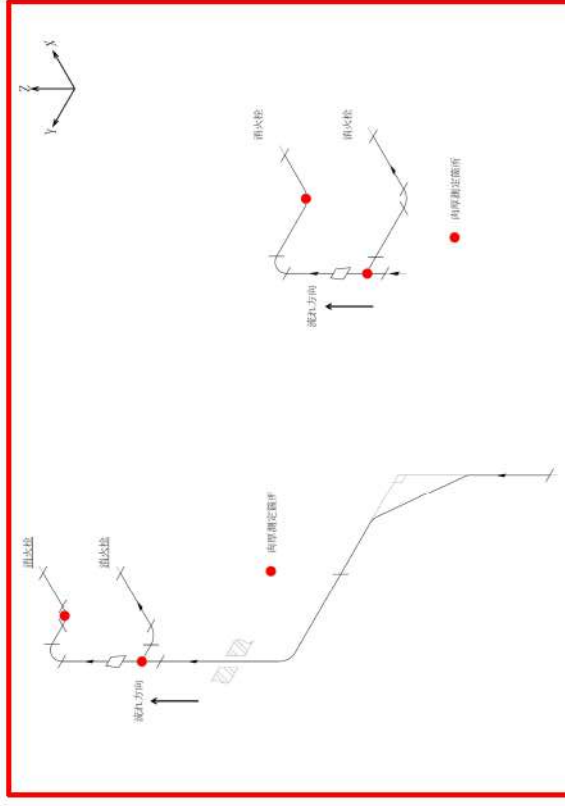
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水質は、<b>純水タンク、復水貯蔵タンク、サブプレッションプール</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表1に示し、また肉厚測定箇所を図1～図6に示す。</p> <p>表1 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="696 555 1267 740"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統</td> <td rowspan="5">想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定</td> </tr> <tr> <td>BHR</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	HNCW	内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定	BHR		LPCS	内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。	HPCS		RCIC		<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水質は、<b>補助給水ビット、原子炉補機冷却水サージタンク、ろ過水タンク、空調用冷水膨張タンク</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表2に示し、また肉厚測定箇所を図1に示す。</p> <p>表2 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="1285 560 1856 671"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）</td> <td>想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	水消火系	内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>プラント設計による系統の相違</p>
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																					
HNCW	内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定																					
BHR																							
LPCS	内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。																						
HPCS																							
RCIC																							
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																					
水消火系	内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

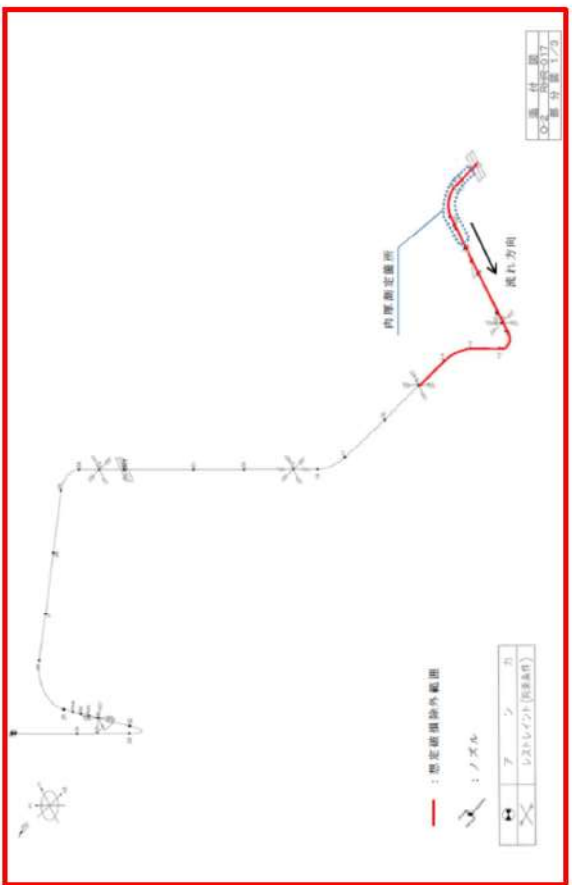
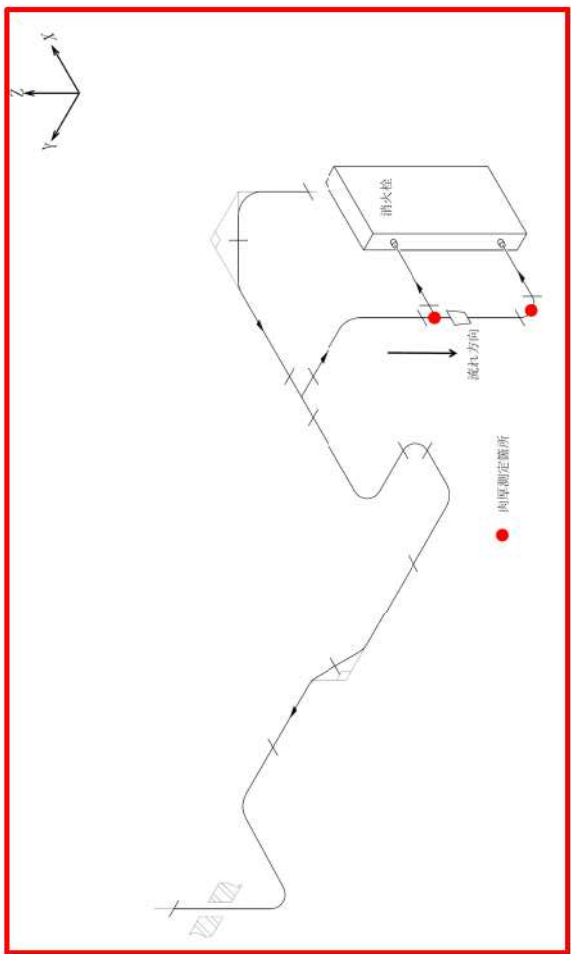
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図1 肉厚測定箇所 (HNCW)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (1/5)</p>	<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1029 1937 1053">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1061 2004 1085">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1093 2128 1228">女川では別々の系統を載せているので図 1~6 までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)~(5/5)とした。</p>



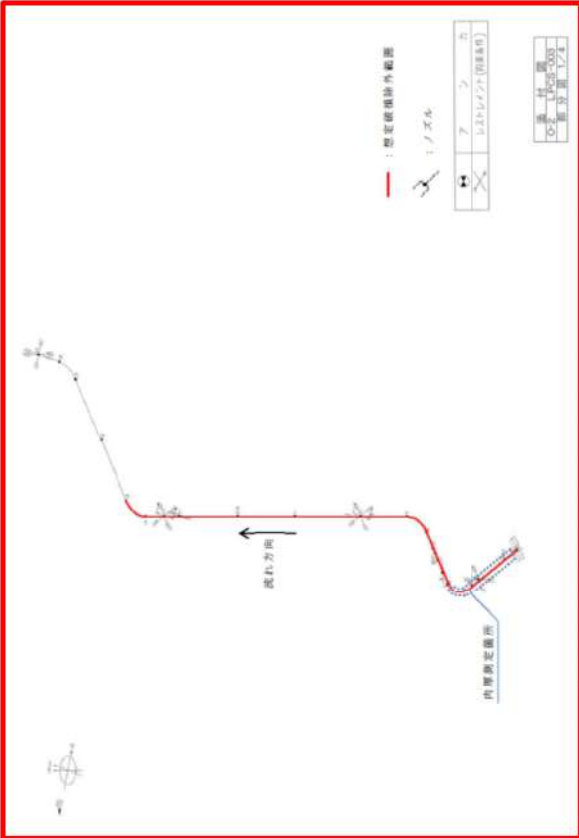
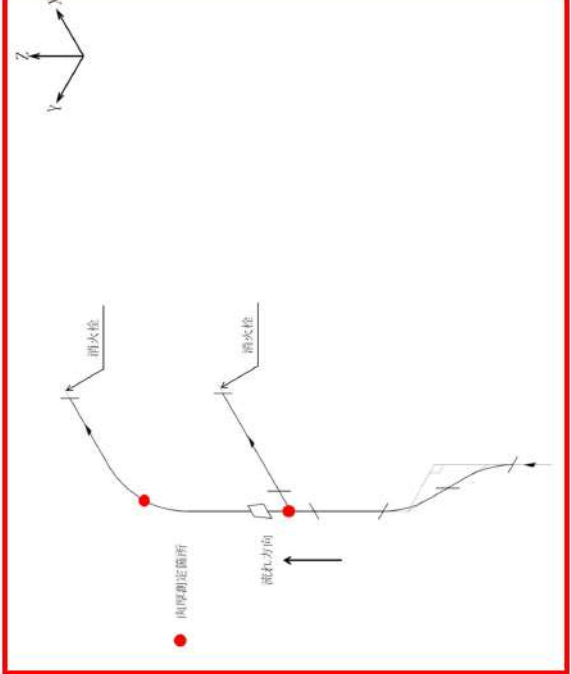
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="824 1029 1131 1061">図2 肉厚測定箇所（RHR(A), (B)）</p>	 <p data-bbox="1400 1029 1736 1061">図1 肉厚測定箇所（水消火系）(2/5)</p>	<p data-bbox="1870 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1870 1029 1937 1050">【女川】</p> <p data-bbox="1870 1066 2004 1086">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1870 1101 2128 1220">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

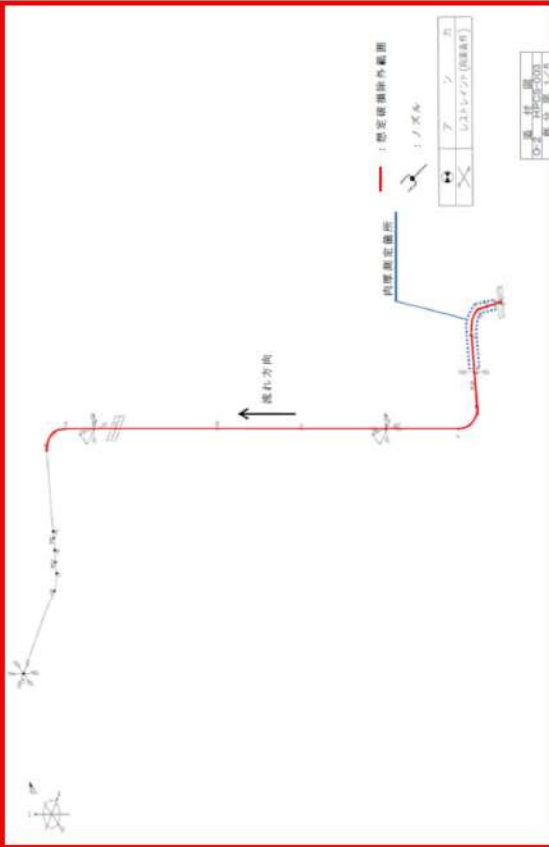
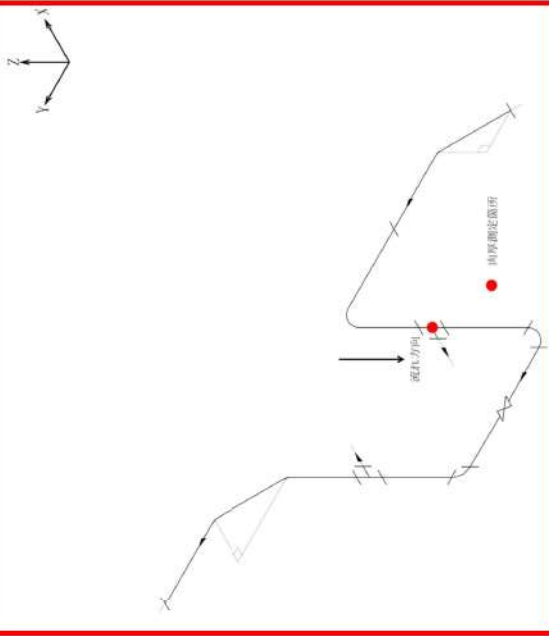
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">図3 肉厚測定箇所 (RHR (C))</p>	 <p style="text-align: center;">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (3/5)</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計による対象系統の相違</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

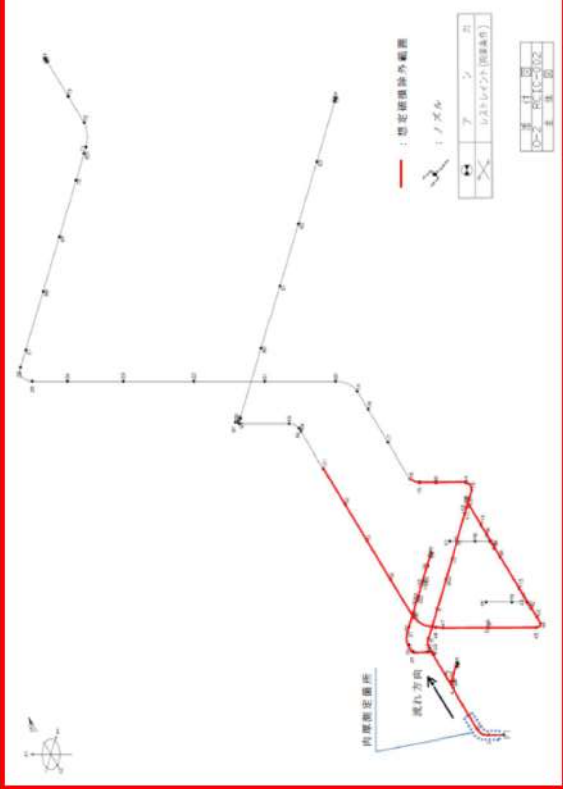
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図4 肉厚測定箇所 (LPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (4/5)</p>	<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1066 1937 1086">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1102 2004 1123">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1134 2128 1257">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

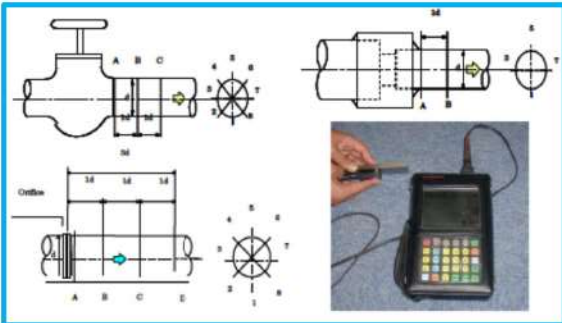
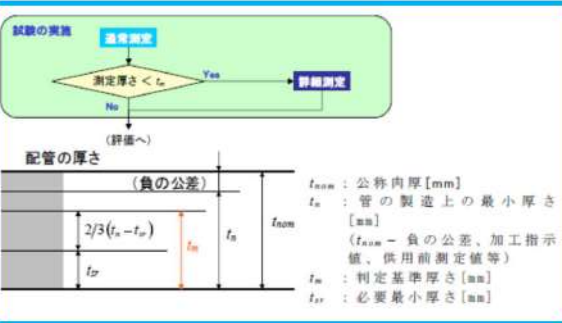
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図5 肉厚測定箇所 (HPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (5/5)</p>	<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1061 1937 1082">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1098 1993 1118">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1133 2128 1252">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

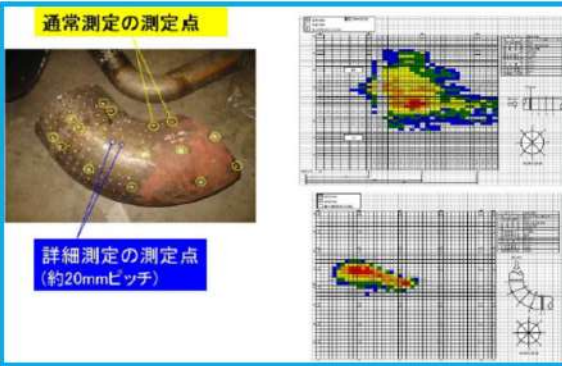
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">図6 肉厚測定箇所 (RCIC)</p>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違                  プラント設計による対象システムの相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 肉厚測定</p> <p>(1) 通常測定</p> <p>図6に示すように、定点における肉厚を、UT測定器を用いて、有資格者が測定を実施している。</p>  <p>図6 通常測定の測定部位の例と測定器</p> <p>(2) 詳細測定</p> <p>図7に示すように測定厚さが <math>t_m</math> より小さい場合は、詳細測定（図8）を実施する。</p>  <p>図7 肉厚測定フロー</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																										
 <p>通常測定の測定点</p> <p>詳細測定の測定点 (約20mmピッチ)</p> <p>図8 詳細測定の方法</p>			<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績の反映</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>3. 肉厚測定検査の確認結果</p> <p>(1) 高エネルギー配管</p> <p>高エネルギー配管のうち、応力評価を行い破損形状が貫通クラックとしている補助蒸気配管（許容応力は0.8Sa）については、JSME規格の対象外であるが、過去より配管の対策材への取替や、未対策材化部位の定期事業者検査における非破壊検査（肉厚測定）を実施し、減肉量を直接的かつ定期的に把握している。結果を表1に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表2に示す。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表3に示す。なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>破線囲部分は基準地震動確定後に反映する。</p> </div>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>表1 補助蒸気配管の定期事業者検査（非破壊検査）実績(例)</p> <table border="1" data-bbox="112 957 672 1149"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回点検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>点検回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.1年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>22.4年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>25.7年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>26.7年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>27.4年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>25.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>20.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.2年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>22.4年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>21.0年</td><td>#11,14</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.0～5.9mm</p> <p>※2 発生応力が0.8Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S-N61-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数	大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.1年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.7年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,12,14	大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.0年	#11,14	<p>表2 肉厚測定結果</p> <table border="1" data-bbox="694 957 1254 1228"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号 (7/7番号)</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果 **</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>HNCW-P41-1</td><td>5.5</td><td>4.81</td><td>2.4</td><td>5.2</td><td><math>1.77 \times 10^{-4}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-2-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>11.0</td><td><math>5.90 \times 10^{-7}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>10.9</td><td><math>1.18 \times 10^{-3}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>11.3</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>9.9</td><td><math>2.36 \times 10^{-4}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>良</td></tr> <tr><td>LPCS-2-1</td><td>17.4</td><td>15.22</td><td>6.71</td><td>15.5</td><td><math>1.12 \times 10^{-3}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>89.5</td><td>良</td></tr> <tr><td>HPCS-2-1</td><td>25.4</td><td>22.22</td><td>16.01</td><td>22.2</td><td><math>1.89 \times 10^{-3}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>37.4</td><td>良</td></tr> <tr><td>RCIC-2-1</td><td>13.5</td><td>11.81</td><td>6.25</td><td>12.2</td><td><math>7.67 \times 10^{-4}</math></td><td>*1</td><td>*2</td><td>88.6</td><td>良</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 公称肉厚データと今回測定データにより算出する方法。</p> <p>※2 残時間100万時間以上</p> <p>※3 判定基準：配管の測定最小肉厚が必要以上確保されていること及び余寿命が1サイクル（1.2年）以上であること。（出典：「発電用原子力設備規格沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）JSME S-NH1-2006（以下「JSME規格」）」の「CA-5000評価」による）</p>	管理番号 (7/7番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 **	減肉率 (mm/h)	算出 方法	HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	*1	*2	良	RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	$5.90 \times 10^{-7}$	*1	*2	良	RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	$1.18 \times 10^{-3}$	*1	*2	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	$2.36 \times 10^{-4}$	*1	*2	良	LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	$1.12 \times 10^{-3}$	*1	*2	89.5	良	HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	$1.89 \times 10^{-3}$	*1	*2	37.4	良	RCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	*1	*2	88.6	良	<p>表3 肉厚測定結果（水消火系）</p> <table border="1" data-bbox="1288 957 1859 1340"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果	減肉率 (mm/h)	算出 方法	1									2									3									4									5									6									7									8									9									10									11									12									<p>【女川・大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>配管の余寿命評価に必要な対象系統の応力評価結果は詳細設計段階で正式な評価結果を示す方針としているため、肉厚測定結果についても詳細設計段階で提示することを記載している。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.1年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.7年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪3号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
大阪4号炉	格納容器給配管ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																							
管理番号 (7/7番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 **																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																																							
HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	*1	*2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																					
RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	$5.90 \times 10^{-7}$	*1	*2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																					
RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	$1.18 \times 10^{-3}$	*1	*2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																					
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良																																																																																																																																																																																																																																																																																					
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	$2.36 \times 10^{-4}$	*1	*2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																					
LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	$1.12 \times 10^{-3}$	*1	*2	89.5	良																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	$1.89 \times 10^{-3}$	*1	*2	37.4	良																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	*1	*2	88.6	良																																																																																																																																																																																																																																																																																				
管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4																																																																																																																																																																																																																																																																																													
5																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6																																																																																																																																																																																																																																																																																													
7																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9																																																																																																																																																																																																																																																																																													
10																																																																																																																																																																																																																																																																																													
11																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12																																																																																																																																																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>(2)低エネルギー配管</p> <p>低エネルギー配管（破損なし：応力の上限は0.4Sa）のうち、炭素鋼配管は内部流体による全面腐食の可能性が考えられるが、低温域においては、酸素飽和の条件においてもその腐食量は軽微である。また、補助給水系統他について非破壊検査による肉厚測定を実施しており、腐食量を直接的に把握している。結果を表2、3に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p> <p>表2 大阪3号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 491 683 671"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪3号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.1mm</td><td>63.1年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>6.0mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.1～7.2mm                  ※2 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p> <p>表3 大阪4号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 874 683 1054"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪4号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>38.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>74.2年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>88.7年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>77.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> </tbody> </table> <p>※3 測定結果は5.1～7.3mm                  ※4 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大阪3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大阪3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大阪3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16	大阪3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16	大阪3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16	大阪3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16	大阪3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16	大阪3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大阪4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15	大阪4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15	大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15	大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15	大阪4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15	大阪4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15	大阪4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15	大阪4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大阪3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大阪4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 17</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋・エリアの系統別溢水量算出結果を表1～9に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋の系統別溢水量算出結果を表1～11に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川は「海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア」、「軽油タンクエリア」があり、泊ではエリアとして記載している箇所はないため左記の記載とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
表1 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その1		表1 原子炉建屋原子炉棟及び付属棟 系統別溢水量					表1 原子炉建屋 系統別溢水量					【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。 ・女川では、「 <u>手動隔離を期待</u> （他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、 <u>手動隔離に期待した隔離時間</u> にて系統漏えい量を算出していることから、「 <u>手動隔離を期待</u> 」のみとした。 ・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。  【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。
<p>①異常の検知                  &lt;システム検知&gt;                  配管破損により、破損側封水注入流量が増加するため、健全側封水注入流量が低下し、封水注入流量低警報が発信（定格流量 1.5m<sup>3</sup>/h に対して低警報が1.5m<sup>3</sup>/hであるため、速やかに警報が発信する）                  また、封水注入合計流量の増加により、封水注入パイロット差圧高警報が発信</p> <p>②事象の判断及び漏えい箇所の特定                  以下のパラメータから封水注入流量計上流配管からの漏えいと判断                  10分                  封水戻り流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS 測定値(R-21A/B)、封水注入パイロット差圧、漏水注意等</p> <p>③漏えい箇所の隔離等                  中央制御室において、封水注入ライン流量制御弁を遠隔手動閉止                  1分</p> <p>合計時間                  (①+②+③)                  11分</p> <p>漏えい量                  漏えい量21.5m<sup>3</sup>                  封水注入流量 7.2m<sup>3</sup>/h                  (1 ループ当たり 1.5m<sup>3</sup>/h)                  11分/60分×7.2m<sup>3</sup>/h = 1.4m<sup>3</sup>                  配管保有水量 20.4m<sup>3</sup>                  1.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=21.8m<sup>3</sup></p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。 ・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、<u>手動隔離に期待した隔離時間</u>にて系統漏えい量を算出していることから、「<u>手動隔離を期待</u>」のみとした。 ・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。  【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>									
<p>想定範囲                  封水注入配管（貫通部～流量計）</p> <p>封水注入配管（流量計～封水注入ライン流量制御弁）</p>	<p>R21 FDW 44 432 476 - (自動隔離)</p> <p>C12 CBD 22 31 53 ○</p> <p>C41 SLC 44 21 65 ○</p> <p>E11 BHR 46 191 237 ○</p> <p>E21 LPCS 11 255 266 ○</p> <p>E22 HPSC 44 351 395 ○</p> <p>E51 RCIC 11 179 190 ○</p> <p>G31 CLW 36 103 139 - (自動隔離)</p> <p>G41 FFC 90 70 160 ○</p> <p>K11 RD 55 0 55 -</p> <p>K12 LCW 33 0 33 -</p> <p>K13 HCW 33 0 33 -</p> <p>P11 MURP 11 30 41 ○</p> <p>P13 MURC 28 120 148 ○</p> <p>P14 FW 11 54 65 ○</p> <p>P15 FFMW 12 23 35 ○</p> <p>P24 HNCW 55 8 63 ○</p> <p>P25 HECW 33 8 41 ○</p> <p>P42 RCW 232 32 265 ○</p> <p>P45 RSW 176 182 358 ○</p> <p>P47 HPCW 22 32 54 ○</p> <p>P48 HPSW 22 64 86 ○</p> <p>P64 HWH 22 32 54 ○</p> <p>U43 FP 180 27 207 ○</p> <p>U63 MSC 33 0 33 -</p> <p>R43, R44 DGCW 22 9 31 ○</p> <p>R43, R44 DGLD 22 0 22 -</p> <p>R43, R44 DGD0 11 12 23 ○</p>	<p>B21 FDW 44 432 476 - (自動隔離)</p> <p>C12 CBD 22 31 53 ○</p> <p>C41 SLC 44 21 65 ○</p> <p>E11 BHR 46 191 237 ○</p> <p>E21 LPCS 11 255 266 ○</p> <p>E22 HPSC 44 351 395 ○</p> <p>E51 RCIC 11 179 190 ○</p> <p>G31 CLW 36 103 139 - (自動隔離)</p> <p>G41 FFC 90 70 160 ○</p> <p>K11 RD 55 0 55 -</p> <p>K12 LCW 33 0 33 -</p> <p>K13 HCW 33 0 33 -</p> <p>P11 MURP 11 30 41 ○</p> <p>P13 MURC 28 120 148 ○</p> <p>P14 FW 11 54 65 ○</p> <p>P15 FFMW 12 23 35 ○</p> <p>P24 HNCW 55 8 63 ○</p> <p>P25 HECW 33 8 41 ○</p> <p>P42 RCW 232 32 265 ○</p> <p>P45 RSW 176 182 358 ○</p> <p>P47 HPCW 22 32 54 ○</p> <p>P48 HPSW 22 64 86 ○</p> <p>P64 HWH 22 32 54 ○</p> <p>U43 FP 180 27 207 ○</p> <p>U63 MSC 33 0 33 -</p> <p>R43, R44 DGCW 22 9 31 ○</p> <p>R43, R44 DGLD 22 0 22 -</p> <p>R43, R44 DGD0 11 12 23 ○</p>										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由																																																													
表2 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その2		表2 制御建屋 系統別溢水量					表2 原子炉補助建屋 系統別溢水量					<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。</li> <li>・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、<u>手動隔離を期待</u>した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「<u>手動隔離を期待</u>」のみとした。</li> <li>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>																																																													
<p>漏えい量</p> <p>漏えい量31.5m<sup>3</sup></p> <p>充てんポンプのランナウト流量 56.8m<sup>3</sup>/h                  12分/60分×56.8m<sup>3</sup>/h = 11.4m<sup>3</sup>                  配管保有水量20.4m<sup>3</sup>                  11.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=31.8m<sup>3</sup></p>	<p>合計時間 (①+②+③)</p> <p>13分</p>	<p>漏えい量44.7m<sup>3</sup></p> <p>充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m<sup>3</sup>/h                  107分/60分×13.6m<sup>3</sup>/h = 24.3m<sup>3</sup>                  配管保有水量20.4m<sup>3</sup>                  24.3m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=44.7m<sup>3</sup></p>	<p>107分</p>	<p>①漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</p> <p>中央制御室において、充てんライン流量制御弁を遠隔手動閉止1分                  又は、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分                  （操作1分、停止1分、合わせて2分）</p>	<p>②事故の相違及び漏えい箇所の特定</p> <p>以下のパラメータから充てん配管からの漏えいと同時10分                  WLT 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプリング水位、RCS 測定値(0-21A)相当</p>	<p>①異常の検知</p> <p>&lt;システム検知&gt;                  配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信0.5分                  通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して高警報 28m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する</p> <p>&lt;システム検知&gt;                  配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信0.5分                  （通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して低警報 8m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する）</p> <p>&lt;サンプリング検知&gt;                  配管破損により床下ドレン系を經由して原子炉周辺建屋サンプリングタンク(10m<sup>3</sup>)に流入                  サンプリング水位(20%±1.5%)からポンプ起動水位(90%±1.5%)まで水位が上昇し、その後ポンプによる排水を伴ってサンプリング水位高警報水位(95%±1.5%)まで水位が上昇し、サンプリング水位高警報が発信                  10m<sup>3</sup> × (91.5% - 18.5%) / 100% + 13.6 m<sup>3</sup>/h × 60分/h + 10m<sup>3</sup> × (96.5% - 88.5%) / 100% + (13.6m<sup>3</sup>/h - 11.4m<sup>3</sup>/h) × 60分/h = 54.1分</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待</p>	<table border="1"> <tr> <td>P11</td> <td>MWP</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P24</td> <td>HXCW</td> <td>22</td> <td>8</td> <td>30</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P25</td> <td>HECW</td> <td>33</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P62</td> <td>HS/HSCP</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>P64</td> <td>HWR</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>U43</td> <td>FP</td> <td>180</td> <td>27</td> <td>207</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>U63</td> <td>MSC</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>所内用水</td> <td>55</td> <td>13</td> <td>68</td> <td>○</td> </tr> </table>	P11	MWP		11	30	41	○	P24	HXCW	22	8	30	○	P25	HECW	33	8	41	○	P62	HS/HSCP	11	0	11	-	P64	HWR	22	32	54	○	U43	FP	180	27	207	○	U63	MSC	22	0	22	-	-	所内用水	55	13	68	○	<table border="1"> <tr> <td>化学体積制御系 (充てん配管)</td> <td>5.6</td> <td>32</td> <td>37.6</td> <td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系 (抽出配管)</td> <td>11.9</td> <td>8.6</td> <td>20.5</td> <td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>1</td> <td>2.7</td> <td>3.7</td> <td>- (自動隔離)</td> </tr> </table>	化学体積制御系 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)	化学体積制御系 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)	補助蒸気系	1	2.7	3.7
P11	MWP	11	30	41	○																																																																				
P24	HXCW	22	8	30	○																																																																				
P25	HECW	33	8	41	○																																																																				
P62	HS/HSCP	11	0	11	-																																																																				
P64	HWR	22	32	54	○																																																																				
U43	FP	180	27	207	○																																																																				
U63	MSC	22	0	22	-																																																																				
-	所内用水	55	13	68	○																																																																				
化学体積制御系 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																					
化学体積制御系 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																					
補助蒸気系	1	2.7	3.7	- (自動隔離)																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																	
表3 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系）その3		表3 海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア 系統別溢水量		表3 循環水ポンプ建屋 系統別溢水量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。</p> <p>・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくとも、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「<u>手動隔離を期待</u>」のみとした。</p>																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間(①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     抽配管/非再冷却器入口                      (貫通部～非再冷却器)                       抽配管/非再冷却器出口                      (非再冷却器～圧力制御弁)                 </td> <td>                     &lt;システム検知&gt;                      配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信                      11.3m×(56.5%-22.5%)/100%÷32.0m<sup>3</sup>/h×60分=7.2分                 </td> <td>                     以下のパラメータからの漏えいと判断                      10分                      温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等                 </td> <td>                     中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止                      1分                 </td> <td>19分</td> <td>                     漏えい量21.0m<sup>3</sup>                      オリフィスによる制限流量32.0m<sup>3</sup>/h                      19分/60分×32.0m<sup>3</sup>/h=10.2m<sup>3</sup>                      配管保有水量10.8m<sup>3</sup>                      10.2m<sup>3</sup>+10.8m<sup>3</sup>=21.0m<sup>3</sup> </td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間(①+②+③)		漏えい量	抽配管/非再冷却器入口 (貫通部～非再冷却器)  抽配管/非再冷却器出口 (非再冷却器～圧力制御弁)	<システム検知> 配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信 11.3m×(56.5%-22.5%)/100%÷32.0m <sup>3</sup> /h×60分=7.2分	以下のパラメータからの漏えいと判断 10分 温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h 19分/60分×32.0m <sup>3</sup> /h=10.2m <sup>3</sup> 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> 10.2m <sup>3</sup> +10.8m <sup>3</sup> =21.0m <sup>3</sup>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待(他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N71</td><td>CW</td><td>660</td><td>1,394</td><td>2,054</td><td>○</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>77</td><td>88</td><td>○</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>11</td><td>19</td><td>30</td><td>○</td></tr> <tr><td>P45</td><td>RSW</td><td>55</td><td>146</td><td>201</td><td>○</td></tr> <tr><td>P46</td><td>TSW</td><td>33</td><td>222</td><td>255</td><td>○</td></tr> <tr><td>P48</td><td>HP-SW</td><td>11</td><td>40</td><td>51</td><td>○</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MW</td><td>33</td><td>120</td><td>153</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待(他系統との接続補給ラインあり)	N71	CW	660	1,394	2,054	○	P14	FW	11	77	88	○	P43	TCW	11	19	30	○	P45	RSW	55	146	201	○	P46	TSW	33	222	255	○	P48	HP-SW	11	40	51	○	P13	MW	33	120	153	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環水系</td> <td>1420</td> <td>1600</td> <td>3020</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	循環水系	1420	1600	3020
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間(①+②+③)	漏えい量																																																																		
抽配管/非再冷却器入口 (貫通部～非再冷却器)  抽配管/非再冷却器出口 (非再冷却器～圧力制御弁)	<システム検知> 配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信 11.3m×(56.5%-22.5%)/100%÷32.0m <sup>3</sup> /h×60分=7.2分	以下のパラメータからの漏えいと判断 10分 温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h 19分/60分×32.0m <sup>3</sup> /h=10.2m <sup>3</sup> 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> 10.2m <sup>3</sup> +10.8m <sup>3</sup> =21.0m <sup>3</sup>																																																																		
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待(他系統との接続補給ラインあり)																																																																			
N71	CW	660	1,394	2,054	○																																																																		
P14	FW	11	77	88	○																																																																		
P43	TCW	11	19	30	○																																																																		
P45	RSW	55	146	201	○																																																																		
P46	TSW	33	222	255	○																																																																		
P48	HP-SW	11	40	51	○																																																																		
P13	MW	33	120	153	○																																																																		
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																			
循環水系	1420	1600	3020	○																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
<p>表4 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主蒸気系）</p>		<p>表4 タービン建屋 系統別溢水量</p>																																																																																																													
<table border="1"> <tr> <th>漏えい量</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>①漏えい箇所の特長等 により漏えい停止</th> <th>②事業の判断及び 漏えい箇所の特定</th> <th>①異常の検知</th> <th>想定範囲</th> </tr> <tr> <td>漏えい量 172.7m<sup>3</sup> 主給水量 2020m<sup>3</sup>/h 補助給水量 430m<sup>3</sup>/h 10秒/3600秒×2020m<sup>3</sup>/h +12分/60分×430m<sup>3</sup>/h =91.7m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m<sup>3</sup></td> <td>12分2秒</td> <td>中央制御室において、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。</td> <td>以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管差温度等</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報が発信 2秒 また、主蒸気ライン圧力低により、主給水閉止弁が自動閉止 10秒</td> <td>主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁パイパス配管（主蒸気管分岐～隔離弁）、主蒸気ドレン配管（一般部）、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管（主蒸気管分岐～隔離弁～TE）</td> </tr> <tr> <td>漏えい量 280.1m<sup>3</sup> 部材「蒸気発生器の異常な増加」(2020m<sup>3</sup>/h×4ループ×10% = 812m<sup>3</sup>/h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンパイパス弁等）の1弁の閉鎖を包括しているため、812m<sup>3</sup>を保守的に使用 補助給水量 430m<sup>3</sup>/h 11分/60分×812m<sup>3</sup>/h = 149.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 149.1+15+66=280.1m<sup>3</sup> ※合計時間(10分60秒)</td> <td>17分</td> <td>中央制御室において原子的トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子的トリップし、断器間+Tag低により主給水閉止弁は自動閉止</td> <td>以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管差温度高警報等</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td></td> </tr> </table>	漏えい量	合計時間 (①+②+③)	①漏えい箇所の特長等 により漏えい停止	②事業の判断及び 漏えい箇所の特定	①異常の検知	想定範囲	漏えい量 172.7m <sup>3</sup> 主給水量 2020m <sup>3</sup> /h 補助給水量 430m <sup>3</sup> /h 10秒/3600秒×2020m <sup>3</sup> /h +12分/60分×430m <sup>3</sup> /h =91.7m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m <sup>3</sup>	12分2秒	中央制御室において、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。	以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管差温度等	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報が発信 2秒 また、主蒸気ライン圧力低により、主給水閉止弁が自動閉止 10秒	主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁パイパス配管（主蒸気管分岐～隔離弁）、主蒸気ドレン配管（一般部）、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管（主蒸気管分岐～隔離弁～TE）	漏えい量 280.1m <sup>3</sup> 部材「蒸気発生器の異常な増加」(2020m <sup>3</sup> /h×4ループ×10% = 812m <sup>3</sup> /h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンパイパス弁等）の1弁の閉鎖を包括しているため、812m <sup>3</sup> を保守的に使用 補助給水量 430m <sup>3</sup> /h 11分/60分×812m <sup>3</sup> /h = 149.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 149.1+15+66=280.1m <sup>3</sup> ※合計時間(10分60秒)	17分	中央制御室において原子的トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子的トリップし、断器間+Tag低により主給水閉止弁は自動閉止	以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管差温度高警報等	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分			<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気及び給水系</td><td>126.98</td><td>0</td><td>126.98</td><td>—</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>6.71</td><td>0</td><td>6.71</td><td>—</td></tr> <tr><td>ブローダウン系</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td><td>10.436</td><td>0</td><td>10.436</td><td>—</td></tr> <tr><td>補助蒸気系</td><td>0.65</td><td>0</td><td>0.65</td><td>—</td></tr> <tr><td>復水系</td><td>2442.28</td><td>0</td><td>2442.28</td><td>—</td></tr> <tr><td>循環水系</td><td>77.434</td><td>1341.8</td><td>1419.234</td><td>○</td></tr> <tr><td>軸受冷却系</td><td>150.67</td><td>0</td><td>150.67</td><td>—</td></tr> <tr><td>薬液注入装置</td><td>30.15</td><td>0</td><td>30.15</td><td>—</td></tr> <tr><td>排水処理設備</td><td>9.64</td><td>0</td><td>9.64</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン主給水ポンプ 油系</td><td>130.12</td><td>0</td><td>130.12</td><td>—</td></tr> <tr><td>スチーム</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>コンバータ系</td><td>19.19</td><td>0</td><td>19.19</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>グランド蒸気系</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>—</td></tr> <tr><td>固定了冷却水供給装置</td><td>3.43</td><td>0</td><td>3.43</td><td>—</td></tr> <tr><td>密封油処理装置</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	主蒸気及び給水系	126.98	0	126.98	—	蒸気発生器	6.71	0	6.71	—	ブローダウン系	—	—	—	—	原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—	補助蒸気系	0.65	0	0.65	—	復水系	2442.28	0	2442.28	—	循環水系	77.434	1341.8	1419.234	○	軸受冷却系	150.67	0	150.67	—	薬液注入装置	30.15	0	30.15	—	排水処理設備	9.64	0	9.64	—	タービン主給水ポンプ 油系	130.12	0	130.12	—	スチーム	—	—	—	—	コンバータ系	19.19	0	19.19	—	タービン	—	—	—	—	グランド蒸気系	4	0	4	—	固定了冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—	密封油処理装置	0.58	0	0.58	—	<p>女川は補足説明資料11「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」にタービン建屋における想定破損の溢水量を掲載しているが、本資料においては記載がないため、比較対象なしとする。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>          大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出している。泊でも同様の算出を実施しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
漏えい量	合計時間 (①+②+③)	①漏えい箇所の特長等 により漏えい停止	②事業の判断及び 漏えい箇所の特定	①異常の検知	想定範囲																																																																																																										
漏えい量 172.7m <sup>3</sup> 主給水量 2020m <sup>3</sup> /h 補助給水量 430m <sup>3</sup> /h 10秒/3600秒×2020m <sup>3</sup> /h +12分/60分×430m <sup>3</sup> /h =91.7m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 91.7+15+66=172.7m <sup>3</sup>	12分2秒	中央制御室において、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。	以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管差温度等	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報が発信 2秒 また、主蒸気ライン圧力低により、主給水閉止弁が自動閉止 10秒	主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁パイパス配管（主蒸気管分岐～隔離弁）、主蒸気ドレン配管（一般部）、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管（主蒸気管分岐～隔離弁～TE）																																																																																																										
漏えい量 280.1m <sup>3</sup> 部材「蒸気発生器の異常な増加」(2020m <sup>3</sup> /h×4ループ×10% = 812m <sup>3</sup> /h)では2次系弁（主蒸気速がし弁、タービンパイパス弁等）の1弁の閉鎖を包括しているため、812m <sup>3</sup> を保守的に使用 補助給水量 430m <sup>3</sup> /h 11分/60分×812m <sup>3</sup> /h = 149.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 149.1+15+66=280.1m <sup>3</sup> ※合計時間(10分60秒)	17分	中央制御室において原子的トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流し止め弁、タービン補助給水ライン流し止め弁を遠隔手動閉止する。 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子的トリップし、断器間+Tag低により主給水閉止弁は自動閉止	以下のパラメータから、漏えい箇所を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管差温度高警報等	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分																																																																																																											
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																											
主蒸気及び給水系	126.98	0	126.98	—																																																																																																											
蒸気発生器	6.71	0	6.71	—																																																																																																											
ブローダウン系	—	—	—	—																																																																																																											
原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—																																																																																																											
補助蒸気系	0.65	0	0.65	—																																																																																																											
復水系	2442.28	0	2442.28	—																																																																																																											
循環水系	77.434	1341.8	1419.234	○																																																																																																											
軸受冷却系	150.67	0	150.67	—																																																																																																											
薬液注入装置	30.15	0	30.15	—																																																																																																											
排水処理設備	9.64	0	9.64	—																																																																																																											
タービン主給水ポンプ 油系	130.12	0	130.12	—																																																																																																											
スチーム	—	—	—	—																																																																																																											
コンバータ系	19.19	0	19.19	—																																																																																																											
タービン	—	—	—	—																																																																																																											
グランド蒸気系	4	0	4	—																																																																																																											
固定了冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—																																																																																																											
密封油処理装置	0.58	0	0.58	—																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																		
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (1/2)				表5 出入管理建屋 系統別溢水量		<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主給水管 (貫通部～ 逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)</td> <td>12分8秒</td> <td>漏えい量175.5m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 15秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h + 12分/60分×430m<sup>3</sup>/h = 94.5m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>主給水管 (逆止弁～上流)</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒</td> <td>自動隔離のため判断時間なし 0分</td> <td>自動隔離のため操作時間なし 0分</td> <td>110秒</td> <td>漏えい量77.1m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 110秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h = 62.1m<sup>3</sup> 配管保有水 15m<sup>3</sup> 62.1+15=77.1m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)		漏えい量	主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>	主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5.0</td> <td>242.4</td> <td>247.2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17.0</td> <td>235.2</td> <td>252.2</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	□	原子炉補給水系 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○	飲料水系	17.0	235.2	252.2
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																			
主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>																																			
主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>																																			
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待																																				
水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	□																																				
原子炉補給水系 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○																																				
飲料水系	17.0	235.2	252.2	□																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																													
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (2/2)				表6 電気建屋 系統別溢水量		<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①)+(②)+(③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主給水バイパス配管（下流分岐～制御弁）</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において、原子炉トリップ操作を確認 5分 また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器開+Tovg 低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>11分</td> <td>漏えい量387.2m<sup>3</sup> 主給水流量2030m<sup>3</sup>/h 11分/60分×2030m<sup>3</sup>/h=372.2m<sup>3</sup> 配管保有水15m<sup>3</sup> 372.2m<sup>3</sup>+15m<sup>3</sup>=387.2m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス配管（制御弁～上流分岐）</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tovg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、SG水位低による原子炉トリップ、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において、主給水ポンプ2台を遠隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、停止5分、合わせて7分)</td> <td>17分50秒</td> <td>漏えい量618.4m<sup>3</sup> 主給水流量2030m<sup>3</sup>/h 1070秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h=603.4m<sup>3</sup> 配管保有水15m<sup>3</sup> 603.4m<sup>3</sup>+15m<sup>3</sup>=618.4m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①)+(②)+(③)		漏えい量	主給水バイパス配管（下流分岐～制御弁）	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、原子炉トリップ操作を確認 5分 また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器開+Tovg 低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	11分	漏えい量387.2m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 11分/60分×2030m <sup>3</sup> /h=372.2m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 372.2m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =387.2m <sup>3</sup>	主給水バイパス配管（制御弁～上流分岐）	<システム検知> SG水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tovg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、SG水位低による原子炉トリップ、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、主給水ポンプ2台を遠隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、停止5分、合わせて7分)	17分50秒	漏えい量618.4m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 1070秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h=603.4m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 603.4m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =618.4m <sup>3</sup>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.0</td> <td>40.0</td> <td>65.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○		25.0	40.0	65.0
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①)+(②)+(③)	漏えい量																														
主給水バイパス配管（下流分岐～制御弁）	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、原子炉トリップ操作を確認 5分 また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器開+Tovg 低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	11分	漏えい量387.2m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 11分/60分×2030m <sup>3</sup> /h=372.2m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 372.2m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =387.2m <sup>3</sup>																														
主給水バイパス配管（制御弁～上流分岐）	<システム検知> SG水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tovg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG水位偏差、SG流量偏差、SG水位低による原子炉トリップ、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、主給水ポンプ2台を遠隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、停止5分、合わせて7分)	17分50秒	漏えい量618.4m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 1070秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h=603.4m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 603.4m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =618.4m <sup>3</sup>																														
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待																															
水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○																															
	25.0	40.0	65.0																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																												
<p>表6 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（蒸気発生器ブローダウン系）</p> <table border="1"> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等</td> <td>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>17分</td> <td>漏えい量 247.5m<sup>3</sup> 限界流量 707m<sup>3</sup>/h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分* (60分×707m<sup>3</sup>/h + 7分/60分×430m<sup>3</sup>/h = 179.5m<sup>3</sup>) 配管保有水量 2.0m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 179.5m<sup>3</sup>+2.0m<sup>3</sup>+66m<sup>3</sup>=247.5m<sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒</td> <td>自動隔離のため判断時間なし 0分</td> <td>自動隔離のため操作時間なし 0分</td> <td>107秒</td> <td>漏えい量 23.6m<sup>3</sup> 限界流量 707m<sup>3</sup>/h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 107秒/3600秒×707m<sup>3</sup>/h = 21.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m<sup>3</sup> 21.1m<sup>3</sup>+2.5m<sup>3</sup>=23.6m<sup>3</sup></td> </tr> </table>		想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）	<システム検知> 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 247.5m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分* (60分×707m <sup>3</sup> /h + 7分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 179.5m <sup>3</sup> ) 配管保有水量 2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 179.5m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.5m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m <sup>3</sup>	蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	107秒	漏えい量 23.6m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 107秒/3600秒×707m <sup>3</sup> /h = 21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>	<p>表4 軽油タンクエアリヤ 系統別溢水量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W=(W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R43, R44</td> <td>DGDO</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	R43, R44	DGDO	11	12	23	○	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>	
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																													
蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）	<システム検知> 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 247.5m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分* (60分×707m <sup>3</sup> /h + 7分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 179.5m <sup>3</sup> ) 配管保有水量 2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 179.5m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.5m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m <sup>3</sup>																													
蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	107秒	漏えい量 23.6m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径 3R、SG 圧力 61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 107秒/3600秒×707m <sup>3</sup> /h = 21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>																													
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)																														
R43, R44	DGDO	11	12	23	○																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>表7 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助給水系）</p> <table border="1" data-bbox="168 215 622 1388"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等</td> <td>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>17分</td> <td>漏えい量 294.7m<sup>3</sup> 臨界流量 892m<sup>3</sup>/h (口径38、SG圧力61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分*60分×892m<sup>3</sup>/h+7分*60分×430m<sup>3</sup>/h =213.7m<sup>3</sup> 配管保有水量 15.0m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 213.7m<sup>3</sup>+15m<sup>3</sup>+66m<sup>3</sup> =294.7m<sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)</td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 294.7m <sup>3</sup> 臨界流量 892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×892m <sup>3</sup> /h+7分*60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量 15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)	<p>表5 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））系統別溢水量</p> <table border="1" data-bbox="694 239 1265 367"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W=(W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P24</td> <td>HNCW</td> <td>33</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P64</td> <td>HPIH</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)	P24	HNCW	33	8	41	○	P64	HPIH	22	32	54	○		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                  大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																												
補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 294.7m <sup>3</sup> 臨界流量 892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×892m <sup>3</sup> /h+7分*60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量 15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)																												
対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)																												
P24	HNCW	33	8	41	○																												
P64	HPIH	22	32	54	○																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>表8 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助蒸気系）</p> <table border="1" data-bbox="280 209 517 1393"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所による漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>&lt;温度検知&gt; 温度センサー(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分</td> <td>自動隔離のため判断時間 なし 0分</td> <td>③漏えい箇所のため判断時間 自動隔離のため漏えい停止 間なし 0分</td> <td>5分</td> <td>漏えい量3.7m<sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m<sup>3</sup>/h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m<sup>3</sup>/h=2.7m<sup>3</sup> 配管保有水量1.0m<sup>3</sup> 2.7m<sup>3</sup>+1.0m<sup>3</sup>=3.7m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所による漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサー(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	③漏えい箇所のため判断時間 自動隔離のため漏えい停止 間なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>		<p>表7 原子炉建屋系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1288 225 1854 371"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気体廃棄物処理系</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>0.1</td> <td>0</td> <td>0.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値)=0.6m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—	空調用冷水系	0.1	0	0.1	—	<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所による漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																									
補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサー(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	③漏えい箇所のため判断時間 自動隔離のため漏えい停止 間なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>																									
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																										
気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—																										
空調用冷水系	0.1	0	0.1	—																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																	
		<p>表8 原子炉補助建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1285 221 1854 405"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>0.3</td> <td>0</td> <td>0.3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>2.5</td> <td>0</td> <td>2.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>セメント固化装置</td> <td>18.4</td> <td>0</td> <td>18.4</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 21.7m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	化学体積制御系	0.3	0	0.3	—	液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—	廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)	0.5	0	0.5	—	セメント固化装置	18.4	0	18.4	—	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p>																																																																																								
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																
化学体積制御系	0.3	0	0.3	—																																																																																																																
液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—																																																																																																																
廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)	0.5	0	0.5	—																																																																																																																
セメント固化装置	18.4	0	18.4	—																																																																																																																
	<p>表6 タービン建屋（管理区域） 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="696 528 1267 1147"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>ED</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>55</td><td>0</td><td>55</td></tr> <tr><td>N21</td><td>C,FDW</td><td>649</td><td>496</td><td>1,145</td></tr> <tr><td>N22</td><td>HD</td><td>330</td><td>0</td><td>330</td></tr> <tr><td>N26</td><td>CF</td><td>132</td><td>0</td><td>132</td></tr> <tr><td>N27</td><td>CD</td><td>209</td><td>0</td><td>209</td></tr> <tr><td>N32</td><td>EHC</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>N34</td><td>LO</td><td>198</td><td>0</td><td>198</td></tr> <tr><td>N44</td><td>SWC</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>N71</td><td>CW</td><td>1,200</td><td>2,770</td><td>3,970</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MUWC</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 6,843m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	K11	ED	11	0	11	K12	LCW	22	0	22	K13	HCW	22	0	22	K17	SD	22	0	22	K21	SS	55	0	55	N21	C,FDW	649	496	1,145	N22	HD	330	0	330	N26	CF	132	0	132	N27	CD	209	0	209	N32	EHC	11	0	11	N34	LO	198	0	198	N44	SWC	22	0	22	N71	CW	1,200	2,770	3,970	P11	MUWP	11	0	11	P13	MUWC	33	0	33	P14	FW	11	0	11	P24	HNCW	110	0	110	P42	RCW	66	0	66	P43	TCW	231	0	231	P62	HS/HSCR	19	0	19	P64	HWH	33	0	33	U43	FP	180	0	180	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊のタービン建屋には管理区域がないため、比較対象なしとし、女川のタービン建屋（非管理区域）と泊のタービン建屋を比較する。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)																																																																																																																	
K11	ED	11	0	11																																																																																																																
K12	LCW	22	0	22																																																																																																																
K13	HCW	22	0	22																																																																																																																
K17	SD	22	0	22																																																																																																																
K21	SS	55	0	55																																																																																																																
N21	C,FDW	649	496	1,145																																																																																																																
N22	HD	330	0	330																																																																																																																
N26	CF	132	0	132																																																																																																																
N27	CD	209	0	209																																																																																																																
N32	EHC	11	0	11																																																																																																																
N34	LO	198	0	198																																																																																																																
N44	SWC	22	0	22																																																																																																																
N71	CW	1,200	2,770	3,970																																																																																																																
P11	MUWP	11	0	11																																																																																																																
P13	MUWC	33	0	33																																																																																																																
P14	FW	11	0	11																																																																																																																
P24	HNCW	110	0	110																																																																																																																
P42	RCW	66	0	66																																																																																																																
P43	TCW	231	0	231																																																																																																																
P62	HS/HSCR	19	0	19																																																																																																																
P64	HWH	33	0	33																																																																																																																
U43	FP	180	0	180																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
	<p>表7 タービン建屋（非管理区域）系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 507"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m³) W2</th> <th>系統漏えい量(m³) W1</th> <th>系統溢水量(m³) W (=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>F11</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P14</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P46</td><td>99</td><td>75</td><td>174</td></tr> <tr><td>P62</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>U43</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> <tr><td>U63</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値) = 824m³</p>	対象系統	系統保有水量(m³) W2	系統漏えい量(m³) W1	系統溢水量(m³) W (=W1+W2)	F11	11	0	11	P14	11	0	11	P24	110	0	110	P42	66	0	66	P43	231	0	231	P46	99	75	174	P62	19	0	19	U43	180	0	180	U63	22	0	22	<p>表9 タービン建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1285 220 1854 726"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m³) W2</th> <th>系統漏えい量 (m³) W1</th> <th>系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気及び給水系</td><td>126.98</td><td>0</td><td>117.92</td><td>—</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ブローダウン系</td><td>6.71</td><td>0</td><td>6.71</td><td>—</td></tr> <tr><td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td><td>10.436</td><td>0</td><td>10.436</td><td>—</td></tr> <tr><td>補助蒸気系</td><td>0.65</td><td>0</td><td>0.65</td><td>—</td></tr> <tr><td>復水系</td><td>2442.28</td><td>0</td><td>2421.17</td><td>—</td></tr> <tr><td>循環水系</td><td>77.434</td><td>28367</td><td>28444.43</td><td>○</td></tr> <tr><td>軸受冷却系</td><td>150.67</td><td>0</td><td>143.72</td><td>—</td></tr> <tr><td>薬液注入装置</td><td>30.15</td><td>0</td><td>30.15</td><td>—</td></tr> <tr><td>排水処理設備</td><td>9.64</td><td>0</td><td>9.64</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン動主給水</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ポンプ油系</td><td>130.12</td><td>0</td><td>130.12</td><td>—</td></tr> <tr><td>スチーム</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コンバータ系</td><td>19.19</td><td>0</td><td>19.19</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>グラント蒸気系</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>—</td></tr> <tr><td>固定子冷却水供給装置</td><td>3.43</td><td>0</td><td>3.43</td><td>—</td></tr> <tr><td>密封油処理装置</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量 (Wの合計値) = 40979.47m³          ※ タービン建屋周辺の屋外タンク保有水量 9600m³含む</p>	対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	主蒸気及び給水系	126.98	0	117.92	—	蒸気発生器					ブローダウン系	6.71	0	6.71	—	原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—	補助蒸気系	0.65	0	0.65	—	復水系	2442.28	0	2421.17	—	循環水系	77.434	28367	28444.43	○	軸受冷却系	150.67	0	143.72	—	薬液注入装置	30.15	0	30.15	—	排水処理設備	9.64	0	9.64	—	タービン動主給水					ポンプ油系	130.12	0	130.12	—	スチーム					コンバータ系	19.19	0	19.19	—	タービン					グラント蒸気系	4	0	4	—	固定子冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—	密封油処理装置	0.58	0	0.58	—	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>                  泊のタービン建屋には管理区域はないため、管理区域と非管理区域の識別はしない。  <u>設計方針の相違</u>                  ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。女川では、地震の手動隔離に期待していない。                  ・女川では、「手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。                  ・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</p>
対象系統	系統保有水量(m³) W2	系統漏えい量(m³) W1	系統溢水量(m³) W (=W1+W2)																																																																																																																																							
F11	11	0	11																																																																																																																																							
P14	11	0	11																																																																																																																																							
P24	110	0	110																																																																																																																																							
P42	66	0	66																																																																																																																																							
P43	231	0	231																																																																																																																																							
P46	99	75	174																																																																																																																																							
P62	19	0	19																																																																																																																																							
U43	180	0	180																																																																																																																																							
U63	22	0	22																																																																																																																																							
対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																						
主蒸気及び給水系	126.98	0	117.92	—																																																																																																																																						
蒸気発生器																																																																																																																																										
ブローダウン系	6.71	0	6.71	—																																																																																																																																						
原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—																																																																																																																																						
補助蒸気系	0.65	0	0.65	—																																																																																																																																						
復水系	2442.28	0	2421.17	—																																																																																																																																						
循環水系	77.434	28367	28444.43	○																																																																																																																																						
軸受冷却系	150.67	0	143.72	—																																																																																																																																						
薬液注入装置	30.15	0	30.15	—																																																																																																																																						
排水処理設備	9.64	0	9.64	—																																																																																																																																						
タービン動主給水																																																																																																																																										
ポンプ油系	130.12	0	130.12	—																																																																																																																																						
スチーム																																																																																																																																										
コンバータ系	19.19	0	19.19	—																																																																																																																																						
タービン																																																																																																																																										
グラント蒸気系	4	0	4	—																																																																																																																																						
固定子冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—																																																																																																																																						
密封油処理装置	0.58	0	0.58	—																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
	<p>表8 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））系統別 溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="698 239 1272 726"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>ED</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>1,232</td><td>0</td><td>1,232</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>616</td><td>0</td><td>616</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>99</td><td>0</td><td>99</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>979</td><td>0</td><td>979</td></tr> <tr><td>K22</td><td>CONW</td><td>88</td><td>23</td><td>111</td></tr> <tr><td>K23</td><td>SOL<sup>※1</sup></td><td>44</td><td>8</td><td>52</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>60</td><td>71</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MUWC</td><td>33</td><td>120</td><td>153</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>54</td><td>65</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>55</td><td>8</td><td>63</td></tr> <tr><td>P25</td><td>HECW</td><td>33(Sヲ含)</td><td>8</td><td>41</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>121<sup>※2</sup></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>209(Sヲ含有)<sup>※3</sup></td><td>32</td><td>241</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>33</td><td>32</td><td>65</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>27</td><td>207</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 休止設備であり現在保有水はないが、保有水があるものとして評価する。                  ※2 RCW(A)及びRCW(B)の常用系保有水量の合計                  ※3 常用系と非常用系の保有水量合計(保有水量が多いRCW(A)で評価)                  地震起因による溢水量(W2の合計値(Sヲ除く))=3,557m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	K11	ED	33	0	33	K12	LCW	1,232	0	1,232	K13	HCW	616	0	616	K17	SD	99	0	99	K21	SS	979	0	979	K22	CONW	88	23	111	K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52	P11	MUWP	11	60	71	P13	MUWC	33	120	153	P14	FW	11	54	65	P24	HNCW	55	8	63	P25	HECW	33(Sヲ含)	8	41	P42	RCW	121 <sup>※2</sup>	—	—	P42	RCW	209(Sヲ含有) <sup>※3</sup>	32	241	P62	HS/HSCR	22	0	22	P64	HWH	33	32	65	U43	FP	180	27	207	<p>表10 出入管理建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1281 861 1863 1045"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5</td> <td>335.7</td> <td>340.7</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水消火系</td> <td>25</td> <td>656.5</td> <td>681.5</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17</td> <td>25.8</td> <td>42.8</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 1065.0m<sup>3</sup></p> <p>表11 電気建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1281 1101 1863 1284"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水消火系</td> <td>25</td> <td>656.5</td> <td>681.5</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17</td> <td>25.8</td> <td>42.8</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 729.3m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																																																																																																	
K11	ED	33	0	33																																																																																																																																
K12	LCW	1,232	0	1,232																																																																																																																																
K13	HCW	616	0	616																																																																																																																																
K17	SD	99	0	99																																																																																																																																
K21	SS	979	0	979																																																																																																																																
K22	CONW	88	23	111																																																																																																																																
K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52																																																																																																																																
P11	MUWP	11	60	71																																																																																																																																
P13	MUWC	33	120	153																																																																																																																																
P14	FW	11	54	65																																																																																																																																
P24	HNCW	55	8	63																																																																																																																																
P25	HECW	33(Sヲ含)	8	41																																																																																																																																
P42	RCW	121 <sup>※2</sup>	—	—																																																																																																																																
P42	RCW	209(Sヲ含有) <sup>※3</sup>	32	241																																																																																																																																
P62	HS/HSCR	22	0	22																																																																																																																																
P64	HWH	33	32	65																																																																																																																																
U43	FP	180	27	207																																																																																																																																
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○																																																																																																																																
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—																																																																																																																																
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p>表9 補助ボイラー建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1263 539"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>13</td><td>24</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>22</td><td>47</td><td>69</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HBMFW</td><td>33</td><td>44</td><td>77</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HEBW</td><td>33</td><td>134</td><td>167</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HBTCW</td><td>22</td><td>27</td><td>49</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HSCR</td><td>11</td><td>24</td><td>35</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>22</td><td>21</td><td>43</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>143</td><td>140</td><td>283</td></tr> <tr><td>U63</td><td>MSC</td><td>22</td><td>12</td><td>34</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値)= 319m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	P11	MUWP	11	13	24	P43	TCW	22	47	69	P61	HBMFW	33	44	77	P61	HEBW	33	134	167	P61	HBTCW	22	27	49	P62	HSCR	11	24	35	P64	HWH	22	21	43	U43	FP	143	140	283	U63	MSC	22	12	34		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																	
P11	MUWP	11	13	24																																																
P43	TCW	22	47	69																																																
P61	HBMFW	33	44	77																																																
P61	HEBW	33	134	167																																																
P61	HBTCW	22	27	49																																																
P62	HSCR	11	24	35																																																
P64	HWH	22	21	43																																																
U43	FP	143	140	283																																																
U63	MSC	22	12	34																																																

赤字: 設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(1/7)
大阪発電所3/4号炉
添付資料1.4.1-2
表 1 想定破損による溢水影響評価結果(1/7)

女川原子力発電所2号炉
添付資料18
想定破損による没水影響評価結果
表 1 没水影響評価結果整理表(想定破損)(1/7)

泊発電所3号炉
添付資料17
想定破損による没水影響評価結果
表 1 没水影響評価結果整理表(想定破損)(1/7)
相違理由
【女川】【大阪】
記載表現の相違
【大阪】
記載方針の相違
・大阪は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。
・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。
・泊と同様のまとめ方をしてる先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大阪の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。
【女川】
記載方針の相違
・女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多くの区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。
・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。
・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。
設計方針の相違
プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">設計項目</th> <th colspan="4">大飯原子力発電所 (2号炉)</th> <th colspan="4">女川原子力発電所 (2号炉)</th> <th colspan="4">泊発電所 (3号炉)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">適合性</th> <th colspan="2">備考</th> <th colspan="2">適合性</th> <th colspan="2">備考</th> <th colspan="2">適合性</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	設計項目				大飯原子力発電所 (2号炉)				女川原子力発電所 (2号炉)				泊発電所 (3号炉)				設備名称		規格		適合性		備考		適合性		備考		適合性		備考		緊急停止機能				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○		緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題ないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。(大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方)</li> <li>泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。(大飯と同様)</li> </ul>
設計項目				大飯原子力発電所 (2号炉)				女川原子力発電所 (2号炉)				泊発電所 (3号炉)																																																																																																																																																																																																																																																							
設備名称		規格		適合性		備考		適合性		備考		適合性		備考																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					
緊急停止機能 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E) の詳細 (A/B/C/D/E)				○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																					



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

Table with 4 columns: 大飯発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉, 泊発電所3号炉, 相違理由. It contains detailed assessment results for overflow damage for each facility, including tables for equipment and flow characteristics.

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">高圧発生抑制 (202.1kPa以上)</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有漏洩抑制機能 (HOLD/FILL)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (202.1kPa以上)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (202.1kPa以上)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (202.1kPa以上)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">緊急停止機能 (3.5kPa以下)</td> </tr> </table>	高圧発生抑制 (202.1kPa以上)				緊急停止機能 (3.5kPa以下)				緊急停止機能 (3.5kPa以下)				有漏洩抑制機能 (HOLD/FILL)	○	緊急停止機能 (202.1kPa以上)			○	緊急停止機能 (3.5kPa以下)			○	緊急停止機能 (3.5kPa以下)			緊急停止機能 (202.1kPa以上)			緊急停止機能 (3.5kPa以下)			緊急停止機能 (202.1kPa以上)			緊急停止機能 (3.5kPa以下)			緊急停止機能 (3.5kPa以下)												緊急停止機能 (3.5kPa以下)												緊急停止機能 (3.5kPa以下)													<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。(大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方)</li> <li>泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。(大飯と同様)</li> </ul>
高圧発生抑制 (202.1kPa以上)				緊急停止機能 (3.5kPa以下)				緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																				
有漏洩抑制機能 (HOLD/FILL)	○	緊急停止機能 (202.1kPa以上)			○	緊急停止機能 (3.5kPa以下)			○	緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																		
	緊急停止機能 (202.1kPa以上)			緊急停止機能 (3.5kPa以下)			緊急停止機能 (202.1kPa以上)			緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																		
緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																												
緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																												
緊急停止機能 (3.5kPa以下)																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉  
 大飯3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(3/7)

①-④ 溢水量 ・原単位：10分（東てん水管（ミニエムパイプライン）） ・原単位：44.7	⑤ 設備 エリア	⑥ 溢水量 (L)	⑦ 原単位 (L/m <sup>2</sup> )	⑧ 面積 (m <sup>2</sup> )	⑨ 設備 名	⑩ 設備 名	⑪ 設備 名	⑫ 設備 名	⑬ 備考	⑭ 備考	
26.0	30B-1	44.7	258.0	0.00	0.102						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-3	44.7	901.9	0.00	0.048						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-3	44.7	901.9	0.00	0.048						⑮ 設備名 商用発電機
17.1	30B-3.4	44.7	904.2	0.00	0.045						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-3.10	44.7	901.4	0.00	0.046						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-7	44.7	27.4	0.05	1.602						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-9	44.7	21.3	0.05	2.149						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-10	44.7	206.7	0.05	0.005						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-11	44.7	303.0	0.00	0.077						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-11	44.7	303.0	0.00	0.077						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-11.12	44.7	715.4	0.00	0.003						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-11.12.13	44.7	806.5	0.00	0.003						⑮ 設備名 商用発電機
	30B-14	44.7	135.0	0.00	0.206						⑮ 設備名 商用発電機
3.5	30B-15	44.7	135.3	0.00	0.229						⑮ 設備名 商用発電機

溢水影響評価

女川原子力発電所2号炉

① 設備名	② 設備名	③ 設備名	④ 設備名	⑤ 設備名	⑥ 設備名	⑦ 設備名	⑧ 設備名	⑨ 設備名	⑩ 設備名	⑪ 備考
商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	
商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	商用発電機	

泊発電所3号炉  
 表1 没水影響評価結果整理表（想定破損）(3/7)

① 設備名	② 設備名	③ 設備名	④ 設備名	⑤ 設備名	⑥ 設備名	⑦ 設備名			⑧ 設備名	⑨ 設備名	⑩ 備考
						⑪	⑫	⑬			
30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	
30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	30B-1	

相違理由

【女川】  
記載表現の相違

【大飯】  
記載方針の相違

- ・大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。
- ・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。
- ・泊と同様のまとめ方を行っている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。

【女川】  
記載方針の相違

- ・女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多く区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。
- ・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。
- ・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。

設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">評価項目</td> <td colspan="2">審査事項</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> <td colspan="2">審査結果</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> <td colspan="2">設計方針</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> <td colspan="2">運用</td> </tr> <tr> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> <td colspan="2">体制</td> </tr> </table> </div>	評価項目		審査事項		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制			<p><b>【女川】</b></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>・泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。（大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方）</li> <li>・泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。（大飯と同様）</li> </ul>
評価項目		審査事項		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果		審査結果																																																																																					
設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針		設計方針																																																																																					
設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備		設備																																																																																					
運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用		運用																																																																																					
体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制		体制																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(4/7)</p> <p>①破損の想定位置                      ・高エネルギー炉内配管                      ・高エネルギー炉内配管(炉子炉内配管) 7.17.10                      ・高エネルギー炉内配管(炉子炉内配管) 7.17.10                      ・高エネルギー炉内配管(炉子炉内配管) 7.17.10</p> <p>②溢水量                      ・破壊時間：19分 抽出配管/再生水冷却器入口(貫通部～再生水冷却器出口(再生水冷却器～圧力調整弁))                      ・破壊流量：21.3m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区域区分</th> <th>区画番号</th> <th>設備名</th> <th>抽出水量 [m³]</th> <th>抽出水位 [m]</th> <th>抽出圧力 [MPa]</th> <th>抽出水量 [m³]</th> <th>抽出水位 [m]</th> <th>抽出圧力 [MPa]</th> <th>防振対象設備</th> <th>⑤ 影響評価値</th> <th>⑥ 判定</th> <th>備考1</th> <th>備考2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">3号炉 炉内配管</td> <td rowspan="10">17.1</td> <td>3BP-2</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.023</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプ 上の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-3</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>801.9</td> <td>0.00</td> <td>0.023</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.55</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-2,3</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>904.2</td> <td>0.00</td> <td>0.022</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.85</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-2, 11</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>901.4</td> <td>0.00</td> <td>0.022</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.83</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-4</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>87.7</td> <td>0.00</td> <td>0.240</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.89</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.037</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.31</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.037</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.71</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5, 6, 7</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>715.4</td> <td>0.00</td> <td>0.030</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>1.12</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-9</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>856.5</td> <td>0.00</td> <td>0.025</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>1.10</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-9</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>175.0</td> <td>0.00</td> <td>0.120</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-10</td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>195.3</td> <td>0.00</td> <td>0.108</td> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B抽出用ポンプ</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td>抽出用ポンプの安全設備</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	区域区分	区画番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	防振対象設備	⑤ 影響評価値	⑥ 判定	備考1	備考2	3号炉 炉内配管	17.1	3BP-2	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	901.9	0.00	0.023			3A, 3B抽出用ポンプ	0.47	③<④		抽出用ポンプ 上の安全設備	3BP-3	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	801.9	0.00	0.023			3A, 3B抽出用ポンプ	0.55	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-2,3	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	904.2	0.00	0.022			3A, 3B抽出用ポンプ	0.85	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-2, 11	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	901.4	0.00	0.022			3A, 3B抽出用ポンプ	0.83	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-4	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	87.7	0.00	0.240			3A, 3B抽出用ポンプ	0.89	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-5	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	583.0	0.00	0.037			3A, 3B抽出用ポンプ	0.31	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-5	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	583.0	0.00	0.037			3A, 3B抽出用ポンプ	0.71	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-5, 6, 7	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	715.4	0.00	0.030			3A, 3B抽出用ポンプ	1.12	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-9	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	856.5	0.00	0.025			3A, 3B抽出用ポンプ	1.10	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-9	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	175.0	0.00	0.120			3A, 3B抽出用ポンプ	0.50	③<④		抽出用ポンプの安全設備	3BP-10	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	195.3	0.00	0.108			3A, 3B抽出用ポンプ	0.50	③<④		抽出用ポンプの安全設備	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備番号</th> <th>設備名</th> <th>抽出水量 [m³]</th> <th>抽出水位 [m]</th> <th>抽出圧力 [MPa]</th> <th>影響評価値</th> <th>判定</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0-2P-1</td> <td>0-2P-1</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-2</td> <td>0-2P-2</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-3</td> <td>0-2P-3</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-4</td> <td>0-2P-4</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-5</td> <td>0-2P-5</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-6</td> <td>0-2P-6</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-7</td> <td>0-2P-7</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-8</td> <td>0-2P-8</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-9</td> <td>0-2P-9</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-10</td> <td>0-2P-10</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	影響評価値	判定	備考	0-2P-1	0-2P-1	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-2	0-2P-2	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-3	0-2P-3	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-4	0-2P-4	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-5	0-2P-5	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-6	0-2P-6	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-7	0-2P-7	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-8	0-2P-8	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-9	0-2P-9	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-10	0-2P-10	140	802.9	0.0	0.3	③		<p>泊発電所3号炉</p> <p>表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備番号</th> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">抽出水量 [m³]</th> <th rowspan="2">抽出水位 [m]</th> <th rowspan="2">抽出圧力 [MPa]</th> <th rowspan="2">影響評価値</th> <th rowspan="2">判定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>⑤ 影響評価値</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0-2P-1</td> <td>0-2P-1</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-2</td> <td>0-2P-2</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-3</td> <td>0-2P-3</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-4</td> <td>0-2P-4</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-5</td> <td>0-2P-5</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-6</td> <td>0-2P-6</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-7</td> <td>0-2P-7</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-8</td> <td>0-2P-8</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-9</td> <td>0-2P-9</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-2P-10</td> <td>0-2P-10</td> <td>140</td> <td>802.9</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	影響評価値	判定	備考	⑤ 影響評価値	⑥ 判定	0-2P-1	0-2P-1	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-2	0-2P-2	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-3	0-2P-3	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-4	0-2P-4	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-5	0-2P-5	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-6	0-2P-6	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-7	0-2P-7	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-8	0-2P-8	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-9	0-2P-9	140	802.9	0.0	0.3	③		0-2P-10	0-2P-10	140	802.9	0.0	0.3	③		<p>【女川】【大飯】                      記載表現の相違                      【大飯】                      記載方針の相違                      ・大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。                      ・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。                      ・泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。                      【女川】                      記載方針の相違                      ・女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多く区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。                      ・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。                      ・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
建屋	区域区分	区画番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	防振対象設備	⑤ 影響評価値	⑥ 判定	備考1	備考2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉 炉内配管	17.1	3BP-2	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	901.9	0.00	0.023			3A, 3B抽出用ポンプ	0.47	③<④		抽出用ポンプ 上の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-3	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	801.9	0.00	0.023			3A, 3B抽出用ポンプ	0.55	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-2,3	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	904.2	0.00	0.022			3A, 3B抽出用ポンプ	0.85	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-2, 11	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	901.4	0.00	0.022			3A, 3B抽出用ポンプ	0.83	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-4	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	87.7	0.00	0.240			3A, 3B抽出用ポンプ	0.89	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-5	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	583.0	0.00	0.037			3A, 3B抽出用ポンプ	0.31	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-5	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	583.0	0.00	0.037			3A, 3B抽出用ポンプ	0.71	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-5, 6, 7	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	715.4	0.00	0.030			3A, 3B抽出用ポンプ	1.12	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-9	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	856.5	0.00	0.025			3A, 3B抽出用ポンプ	1.10	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		3BP-9	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	175.0	0.00	0.120			3A, 3B抽出用ポンプ	0.50	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3BP-10	3A, 3B抽出用ポンプ	21.0	195.3	0.00	0.108			3A, 3B抽出用ポンプ	0.50	③<④		抽出用ポンプの安全設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設備番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	影響評価値	判定	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
0-2P-1	0-2P-1	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-2	0-2P-2	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-3	0-2P-3	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-4	0-2P-4	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-5	0-2P-5	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-6	0-2P-6	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-7	0-2P-7	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-8	0-2P-8	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-9	0-2P-9	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-10	0-2P-10	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備番号	設備名	抽出水量 [m³]	抽出水位 [m]	抽出圧力 [MPa]	影響評価値	判定	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
								⑤ 影響評価値	⑥ 判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
0-2P-1	0-2P-1	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-2	0-2P-2	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-3	0-2P-3	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-4	0-2P-4	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-5	0-2P-5	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-6	0-2P-6	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-7	0-2P-7	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-8	0-2P-8	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-9	0-2P-9	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0-2P-10	0-2P-10	140	802.9	0.0	0.3	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"> <p>評価項目 保安制度</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定 0/1/2/3/4</p> </td> <td colspan="2"> <p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> </td> <td colspan="2"> <p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> </td> </tr> </table>	<p>評価項目 保安制度</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定 0/1/2/3/4</p>		<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>		<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>		<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>			<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。（大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方）</li> <li>泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。（大飯と同様）</li> </ul>
<p>評価項目 保安制度</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定の策定 0/1/2/3/4</p> <p>保安規定 0/1/2/3/4</p>		<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>									
<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>		<p>保安制度</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p> <p>保安規定の策定 0</p>									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 添付資料17)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(5/7)</p> <p>①-4-6-4-2-1 設備 12099 (12099) (目録記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区画</th> <th>設備名</th> <th>設備種別</th> <th>設備位置</th> <th>設備高さ</th> <th>設備水位</th> <th>設備容量</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">3号炉 原子炉 再処理部</td> <td rowspan="4">区域 120.0</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>原子炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3号炉 原子炉 再処理部</td> <td rowspan="4">区域 120.0</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>原子炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-4-6-4-2-2 設備 12099 (12099) (目録記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区画</th> <th>設備名</th> <th>設備種別</th> <th>設備位置</th> <th>設備高さ</th> <th>設備水位</th> <th>設備容量</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">3号炉 原子炉 再処理部</td> <td rowspan="4">区域 120.0</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>原子炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> </tbody> </table>	区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	設備内容	備考	3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	設備内容	備考	3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>①-4-6-4-2-1 設備 12099 (12099) (目録記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区画</th> <th>設備名</th> <th>設備種別</th> <th>設備位置</th> <th>設備高さ</th> <th>設備水位</th> <th>設備容量</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">3号炉 原子炉 再処理部</td> <td rowspan="4">区域 120.0</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>原子炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-4-6-4-2-2 設備 12099 (12099) (目録記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区画</th> <th>設備名</th> <th>設備種別</th> <th>設備位置</th> <th>設備高さ</th> <th>設備水位</th> <th>設備容量</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>設備内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">3号炉 原子炉 再処理部</td> <td rowspan="4">区域 120.0</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td rowspan="4">E1.1 E1.2</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>原子炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>再処理部</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> </tbody> </table>	区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	備考	3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	備考	3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	<p>泊発電所3号炉</p> <p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (5/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">設備位置</th> <th rowspan="2">設備高さ</th> <th rowspan="2">設備水位</th> <th rowspan="2">設備容量</th> <th rowspan="2">設備内容</th> <th colspan="3">浸水影響評価結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> <tr> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>172.7</td> <td>95</td> <td>0.00</td> <td>1,500</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> <td>3号炉</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	浸水影響評価結果			備考	A	B	C	3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	<p>相違理由</p> <p>【女川】【大飯】          記載表現の相違</p> <p>【大飯】          記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。</li> <li>一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。</li> <li>泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</li> </ul> <p>【女川】          記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多くの区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。</li> <li>泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、浸水影響評価で確認している内容に相違はない。</li> <li>泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	設備内容	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	設備内容	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区域	区画	設備名	設備種別	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	設備内容	設備内容	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3号炉 原子炉 再処理部	区域 120.0	E1.1 E1.2	E1.1 E1.2	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				原子炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				再処理部	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設備名	設備位置	設備高さ	設備水位	設備容量	設備内容	浸水影響評価結果			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						A	B	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3号炉	3号炉	172.7	95	0.00	1,500	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1添付資料17)

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">女子学園</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">異同点の判別</th> <th colspan="4">異同点の判別</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異同点の判別</th> <th colspan="2">異同点の判別</th> <th colspan="2">異同点の判別</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異同点の判別</th> <th colspan="2">異同点の判別</th> <th colspan="2">異同点の判別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	異同点の判別		異同点の判別				異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p><b>【女川】</b>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>・泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。(大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方)</li> <li>・泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。(大飯と同様)</li> </ul>
異同点の判別		異同点の判別																																																													
異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別																																																											
異同点の判別		異同点の判別		異同点の判別																																																											
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○																																																										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(6/7)</p> <p>①-6号炉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 評価時間：17分5秒 (運転員による手動停止)</li> <li>- 原水流量：247.5m³</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区分</th> <th>原水流量 (m³)</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>炉内</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>炉外</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-7号炉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 評価時間：17分 (運転員による手動停止)</li> <li>- 原水流量：247.5m³</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区分</th> <th>原水流量 (m³)</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>炉内</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>炉外</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-8号炉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 評価時間：17分 (運転員による手動停止)</li> <li>- 原水流量：247.5m³</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区分</th> <th>原水流量 (m³)</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>炉内</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>炉外</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考	3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考	3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考	3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>区分</th> <th>原水流量 (m³)</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>炉内</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>炉外</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考	3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	<p>泊発電所3号炉</p> <p>表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (6/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">区域</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">原水流量 (m³)</th> <th rowspan="2">配管径 (mm)</th> <th rowspan="2">配管長さ (m)</th> <th rowspan="2">配管材質</th> <th rowspan="2">配管状態</th> <th rowspan="2">配管位置</th> <th rowspan="2">配管種類</th> <th rowspan="2">配管径 (mm)</th> <th rowspan="2">配管長さ (m)</th> <th rowspan="2">配管材質</th> <th rowspan="2">配管状態</th> <th rowspan="2">配管位置</th> <th rowspan="2">配管種類</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>原水流量 (m³)</th> <th>配管径 (mm)</th> <th>配管長さ (m)</th> <th>配管材質</th> <th>配管状態</th> <th>配管位置</th> <th>配管種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td rowspan="2">炉内</td> <td rowspan="2">炉内</td> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>φ104.5</td> <td>0.00</td> <td>2.59F</td> <td></td> <td>3タービン駆動機 給水ポンプ</td> <td>配管</td> <td>原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	設備	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	3号炉	炉内	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。	<p>【女川】【大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。</li> <li>一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。</li> <li>泊と同様のまとめ方をしていない。先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大阪の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</li> </ul> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川は想定破損による溢水源が泊と比較的多いことから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。</li> <li>泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。</li> <li>泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
	炉外	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																							
設備	区域	区分	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類	備考																																																																																																																																																																																																																																						
																	原水流量 (m³)	配管径 (mm)	配管長さ (m)	配管材質	配管状態	配管位置	配管種類																																																																																																																																																																																																																															
3号炉	炉内	炉内	33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																						
			33.6	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	φ104.5	0.00	2.59F		3タービン駆動機 給水ポンプ	配管	原水が漏洩する可能性がある。配管径が小さく、破損した場合、配管が脱落する可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>設計指針書 認定仕様書                      認定済安全設備 設計方針書                      設計書 PFC</p>																																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計指針書</th> <th colspan="2">認定仕様書</th> <th colspan="2">設計方針書</th> <th colspan="2">設計書</th> <th colspan="2">PFC</th> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> </table>				設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC		設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○	設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○
設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC																									
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計指針書</th> <th colspan="2">認定仕様書</th> <th colspan="2">設計方針書</th> <th colspan="2">設計書</th> <th colspan="2">PFC</th> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> </table>				設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC		設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○	設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○
設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC																									
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計指針書</th> <th colspan="2">認定仕様書</th> <th colspan="2">設計方針書</th> <th colspan="2">設計書</th> <th colspan="2">PFC</th> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計指針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計方針書の適用</td> <td>○</td> <td>設計書の適用</td> <td>○</td> <td>PFCの適用</td> <td>○</td> </tr> </table>				設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC		設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○	設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○
設計指針書		認定仕様書		設計方針書		設計書		PFC																									
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								
設計指針書の適用	○	設計指針書の適用	○	設計方針書の適用	○	設計書の適用	○	PFCの適用	○																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉

大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(7/7)

Table with columns: 区域区分, 設備, 断面積, 高さ, 水深, 流速, 圧力, etc. It contains detailed evaluation data for various components of the Osaka No. 3 reactor.

女川原子力発電所2号炉

Table with columns: 設備区分, 設備名称, 機器番号, 機組番号, etc. It lists equipment details for the Onagawa No. 2 reactor.

泊発電所3号炉

表1 没水影響評価結果整理表（想定破損）(7/7)

Table 1: Summary of flooding impact evaluation results. It includes columns for reactor area, equipment ID, and evaluation results for various parameters like water level and pressure.

相違理由

【女川】【大飯】
記載表現の相違
【大飯】
記載方針の相違
・大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。
・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。
・泊と同様のまとめ方をしてる先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。
【女川】
記載方針の相違
・女川は想定破損による溢水水源が泊と比較して多いこと、溢水水源が多くなる区画に設置されていることから、各区画の溢水水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。
・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。
・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。
設計方針の相違
プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大阪4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(1/6)																
<p>(1)炉本体設備類 (排水注入配管及び充てん配管)</p> <p>①設備固有重量と固有共振点 (以下は想定破損の場合を示す)</p> <p>→ 固有重量 (原子炉中心位置) 上.L. + 21.9k</p> <p>→ 固有重量 (原子炉中心位置) 上.L. + 21.9k</p> <p>②・3: 地震時: 11分 (排水注入配管 (内蔵部～取源部～排水注入ライン(装置別番号))</p> <p>→ 固有重量: 21.9k</p>	種別	区域 区分	質量 +M (kg)	固有 重量 L+U (kN)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)	固有 重量 L+U (kg)			
				26.9												
			40P-3	21.8	216.3	0.90	0.079									
			40P-3	21.8	948.4	0.90	0.020									
			40P-3	21.8	900.4	0.90	0.022									
		47.1	40P-3-4	21.8	1030.3	0.90	0.022									
			40P-3-16	21.8	1699.3	0.90	0.022									
			40P-9	21.8	87.6	0.90	0.249									
			40P-6	21.8	186.7	0.90	0.129									
			40P-7	21.8	26.4	0.90	0.678									
			40P-8	21.8	24.6	0.90	0.873									
			40P-9	21.8	28.0	0.90	0.829									
			40P-10	21.8	22.9	0.90	0.100*									
		10.0	40P-11	21.8	327.7	0.90	0.042									
			40P-11	21.8	327.7	0.90	0.042									
			40P-11	21.8	354.1	0.90	0.046									
			40P-11-12	21.8	670.0	0.90	0.032									
			40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	0.028									
			40P-14	21.8	187.2	0.90	0.131									
			40P-15	21.8	188.9	0.90	0.118									
	<p>4号炉 原子炉 機器類 区画</p> <p>③・4: 機器類区画</p>															
	<p>④: 機器設置5.9m</p>															

機器設置5.9m				機器設置6.0m				機器設置6.1m				機器設置6.2m				機器設置6.3m				機器設置6.4m				機器設置6.5m			
設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	固有重量
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90	40P-17	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m		機器設置6.1m		機器設置6.2m		機器設置6.3m		機器設置6.4m		機器設置6.5m	
設備固有重量	質量	設備固有重量	質量	設備固有重量	質量	設備固有重量	質量	設備固有重量	質量	設備固有重量	質量
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

機器設置6.0m			機器設置6.1m			機器設置6.2m			機器設置6.3m			機器設置6.4m			機器設置6.5m								
設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量	設備固有重量	質量	固有重量						
40P-11	21.8	354.1	0.90	40P-11-12	21.8	670.0	0.90	40P-11-12-13	21.8	802.1	0.90	40P-14	21.8	187.2	0.90	40P-15	21.8	188.9	0.90	40P-16	21.8	188.9	0.90

⑤・5: 機器設置5.9m

⑥・6: 機器設置6.0m

⑦・7: 機器設置6.1m

⑧・8: 機器設置6.2m

⑨・9: 機器設置6.3m

⑩・10: 機器設置6.4m

⑪・11: 機器設置6.5m

⑫・12: 機器設置6.6m

⑬・13: 機器設置6.7m

⑭・14: 機器設置6.8m

⑮・15: 機器設置6.9m

⑯・16: 機器設置7.0m

⑰・17: 機器設置7.1m

⑱・18: 機器設置7.2m

⑲・19: 機器設置7.3m

⑳・20: 機器設置7.4m

㉑・21: 機器設置7.5m

㉒・22: 機器設置7.6m

㉓・23: 機器設置7.7m

㉔・24: 機器設置7.8m

㉕・25: 機器設置7.9m

㉖・26: 機器設置8.0m

㉗・27: 機器設置8.1m

㉘・28: 機器設置8.2m

㉙・29: 機器設置8.3m

㉚・30: 機器設置8.4m

㉛・31: 機器設置8.5m

㉜・32: 機器設置8.6m

㉝・33: 機器設置8.7m

㉞・34: 機器設置8.8m

㉟・35: 機器設置8.9m

㊱・36: 機器設置9.0m

㊲・37: 機器設置9.1m

㊳・38: 機器設置9.2m

㊴・39: 機器設置9.3m

㊵・40: 機器設置9.4m

㊶・41: 機器設置9.5m

㊷・42: 機器設置9.6m

㊸・43: 機器設置9.7m

㊹・44: 機器設置9.8m

㊺・45: 機器設置9.9m

㊻・46: 機器設置10.0m

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計者： 日立 東芝</p> <p>設計責任者： 片岡 小次郎</p> <p>設計承認者： MAMC</p>   <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">機器設備</th> <th colspan="2">配管設備</th> <th colspan="2">電気設備</th> <th colspan="2">その他設備</th> <th colspan="2">計測・監視設備</th> <th colspan="2">その他設備</th> </tr> <tr> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> <td>原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉設備		機器設備		配管設備		電気設備		その他設備		計測・監視設備		その他設備		機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		機器設備		配管設備		電気設備		その他設備		計測・監視設備		その他設備																																																																																																																																																																													
機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格																																																																																																																																																																												
原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○	原子炉圧力容器	○																																																																																																																																																																												
原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○	原子炉冷却系	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○	原子炉圧力調整弁	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												
原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○	原子炉圧力調整弁駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機駆動機	○																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

大阪4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(2/6)

Table with columns: 評価項目, 評価内容, 評価結果, etc. Includes a detailed assessment of overflow impact for Osaka 4th reactor under assumed damage scenarios.

Table with columns: 設備名, 仕様, 設計, etc. Lists equipment specifications and design details for the female reactor.

【大阪】  
設計方針の相違  
大阪はツインプラント。  
  
【女川】  
設計方針の相違  
プラント設計の違いによる評価結果の相違



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電所 NPP0221102</td> </tr> </table> </div>	原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所																																			
原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102																																			
原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102																																			
原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102		原子力発電所 NPP0221102																																			









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">計測項目</td> <td colspan="2">認定 結果</td> </tr> <tr> <td>炉内水位監視</td> <td>炉内水位監視</td> <td>付</td> <td>付</td> </tr> <tr> <td>炉内水位監視</td> <td>炉内水位監視</td> <td>付</td> <td>付</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> </tr> <tr> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	計測項目		認定 結果		炉内水位監視	炉内水位監視	付	付	炉内水位監視	炉内水位監視	付	付	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> </tr> <tr> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>				異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p><b>【女川】</b>          設計方針の相違          プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
計測項目		認定 結果																																																																													
炉内水位監視	炉内水位監視	付	付																																																																												
炉内水位監視	炉内水位監視	付	付																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> <th colspan="2">異常検知機能</th> </tr> <tr> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> <th>異常検知機能</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>				異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能		異常検知機能																																																																							
異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能	異常検知機能																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>大阪4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(6/6)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="12">①-③：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：110分（8号炉上層プールの排水設備（制御室〜アングラホ））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>① DB水準 E/L (%)</th> <th>② DB水準 E/W (%)</th> <th>③ DB水準 W/L (%)</th> <th>④ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑤ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>⑥ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑦ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑧ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑨ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑩ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>23.6</td> <td>23.6</td> <td>23.6</td> <td>23.6</td> <td>23.6</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="12">④-⑨：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>④ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑤ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑥ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑦ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑧ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>⑪ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑫ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑬ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑭ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑮ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="12">⑩-⑯：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>⑩ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑪ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑫ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑬ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑭ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>⑯ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑰ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑱ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑲ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑳ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①-③：DB水準												- 評価項目：110分（8号炉上層プールの排水設備（制御室〜アングラホ））												評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	23.6	23.6	23.6	23.6	23.6	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75		評価項目												評価項目												評価項目											④-⑨：DB水準												- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））												評価区分	評価項目	④ DB水準 E/L (%)	⑤ DB水準 E/W (%)	⑥ DB水準 W/L (%)	⑦ DB水準 A/W (%)	⑧ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑪ DB水準 E/W (%)	⑫ DB水準 E/L (%)	⑬ DB水準 W/L (%)	⑭ DB水準 A/W (%)	⑮ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75		評価項目												評価項目												評価項目											⑩-⑯：DB水準												- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））												評価区分	評価項目	⑩ DB水準 E/L (%)	⑪ DB水準 E/W (%)	⑫ DB水準 W/L (%)	⑬ DB水準 A/W (%)	⑭ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑯ DB水準 E/W (%)	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 W/L (%)	⑲ DB水準 A/W (%)	⑳ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15		評価項目												評価項目												評価項目											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">①-⑯：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>① DB水準 E/L (%)</th> <th>② DB水準 E/W (%)</th> <th>③ DB水準 W/L (%)</th> <th>④ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑤ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>⑥ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑦ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑧ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑨ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑩ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="12">⑰-⑲：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>⑰ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑱ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑲ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑳ DB水準 A/W (%)</th> <th>㉑ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>㉒ DB水準 E/W (%)</th> <th>㉓ DB水準 E/L (%)</th> <th>㉔ DB水準 W/L (%)</th> <th>㉕ DB水準 A/W (%)</th> <th>㉖ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>①：8号炉中層プール</p>	①-⑯：DB水準												- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））												評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75		評価項目												評価項目												評価項目											⑰-⑲：DB水準												- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））												評価区分	評価項目	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 E/W (%)	⑲ DB水準 W/L (%)	⑳ DB水準 A/W (%)	㉑ DB水準 A/L (%)	評価項目	㉒ DB水準 E/W (%)	㉓ DB水準 E/L (%)	㉔ DB水準 W/L (%)	㉕ DB水準 A/W (%)	㉖ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15		評価項目												評価項目												評価項目											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">①-⑯：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>① DB水準 E/L (%)</th> <th>② DB水準 E/W (%)</th> <th>③ DB水準 W/L (%)</th> <th>④ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑤ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>⑥ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑦ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑧ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑨ DB水準 A/W (%)</th> <th>⑩ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>296.7</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="12">⑰-⑲：DB水準</th> </tr> <tr> <td colspan="12">- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））</td> </tr> <tr> <th>評価区分</th> <th>評価項目</th> <th>⑰ DB水準 E/L (%)</th> <th>⑱ DB水準 E/W (%)</th> <th>⑲ DB水準 W/L (%)</th> <th>⑳ DB水準 A/W (%)</th> <th>㉑ DB水準 A/L (%)</th> <th>評価項目</th> <th>㉒ DB水準 E/W (%)</th> <th>㉓ DB水準 E/L (%)</th> <th>㉔ DB水準 W/L (%)</th> <th>㉕ DB水準 A/W (%)</th> <th>㉖ DB水準 A/L (%)</th> </tr> <tr> <td>制御室</td> <td>評価項目</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>4号炉中層プール</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>	①-⑯：DB水準												- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））												評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75		評価項目												評価項目												評価項目											⑰-⑲：DB水準												- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））												評価区分	評価項目	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 E/W (%)	⑲ DB水準 W/L (%)	⑳ DB水準 A/W (%)	㉑ DB水準 A/L (%)	評価項目	㉒ DB水準 E/W (%)	㉓ DB水準 E/L (%)	㉔ DB水準 W/L (%)	㉕ DB水準 A/W (%)	㉖ DB水準 A/L (%)	制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15		評価項目												評価項目												評価項目											<p>【大阪】 設計方針の相違 大阪はツインプラント。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
①-③：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：110分（8号炉上層プールの排水設備（制御室〜アングラホ））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	23.6	23.6	23.6	23.6	23.6	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④-⑨：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	④ DB水準 E/L (%)	⑤ DB水準 E/W (%)	⑥ DB水準 W/L (%)	⑦ DB水準 A/W (%)	⑧ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑪ DB水準 E/W (%)	⑫ DB水準 E/L (%)	⑬ DB水準 W/L (%)	⑭ DB水準 A/W (%)	⑮ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑩-⑯：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	⑩ DB水準 E/L (%)	⑪ DB水準 E/W (%)	⑫ DB水準 W/L (%)	⑬ DB水準 A/W (%)	⑭ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑯ DB水準 E/W (%)	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 W/L (%)	⑲ DB水準 A/W (%)	⑳ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
①-⑯：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑰-⑲：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 E/W (%)	⑲ DB水準 W/L (%)	⑳ DB水準 A/W (%)	㉑ DB水準 A/L (%)	評価項目	㉒ DB水準 E/W (%)	㉓ DB水準 E/L (%)	㉔ DB水準 W/L (%)	㉕ DB水準 A/W (%)	㉖ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
①-⑯：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：117分（8号炉中層プール排水設備（制御室〜東塔））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	① DB水準 E/L (%)	② DB水準 E/W (%)	③ DB水準 W/L (%)	④ DB水準 A/W (%)	⑤ DB水準 A/L (%)	評価項目	⑥ DB水準 E/W (%)	⑦ DB水準 E/L (%)	⑧ DB水準 W/L (%)	⑨ DB水準 A/W (%)	⑩ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	296.7	296.7	296.7	296.7	296.7	4号炉中層プール	8.75	8.75	8.75	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑰-⑲：DB水準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
- 評価項目：15分（8号炉中層プール排水設備（制御室））																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
評価区分	評価項目	⑰ DB水準 E/L (%)	⑱ DB水準 E/W (%)	⑲ DB水準 W/L (%)	⑳ DB水準 A/W (%)	㉑ DB水準 A/L (%)	評価項目	㉒ DB水準 E/W (%)	㉓ DB水準 E/L (%)	㉔ DB水準 W/L (%)	㉕ DB水準 A/W (%)	㉖ DB水準 A/L (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
制御室	評価項目	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	4号炉中層プール	0.15	0.15	0.15	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	評価項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別: 標準 設備                  基本設計区域: B-400F-1                  第九巻: FC0001</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> </tr> </table> </div>	緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)																																																																																																																	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																														
緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)																																																																																																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																												



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																		
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力設備</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> <td>原子力炉心冷却</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	原子力設備		原子力設備		原子力設備		原子力設備		原子力設備		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子力設備		原子力設備		原子力設備		原子力設備		原子力設備																																																																																																																													
緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却	原子力炉心冷却																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

項目	大飯発電所3号炉	大飯発電所4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉
1. 設備	200-11	200-12	200-11	200-11
2. 運用	200-11	200-12	200-11	200-11
3. 体制	200-11	200-12	200-11	200-11
4. 設計	200-11	200-12	200-11	200-11
5. 評価	200-11	200-12	200-11	200-11
6. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
7. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
8. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
9. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
10. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
11. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
12. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
13. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
14. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
15. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
16. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
17. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
18. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
19. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11
20. 備考	200-11	200-12	200-11	200-11

女川原子力発電所2号炉

項目	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉
1. 設備	200-11	200-11
2. 運用	200-11	200-11
3. 体制	200-11	200-11
4. 設計	200-11	200-11
5. 評価	200-11	200-11
6. 備考	200-11	200-11
7. 備考	200-11	200-11
8. 備考	200-11	200-11
9. 備考	200-11	200-11
10. 備考	200-11	200-11
11. 備考	200-11	200-11
12. 備考	200-11	200-11
13. 備考	200-11	200-11
14. 備考	200-11	200-11
15. 備考	200-11	200-11
16. 備考	200-11	200-11
17. 備考	200-11	200-11
18. 備考	200-11	200-11
19. 備考	200-11	200-11
20. 備考	200-11	200-11

泊発電所3号炉

表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(2/7)

項目	設備	1.7m 浸水	1.7m 以下 浸水	1.7m 以下 浸水	1.7m 以下 浸水	浸水影響評価結果			備考	
						① 浸水影響評価結果	② 浸水影響評価結果	③ 浸水影響評価結果		
浸水影響評価結果	100-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-12	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-13	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-14	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-15	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-16	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-17	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-18	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-19	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-20	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-21	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-22	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-23	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-24	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	
	100-25	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	

【女川】  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる評価結果の相違

【参考】【伊方】  
 記載方針の相違  
 泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。

(2) 化学体積削減率表 (抽出ライン)  
 ① 濃水巻  
 ・濃水量：22.2t

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">新設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">標準仕様</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">新設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">標準仕様</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> <td>設計者</td> </tr> </table> </div>	新設計		標準仕様		設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	新設計		標準仕様		設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者	設計者		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新設計		標準仕様																																	
設計者	設計者	設計者	設計者																																
設計者	設計者	設計者	設計者																																
設計者	設計者	設計者	設計者																																
新設計		標準仕様																																	
設計者	設計者	設計者	設計者																																
設計者	設計者	設計者	設計者																																
設計者	設計者	設計者	設計者																																

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

Table with columns: 項目, 単位, 数値, 仕様等. Includes data for steam flow, water flow, and other parameters.

溢水対策設置エリア

(4) 主蒸気・主給水系統

① 溢水量: 30分

・ 溢水量: 518.4㎥

Table with columns: 設備名, 設備内容, 設備仕様, 設備位置, 設備容量, etc. Lists various equipment and their specifications.

溢水対策設置エリア

女川原子力発電所2号炉

Table with columns: 設備名, 設備内容, 設備仕様, 設備位置, 設備容量, etc. Lists various equipment and their specifications.

補注: 設備名称の相違は、同一設備の異なる仕様を示している。また、設備の仕様値が異なる場合、その差を○で示している。

泊発電所3号炉

表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (3/7)

Table with columns: 設備, 没水原因, 設備容量, 没水量, etc. Lists equipment and water volume under various failure scenarios.

相違理由

【女川】  
設計方針の相違  
プラント設計の違いによる評価結果の相違

【参考】【伊方】  
記載方針の相違  
泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																							
	<p>表1 設備性能比較表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>定格出力</th> <th>定格電圧</th> <th>定格電流</th> <th>定格容量</th> <th>定格効率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間冷却器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝縮器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝縮機</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間冷却器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝縮器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本表は設備性能比較表であり、設備性能比較の目的で記載されている。詳細な性能比較については、別添1添付資料17を参照してください。</p>	設備名	型式	製造年	定格出力	定格電圧	定格電流	定格容量	定格効率	備考	凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5		<p>表1 没水影響評価結果整理表（想定破損）(4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">型式</th> <th rowspan="2">製造年</th> <th rowspan="2">定格出力</th> <th rowspan="2">定格電圧</th> <th rowspan="2">定格電流</th> <th rowspan="2">定格容量</th> <th rowspan="2">定格効率</th> <th colspan="3">没水影響評価</th> </tr> <tr> <th>① 設備性能</th> <th>② 設備状態</th> <th>③ 設備運用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>低圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>中間冷却器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>凝縮器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>凝縮機</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>低圧ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>中間冷却器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>凝縮器</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>日立</td> <td>1971</td> <td>3000</td> <td>10.5</td> <td>100</td> <td>3000</td> <td>92.5</td> <td>良好</td> <td>良好</td> <td>良好</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本表は設備性能比較表であり、設備性能比較の目的で記載されている。詳細な性能比較については、別添1添付資料17を参照してください。</p>	設備名	型式	製造年	定格出力	定格電圧	定格電流	定格容量	定格効率	没水影響評価			① 設備性能	② 設備状態	③ 設備運用	凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】  <u>記載方針の相違</u>                      泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
設備名	型式	製造年	定格出力	定格電圧	定格電流	定格容量	定格効率	備考																																																																																																																																																																																																																																																																		
凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備名	型式	製造年	定格出力	定格電圧	定格電流	定格容量	定格効率	没水影響評価																																																																																																																																																																																																																																																																		
								① 設備性能	② 設備状態	③ 設備運用																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮機	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
低圧ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
中間冷却器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
凝縮器	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																
冷却水ポンプ	日立	1971	3000	10.5	100	3000	92.5	良好	良好	良好																																																																																																																																																																																																																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (5/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>① 設備名</th> <th>② 設備種別</th> <th>③ 設備位置</th> <th>④ 設備容量</th> <th>⑤ 設備寸法</th> <th>⑥ 設備重量</th> <th>⑦ 設備価額</th> <th>⑧ 設備の重要性</th> <th>⑨ 設備の危険性</th> <th>⑩ 設備の脆弱性</th> <th>⑪ 設備の修理性</th> <th>⑫ 設備の取替性</th> <th>⑬ 設備の維持性</th> <th>⑭ 設備の廃棄性</th> <th>⑮ 設備の処分性</th> <th>⑯ 設備の環境影響</th> <th>⑰ 設備の社会影響</th> <th>⑱ 設備の経済影響</th> <th>⑳ 設備の法的影響</th> <th>㉑ 設備の政治的影響</th> <th>㉒ 設備の文化的影響</th> <th>㉓ 設備の歴史的影響</th> <th>㉔ 設備の科学的影響</th> <th>㉕ 設備の技術的影響</th> <th>㉖ 設備の教育的影響</th> <th>㉗ 設備の娯楽的影響</th> <th>㉘ 設備の健康的影響</th> <th>㉙ 設備の安全的影響</th> <th>㉚ 設備の環境的影響</th> <th>㉛ 設備の社会的影響</th> <th>㉜ 設備の法的影響</th> <th>㉝ 設備の政治的影響</th> <th>㉞ 設備の文化的影響</th> <th>㉟ 設備の歴史的影響</th> <th>㊱ 設備の科学的影響</th> <th>㊲ 設備の技術的影響</th> <th>㊳ 設備の教育的影響</th> <th>㊴ 設備の娯楽的影響</th> <th>㊵ 設備の健康的影響</th> <th>㊶ 設備の安全的影響</th> <th>㊷ 設備の環境的影響</th> <th>㊸ 設備の社会的影響</th> <th>㊹ 設備の法的影響</th> <th>㊺ 設備の政治的影響</th> <th>㊻ 設備の文化的影響</th> <th>㊼ 設備の歴史的影響</th> <th>㊽ 設備の科学的影響</th> <th>㊾ 設備の技術的影響</th> <th>㊿ 設備の教育的影響</th> </tr> </thead> </table> <p>① 設備名 ② 設備種別 ③ 設備位置 ④ 設備容量 ⑤ 設備寸法 ⑥ 設備重量 ⑦ 設備価額 ⑧ 設備の重要性 ⑨ 設備の危険性 ⑩ 設備の脆弱性 ⑪ 設備の修理性 ⑫ 設備の取替性 ⑬ 設備の維持性 ⑭ 設備の廃棄性 ⑮ 設備の処分性 ⑯ 設備の環境影響 ⑰ 設備の社会影響 ⑱ 設備の経済影響 ⑲ 設備の法的影響 ⑳ 設備の政治的影響 ㉑ 設備の文化的影響 ㉒ 設備の歴史的影響 ㉓ 設備の科学的影響 ㉔ 設備の技術的影響 ㉕ 設備の教育的影響 ㉖ 設備の娯楽的影響 ㉗ 設備の健康的影響 ㉘ 設備の安全の影響 ㉙ 設備の環境の影響 ㉚ 設備の社会的影響 ㉛ 設備の法的影響 ㉜ 設備の政治的影響 ㉝ 設備の文化的影響 ㉞ 設備の歴史的影響 ㉟ 設備の科学的影響 ㊱ 設備の技術的影響 ㊲ 設備の教育的影響 ㊳ 設備の娯楽的影響 ㊴ 設備の健康的影響 ㊵ 設備の安全の影響 ㊶ 設備の環境の影響 ㊷ 設備の社会的影響 ㊸ 設備の法的影響 ㊹ 設備の政治的影響 ㊺ 設備の文化的影響 ㊻ 設備の歴史的影響 ㊼ 設備の科学的影響 ㊽ 設備の技術的影響 ㊾ 設備の教育的影響 ㊿ 設備の娯楽的影響</p>	項目	① 設備名	② 設備種別	③ 設備位置	④ 設備容量	⑤ 設備寸法	⑥ 設備重量	⑦ 設備価額	⑧ 設備の重要性	⑨ 設備の危険性	⑩ 設備の脆弱性	⑪ 設備の修理性	⑫ 設備の取替性	⑬ 設備の維持性	⑭ 設備の廃棄性	⑮ 設備の処分性	⑯ 設備の環境影響	⑰ 設備の社会影響	⑱ 設備の経済影響	⑳ 設備の法的影響	㉑ 設備の政治的影響	㉒ 設備の文化的影響	㉓ 設備の歴史的影響	㉔ 設備の科学的影響	㉕ 設備の技術的影響	㉖ 設備の教育的影響	㉗ 設備の娯楽的影響	㉘ 設備の健康的影響	㉙ 設備の安全的影響	㉚ 設備の環境的影響	㉛ 設備の社会的影響	㉜ 設備の法的影響	㉝ 設備の政治的影響	㉞ 設備の文化的影響	㉟ 設備の歴史的影響	㊱ 設備の科学的影響	㊲ 設備の技術的影響	㊳ 設備の教育的影響	㊴ 設備の娯楽的影響	㊵ 設備の健康的影響	㊶ 設備の安全的影響	㊷ 設備の環境的影響	㊸ 設備の社会的影響	㊹ 設備の法的影響	㊺ 設備の政治的影響	㊻ 設備の文化的影響	㊼ 設備の歴史的影響	㊽ 設備の科学的影響	㊾ 設備の技術的影響	㊿ 設備の教育的影響	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (5/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>① 設備名</th> <th>② 設備種別</th> <th>③ 設備位置</th> <th>④ 設備容量</th> <th>⑤ 設備寸法</th> <th>⑥ 設備重量</th> <th>⑦ 設備価額</th> <th>⑧ 設備の重要性</th> <th>⑨ 設備の危険性</th> <th>⑩ 設備の脆弱性</th> <th>⑪ 設備の修理性</th> <th>⑫ 設備の取替性</th> <th>⑬ 設備の維持性</th> <th>⑭ 設備の廃棄性</th> <th>⑮ 設備の処分性</th> <th>⑯ 設備の環境影響</th> <th>⑰ 設備の社会影響</th> <th>⑱ 設備の経済影響</th> <th>⑲ 設備の法的影響</th> <th>⑳ 設備の政治的影響</th> <th>㉑ 設備の文化的影響</th> <th>㉒ 設備の歴史的影響</th> <th>㉓ 設備の科学的影響</th> <th>㉔ 設備の技術的影響</th> <th>㉕ 設備の教育的影響</th> <th>㉖ 設備の娯楽的影響</th> <th>㉗ 設備の健康的影響</th> <th>㉘ 設備の安全の影響</th> <th>㉙ 設備の環境の影響</th> <th>㉚ 設備の社会的影響</th> <th>㉛ 設備の法的影響</th> <th>㉜ 設備の政治的影響</th> <th>㉝ 設備の文化的影響</th> <th>㉞ 設備の歴史的影響</th> <th>㉟ 設備の科学的影響</th> <th>㊱ 設備の技術的影響</th> <th>㊲ 設備の教育的影響</th> <th>㊳ 設備の娯楽的影響</th> <th>㊴ 設備の健康的影響</th> <th>㊵ 設備の安全の影響</th> <th>㊶ 設備の環境の影響</th> <th>㊷ 設備の社会的影響</th> <th>㊸ 設備の法的影響</th> <th>㊹ 設備の政治的影響</th> <th>㊺ 設備の文化的影響</th> <th>㊻ 設備の歴史的影響</th> <th>㊼ 設備の科学的影響</th> <th>㊽ 設備の技術的影響</th> <th>㊾ 設備の教育的影響</th> <th>㊿ 設備の娯楽的影響</th> </tr> </thead> </table>	項目	① 設備名	② 設備種別	③ 設備位置	④ 設備容量	⑤ 設備寸法	⑥ 設備重量	⑦ 設備価額	⑧ 設備の重要性	⑨ 設備の危険性	⑩ 設備の脆弱性	⑪ 設備の修理性	⑫ 設備の取替性	⑬ 設備の維持性	⑭ 設備の廃棄性	⑮ 設備の処分性	⑯ 設備の環境影響	⑰ 設備の社会影響	⑱ 設備の経済影響	⑲ 設備の法的影響	⑳ 設備の政治的影響	㉑ 設備の文化的影響	㉒ 設備の歴史的影響	㉓ 設備の科学的影響	㉔ 設備の技術的影響	㉕ 設備の教育的影響	㉖ 設備の娯楽的影響	㉗ 設備の健康的影響	㉘ 設備の安全の影響	㉙ 設備の環境の影響	㉚ 設備の社会的影響	㉛ 設備の法的影響	㉜ 設備の政治的影響	㉝ 設備の文化的影響	㉞ 設備の歴史的影響	㉟ 設備の科学的影響	㊱ 設備の技術的影響	㊲ 設備の教育的影響	㊳ 設備の娯楽的影響	㊴ 設備の健康的影響	㊵ 設備の安全の影響	㊶ 設備の環境の影響	㊷ 設備の社会的影響	㊸ 設備の法的影響	㊹ 設備の政治的影響	㊺ 設備の文化的影響	㊻ 設備の歴史的影響	㊼ 設備の科学的影響	㊽ 設備の技術的影響	㊾ 設備の教育的影響	㊿ 設備の娯楽的影響	<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】                  記載方針の相違                  泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
項目	① 設備名	② 設備種別	③ 設備位置	④ 設備容量	⑤ 設備寸法	⑥ 設備重量	⑦ 設備価額	⑧ 設備の重要性	⑨ 設備の危険性	⑩ 設備の脆弱性	⑪ 設備の修理性	⑫ 設備の取替性	⑬ 設備の維持性	⑭ 設備の廃棄性	⑮ 設備の処分性	⑯ 設備の環境影響	⑰ 設備の社会影響	⑱ 設備の経済影響	⑳ 設備の法的影響	㉑ 設備の政治的影響	㉒ 設備の文化的影響	㉓ 設備の歴史的影響	㉔ 設備の科学的影響	㉕ 設備の技術的影響	㉖ 設備の教育的影響	㉗ 設備の娯楽的影響	㉘ 設備の健康的影響	㉙ 設備の安全的影響	㉚ 設備の環境的影響	㉛ 設備の社会的影響	㉜ 設備の法的影響	㉝ 設備の政治的影響	㉞ 設備の文化的影響	㉟ 設備の歴史的影響	㊱ 設備の科学的影響	㊲ 設備の技術的影響	㊳ 設備の教育的影響	㊴ 設備の娯楽的影響	㊵ 設備の健康的影響	㊶ 設備の安全的影響	㊷ 設備の環境的影響	㊸ 設備の社会的影響	㊹ 設備の法的影響	㊺ 設備の政治的影響	㊻ 設備の文化的影響	㊼ 設備の歴史的影響	㊽ 設備の科学的影響	㊾ 設備の技術的影響	㊿ 設備の教育的影響																																																							
項目	① 設備名	② 設備種別	③ 設備位置	④ 設備容量	⑤ 設備寸法	⑥ 設備重量	⑦ 設備価額	⑧ 設備の重要性	⑨ 設備の危険性	⑩ 設備の脆弱性	⑪ 設備の修理性	⑫ 設備の取替性	⑬ 設備の維持性	⑭ 設備の廃棄性	⑮ 設備の処分性	⑯ 設備の環境影響	⑰ 設備の社会影響	⑱ 設備の経済影響	⑲ 設備の法的影響	⑳ 設備の政治的影響	㉑ 設備の文化的影響	㉒ 設備の歴史的影響	㉓ 設備の科学的影響	㉔ 設備の技術的影響	㉕ 設備の教育的影響	㉖ 設備の娯楽的影響	㉗ 設備の健康的影響	㉘ 設備の安全の影響	㉙ 設備の環境の影響	㉚ 設備の社会的影響	㉛ 設備の法的影響	㉜ 設備の政治的影響	㉝ 設備の文化的影響	㉞ 設備の歴史的影響	㉟ 設備の科学的影響	㊱ 設備の技術的影響	㊲ 設備の教育的影響	㊳ 設備の娯楽的影響	㊴ 設備の健康的影響	㊵ 設備の安全の影響	㊶ 設備の環境の影響	㊷ 設備の社会的影響	㊸ 設備の法的影響	㊹ 設備の政治的影響	㊺ 設備の文化的影響	㊻ 設備の歴史的影響	㊼ 設備の科学的影響	㊽ 設備の技術的影響	㊾ 設備の教育的影響	㊿ 設備の娯楽的影響																																																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1添付資料17)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図17-37 電気設備</p> <p>図17-38 電気設備</p> <p>図17-39 電気設備</p> <p>図17-40 電気設備</p> <p>図17-41 電気設備</p> <p>図17-42 電気設備</p> <p>図17-43 電気設備</p> <p>図17-44 電気設備</p> <p>図17-45 電気設備</p> <p>図17-46 電気設備</p> <p>図17-47 電気設備</p> <p>図17-48 電気設備</p> <p>図17-49 電気設備</p> <p>図17-50 電気設備</p> <p>図17-51 電気設備</p> <p>図17-52 電気設備</p> <p>図17-53 電気設備</p> <p>図17-54 電気設備</p> <p>図17-55 電気設備</p> <p>図17-56 電気設備</p> <p>図17-57 電気設備</p> <p>図17-58 電気設備</p> <p>図17-59 電気設備</p> <p>図17-60 電気設備</p> <p>図17-61 電気設備</p> <p>図17-62 電気設備</p> <p>図17-63 電気設備</p> <p>図17-64 電気設備</p> <p>図17-65 電気設備</p> <p>図17-66 電気設備</p> <p>図17-67 電気設備</p> <p>図17-68 電気設備</p> <p>図17-69 電気設備</p> <p>図17-70 電気設備</p> <p>図17-71 電気設備</p> <p>図17-72 電気設備</p> <p>図17-73 電気設備</p> <p>図17-74 電気設備</p> <p>図17-75 電気設備</p> <p>図17-76 電気設備</p> <p>図17-77 電気設備</p> <p>図17-78 電気設備</p> <p>図17-79 電気設備</p> <p>図17-80 電気設備</p> <p>図17-81 電気設備</p> <p>図17-82 電気設備</p> <p>図17-83 電気設備</p> <p>図17-84 電気設備</p> <p>図17-85 電気設備</p> <p>図17-86 電気設備</p> <p>図17-87 電気設備</p> <p>図17-88 電気設備</p> <p>図17-89 電気設備</p> <p>図17-90 電気設備</p> <p>図17-91 電気設備</p> <p>図17-92 電気設備</p> <p>図17-93 電気設備</p> <p>図17-94 電気設備</p> <p>図17-95 電気設備</p> <p>図17-96 電気設備</p> <p>図17-97 電気設備</p> <p>図17-98 電気設備</p> <p>図17-99 電気設備</p> <p>図17-100 電気設備</p> <p>図17-101 電気設備</p> <p>図17-102 電気設備</p> <p>図17-103 電気設備</p> <p>図17-104 電気設備</p> <p>図17-105 電気設備</p> <p>図17-106 電気設備</p> <p>図17-107 電気設備</p> <p>図17-108 電気設備</p> <p>図17-109 電気設備</p> <p>図17-110 電気設備</p> <p>図17-111 電気設備</p> <p>図17-112 電気設備</p> <p>図17-113 電気設備</p> <p>図17-114 電気設備</p> <p>図17-115 電気設備</p> <p>図17-116 電気設備</p> <p>図17-117 電気設備</p> <p>図17-118 電気設備</p> <p>図17-119 電気設備</p> <p>図17-120 電気設備</p> <p>図17-121 電気設備</p> <p>図17-122 電気設備</p> <p>図17-123 電気設備</p> <p>図17-124 電気設備</p> <p>図17-125 電気設備</p> <p>図17-126 電気設備</p> <p>図17-127 電気設備</p> <p>図17-128 電気設備</p> <p>図17-129 電気設備</p> <p>図17-130 電気設備</p> <p>図17-131 電気設備</p> <p>図17-132 電気設備</p> <p>図17-133 電気設備</p> <p>図17-134 電気設備</p> <p>図17-135 電気設備</p> <p>図17-136 電気設備</p> <p>図17-137 電気設備</p> <p>図17-138 電気設備</p> <p>図17-139 電気設備</p> <p>図17-140 電気設備</p> <p>図17-141 電気設備</p> <p>図17-142 電気設備</p> <p>図17-143 電気設備</p> <p>図17-144 電気設備</p> <p>図17-145 電気設備</p> <p>図17-146 電気設備</p> <p>図17-147 電気設備</p> <p>図17-148 電気設備</p> <p>図17-149 電気設備</p> <p>図17-150 電気設備</p> <p>図17-151 電気設備</p> <p>図17-152 電気設備</p> <p>図17-153 電気設備</p> <p>図17-154 電気設備</p> <p>図17-155 電気設備</p> <p>図17-156 電気設備</p> <p>図17-157 電気設備</p> <p>図17-158 電気設備</p> <p>図17-159 電気設備</p> <p>図17-160 電気設備</p> <p>図17-161 電気設備</p> <p>図17-162 電気設備</p> <p>図17-163 電気設備</p> <p>図17-164 電気設備</p> <p>図17-165 電気設備</p> <p>図17-166 電気設備</p> <p>図17-167 電気設備</p> <p>図17-168 電気設備</p> <p>図17-169 電気設備</p> <p>図17-170 電気設備</p> <p>図17-171 電気設備</p> <p>図17-172 電気設備</p> <p>図17-173 電気設備</p> <p>図17-174 電気設備</p> <p>図17-175 電気設備</p> <p>図17-176 電気設備</p> <p>図17-177 電気設備</p> <p>図17-178 電気設備</p> <p>図17-179 電気設備</p> <p>図17-180 電気設備</p> <p>図17-181 電気設備</p> <p>図17-182 電気設備</p> <p>図17-183 電気設備</p> <p>図17-184 電気設備</p> <p>図17-185 電気設備</p> <p>図17-186 電気設備</p> <p>図17-187 電気設備</p> <p>図17-188 電気設備</p> <p>図17-189 電気設備</p> <p>図17-190 電気設備</p> <p>図17-191 電気設備</p> <p>図17-192 電気設備</p> <p>図17-193 電気設備</p> <p>図17-194 電気設備</p> <p>図17-195 電気設備</p> <p>図17-196 電気設備</p> <p>図17-197 電気設備</p> <p>図17-198 電気設備</p> <p>図17-199 電気設備</p> <p>図17-200 電気設備</p>		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																		
	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (6/7)</p> <p>凡例 ○: 対象なし、●: 対象あり</p> <table border="1" data-bbox="705 183 896 973"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 浸水被害</td> <td>浸水被害の有無</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 浸水被害</td> <td>浸水被害の程度</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生時期</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生場所</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑤ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生原因</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑥ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生規模</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑦ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生経路</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑧ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生速度</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑨ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑩ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生確率</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑪ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生リスク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑫ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生影響</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑬ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生対策</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑭ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑮ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生対応</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑯ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生報告</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑰ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生調査</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑱ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑲ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生検証</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑳ 浸水被害</td> <td>浸水被害の発生見直し</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 浸水被害の有無は、浸水被害の有無を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の程度は、浸水被害の程度を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生時期は、浸水被害の発生時期を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生場所は、浸水被害の発生場所を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生原因は、浸水被害の発生原因を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生規模は、浸水被害の発生規模を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生経路は、浸水被害の発生経路を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生速度は、浸水被害の発生速度を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生回数は、浸水被害の発生回数を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生確率は、浸水被害の発生確率を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生リスクは、浸水被害の発生リスクを判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生影響は、浸水被害の発生影響を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生対策は、浸水被害の発生対策を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生評価は、浸水被害の発生評価を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生対応は、浸水被害の発生対応を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生報告は、浸水被害の発生報告を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生調査は、浸水被害の発生調査を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生改善は、浸水被害の発生改善を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生検証は、浸水被害の発生検証を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生見直しは、浸水被害の発生見直しを判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p>	評価項目	評価内容	評価結果	① 浸水被害	浸水被害の有無	○	② 浸水被害	浸水被害の程度	○	③ 浸水被害	浸水被害の発生時期	○	④ 浸水被害	浸水被害の発生場所	○	⑤ 浸水被害	浸水被害の発生原因	○	⑥ 浸水被害	浸水被害の発生規模	○	⑦ 浸水被害	浸水被害の発生経路	○	⑧ 浸水被害	浸水被害の発生速度	○	⑨ 浸水被害	浸水被害の発生回数	○	⑩ 浸水被害	浸水被害の発生確率	○	⑪ 浸水被害	浸水被害の発生リスク	○	⑫ 浸水被害	浸水被害の発生影響	○	⑬ 浸水被害	浸水被害の発生対策	○	⑭ 浸水被害	浸水被害の発生評価	○	⑮ 浸水被害	浸水被害の発生対応	○	⑯ 浸水被害	浸水被害の発生報告	○	⑰ 浸水被害	浸水被害の発生調査	○	⑱ 浸水被害	浸水被害の発生改善	○	⑲ 浸水被害	浸水被害の発生検証	○	⑳ 浸水被害	浸水被害の発生見直し	○	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (6/7)</p> <p>凡例 ○: 対象なし、●: 対象あり</p> <table border="1" data-bbox="1288 183 1769 1324"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">備考</th> <th colspan="3">① 浸水被害</th> </tr> <tr> <th>浸水被害の有無</th> <th>浸水被害の程度</th> <th>浸水被害の発生時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">浸水被害</td> <td>① 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑤ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑥ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑦ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑧ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑨ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑩ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑪ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑫ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑬ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑭ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑮ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑯ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑰ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑱ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑲ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑳ 浸水被害</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 浸水被害の有無は、浸水被害の有無を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の程度は、浸水被害の程度を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生時期は、浸水被害の発生時期を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生場所は、浸水被害の発生場所を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生原因は、浸水被害の発生原因を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生規模は、浸水被害の発生規模を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生経路は、浸水被害の発生経路を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生速度は、浸水被害の発生速度を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生回数は、浸水被害の発生回数を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生確率は、浸水被害の発生確率を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生リスクは、浸水被害の発生リスクを判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生影響は、浸水被害の発生影響を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生対策は、浸水被害の発生対策を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生評価は、浸水被害の発生評価を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生対応は、浸水被害の発生対応を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生報告は、浸水被害の発生報告を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生調査は、浸水被害の発生調査を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生改善は、浸水被害の発生改善を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生検証は、浸水被害の発生検証を判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p> <p>※ 浸水被害の発生見直しは、浸水被害の発生見直しを判断する。○: 対象なし、●: 対象あり</p>	評価項目	評価内容	評価結果	備考	① 浸水被害			浸水被害の有無	浸水被害の程度	浸水被害の発生時期	浸水被害	① 浸水被害	○		○	○	○	② 浸水被害	○		○	○	○	③ 浸水被害	○		○	○	○	④ 浸水被害	○		○	○	○	⑤ 浸水被害	○		○	○	○	⑥ 浸水被害	○		○	○	○	⑦ 浸水被害	○		○	○	○	⑧ 浸水被害	○		○	○	○	⑨ 浸水被害	○		○	○	○	⑩ 浸水被害	○		○	○	○	⑪ 浸水被害	○		○	○	○	⑫ 浸水被害	○		○	○	○	⑬ 浸水被害	○		○	○	○	⑭ 浸水被害	○		○	○	○	⑮ 浸水被害	○		○	○	○	⑯ 浸水被害	○		○	○	○	⑰ 浸水被害	○		○	○	○	⑱ 浸水被害	○		○	○	○	⑲ 浸水被害	○		○	○	○	⑳ 浸水被害	○		○	○	○	<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】 記載方針の相違 泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
評価項目	評価内容	評価結果																																																																																																																																																																																																			
① 浸水被害	浸水被害の有無	○																																																																																																																																																																																																			
② 浸水被害	浸水被害の程度	○																																																																																																																																																																																																			
③ 浸水被害	浸水被害の発生時期	○																																																																																																																																																																																																			
④ 浸水被害	浸水被害の発生場所	○																																																																																																																																																																																																			
⑤ 浸水被害	浸水被害の発生原因	○																																																																																																																																																																																																			
⑥ 浸水被害	浸水被害の発生規模	○																																																																																																																																																																																																			
⑦ 浸水被害	浸水被害の発生経路	○																																																																																																																																																																																																			
⑧ 浸水被害	浸水被害の発生速度	○																																																																																																																																																																																																			
⑨ 浸水被害	浸水被害の発生回数	○																																																																																																																																																																																																			
⑩ 浸水被害	浸水被害の発生確率	○																																																																																																																																																																																																			
⑪ 浸水被害	浸水被害の発生リスク	○																																																																																																																																																																																																			
⑫ 浸水被害	浸水被害の発生影響	○																																																																																																																																																																																																			
⑬ 浸水被害	浸水被害の発生対策	○																																																																																																																																																																																																			
⑭ 浸水被害	浸水被害の発生評価	○																																																																																																																																																																																																			
⑮ 浸水被害	浸水被害の発生対応	○																																																																																																																																																																																																			
⑯ 浸水被害	浸水被害の発生報告	○																																																																																																																																																																																																			
⑰ 浸水被害	浸水被害の発生調査	○																																																																																																																																																																																																			
⑱ 浸水被害	浸水被害の発生改善	○																																																																																																																																																																																																			
⑲ 浸水被害	浸水被害の発生検証	○																																																																																																																																																																																																			
⑳ 浸水被害	浸水被害の発生見直し	○																																																																																																																																																																																																			
評価項目	評価内容	評価結果	備考	① 浸水被害																																																																																																																																																																																																	
				浸水被害の有無	浸水被害の程度	浸水被害の発生時期																																																																																																																																																																																															
浸水被害	① 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	② 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	③ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	④ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑤ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑥ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑦ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑧ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑨ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑩ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑪ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
	⑫ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																															
⑬ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑭ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑮ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑯ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑰ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑱ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑲ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																
⑳ 浸水被害	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">新設設備</td> <td colspan="2">認定設備</td> <td colspan="2">既設設備</td> <td colspan="2">廃止設備</td> <td colspan="2">未記載設備</td> <td colspan="2">不明</td> <td colspan="2">その他</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> <td>設備名</td> <td>規格</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	新設設備		認定設備		既設設備		廃止設備		未記載設備		不明		その他		設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新設設備		認定設備		既設設備		廃止設備		未記載設備		不明		その他																																															
設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格	設備名	規格																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																														



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 蒸気炉</p> <p>設計図書記号： 女川2-200-10-30-01-01-01-13</p> <p>種別： DCWA</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉種別</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉種別</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉種別</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉種別</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">蒸気炉</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">蒸気炉</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">蒸気炉</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">蒸気炉</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">設計1</th> <th style="text-align: center;">設計2</th> <th style="text-align: center;">設計1</th> <th style="text-align: center;">設計2</th> <th style="text-align: center;">設計1</th> <th style="text-align: center;">設計2</th> <th style="text-align: center;">設計1</th> <th style="text-align: center;">設計2</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> <th style="text-align: center;">ASGA and TRS/Fuel POS</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> <th style="text-align: center;">設計種別</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> <th style="text-align: center;">ASGA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"></td></tr></tbody></table>	原子炉種別		原子炉種別		原子炉種別		原子炉種別		蒸気炉		蒸気炉		蒸気炉		蒸気炉		設計1	設計2	設計1	設計2	設計1	設計2	設計1	設計2	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
原子炉種別		原子炉種別		原子炉種別		原子炉種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
蒸気炉		蒸気炉		蒸気炉		蒸気炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
設計1	設計2	設計1	設計2	設計1	設計2	設計1	設計2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS	ASGA and TRS/Fuel POS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別	設計種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA	ASGA																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			











赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> </tr> <tr> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉内圧</td> <td>0.1MPa</td> </tr> <tr> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> <td>炉外圧</td> <td>0.1MPa</td> </tr> <tr> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> <td>炉内温度</td> <td>250℃</td> </tr> <tr> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> <td>炉外温度</td> <td>250℃</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉内圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> </tr> <tr> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> <td>炉外圧力変動</td> <td>±0.05MPa</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> </tr> <tr> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲</td> <td>±0.1MPa</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉内圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> </tr> <tr> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> <td>炉外圧力変動許容範囲(設計)</td> <td>±0.1MPa</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：設計仕様は、設計仕様書「DB基準適合性比較表」に基づき記載されている。          A：設計仕様書の記載内容と一致する。          B：設計仕様書の記載内容と異なる。          C：設計仕様書の記載内容が不明である。          D：設計仕様書の記載内容が不明である。          E：設計仕様書の記載内容が不明である。</p>	設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様																																																																																																																																																																													
設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様																																																																																																																																																																													
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																																																																																																																																																												
炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa	炉内圧	0.1MPa																																																																																																																																																																												
炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa	炉外圧	0.1MPa																																																																																																																																																																												
炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃	炉内温度	250℃																																																																																																																																																																												
炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃	炉外温度	250℃																																																																																																																																																																												
炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa	炉内圧力変動	±0.05MPa																																																																																																																																																																												
炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa	炉外圧力変動	±0.05MPa																																																																																																																																																																												
炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲	±0.1MPa																																																																																																																																																																												
炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲	±0.1MPa																																																																																																																																																																												
炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉内圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa																																																																																																																																																																												
炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa	炉外圧力変動許容範囲(設計)	±0.1MPa																																																																																																																																																																												





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計図書： 基本仕様</p> <p>基本性能仕様： 中-1号機</p> <p>基本構造： PFC</p> <table border="1" data-bbox="801 193 1003 1233"> <caption>原子炉設備</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">蒸気発生設備</th> <th colspan="2">蒸気発生設備 (2号機以上)</th> <th colspan="2">原子炉設備 (2号機以上)</th> <th colspan="2">中子炉設備</th> <th colspan="2">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>   <table border="1" data-bbox="1064 252 1265 1233"> <caption>原子炉設備</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">蒸気発生設備</th> <th colspan="2">蒸気発生設備 (2号機以上)</th> <th colspan="2">原子炉設備 (2号機以上)</th> <th colspan="2">中子炉設備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(2号機)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> <td>蒸気発生機(1号機)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	蒸気発生設備		蒸気発生設備 (2号機以上)		原子炉設備 (2号機以上)		中子炉設備		圧縮機設備		項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生設備		蒸気発生設備 (2号機以上)		原子炉設備 (2号機以上)		中子炉設備		項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○		<p><b>【女川】</b>          設計方針の相違          プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
蒸気発生設備		蒸気発生設備 (2号機以上)		原子炉設備 (2号機以上)		中子炉設備		圧縮機設備																																																																																																																									
項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性																																																																																																																								
蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○																																																																																																																								
蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○																																																																																																																								
蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○																																																																																																																								
蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○																																																																																																																								
蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○																																																																																																																								
蒸気発生設備		蒸気発生設備 (2号機以上)		原子炉設備 (2号機以上)		中子炉設備																																																																																																																											
項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性																																																																																																																										
蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○	蒸気発生機	○																																																																																																																										
蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○																																																																																																																										
蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○																																																																																																																										
蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○	蒸気発生機(2号機)	○																																																																																																																										
蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○	蒸気発生機(1号機)	○																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設計図面</th> <th colspan="2">図面番号</th> <th colspan="2">図面名称</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>備考</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>101</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>104</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>106</td> <td>106</td> <td>106</td> <td>106</td> <td>106</td> <td>106</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>107</td> <td>107</td> <td>107</td> <td>107</td> <td>107</td> <td>107</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>108</td> <td>108</td> <td>108</td> <td>108</td> <td>108</td> <td>108</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>109</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力容器</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">             備考：設備種別図面に「圧力容器」の記載がある場合は、図面に記載されている設備種別と一致している場合は「圧力容器」と記載し、不一致の場合は「圧力容器（不一致）」と記載する。              A：設備名称、図面番号、図面名称の相違              B：設備名称、図面番号、図面名称の一致              C：設備名称、図面番号、図面名称の不一致              D：設備名称、図面番号、図面名称の一致         </p>	設備種別		設計図面		図面番号		図面名称		備考		設備種別	設備名称	図面番号	図面名称	設備種別	設備名称	図面番号	図面名称	備考	備考	圧力容器	圧力容器	100	100	100	100	100	100			圧力容器	101	101	101	101	101	101			圧力容器	102	102	102	102	102	102			圧力容器	103	103	103	103	103	103			圧力容器	104	104	104	104	104	104			圧力容器	105	105	105	105	105	105			圧力容器	106	106	106	106	106	106			圧力容器	107	107	107	107	107	107			圧力容器	108	108	108	108	108	108			圧力容器	109	109	109	109	109	109			圧力容器	110	110	110	110	110	110				<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		設計図面		図面番号		図面名称		備考																																																																																																																			
設備種別	設備名称	図面番号	図面名称	設備種別	設備名称	図面番号	図面名称	備考	備考																																																																																																																		
圧力容器	圧力容器	100	100	100	100	100	100																																																																																																																				
	圧力容器	101	101	101	101	101	101																																																																																																																				
	圧力容器	102	102	102	102	102	102																																																																																																																				
	圧力容器	103	103	103	103	103	103																																																																																																																				
	圧力容器	104	104	104	104	104	104																																																																																																																				
	圧力容器	105	105	105	105	105	105																																																																																																																				
	圧力容器	106	106	106	106	106	106																																																																																																																				
	圧力容器	107	107	107	107	107	107																																																																																																																				
	圧力容器	108	108	108	108	108	108																																																																																																																				
	圧力容器	109	109	109	109	109	109																																																																																																																				
圧力容器	110	110	110	110	110	110																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">計画種別</td> <td colspan="2">想定規模</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基本設計年度</td> <td colspan="2">0-1号機</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基本種別</td> <td colspan="2">炉内圧力</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> <th colspan="2">炉内圧力発電機</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	計画種別		想定規模		基本設計年度		0-1号機		基本種別		炉内圧力		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
計画種別		想定規模																																																																																													
基本設計年度		0-1号機																																																																																													
基本種別		炉内圧力																																																																																													
炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機		炉内圧力発電機																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">計測設備</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>計測設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     備考：本表は、本表に記載の項目について、女川原子力発電所2号炉と泊発電所3号炉とを比較し、相違点を示すものである。                      ※記載箇所又は記載内容の相違は、同様に記載する。                      △：記載表現、設備名称の相違は、同様に記載する。                      ○：記載表現、設備名称の相違は、実質的な相違なしと見做す。                      ●：記載表現、設備名称の相違は、実質的な相違なしと見做す。                 </p> </div>	炉内設備		炉外設備		計測設備		その他		品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉内設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉外設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	計測設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		計測設備		その他																																													
品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																												
炉内設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																												
炉外設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																												
計測設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																												
その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																												

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 常定運転                      炉外発生設備： 炉内MDFP-2                      炉内設備： HPCS</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">異常時点機能</th> <th colspan="2">異常時点機能</th> <th colspan="2">異常時点機能</th> <th colspan="2">異常時点機能</th> <th colspan="2">異常時点機能</th> </tr> <tr> <th colspan="2">炉内MDFP-2</th> <th colspan="2">炉内MDFP-2</th> <th colspan="2">炉内MDFP-2</th> <th colspan="2">炉内MDFP-2</th> <th colspan="2">炉内MDFP-2</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> <td>炉内MDFP-2</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能		異常時点機能																																																																	
炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2		炉内MDFP-2																																																																	
項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性																																																																
炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○																																																																
炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○																																																																
炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○																																																																
炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○	炉内MDFP-2	○																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計図面</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">仕様</th> <th colspan="2">検査</th> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>仕様番号</th> <th>仕様名称</th> <th>検査項目</th> <th>検査内容</th> <th>検査結果</th> <th>検査方法</th> <th>検査時期</th> <th>検査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0-401P-1</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-1</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-2</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-2</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-3</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-3</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-4</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-4</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-5</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-5</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-6</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-6</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-7</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-7</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-8</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-8</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-9</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-9</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>0-401P-10</td> <td>炉心構造図</td> <td>0-10</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>炉心構造</td> <td>合格</td> <td>目視検査</td> <td>竣工後</td> <td>合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本図面は、炉心構造図の一部であり、炉心構造図の一部として記載されています。また、炉心構造図の一部として記載されている図面は、本図面とは異なる場合があります。図面の記載内容は、図面番号と図面名称とを照合してご確認ください。</p>	設計図面		設計仕様		仕様		検査		評価		図面番号	図面名称	仕様番号	仕様名称	検査項目	検査内容	検査結果	検査方法	検査時期	検査結果	0-401P-1	炉心構造図	0-1	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-2	炉心構造図	0-2	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-3	炉心構造図	0-3	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-4	炉心構造図	0-4	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-5	炉心構造図	0-5	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-6	炉心構造図	0-6	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-7	炉心構造図	0-7	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-8	炉心構造図	0-8	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-9	炉心構造図	0-9	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格	0-401P-10	炉心構造図	0-10	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計図面		設計仕様		仕様		検査		評価																																																																																																																			
図面番号	図面名称	仕様番号	仕様名称	検査項目	検査内容	検査結果	検査方法	検査時期	検査結果																																																																																																																		
0-401P-1	炉心構造図	0-1	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-2	炉心構造図	0-2	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-3	炉心構造図	0-3	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-4	炉心構造図	0-4	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-5	炉心構造図	0-5	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-6	炉心構造図	0-6	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-7	炉心構造図	0-7	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-8	炉心構造図	0-8	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-9	炉心構造図	0-9	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		
0-401P-10	炉心構造図	0-10	炉心構造	炉心構造	炉心構造	合格	目視検査	竣工後	合格																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">第1号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第2号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第3号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第4号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第5号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第6号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第7号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第8号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第9号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第10号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第11号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第12号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第13号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第14号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第15号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第16号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第17号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第18号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第19号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第20号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第21号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第22号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第23号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第24号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第25号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第26号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第27号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第28号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第29号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第30号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第31号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第32号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第33号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第34号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第35号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第36号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第37号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第38号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第39号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第40号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第41号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第42号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第43号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第44号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第45号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第46号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第47号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第48号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第49号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第50号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第51号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第52号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第53号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第54号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第55号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第56号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第57号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第58号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第59号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第60号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第61号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第62号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第63号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第64号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第65号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第66号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第67号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第68号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第69号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第70号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第71号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第72号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第73号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第74号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第75号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第76号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第77号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第78号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第79号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第80号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第81号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第82号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第83号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第84号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第85号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第86号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第87号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第88号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第89号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第90号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第91号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第92号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第93号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第94号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第95号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第96号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第97号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第98号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第99号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第100号炉設備</td> </tr> </table> </div>	第1号炉設備		第2号炉設備		第3号炉設備		第4号炉設備		第5号炉設備		第6号炉設備		第7号炉設備		第8号炉設備		第9号炉設備		第10号炉設備		第11号炉設備		第12号炉設備		第13号炉設備		第14号炉設備		第15号炉設備		第16号炉設備		第17号炉設備		第18号炉設備		第19号炉設備		第20号炉設備		第21号炉設備		第22号炉設備		第23号炉設備		第24号炉設備		第25号炉設備		第26号炉設備		第27号炉設備		第28号炉設備		第29号炉設備		第30号炉設備		第31号炉設備		第32号炉設備		第33号炉設備		第34号炉設備		第35号炉設備		第36号炉設備		第37号炉設備		第38号炉設備		第39号炉設備		第40号炉設備		第41号炉設備		第42号炉設備		第43号炉設備		第44号炉設備		第45号炉設備		第46号炉設備		第47号炉設備		第48号炉設備		第49号炉設備		第50号炉設備		第51号炉設備		第52号炉設備		第53号炉設備		第54号炉設備		第55号炉設備		第56号炉設備		第57号炉設備		第58号炉設備		第59号炉設備		第60号炉設備		第61号炉設備		第62号炉設備		第63号炉設備		第64号炉設備		第65号炉設備		第66号炉設備		第67号炉設備		第68号炉設備		第69号炉設備		第70号炉設備		第71号炉設備		第72号炉設備		第73号炉設備		第74号炉設備		第75号炉設備		第76号炉設備		第77号炉設備		第78号炉設備		第79号炉設備		第80号炉設備		第81号炉設備		第82号炉設備		第83号炉設備		第84号炉設備		第85号炉設備		第86号炉設備		第87号炉設備		第88号炉設備		第89号炉設備		第90号炉設備		第91号炉設備		第92号炉設備		第93号炉設備		第94号炉設備		第95号炉設備		第96号炉設備		第97号炉設備		第98号炉設備		第99号炉設備		第100号炉設備			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
第1号炉設備		第2号炉設備		第3号炉設備		第4号炉設備		第5号炉設備		第6号炉設備		第7号炉設備		第8号炉設備		第9号炉設備		第10号炉設備		第11号炉設備		第12号炉設備		第13号炉設備		第14号炉設備		第15号炉設備		第16号炉設備		第17号炉設備		第18号炉設備		第19号炉設備		第20号炉設備		第21号炉設備		第22号炉設備		第23号炉設備		第24号炉設備		第25号炉設備		第26号炉設備		第27号炉設備		第28号炉設備		第29号炉設備		第30号炉設備		第31号炉設備		第32号炉設備		第33号炉設備		第34号炉設備		第35号炉設備		第36号炉設備		第37号炉設備		第38号炉設備		第39号炉設備		第40号炉設備		第41号炉設備		第42号炉設備		第43号炉設備		第44号炉設備		第45号炉設備		第46号炉設備		第47号炉設備		第48号炉設備		第49号炉設備		第50号炉設備		第51号炉設備		第52号炉設備		第53号炉設備		第54号炉設備		第55号炉設備		第56号炉設備		第57号炉設備		第58号炉設備		第59号炉設備		第60号炉設備		第61号炉設備		第62号炉設備		第63号炉設備		第64号炉設備		第65号炉設備		第66号炉設備		第67号炉設備		第68号炉設備		第69号炉設備		第70号炉設備		第71号炉設備		第72号炉設備		第73号炉設備		第74号炉設備		第75号炉設備		第76号炉設備		第77号炉設備		第78号炉設備		第79号炉設備		第80号炉設備		第81号炉設備		第82号炉設備		第83号炉設備		第84号炉設備		第85号炉設備		第86号炉設備		第87号炉設備		第88号炉設備		第89号炉設備		第90号炉設備		第91号炉設備		第92号炉設備		第93号炉設備		第94号炉設備		第95号炉設備		第96号炉設備		第97号炉設備		第98号炉設備		第99号炉設備		第100号炉設備					

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大飯発電所3/4号炉</th> <th colspan="3">女川原子力発電所2号炉</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備位置</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td>計測制御設備</td> <td>計測制御設備</td> <td>計測制御設備</td> <td>計測制御設備</td> <td>計測制御設備</td> <td>計測制御設備</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：設備名称が同一でも、構造や材質が異なる場合は、設計方針の相違と見做す。          A：設備名称が異なるが、構造や材質が同一の場合は、記載表現の相違と見做す。          B：設備名称が異なるが、構造や材質が同一の場合は、記載表現の相違と見做す。          C：設備名称が異なるが、構造や材質が同一の場合は、記載表現の相違と見做す。          D：設備名称が異なるが、構造や材質が同一の場合は、記載表現の相違と見做す。</p>	大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			設備種別	設備名称	設備位置	設備種別	設備名称	設備位置	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	弁	弁	弁	弁	弁	弁	配管	配管	配管	配管	配管	配管	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	その他	その他	その他	その他	その他	その他		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉																																																												
設備種別	設備名称	設備位置	設備種別	設備名称	設備位置																																																										
圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器																																																										
熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器																																																										
ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ																																																										
弁	弁	弁	弁	弁	弁																																																										
配管	配管	配管	配管	配管	配管																																																										
電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備																																																										
計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備	計測制御設備																																																										
その他	その他	その他	その他	その他	その他																																																										





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>資料種別： 設計図書                      基本設計図書： 図面PT-3-2                      添付書： FDR</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">機器名</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> </tr> <tr> <th>型式</th> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	機器名		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		型式	材質	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機器名				機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様																																																																																	
		型式	材質	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量																																																																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">種別</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備名称</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">種別</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備名称</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">種別</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">型式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備名称</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> <td colspan="2">R-311F-1</td> <td colspan="2">R-CW(A)</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                 備考：設備仕様欄の「種別」は、設備仕様書に記載されている設備の種別を示す。                  「型式」は、設備仕様書に記載されている設備の型式を示す。                  「型式」欄の「A」「B」「C」は、設備仕様書に記載されている設備の型式を示す。                  「型式」欄の「A」「B」「C」は、設備仕様書に記載されている設備の型式を示す。             </p> </div>	設備仕様		種別		型式		型式		型式		設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)		設備仕様		種別		型式		型式		型式		設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)		設備仕様		種別		型式		型式		型式		設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備仕様		種別		型式		型式		型式																																																							
設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)																																																							
設備仕様		種別		型式		型式		型式																																																							
設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)																																																							
設備仕様		種別		型式		型式		型式																																																							
設備名称		R-311F-1		R-CW(A)		R-311F-1		R-CW(A)																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価項目</td> <td colspan="2">調査 評価</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>有り/有り</td> <td>有り/有り</td> <td>有り/有り</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>ICOM</td> <td>ICOM</td> <td>ICOM</td> </tr> <tr> <td>緊急停止手段</td> <td>緊急停止ボタン</td> <td>緊急停止ボタン</td> <td>緊急停止ボタン</td> </tr> <tr> <td>緊急停止時間</td> <td>約10秒</td> <td>約10秒</td> <td>約10秒</td> </tr> <tr> <td>緊急停止位置</td> <td>運転室</td> <td>運転室</td> <td>運転室</td> </tr> <tr> <td>緊急停止対象</td> <td>炉心冷却系</td> <td>炉心冷却系</td> <td>炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td>緊急停止条件</td> <td>炉心温度超過</td> <td>炉心温度超過</td> <td>炉心温度超過</td> </tr> <tr> <td>緊急停止結果</td> <td>炉心温度低下</td> <td>炉心温度低下</td> <td>炉心温度低下</td> </tr> <tr> <td>緊急停止確認</td> <td>運転室監視</td> <td>運転室監視</td> <td>運転室監視</td> </tr> <tr> <td>緊急停止記録</td> <td>運転室記録</td> <td>運転室記録</td> <td>運転室記録</td> </tr> <tr> <td>緊急停止訓練</td> <td>有り</td> <td>有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>緊急停止試験</td> <td>有り</td> <td>有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>緊急停止評価</td> <td>合格</td> <td>合格</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>緊急停止改善</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>緊急停止その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目		調査 評価		緊急停止機能	有り/有り	有り/有り	有り/有り	緊急停止装置	ICOM	ICOM	ICOM	緊急停止手段	緊急停止ボタン	緊急停止ボタン	緊急停止ボタン	緊急停止時間	約10秒	約10秒	約10秒	緊急停止位置	運転室	運転室	運転室	緊急停止対象	炉心冷却系	炉心冷却系	炉心冷却系	緊急停止条件	炉心温度超過	炉心温度超過	炉心温度超過	緊急停止結果	炉心温度低下	炉心温度低下	炉心温度低下	緊急停止確認	運転室監視	運転室監視	運転室監視	緊急停止記録	運転室記録	運転室記録	運転室記録	緊急停止訓練	有り	有り	有り	緊急停止試験	有り	有り	有り	緊急停止評価	合格	合格	合格	緊急停止改善	なし	なし	なし	緊急停止その他					<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
評価項目		調査 評価																																																																	
緊急停止機能	有り/有り	有り/有り	有り/有り																																																																
緊急停止装置	ICOM	ICOM	ICOM																																																																
緊急停止手段	緊急停止ボタン	緊急停止ボタン	緊急停止ボタン																																																																
緊急停止時間	約10秒	約10秒	約10秒																																																																
緊急停止位置	運転室	運転室	運転室																																																																
緊急停止対象	炉心冷却系	炉心冷却系	炉心冷却系																																																																
緊急停止条件	炉心温度超過	炉心温度超過	炉心温度超過																																																																
緊急停止結果	炉心温度低下	炉心温度低下	炉心温度低下																																																																
緊急停止確認	運転室監視	運転室監視	運転室監視																																																																
緊急停止記録	運転室記録	運転室記録	運転室記録																																																																
緊急停止訓練	有り	有り	有り																																																																
緊急停止試験	有り	有り	有り																																																																
緊急停止評価	合格	合格	合格																																																																
緊急停止改善	なし	なし	なし																																																																
緊急停止その他																																																																			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<table border="1" data-bbox="705 183 1272 981"> <thead> <tr> <th colspan="4">設計適用</th> <th colspan="4">設計適用</th> </tr> <tr> <td>設備種別</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備名</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> <td>設計適用</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1198 582 1265 973">                     備考：本表は、本発電所に適用する設計適用事項を、本表に示す設計適用事項とする。設計適用事項は、本表に示す設計適用事項を、本表に示す設計適用事項とする。設計適用事項は、本表に示す設計適用事項とする。設計適用事項は、本表に示す設計適用事項とする。                 </p>	設計適用				設計適用				設備種別	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用		<p data-bbox="1877 183 2130 303"> <b>【女川】</b>                          設計方針の相違                          プラント設計の違いによる評価結果の相違                     </p>
設計適用				設計適用																																															
設備種別	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用																																												
設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用																																												
設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用																																												
設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用																																												
設備名	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用	設計適用																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<p>設計種別： 型立 型備                      設計者： 共同研一                      設計年度： 1979(昭和54)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">型立</th> <th colspan="2">型備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>型立</td> <td>設計種別</td> <td>型立</td> <td>設計種別</td> <td>型備</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> </tr> <tr> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">型立</th> <th colspan="2">型備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>型立</td> <td>設計種別</td> <td>型立</td> <td>設計種別</td> <td>型備</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> <td>設計者</td> <td>共同研一</td> </tr> <tr> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> <td>設計年度</td> <td>1979(昭和54)</td> </tr> </tbody> </table>	設計種別		型立		型備		項目	内容	項目	内容	項目	内容	設計種別	型立	設計種別	型立	設計種別	型備	設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)	設計種別		型立		型備		項目	内容	項目	内容	項目	内容	設計種別	型立	設計種別	型立	設計種別	型備	設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別		型立		型備																																																											
項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																										
設計種別	型立	設計種別	型立	設計種別	型備																																																										
設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計者	共同研一																																																										
設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)																																																										
設計種別		型立		型備																																																											
項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																										
設計種別	型立	設計種別	型立	設計種別	型備																																																										
設計者	共同研一	設計者	共同研一	設計者	共同研一																																																										
設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)	設計年度	1979(昭和54)																																																										

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<div data-bbox="705 183 1270 986" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設計図書 図面番号：DB-11.17.1-2 図名：圧力容器</td> <td colspan="2">型式：C、圧力容器 ● 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>図面番号</td> <td>図名</td> <td>型式</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>DB-11.17.1-2</td> <td>圧力容器</td> <td>A B C</td> <td>● 設計図書仕様品</td> </tr> <tr> <td>DB-11.17.1-2</td> <td>圧力容器</td> <td>A B C</td> <td>● 設計図書仕様品</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図名</td> <td>型式</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>DB-11.17.1-2</td> <td>圧力容器</td> <td>A B C</td> <td>● 設計図書仕様品</td> </tr> <tr> <td>DB-11.17.1-2</td> <td>圧力容器</td> <td>A B C</td> <td>● 設計図書仕様品</td> </tr> </table>   <p style="font-size: small;">備考：図面番号が異なる図面は、同一の設計図書仕様品であり、図面番号により図面仕様を識別する。図面番号が異なる図面は、同一の設計図書仕様品であり、図面番号により図面仕様を識別する。図面番号が異なる図面は、同一の設計図書仕様品であり、図面番号により図面仕様を識別する。</p> </div>	設計図書 図面番号：DB-11.17.1-2 図名：圧力容器		型式：C、圧力容器 ● 圧力容器		図面番号	図名	型式	備考	DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品	DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品	図面番号	図名	型式	備考	DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品	DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計図書 図面番号：DB-11.17.1-2 図名：圧力容器		型式：C、圧力容器 ● 圧力容器																													
図面番号	図名	型式	備考																												
DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品																												
DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品																												
図面番号	図名	型式	備考																												
DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品																												
DB-11.17.1-2	圧力容器	A B C	● 設計図書仕様品																												



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

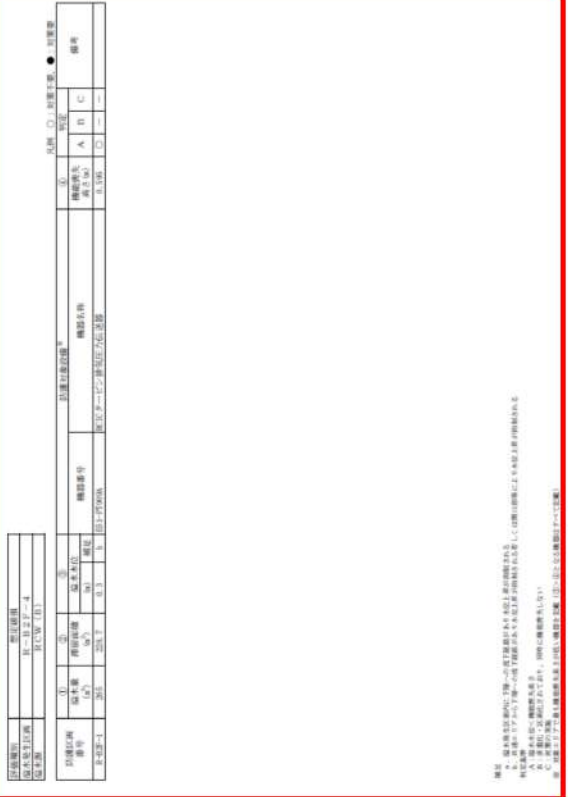
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本表は、設備の仕様・構造・材質・寸法・色・形状・位置・取付位置・取付方法・取付条件・取付位置の相違を示す。</p> <p>注：本表は、設備の仕様・構造・材質・寸法・色・形状・位置・取付位置・取付方法・取付条件・取付位置の相違を示す。</p>	炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備																																																					
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																																				
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備																																																				
炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備																																																				



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>注1：相違箇所は、左欄の「設計方針」欄に「設計方針の相違」と記載されている。右欄の「設計方針」欄に「設計方針の相違」と記載されている場合は、この欄に「設計方針の相違」と記載されている。また、右欄の「設計方針」欄に「設計方針の相違」と記載されている場合は、この欄に「設計方針の相違」と記載されている。</p> <p>注2：相違箇所は、左欄の「設備」欄に「設備の相違」と記載されている。右欄の「設備」欄に「設備の相違」と記載されている場合は、この欄に「設備の相違」と記載されている。また、右欄の「設備」欄に「設備の相違」と記載されている場合は、この欄に「設備の相違」と記載されている。</p> <p>注3：相違箇所は、左欄の「運用又は体制」欄に「運用又は体制の相違」と記載されている。右欄の「運用又は体制」欄に「運用又は体制の相違」と記載されている場合は、この欄に「運用又は体制の相違」と記載されている。また、右欄の「運用又は体制」欄に「運用又は体制の相違」と記載されている場合は、この欄に「運用又は体制の相違」と記載されている。</p> <p>注4：相違箇所は、左欄の「記載表現」欄に「記載表現の相違」と記載されている。右欄の「記載表現」欄に「記載表現の相違」と記載されている場合は、この欄に「記載表現の相違」と記載されている。また、右欄の「記載表現」欄に「記載表現の相違」と記載されている場合は、この欄に「記載表現の相違」と記載されている。</p>		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計書名</th> <th colspan="2">設計書種別</th> <th colspan="2">設計書内容</th> <th colspan="2">設計書対象</th> <th colspan="2">設計書関係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計書名</td> <td>設計書種別</td> <td>設計書内容</td> <td>設計書対象</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> </tr> <tr> <td>設計書名</td> <td>設計書種別</td> <td>設計書内容</td> <td>設計書対象</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> <td>設計書関係</td> </tr> </tbody> </table>	設計書名		設計書種別		設計書内容		設計書対象		設計書関係		設計書名	設計書種別	設計書内容	設計書対象	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書名	設計書種別	設計書内容	設計書対象	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計書名		設計書種別		設計書内容		設計書対象		設計書関係																									
設計書名	設計書種別	設計書内容	設計書対象	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係																								
設計書名	設計書種別	設計書内容	設計書対象	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係	設計書関係																								



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉</td> <td colspan="2">設置場所 女川原子力発電所 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造年 2001</td> <td colspan="2">製造年 2001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造番号 001</td> <td colspan="2">製造番号 001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置位置 3号炉</td> <td colspan="2">設置位置 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置角度 0°</td> <td colspan="2">設置角度 0°</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置状態 正常</td> <td colspan="2">設置状態 正常</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉</td> <td colspan="2">設置場所 女川原子力発電所 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造年 2001</td> <td colspan="2">製造年 2001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造番号 001</td> <td colspan="2">製造番号 001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置位置 3号炉</td> <td colspan="2">設置位置 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置角度 0°</td> <td colspan="2">設置角度 0°</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置状態 正常</td> <td colspan="2">設置状態 正常</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉</td> <td colspan="2">設置場所 女川原子力発電所 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> <td colspan="2">型式 AWR-2100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造年 2001</td> <td colspan="2">製造年 2001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製造番号 001</td> <td colspan="2">製造番号 001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置位置 3号炉</td> <td colspan="2">設置位置 2号炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> <td colspan="2">設置高さ 10m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置角度 0°</td> <td colspan="2">設置角度 0°</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置状態 正常</td> <td colspan="2">設置状態 正常</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">備考：本表は各発電所内の機器一式の設置場所を示すものであり、本表に記載されている機器は必ずしも設置されている機器とは限りません。また、本表に記載されている機器は必ずしも設置されている機器とは限りません。また、本表に記載されている機器は必ずしも設置されている機器とは限りません。</p>	設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉		型式 AWR-2100		型式 AWR-2100		製造年 2001		製造年 2001		製造番号 001		製造番号 001		設置位置 3号炉		設置位置 2号炉		設置高さ 10m		設置高さ 10m		設置角度 0°		設置角度 0°		設置状態 正常		設置状態 正常		設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉		型式 AWR-2100		型式 AWR-2100		製造年 2001		製造年 2001		製造番号 001		製造番号 001		設置位置 3号炉		設置位置 2号炉		設置高さ 10m		設置高さ 10m		設置角度 0°		設置角度 0°		設置状態 正常		設置状態 正常		設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉		型式 AWR-2100		型式 AWR-2100		製造年 2001		製造年 2001		製造番号 001		製造番号 001		設置位置 3号炉		設置位置 2号炉		設置高さ 10m		設置高さ 10m		設置角度 0°		設置角度 0°		設置状態 正常		設置状態 正常			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉																																																																																																	
型式 AWR-2100		型式 AWR-2100																																																																																																	
製造年 2001		製造年 2001																																																																																																	
製造番号 001		製造番号 001																																																																																																	
設置位置 3号炉		設置位置 2号炉																																																																																																	
設置高さ 10m		設置高さ 10m																																																																																																	
設置角度 0°		設置角度 0°																																																																																																	
設置状態 正常		設置状態 正常																																																																																																	
設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉																																																																																																	
型式 AWR-2100		型式 AWR-2100																																																																																																	
製造年 2001		製造年 2001																																																																																																	
製造番号 001		製造番号 001																																																																																																	
設置位置 3号炉		設置位置 2号炉																																																																																																	
設置高さ 10m		設置高さ 10m																																																																																																	
設置角度 0°		設置角度 0°																																																																																																	
設置状態 正常		設置状態 正常																																																																																																	
設置場所 大飯原子力発電所 3/4号炉		設置場所 女川原子力発電所 2号炉																																																																																																	
型式 AWR-2100		型式 AWR-2100																																																																																																	
製造年 2001		製造年 2001																																																																																																	
製造番号 001		製造番号 001																																																																																																	
設置位置 3号炉		設置位置 2号炉																																																																																																	
設置高さ 10m		設置高さ 10m																																																																																																	
設置角度 0°		設置角度 0°																																																																																																	
設置状態 正常		設置状態 正常																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> <th colspan="2">原子炉機器</th> </tr> <tr> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> <th>機器名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>...</td> </tr> <!-- Additional rows would follow the same pattern --> </tbody> </table> </div>	原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器		原子炉機器																																	
機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格	機器名	規格																																
原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...	原子炉冷却系	...																																



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">評価種別： 安全確保</td> <td colspan="2">電力庁種別： 原子力炉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電力発生設備： 炉心炉心</td> <td colspan="2">炉心種別： BWR炉心</td> </tr> <tr> <td colspan="2">機器種別： 原子力炉心</td> <td colspan="2">機器種別： 原子力炉心</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> </tr> <tr> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> <th colspan="2">電力発生設備</th> </tr> <tr> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> <td>原子力炉心</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	評価種別： 安全確保		電力庁種別： 原子力炉		電力発生設備： 炉心炉心		炉心種別： BWR炉心		機器種別： 原子力炉心		機器種別： 原子力炉心		機器種別		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機器種別		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
評価種別： 安全確保		電力庁種別： 原子力炉																																																																																					
電力発生設備： 炉心炉心		炉心種別： BWR炉心																																																																																					
機器種別： 原子力炉心		機器種別： 原子力炉心																																																																																					
機器種別		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備																																																																													
原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																												
機器種別		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備		電力発生設備																																																																													
原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心	原子力炉心																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設計図書</td> <td colspan="2">設計図書</td> <td colspan="2">凡例</td> <td colspan="2">評定</td> <td colspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> <td>評定</td> <td>評定</td> <td>評定</td> <td>評定</td> <td>備考</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>0-422-1</td> <td>203</td> <td>0-422-1</td> <td>203</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0-422-1</td> <td>203</td> <td>0-422-1</td> <td>203</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                 備考： 本表は設計図書に下掲の図面を参照して作成されたものである。図面番号の欄には、図面番号の異なる図面が複数記載されている場合がある。この場合、図面番号の異なる図面が複数記載されている図面は、図面番号の異なる図面を参照して作成された図面である。図面番号の異なる図面が複数記載されている図面は、図面番号の異なる図面を参照して作成された図面である。図面番号の異なる図面が複数記載されている図面は、図面番号の異なる図面を参照して作成された図面である。             </p> </div>	設計図書		設計図書		凡例		評定		備考		図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	評定	評定	評定	評定	備考	備考	0-422-1	203	0-422-1	203	A	B	C	-			0-422-1	203	0-422-1	203	A	B	C	-				<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計図書		設計図書		凡例		評定		備考																																			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	評定	評定	評定	評定	備考	備考																																		
0-422-1	203	0-422-1	203	A	B	C	-																																				
0-422-1	203	0-422-1	203	A	B	C	-																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;">                 設備名称                  大飯原子力発電所                  3号炉             </td> <td style="width: 33%;">                 製造元                  日立製作所             </td> <td style="width: 34%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">設備仕様</td> </tr> <tr> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> </tr> <tr> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> </tr> <tr> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> </tr> <tr> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> <td>                 炉内圧力                  0.05MPa             </td> <td>                 炉内温度                  285℃             </td> </tr> </table> </div>	原子力発電所			設備名称 大飯原子力発電所 3号炉	製造元 日立製作所		原子力発電所			設備仕様			炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃		<p><b>【女川】</b>                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子力発電所																											
設備名称 大飯原子力発電所 3号炉	製造元 日立製作所																										
原子力発電所																											
設備仕様																											
炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa																									
炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃																									
炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa																									
炉内温度 285℃	炉内圧力 0.05MPa	炉内温度 285℃																									



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">機器設備</th> <th colspan="2">電機設備</th> <th colspan="2">計測設備</th> <th colspan="2">その他</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>○</td> <td>炉外設備</td> <td>○</td> <td>機器設備</td> <td>○</td> <td>電機設備</td> <td>○</td> <td>計測設備</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> <td>燃料供給設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> <td>冷却水循環設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> <td>発電機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> <td>変圧器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> <td>送電線</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> <td>保安設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	炉内設備		炉外設備		機器設備		電機設備		計測設備		その他		その他		項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	炉内設備	○	炉外設備	○	機器設備	○	電機設備	○	計測設備	○	その他	○	その他	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		機器設備		電機設備		計測設備		その他		その他																																																																																																																																			
項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯																																																																																																																																		
炉内設備	○	炉外設備	○	機器設備	○	電機設備	○	計測設備	○	その他	○	その他	○																																																																																																																																		
燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○	燃料供給設備	○																																																																																																																																		
冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○	冷却水循環設備	○																																																																																																																																		
発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○	発電機	○																																																																																																																																		
変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○	変圧器	○																																																																																																																																		
送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○	送電線	○																																																																																																																																		
保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○	保安設備	○																																																																																																																																		
その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○	その他	○																																																																																																																																		





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価種別： 緊急準備                      緊急停止設備： 炉心炉心3                      緊急停止： HPCS</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> </tr> <tr> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備																																					
緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備																																				
緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計者名： 富士 雄雄                      設計者名（英）： FUJII YUUYU                      設計者名（カナ）： FUJII YUUYU</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>大飯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 (ECCS)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> <td>緊急停止機能 (ECCS) の構成</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)		緊急停止機能 (ECCS)																																																					
項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯	項目	大飯																																																				
緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○	緊急停止機能 (ECCS)	○																																																				
緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成																																																				
緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成	緊急停止機能 (ECCS) の構成																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>新設機材： 緊急制御                      機材製造年度： 平成27年                      機材名： 圧力制御装置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (SHUTDOWN)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)		緊急停止機能 (SHUTDOWN)																																																					
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																																				
緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○																																																				
緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○																																																				
緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○																																																				











泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">炉内機器名</th> <th rowspan="2">部材番号</th> <th colspan="3">① 寸法</th> <th rowspan="2">④ 規格</th> <th rowspan="2">⑤ 相違</th> <th rowspan="2">⑥ 備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>幅</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010A</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010A</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010B</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010B</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010C</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010C</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010D</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010D</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010E</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010E</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010F</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010F</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010G</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010G</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010H</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010H</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010I</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010I</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010J</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010J</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010K</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010K</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010L</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010L</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010M</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010M</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010N</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010N</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010O</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010O</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010P</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010P</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010Q</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010Q</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010R</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010R</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010S</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010T</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010T</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010U</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010U</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010V</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010V</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010W</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010W</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010X</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010X</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010Y</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010Y</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>011-0010Z</td> <td>265</td> <td>111.9</td> <td>8.2</td> <td>011-0010Z</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	炉内機器名	部材番号	① 寸法			④ 規格	⑤ 相違	⑥ 備考	長さ	幅	高さ	圧入機	011-0010A	265	111.9	8.2	011-0010A	—		圧入機	011-0010B	265	111.9	8.2	011-0010B	—		圧入機	011-0010C	265	111.9	8.2	011-0010C	—		圧入機	011-0010D	265	111.9	8.2	011-0010D	—		圧入機	011-0010E	265	111.9	8.2	011-0010E	—		圧入機	011-0010F	265	111.9	8.2	011-0010F	—		圧入機	011-0010G	265	111.9	8.2	011-0010G	—		圧入機	011-0010H	265	111.9	8.2	011-0010H	—		圧入機	011-0010I	265	111.9	8.2	011-0010I	—		圧入機	011-0010J	265	111.9	8.2	011-0010J	—		圧入機	011-0010K	265	111.9	8.2	011-0010K	—		圧入機	011-0010L	265	111.9	8.2	011-0010L	—		圧入機	011-0010M	265	111.9	8.2	011-0010M	—		圧入機	011-0010N	265	111.9	8.2	011-0010N	—		圧入機	011-0010O	265	111.9	8.2	011-0010O	—		圧入機	011-0010P	265	111.9	8.2	011-0010P	—		圧入機	011-0010Q	265	111.9	8.2	011-0010Q	—		圧入機	011-0010R	265	111.9	8.2	011-0010R	—		圧入機	011-0010S	265	111.9	8.2	011-0010S	—		圧入機	011-0010T	265	111.9	8.2	011-0010T	—		圧入機	011-0010U	265	111.9	8.2	011-0010U	—		圧入機	011-0010V	265	111.9	8.2	011-0010V	—		圧入機	011-0010W	265	111.9	8.2	011-0010W	—		圧入機	011-0010X	265	111.9	8.2	011-0010X	—		圧入機	011-0010Y	265	111.9	8.2	011-0010Y	—		圧入機	011-0010Z	265	111.9	8.2	011-0010Z	—			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内機器名	部材番号			① 寸法						④ 規格	⑤ 相違	⑥ 備考																																																																																																																																																																																																																		
		長さ	幅	高さ																																																																																																																																																																																																																										
圧入機	011-0010A	265	111.9	8.2	011-0010A	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010B	265	111.9	8.2	011-0010B	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010C	265	111.9	8.2	011-0010C	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010D	265	111.9	8.2	011-0010D	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010E	265	111.9	8.2	011-0010E	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010F	265	111.9	8.2	011-0010F	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010G	265	111.9	8.2	011-0010G	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010H	265	111.9	8.2	011-0010H	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010I	265	111.9	8.2	011-0010I	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010J	265	111.9	8.2	011-0010J	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010K	265	111.9	8.2	011-0010K	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010L	265	111.9	8.2	011-0010L	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010M	265	111.9	8.2	011-0010M	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010N	265	111.9	8.2	011-0010N	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010O	265	111.9	8.2	011-0010O	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010P	265	111.9	8.2	011-0010P	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010Q	265	111.9	8.2	011-0010Q	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010R	265	111.9	8.2	011-0010R	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010S	265	111.9	8.2	011-0010S	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010T	265	111.9	8.2	011-0010T	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010U	265	111.9	8.2	011-0010U	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010V	265	111.9	8.2	011-0010V	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010W	265	111.9	8.2	011-0010W	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010X	265	111.9	8.2	011-0010X	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010Y	265	111.9	8.2	011-0010Y	—																																																																																																																																																																																																																								
圧入機	011-0010Z	265	111.9	8.2	011-0010Z	—																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">第1号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第2号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第3号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第4号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第5号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第6号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第7号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第8号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第9号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第10号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第11号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第12号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第13号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第14号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第15号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第16号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第17号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第18号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第19号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第20号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第21号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第22号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第23号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第24号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第25号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第26号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第27号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第28号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第29号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第30号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第31号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第32号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第33号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第34号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第35号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第36号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第37号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第38号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第39号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第40号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第41号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第42号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第43号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第44号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第45号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第46号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第47号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第48号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第49号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第50号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第51号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第52号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第53号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第54号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第55号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第56号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第57号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第58号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第59号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第60号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第61号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第62号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第63号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第64号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第65号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第66号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第67号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第68号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第69号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第70号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第71号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第72号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第73号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第74号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第75号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第76号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第77号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第78号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第79号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第80号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第81号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第82号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第83号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第84号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第85号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第86号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第87号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第88号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第89号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第90号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第91号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第92号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第93号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第94号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第95号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第96号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第97号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第98号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第99号炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">第100号炉設備</td> </tr> </table> </div>	第1号炉設備		第2号炉設備		第3号炉設備		第4号炉設備		第5号炉設備		第6号炉設備		第7号炉設備		第8号炉設備		第9号炉設備		第10号炉設備		第11号炉設備		第12号炉設備		第13号炉設備		第14号炉設備		第15号炉設備		第16号炉設備		第17号炉設備		第18号炉設備		第19号炉設備		第20号炉設備		第21号炉設備		第22号炉設備		第23号炉設備		第24号炉設備		第25号炉設備		第26号炉設備		第27号炉設備		第28号炉設備		第29号炉設備		第30号炉設備		第31号炉設備		第32号炉設備		第33号炉設備		第34号炉設備		第35号炉設備		第36号炉設備		第37号炉設備		第38号炉設備		第39号炉設備		第40号炉設備		第41号炉設備		第42号炉設備		第43号炉設備		第44号炉設備		第45号炉設備		第46号炉設備		第47号炉設備		第48号炉設備		第49号炉設備		第50号炉設備		第51号炉設備		第52号炉設備		第53号炉設備		第54号炉設備		第55号炉設備		第56号炉設備		第57号炉設備		第58号炉設備		第59号炉設備		第60号炉設備		第61号炉設備		第62号炉設備		第63号炉設備		第64号炉設備		第65号炉設備		第66号炉設備		第67号炉設備		第68号炉設備		第69号炉設備		第70号炉設備		第71号炉設備		第72号炉設備		第73号炉設備		第74号炉設備		第75号炉設備		第76号炉設備		第77号炉設備		第78号炉設備		第79号炉設備		第80号炉設備		第81号炉設備		第82号炉設備		第83号炉設備		第84号炉設備		第85号炉設備		第86号炉設備		第87号炉設備		第88号炉設備		第89号炉設備		第90号炉設備		第91号炉設備		第92号炉設備		第93号炉設備		第94号炉設備		第95号炉設備		第96号炉設備		第97号炉設備		第98号炉設備		第99号炉設備		第100号炉設備			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
第1号炉設備		第2号炉設備		第3号炉設備		第4号炉設備		第5号炉設備		第6号炉設備		第7号炉設備		第8号炉設備		第9号炉設備		第10号炉設備		第11号炉設備		第12号炉設備		第13号炉設備		第14号炉設備		第15号炉設備		第16号炉設備		第17号炉設備		第18号炉設備		第19号炉設備		第20号炉設備		第21号炉設備		第22号炉設備		第23号炉設備		第24号炉設備		第25号炉設備		第26号炉設備		第27号炉設備		第28号炉設備		第29号炉設備		第30号炉設備		第31号炉設備		第32号炉設備		第33号炉設備		第34号炉設備		第35号炉設備		第36号炉設備		第37号炉設備		第38号炉設備		第39号炉設備		第40号炉設備		第41号炉設備		第42号炉設備		第43号炉設備		第44号炉設備		第45号炉設備		第46号炉設備		第47号炉設備		第48号炉設備		第49号炉設備		第50号炉設備		第51号炉設備		第52号炉設備		第53号炉設備		第54号炉設備		第55号炉設備		第56号炉設備		第57号炉設備		第58号炉設備		第59号炉設備		第60号炉設備		第61号炉設備		第62号炉設備		第63号炉設備		第64号炉設備		第65号炉設備		第66号炉設備		第67号炉設備		第68号炉設備		第69号炉設備		第70号炉設備		第71号炉設備		第72号炉設備		第73号炉設備		第74号炉設備		第75号炉設備		第76号炉設備		第77号炉設備		第78号炉設備		第79号炉設備		第80号炉設備		第81号炉設備		第82号炉設備		第83号炉設備		第84号炉設備		第85号炉設備		第86号炉設備		第87号炉設備		第88号炉設備		第89号炉設備		第90号炉設備		第91号炉設備		第92号炉設備		第93号炉設備		第94号炉設備		第95号炉設備		第96号炉設備		第97号炉設備		第98号炉設備		第99号炉設備		第100号炉設備					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> </tr> <tr> <td>防振壁 番号</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> </tr> <tr> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> <td>防振壁 種別</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">防振壁間への排水流入無し</p> </div>	防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁 番号	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁																													
防振壁 番号	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別																												
防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別	防振壁 種別																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">監視システム機能</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> </tr> <tr> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">監視システム機能</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 15%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> <td style="width: 10%;">監視システム機能 監視システム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> </tr> <tr> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> <td>監視システム機能 監視システム</td> </tr> </table>	監視システム機能	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム		○	○	○	○	○	○	○	○	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム		○	○	○	○	○	○	○	○	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
監視システム機能	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			
	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																			
監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			
監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			
監視システム機能	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			
	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																			
監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			
監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム	監視システム機能 監視システム																																																																			